

# 洞窟環境NET学会紀要

## 2号 ☆CENS☆ 2011

[巻頭言].....	鹿島 愛彦	1
[論文]		
01.岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞(観光洞窟)の見学と考察.....	由良 薫	3
02.洞窟・鍾乳石と人間.....	鹿島 愛彦	11
03.岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞のユニークな鍾乳石の考察 .....	肥塚 義明・沢 勲	19
04.中国経済「光と陰」に関する小考察 .....	村田 貞博	25
05.レアアースと鉱山人口洞窟を取り巻く情勢についての論考 .....	藤浦 淳	31
05.土壌汚染リスクの移転手法としての保険 .....	八頭司 彰久	37
07.ネパールにおけるヨード欠乏症との戦い.....	熱田 親憲	41
08.大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382年)の由来と鳥居 .....	沢 勲・肥塚 義明・北川 和孝	47
09.大阪市西淀川区、田蓑神社(869年)の由来と鳥居 .....	沢 勲・上野 裕・西山 正明	67
10.大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居 .....	沢 勲・石田 信也・朴 永昊	87
11.大阪市西淀川区、大和田住吉神社(1313年)の由来と鳥居.....	沢 勲・富田 和広・北川 和孝	107
12.大阪市西淀川区、福住吉神社(1656年)の由来と鳥居 .....	沢 勲・西山 正明・金 世徳	127
13.大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居.....	沢 勲・富田 和広・肥塚 義明	145
14.大阪市西淀川区、五社神社(1688年)の由来と鳥居 .....	沢 勲・上野 裕・西山 正明	163
15.大阪市西淀川区、大野百島住吉神社(1644年)の由来と鳥居.....	沢 勲・石田 信也・朴 永昊	183
[実践報告]		
01.社殿の建築様式 .....	本学会地域調査部	203
02.神社鳥居の系列構造 .....	本学会地域調査部	206
03.西淀川区、8神社文化遺産の調査資料 .....	本学会地域調査部	211
04.西淀川区、神社関連資料 .....	本学会地域調査部	218
05.大阪市西淀川区、神社年表 .....	本学会地域調査部	222
06.神社4ヶ国語(日英韓中)用語集 .....	本学会地域調査部	229
07.西淀川区の地図(500年間).....	本学会編集部	236
08.西淀川区民まつり .....	本学会編集部	254
09.西淀川区野里夏まつり(姫島まつりを含む).....	本学会編集部	259
10.西淀川区の洞窟・鳥居の新聞記事 .....	本学会編集部	263
[活動報告]		
01.構成員一覧.....	本学会編集部	275
02.月例報告.....	本学会編集部	276
03.活動報告(1. TV、2. 新聞、3. 展示会、4. 講演会、5. 論文と資料他 ) .....	本学会編集部	286
[洞窟環境NET学会紀要] 投稿要項.....		295

## 巻頭言

鹿島 愛彦(Naruhiko KASHIMA)

(愛媛大学名誉教授・大阪経済法科大学地域総合科学研究所客員教授・洞窟環境 NET 学会理事)

洞窟環境 NET 学会は、インターネットを通じて洞窟環境の保全ひいては健全な地球環境の後世への伝承を目的として活動を行っている。2009 年 4 月に大阪府より認可許可された時点での会員数は 20 名であったが、現在(2010 年 12 月)では 34 名となっており、この学会への関心の深さを示すものと考えられる。

その最大の要因は沢 勲学会長の「洞窟情報サロン」のもたらしたものであろう。洞窟環境を自然界のそのものでなく、大阪府西淀川区の自宅の地下に再現した人工ミニ洞窟(2004 年)とし、別宅を洞窟ハウス(2008 年)として、地域住民及びマスコミに開放し、地下環境情報の普及を計られかつ自然探検心を育成されたことにあると考えられる。

洞窟環境そのものは、天然の住居地としての利用に始まり、信仰・祭祀の場としても使用されてきている。沖縄県宜野湾市普天満宮に見るように、洞窟内に琉球古神道神を祀ったことに始まり、鍾乳石はご神体として崇められているところが存在する。過去における人間利用の洞窟遺跡の多くは埋蔵文化財として保護され、遺物の研究は過去の洞窟環境のみならず、当時の人間及びその生活解析のデータを提供してくれている。

「大阪府西淀川区の 8 神社の由来と鳥居」に関する論文(沢 勲・肥塚 義明・北川 和孝、大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の由来と鳥居—四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—など 8 編)は、本学会の目指す「文化遺産の伝承」をテーマとしたものであり、戦災・地震・台風などで被害を受けながらも、都市の中で地域住民の協力の下で生き残ってきた、最古のもので 869 年に創建されたとされる宗教的文化財に焦点を当てたものとして注目される。野里住吉、田蓑、姫島、大和田住吉...など西淀川区内 8 つの神社についての由来のほか、本殿、鳥居等の詳細な測量結果が報告されている。また、日英韓中の 4ヶ国語からなる用語解説も付記され、この種の研究論文としては例を見ない精緻なものとして当該神社関係者はもとより、関連行政当局からも高い評価を受けている。この研究結果を加えて先の洞窟情報サロンは「洞窟・鳥居情報サロン」に改変され公開されている。今後の関西大学校友会との合同調査・測定値の解析などの進展が期待される。

また、本学会では、2010 年 8 月 12 日、徹夜踊りで有名な岐阜県郡上市にある「大滝鍾乳洞」の見学ツアーを行った。学会発足後初めての「フィールドワーク」であり、会員 8 人が参加した。本号にはこの大滝鍾乳洞に関連する論文 3 編(肥塚 義明・沢 勲、大滝鍾乳洞の鍾乳石—など)、も納められている。

さらに、中国経済やレアアース問題、土壌汚染と保険...など時宜にかなったテーマを取り上げた論文も搭載され、幅広い分野での活動を目指す“ネット学会”にふさわしい紀要となっている。

今後も、学会の主題である洞窟の環境保全や洞窟環境の利用を広範囲に捕らえた調査研究はもとより、地球規模での広汎な問題提起を含む独創性に富んだ論文の投稿が期待されることである。



# 岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞(観光洞窟)の見学と考察

—地域一体で取り組む観光洞窟資源—

由良 薫\*

(元産経新聞社編集局次長・大阪経済法科大学客員教授・洞窟環境NET学会理事)

## Visit and Consideration of Otaki Limestone Cave (Tourism Cave), Gujo City, Gifu Prefecture

—Tourism cave resource on which it works region on earth—

Kaoru YURA\*

### ABSTRACT

"The Otaki stalactite cave" of Gifu there is it in the central part, and Gujo City, Hachimancho Akuda almost has it. There is "straw-rope pattern stalactite cave" and "Miyama stalactite cave" "Gujo stalactite cave" "stalactite cave Snake Hole" in the neighborhood of the Otaki stalactite cave.

As a scale of the caves, as for the total extension, as for 1,000 meters, the temperature in the cave, as for 15-16 degrees Celsius, the East-West length, as for 270 meters, the length of the north and south, 40 meters, the high difference are 110 meters. According to the Japanese cave ranking, total extension 1,000 meters are equivalent to the 78th place tie in the whole country. There is mysterious Otaki at the position of 60 meters from the surface of the earth and is considered to be the biggest in Japan grade for drop 30 meters, the waterfall of the bottom of the earth.

A characteristic of the stalactite cave is to be thing with many a large quantity of currents, being abundant stalactite, a thing of various colors. A fusuline fossil of the old life is included abundantly, and the limestone of the ground shows that this area was a sea area two hundred million several thousand thousand years ago.

キーワード: 観光洞窟、大滝洞窟、鍾乳石、洞窟鉱物、石筍

**Key Words: Tourism cave, Otaki cave, stalactite, Cave mineral, Stalagmite**

[洞窟環境 NET 学会紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) 、Vol.2(2011), xx-xxpp]

#### 1. はじめに

#### 2. 大滝鍾乳洞の規模と概観

2.1.“鍾乳洞銀座”の一角に                      2.2. 総延長 1000 メートル

#### 3. 鍾乳石を構成する洞窟鉱物及び関連用語について

#### 4. 見どころと主な鍾乳石の名称

4-1. 幻想の迷路                      4-2. 神秘の大滝                      4-3. 将来の開発・公開計画

#### 5. 洞窟開洞の経緯

#### 6. 大滝鍾乳洞の地質学的位置づけ

#### 7. 考察、観光洞窟資源としての位置づけ

- 7-1. エコ・ツアー                      7-2. ミステリーツアー、ケービング  
7-3. アイデア商法                      7-4. 観光資源の主役に

## 8. おわりに

# 1. はじめに

「なるほど大の大人を夢中にさせるのも無理からぬ世界」、であることを実感した。初めて本格的な洞窟を体験しての率直な感想である。鍾乳石が1センチ伸びるのに100年かかる、そして今も成長し続けている。まさに地球の鼓動を直に聴く思いだった。2010年8月、洞窟環境NET学会の洞窟ツアーの1員として訪れた岐阜県・郡上八幡の「大滝鍾乳洞」の体験を通して、洞窟の魅力とともに、観光資源としての課題などをまとめてみた。

大滝鍾乳洞は2億数千年前、海であったことを示す地域にあって、多種多様な鍾乳石が存在し、落差30メートルの大滝は地底の滝としてはわが国最大級である。開発されてからまだ40年ほどにしかならないが、郡上八幡という有数の観光地にあるうえ、周辺にも同種の洞窟とが点在するという条件に恵まれ、早くから有力な観光資源として期待されてきた。特に、最近の「エコツアー・ブーム」で一段と注目を集めており、地元では、全国的に知られた盆踊りなどとコラボさせるなど、洞窟をさらに強力な観光資源として活用すべく、地域一体となった取り組みに力を入れている。

## 2. 大滝鍾乳洞の規模と概観

### 2-1. “鍾乳洞銀座”の一角に

「大滝鍾乳洞」は岐阜県のほぼ中央部、郡上踊りで有名な郡上市の中心部から国道156号線を南へ、車で約20分の山あいにある(〒501-4205 岐阜県郡上市八幡町安久田2298 ☎0575-67-1331)。付近には「縄文鍾乳洞」や「美山鍾乳洞」「郡上鍾乳洞」「鍾乳洞蛇穴」など数拾の洞窟が点在、“鍾乳洞銀座”の一角を占めている。周辺からはナウマン象やヘラ鹿の化石も大量に発見されるなど、一帯は地球誕生のロマンに浸るともできる地域である(図1)。

### 2-2. 総延長 1000 メートル

スイスアルプス・インターラーケンのケーブルカーをモデルにしたという木製のケーブルカーに乗って鍾乳洞入口に立つと、1年を通して15～16℃という涼風が迎えてくれる。

洞窟は東西270メートル、南北40メートル、高度差110メートルの範囲に8層にわたる断層が生成されている。総延長は1000メートルを超える。そのうち、700メートルにわたって鉄板の通路や梯子段、手すり、一般観光用に通路が整備され、約30分で一周できるようになっている(図2)。

日本ケイブテック倶楽部(<http://www.eco.ac/ckc/>)の「日本の洞窟ランキング」によると、総延長1000メートルは全国で78位タイに相当する(1位は岩手県岩泉町の安家洞で、2万3700メートル)。また、Edogawa Caving Clubが洞窟科学調査会・水島明夫氏のリストに基づいて2000年秋の時点(<http://homepage3.nifty.com/spelemedia/caveseer/deepcave.html>)で調べたところでは、高度差110メートルは26位タイに位置付けられている(1位は新潟県青海町の白蓮洞で、422メートル)。

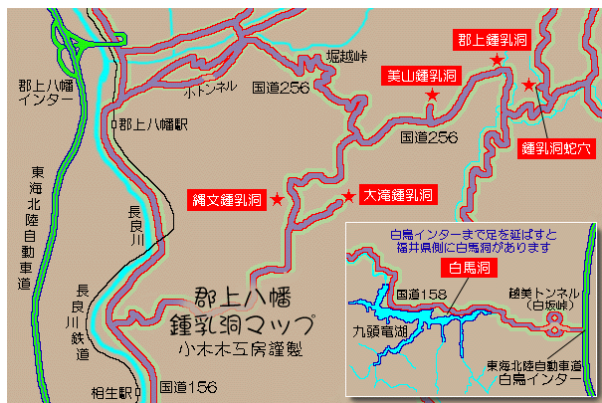


図1 岐阜県郡上市八幡にある大滝鍾乳洞の付近図



図2 大滝鍾乳洞内部の概念図

### 3. 鍾乳石を構成する洞窟鉱物及び関連用語について

自然界を構成している物質は、植物・動物・鉱物の3種類に区分される。鉱物(Mineral)は固体地球の最小構成単位であり、無機物でほぼ均質な化学組成を有し、一定の外形を呈する結晶(Crystal)として、特有の物理的性質を現すものである。洞窟内で二次的に形成された鉱物を、洞窟鉱物(Speleomineral)と言い、洞窟が出来た後の空間に形成されるのが通常であるが、ほぼ同時に形成されるものも存在する。洞窟鉱物は、鍾乳石(Speleothem: speleo=cave, them=deposit)を構成する最小単位であり、日本では45種が報告されている。沢勲・鹿島(洞窟科学入門.2006)によると、次のように要約される。

洞窟鉱物(Cave mineral)には、霰石、アラゴナイト、アルカリ長石、塩、黒雲母、石膏、蛋白石、白雲母、方解石、燐灰石および硫黄などの用語がある。鍾乳石を構成する鉱物は「炭酸カルシウム」＝方解石(Calcite)のみであると理解される。

洞窟形態(Cave shape)には、洞窟形成過程において生成されながら構成する内張り層、棚、橋および滝等がある。洞窟形態には、エプロン、凹地、管状路、陥没、支洞、洞床、丸天井、瀑布などの用語がある。

石灰岩とは、化学的沈澱或いは貝殻片などの集積によってできる堆積岩。普通は海成で、方解石が主構成物である。雨水に弱い溶解性がある。そのため洞窟が発達する。洞窟は石灰岩中に最も多い。

石灰洞窟には、畦石、地底湖、溶解管およびリムストーンなどの用語がある。

洞窟真珠(cave pearl)は、ケイブ・パール:丸い形をした方解石の塊。天井から滴る水でたえず動揺している浅い水溜まりの中にできる。

洞窟トウモロコシ(Cave popcorn)は、ケイブ・ポップコーン:色々雑多な形の洞窟生成物。普通丸い小さな玉状で、水中に沈んでいた洞壁や岩肌に生じる。

ドリーネ(Doline)とは、石灰岩地帯に発達している播鉢形の窪地。

水滴孔(Drip hole)は、水滴により侵食された縦の穴。水滴は、堆積物・溶解性の岩・鉱物沈着物に水滴孔を作る。

点滴石(Dripstone)は、しずく石:水のしずくから沈殿してきた洞窟二次生成物。

入り口(Entrance (Cave))は、人間が通って洞窟に入れる大きさの開口部。

鍾乳石(Stalactite)は、天井部あるいはオーバーハングした面からさがっている、一般的には細長く、とがっているかテーパがかかっている、重力の影響を受けた堆積物質。洞窟の天井から下がっている方解石から成る洞窟生成物。割れ目から滴となって落ちる地下水から沈積する。

石筍 (Stalagmite) は洞床から伸びる方解石の洞窟生成物。天井から落ちてくる地下水から沈積する。溶岩洞の床あるいは棚のうえの堆積物。石筍はかならずしも洞窟二次生成物ではない。鍾乳洞では、石筍は対応する鍾乳石と対になっている。

ストロー (Straw stalactite) は飲み物用のストロー位の大きさで、中心に小さい穴があり、薄い方解石の殻できた鍾乳石の一種。

## 4. 見どころと主な鍾乳石の名称

### 4-1. 幻想の迷路

大滝鍾乳洞の入り口に掲示された見学通路に沿って進んでいくと、最初に現れるのが写真 1 の「龍王洞」。左右から迫る“ゲート”を身をかがめるようにして通過すると、次は写真 2 の「くじゃくの舞」。整然と並んだつらら石が羽を広げた孔雀のように見える。先端が鋭くとがって荒々しい造形を見せているのが「天の怒」である。さらに進むと「砂華の門」、写真 3 の「天の柱」を過ぎると、足元から天井部までダイナミックに広がる写真 4 の「天上界」。その名にふさわしい屈強な石筍「雷神」が屹立している。



写真 1. 滝状つらら石と洞壁



写真 2. くじゃくの舞状のつらら石



写真 3. 三角状のつらら石と石柱、  
天の柱

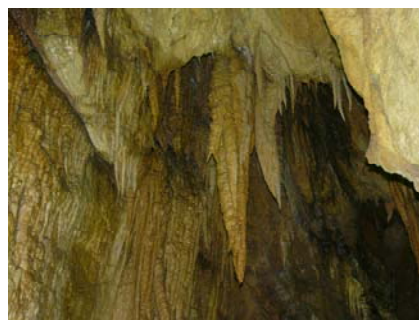


写真 4. 「天上界」、天井部までダイナミックに  
広がるつらら石群



写真 5. 「象牙の林」、天井から無数に  
下がっている鍾乳石。林を思わせる

透明度が高く、艶のある赤みを帯びた「月光石」も目を引く。さらに進むと、この鍾乳洞の特徴の一つである「赤い鍾乳石」に出会うかと思えば、真っ白な「白筆」...と色彩も形状も多種多様だ。

後述する「神秘の大滝」を過ぎて帰路に入ると、写真 5 の「象牙の林」。窓のような狭い空間から覗き込むと奥まった天上から何 10 本という鍾乳石が林のように下がっている。「デコレーションケーキ」「流石鏡」「さんごの乳房」などを通して最後の見せ場は「渦の扉」。扉に刻まれた渦を思わせる独特の造形が目を引く。



その他、「ハチの巣天井」「朱竹園」「赤鬼の爪」「血槍千本」「地下のシャボテン」...など、それぞれ興味深い名前がつけられた鍾乳石群が数多く点在する。これらの名称は特定の人がつけたものではなく、開発にあたった人たちが、相談しながら決めていったのだという。

#### 4-2. 神秘の大滝

洞内最深部にあり、この鍾乳洞の象徴となっているのが「神秘の大滝」(写真6)。地表から60メートルの位置にあり、落差30メートル。地底の滝としては日本最大級とされている。一帯が“大広間”のようになっていて、20人以上が立ち止まってゆっくり鑑賞することができるスペースがある。滝壺の水は飲むことも出来る。

豪快な水音をたてて流れ落ちる瀑布はまさに圧巻。その神秘性に感動した台湾の彫刻家が5カ月もかかって彫ったという不動尊が自然石に刻まれている。滝の上層部に未開発の通路があることが確認されているが、鍾乳石が乾いてもろくなっており、開発する予定はないという。



写真6. 深さ60mの位置に落差30mの「神秘の大滝」



写真7. 石筍が斜めに傾いているように見える「ピサの斜塔」



写真8. 石筍と石華が融合した塔「蜂蜜の塔」

#### 4-3. 将来の開発・公開計画

新たに開発が検討されているのが、大滝からの帰路、長い下り階段途中の「象牙の林」付近にある小ホール。発達した石筍が斜めに傾いているように見える「ピサの斜塔」(写真7)や石筍と石華が融合した塔「蜂蜜の塔」(写真8)など、珍しい鍾乳石が確認されている。公開されれば、魅惑的なポイントとして注目を集めそうだ。

### 5. 洞窟開洞の経緯

大滝鍾乳洞のほか、周辺でレストラン、釣り堀等を経営する「郡上観光株式会社」の河合徹社長によると、大滝鍾乳洞が発見されたいきさつ、観光施設として開洞・整備された経緯は以下の通りである。

鍾乳洞が発見されたのは昭和44(1969)年始め。前年の43年、近くで郡上八幡大鍾乳洞(現美山鍾乳洞)が開発されて大きな話題になり、郡上郡大和町(当時、現郡上市大和町)の土木業者が、大滝鍾乳洞がある安久田地区も同様の地勢であることから鍾乳洞の探索を始め、湧水口及び洞窟の冷気の吹き出し口を発見。本格的に開発に着手した

が、資金に行き詰まり、取引のあった関市上之保在住(当時)の建設業者で、河合現社長の先代にあたる河合寔(まこと)氏に事業継続を依頼。河合氏は仲間を募って開発を進め、44年11月、1年近くの探査期間を経て発達した鍾乳石の通路にたどりついた。この間に地底湖の探索等で2人の殉死者を出すという、厳しい開発だった。

この年の12月、開発運営会社としての郡上観光株式会社を発足させ、公開に向けた観光開発事業に取りかかるとともに、岐阜大学教育学部地学研究所の梶田澄雄教授(現同大名誉教授)に洞窟内の地質学的な調査を依頼。十分に発達した鍾乳石があることを確認した。その上で、洞内通路の整備、照明設備を整えるとともに、国道156号線からの進入路(約5キロ)を新設して翌45年7月、開業にこぎつけた。

会社の資本金7200万円はすべて開発費に充てられたという。当時、周辺では4つの鍾乳洞が公開されており、一躍鍾乳洞ブームが起り、大滝鍾乳洞もオープン当初年間50万人の入場者が詰めかけたという。

## 6. 大滝鍾乳洞の地質学的位置づけ

開発時に調査にあたった梶田岐阜大教授の署名がある「大滝鍾乳洞について」という解説板が、今も鍾乳洞入口に立てられている。それには「当地域最大級の鍾乳洞である」としたうえで、以下のような特徴が記されている。

- ・ 水流の多いことも本鍾乳洞の特色であり、若々しい美しさの原因になっている
- ・ 鍾乳石類は量、質ともに豊富、多彩であらゆる種類のものが見られる
- ・ アンソタイト(石花)、ヘリグマイト、ヘリクタイト等はこの地方では本洞にだけしか見られない
- ・ 洞窟珊瑚の中には他に報告のない型のものがある
- ・ 成長中のものが多く、新鮮で純度が高く、光を通すものも多い
- ・ 赤色からピンク色に着色したのも注目される
- ・ 母岩の石灰岩には、古生代ペルム紀のフズリナ化石等が多量に含まれ、2億数千年前当地域が海域であったことを示している
- ・ 洞窟の生成された時期は数拾万年前を超えることはない

梶田名誉教授は、調査にあたった当時を振り返りながら「非常に水が多いという印象だった。ずいぶん高度差もあって、いくつも滝を登ったりして、苦勞の多い調査だった」と話している。解説板は開業翌年の1971(昭和46)年6月1日の日付になっており、梶田名誉教授は「まだそのまま残っていますか」と感慨深気だった。

## 7. 考察、観光洞窟資源としての位置づけ

### 7-1. エコ・ツアー

環境保全や自然保護と旅行を結びつけた、いわゆるエコ・ツアーがブームである。屋久島や知床など世界遺産がその代表例だろうが、通路や照明など最低限の設備を施すだけで何億年という太古の自然と直接接することができる洞窟観光こそ、その元祖にして究極のエコ・ツアーと言えるだろう。現に「観光洞」と呼ばれる洞窟は国内外に多数存在し、手軽に非日常の世界にいざなってくれる。

今回、私達が「大滝鍾乳洞」を訪れたのも、一般のバス・ツアーに参加したもので、いわゆる洞窟ファン以外にも小さな子供の手を引いた家族連れや熟年夫婦など40人近い観光客と一緒にだった。手軽に太古の世界に踏み入ってそれぞれ貴重な体験をし、歓声をあげる子どもたちもいた。ツアー会社によると、この種の企画は地味でも、コンスタントな人気



があるといい、手ごろなエコ・ツアーとして定着しているようだ。

前述したとおり、大滝鍾乳洞は開業当初、鍾乳洞ブームに乗って、郡上踊りを上回る年間 50 万人の入場者があったが、「ここ 10 年はおおむね 10～11 万人で安定している」(河合・郡上観光社長)という。敷地内には 40 年前に白川郷から移築したという合掌造りの建物 2 棟があって、レストランとして営業。名物は石焼料理・古代焼。さらに、洞窟から湧き出る水を利用したマス釣りが楽しめる釣り堀も併設するなど家族連れを主なターゲットとした観光客誘致に力を入れている。

## 7-2. ミステリーツアー、ケービング

近くには、同じ郡上観光の経営で、「縄文洞」という別の鍾乳洞も整備され、夏休みを中心に子供たちやカップルで賑わっている。ここは炉の跡や縄文時代のものと見られる土器の破片が見つかった洞窟でもあり、古代人遺跡として県の重要文化財の指定も受けている。大滝鍾乳洞と比べやや規模は小さいが、虫食い天井や純白の石筍など一級の芸術品が見られる。通路はきちんと整備されているが、こちらは照明を全部落として、懐中電灯だけを頼りに、洞内を巡るという「ミステリーツアー」を売りものにして、「洞窟本来の良さが味わえる」と、洞窟ファンの人気が高いという。

さらに本格的な探検、となると「美山鍾乳洞」ではケービングも行っている。専門のガイドがついて、専用ヘルメット・スーツに身を固め、真っ暗な中をヘッドランプだけを頼りに 1 時間半から 2 時間にわたって探検するというコース。中学生以上が対象で、別料金がある。コースによっては、ザイルを使うこともあって、ロック・クライミングのような雰囲気も楽しめるという。

## 7-3. アイデア商法

一方、洞窟という自然の恵みを生かしたユニークな“商法”も注目を集めている。美濃市や美濃加茂市、多治見市など周辺の酒小売店 7 店の若手経営者でつくっている「ここしか村グループ」が大滝鍾乳洞とタイアップして売り出している「鍾乳洞熟成酒」もその一つだ。本来の醸造法でつくられた純米酒を大滝鍾乳洞の中で 6 ヶ月間寝かせて熟成させることで、一層まろやかな味をもたせるというもので、平成 8(1996)年から行われている。貯蔵する洞窟のスペースが限られているため、毎年 500～800 本しかできない。4 月に搬入して 10 月に取り出し、大滝鍾乳洞の売店や「ここしか村グループ」の加盟店で売っているが、短期間で完売になるという。

同グループの一員である美濃市の今広酒店のHPには、コンビニや酒の量販店に押されがちだった地元の酒屋さんが集まって「自分たちだけのお酒を作りたい。それもとびっきり夢のあるお酒を」と、知恵を絞って洞窟利用を思いついたこと。最初 1 年間寝かせて、ラベルもボロボロになったビンから飲んだお酒の際立ったまろやかさに歓声を上げたことなど、「鍾乳洞熟成酒の誕生秘話」が、感動深く綴られている([http://www.geocities.jp/sake\\_imahiro/cav.html](http://www.geocities.jp/sake_imahiro/cav.html))

## 7-4. 観光資源の主役に

徹夜踊りで全国的に有名な「郡上踊り」は、今年は雨も影響して 4 日間の人出は予想を下回る 15 万 5000 人。それでも市の人口の 4 倍もの人が集まったわけで、33夜にわたる期間中全体の人出は約 30 万人にのぼったといい(同市観光課)、郡上市の夏の観光資源として、大きな役割を果たした。

この郡上踊りに次ぐ観光資源とし位置付けられるのが、洞窟(鍾乳洞)である。市の統計では昨年 1 年間に計 14 万 3000 人の訪問者があった。エコ・ツアー・ブームの中で、注目度が高まっており、市では来年夏に洞窟に滝、川を加えて「涼」を統一テーマにしたイベントを計画してみたいという(松島浩生・同市観光課主任主査)。こうした公的な動きに、「ここしか村グループ」などの町おこし運動が加わって、地域一体となって洞窟・鍾乳洞を観光資源の主役に盛り上げて行くことを期待したい。

## 8. おわりに

大滝鍾乳洞の見学で感心したのは、約 700 メートルの洞窟見学通路に一片のゴミもなかったことだ。何億年前という神秘の世界に踏み入って、だれしものが厳肅な気分になる。そこには、マナー違反がはびこる余地はない。外界と比べて気温が低いための、いわば肉体的な清涼感とともに、あるいはそれ以上に、こうした精神的な清々しさを味わえるのが、洞窟体験のもう一つの魅力であることを知った。その意味でも貴重な体験であった。

天照大神が隠れてしまったため世界中が闇に覆われたという、神話の世界でも重要な舞台となった洞窟。古代人の暮らしが営まれたのも、修験道の修業の場となったのも洞窟であった。そんなことを思い浮かべながら洞窟本来の姿である闇の世界、幻想の世界をじっくり味わってみたい、という気持ちが高まっている。思いをかなえてくれそうなのが、照明装置が一切ないという「縄文鍾乳洞」だ。次の機会にはぜひ、ここを訪問してみたい、と思っている。そして、周辺の清冽な川の流れや滝に遊んで自然が演出する「涼」を満喫するとともに、全国的にその名を知られた徹夜踊りに、洞窟の新しい顔が加味され、地域一体となって盛り上がる観光都市・郡上の新たな魅力を確認したい、と思っている。

## 謝 辞

大滝鍾乳洞発見のいきさつから開発の経緯、将来計画などについて、郡上観光株式会社代表取締役社長、河合徹氏に質問状をお送りしたところ、懇切な回答をいただいた。また、地質学的な意味付けと開発当時の感想については岐阜大学名誉教授、梶田澄雄氏に、観光開発計画等については郡上市観光課主任主査の松島浩生氏からそれぞれ貴重なご意見を聞かせていただいた。名をあげて謝意を表したい。

さらに、第3章で記述した通り、洞窟鉱物に関する専門的な用語についてご教示を賜り、“洞窟見学記”の域を出ない本稿に学問的な意味合いを持たせていただいた洞窟環境NET学会の会長でわが国洞窟研究の第1人者である工学博士、澤勲先生に深甚なる感謝を申し上げます。写真については本学会理事の肥塚義明氏にご協力をいただいた。

(2010年12月1日受稿、2010年12月25日掲載決定)

## 参考文献

- 1) 中崎茂:『観光の経済学入門 ―観光・環境・交通と経済の関わり―』、古今書院、239P、2002年。
- 2) 鹿島愛彦:「鍾乳石の分類と種類について」、大阪経済法科大学科学技術研究所紀要、11、29-40、2006年。
- 3) 沢勲・仲野義文:「島根県大田市、世界遺産、石見銀山の洞窟観察と建鍾乳石」、大阪経済法科大学科学技術研究所紀要、12、15-29、2008年。
- 4) 鹿島愛彦:「洞窟鉱物と洞窟環境」、洞窟環境 NET 学会、1、3-6、2010年。

# 洞窟・鍾乳石と人間

鹿島 愛彦

(愛媛大学名誉教授・大阪経済法科大学地域総合科学研究所客員教授・洞窟環境 NET 学会理事)

## Cave・Speleothem and Humankind

Naruhiko KASHIMA

### ABSTRACT

Cave is defined as naturally or artificially formed underground opening in rocks large enough to admit a humankind. Speleothem is secondary mineral deposit formed in a cave. Common forms by hydrologic mechanisms : dripping water(soda-straw・stalactite・stalagmite・column and drapery), flowing water(flowstone and clastic canopy), pool water(rimstone・shelfstone and cave pearl), seeping water(helictite・shield・blister・boxwork and anthodite) and thermal water(giant crystal). And they can form biologic(diatom speleothem・moonmilk・rootsicle and root stalagmite) and volcanic(lava speleothem) actions and other speleothem(vermiculation). Humankind have used cave / speleothem with many different purposes are summarized as follows : religious and dwelling place, dwelling house, strage and create house, source of water supply, ingredient of herbal medicines, scientific and sports-caving site and tourist attractions.

キーワード:自然洞窟・人工洞窟・洞窟環境・鍾乳石・観光資源

Keywords:Natural cave, Artificial cave, Cave environment, Speleothem, Tourist attractions

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号] [Cave Environmental NET Society(CENS), Vol.2(2011), ]

## 1. はじめに

本報は、2010 年 5 月 26 日大阪経済法科大学において講義を行った「洞窟特別講演会」の内容をまとめたものである。講義は Power Point を使用し多くの写真を基にして行ったが、本紀要にはページ制限があるため鍾乳石を主として記述し、その写真 24 枚を使用するにとどめてある。

投稿をお勧めいただいた洞窟環境 NET 学会 沢 勲会長に厚くお礼申し上げる。

## 2. 洞窟とその種類

洞窟とは、人間の入ることの出来る地下の空間である。人間には種々のイズがあるが、洞長 2m 程度で、洞口の長径が奥行き(深さ)より小さいものとされる。洞内空間は大気で満たされているのが普通であるが、地下水・海水・堆積物で満たされている場合もある。

洞窟は、自然洞窟・人工洞窟・混成洞窟に区分される。自然洞窟＝①火山洞窟(リフト洞窟・ガス噴出孔洞窟・溶岩洞窟・溶岩樹形・気泡孔連続洞窟・偽鍾乳洞)、②侵食洞窟(海食洞窟・湖食洞窟・河食洞窟・風食洞窟)、③溶食洞窟(石灰岩洞窟・石膏洞窟・岩塩洞窟・氷河洞窟)、④構造洞窟(節理洞窟・断層洞窟・崖錐洞窟・地滑り洞窟・地震洞窟)。人工洞窟＝住居・シェルター・トンネル・鉱山坑道・地下施設・地下都市。混成洞窟＝鉱山坑道と自然洞窟の連結洞窟。洞窟の系統図と分類基準については沢ほか(2006)<sup>1)</sup>・洞窟編集部(2010)<sup>2)</sup>があるが、洞窟環境の特徴としては、恒温性・多湿性・暗黒性・隔離性・遮蔽性・遮音性・耐圧性・耐震性を挙げることができる(鹿島、2010)<sup>3)</sup>。

### 3. 鍾乳石について

Speleothem は、ギリシャ語の Spelean=Cave と thema=deposit に相当する語で、「洞窟の内部に形成された堆積物」であり、日本語では鍾乳石(鍾=かたまりあつめる、乳=乳状のねっとりとした液体、石=鉱物)(藤堂、1978)<sup>4)</sup>、が使用されるが、いまだ鍾乳石=つらら石として使用されている場合もあり両者を区別して使用したいものである。鍾乳石の分類とその種類については鹿島(2006)<sup>5)</sup>を参照されたい。

#### 3-1. 滴り落ちる水(Dripping water)で形成される鍾乳石

1. 鍾乳管(Soda-straw) 石灰岩洞窟の場合、石灰岩( $\text{CaCO}_3$ )層を浸透してきた  $\text{CO}_2$  を多く含む地下水は、 $\text{CaCO}_3$  を過飽和に近く含有しており、洞窟内に出たことによる圧力の低下で  $\text{CO}_2$  を放出し、 $\text{CaCO}_3$ (方解石: calcite)を晶出する。水滴が落下した後には直径 4~5mm の方解石結晶の輪が残され、水滴が連続して落下するとこの輪が下方(重力方向)に次々と成長し、中空の管となる。これが鍾乳管で Soda-straw・Macaroni などと呼ばれている(図1)。

2. つらら石(Stalactite) 洞窟の天井部などから、氷の「つらら」のように垂れ下がっている鍾乳石で、その中心部には鍾乳管があり同心状に成長するが、滴水・表面の流水の変化などにより、円柱状でないものも存在する(図2)。

3. 石筍(Stalagmite) 洞床面からタケノコ(筍)状に成長する鍾乳石で、基本的には洞天井部のつらら石の真下に形成されているのが通常である。つらら石から滴下する水の状態によっては、頭が水平に近い石筍・ポールのような細長い石筍も形成される。また、滴下する水の化学的変化により、石筍の頭が溶かされて窪みの生じているものも存在する(図3)。

4. 石柱(Column) 洞窟天井部から下方に成長したつらら石と床部から上方に成長した石筍とが合体した鍾乳石である。両者はどちらかがの成長が早く、不均一な形態を示すことが多い(図4)。

5. ドラペリー(Drapery) 洞窟の天井部・壁面を水滴が直線~曲線状に流れた軌跡を出発線として、ここから連続的に垂れ下がるように成長した鍾乳石である。薄いカーテン状のものであるが、成長の過程で粘土粒子が周期的に供給されると、方解石の白色層と粘土粒子の含まれた赤褐色部分とが平行縞状の互層のドラペリーを形成し、ベーコン(Bacon)と呼ばれることがある(図5)。

#### 3-2. 流れる水(Flowing water)で形成される鍾乳石

6. 流れ石(Flowstone) 洞窟の壁面・床面やその他の鍾乳石の表面を薄くシート状に覆う鍾乳石で、洞窟の壁面・床面などをフィルム状に流れる水により形成される(図6)。

7. 流礫棚(Clastic canopy) 洞窟内に流入した砂礫が堆積した後に、流れ石がその表面を覆うと、表面の砂礫は板状に固められる。その後洞窟内の水流により、未固結の砂礫層の下部は洗い流され流れ石で固められた表層の板状部分が、洞窟の壁に残される。地表河川の河岸段丘面に相当する鍾乳石である(図7)。

#### 3-3. 停滞した水域(Pool water)で形成される鍾乳石

8. 畦石(Rimstone) 洞底に形成された水溜まり(プール)の堤防に相当する鍾乳石。プールから水が溢流する部分では、僅かな攪拌や泡立ちにより  $\text{CO}_2$  が逸脱し方解石の沈着が起こり畦石が形成される(図8)。畦石によって水流のせき止められた部分が畦石ダム(Rimstone dam)である(図9)。

9. 棚状石(Shelfstone) 洞内プールの表面に、プール周辺部から棚のように薄板状に張り出した鍾乳石。成長を続けてプールの表面を袋状に閉ざしてしまうこともある(図10)。

10. 洞窟真珠(Cave pearl) 海の真珠に似たサイズで表面が平滑な球体を示す鍾乳石で、その中心部にある核を被覆して成長するが、洞床には付着していない。図11は正六面体を示す洞窟真珠である(Poto by Sura Ballmann)(Hill et al., 1997)<sup>6)</sup>。

### 3-4. 浸出水(Seeping water)で形成される鍾乳石



図 1. 鍾乳管(Soda-straw) Grotte de Choranch(France) 左図

図 2. つらら石(Stalactite) 星野洞(南大東島・沖縄県) 中図

図 3. 石筍(Stalagmite) Pestere Ursilor Cave(Romania)右図



図 4. 石柱(Column) 星野洞(南大東島・沖縄県) 左図

図 5. Drapery 星野洞(南大東島・沖縄県) 中図

図 6. 流れ石(Flowstone) 昇龍洞(沖永良部島・鹿児島県)右図



図 7. 流礫棚(Clastic canopy) 昇龍洞(沖永良部島・鹿児島県)左図

図 8. 畦石(Rimstone) 玉泉洞(南城市・沖縄県)中図

図 9. 畦石ダム(Rimstone dam) 芙蓉洞(武隆・中華人民共和国) 右図



図 10. 棚状石(Shelfstone) 龍河洞(香美市・高知県)左図

図 11. 洞窟真珠(Cave pearl) Castlequand Cave(Canada)中図

図 12. 曲り石(Helictite) Sonora Cave (Texas・U.S.A.)右図

11. 曲り石 (Helictite) 地球の重力方向に関係なく、色々な方向に曲りくねった状態で成長する鍾乳石。曲り石はその中心部の毛細管より供給される水で成長する。曲りながら成長する理由として、方解石の結晶が連晶状態で成長する際に、方解石結晶が立方体でなく菱面体結晶であることに由来するとされている(Prinz, 1908)<sup>7)</sup>(図 12)。

12. 石楯 (Shield) 中央部の割れ目により 2 枚の平行な楕円～円状の平板に分かれている鍾乳石。中央の割れ目から毛管現象で浸み出す水により成長する。成長と共に円盤状の石楯の下面につらら石などが成長して、クラゲ形やパラシュート形を呈する鍾乳石になることが多い(図 13)。

13. 中空球状鍾乳石 (Blister) 洞窟の天井部・壁面・鍾乳石の表面に形成される中空で球状の鍾乳石。洞壁などの開口部から被圧浸出水が連続的に供給されて成長したものと考えられている(Hill et al., 1997)<sup>6)</sup>。殻が単層・二重層のもの、内部に粘土・砂などを含むものも知られている(山内ほか、1967)(図 14)<sup>8)</sup>。

14. ボックスワーク (Boxwork) 洞窟の天井部などに、底のない箱枠が平面的に集合した形態を示す鍾乳石である(図 15)。洞窟を形成する母岩の中に方眼状の節理があり、これに沿う石英質などの岩脈が立体的に残されてボックスワークを構成するケースもある。

15. 石花 (Anthodite) 山野に咲き乱れる草花のような形態を示す鍾乳石で、細い針状結晶が放射状に集合したもの、ラップ状に開いた結晶、などさまざまな形態を示すものがある。図 16 に示した花卉状石花の内部は、方解石 ( $\text{CaCO}_3$ ) と霰石 ( $\text{CaCO}_3$ ) との互層で構成されており、地下水の周期的(季節的)な変化の結果を示すものであると考えられている(鹿島、1965)<sup>9)</sup>。

### 3-5. 熱水 (Thermal water) で形成される鍾乳石

16. 巨大結晶 (Giant Crystal) メキシコの Nica Mine (鉱山) において、地球内部より上昇してきた熱水により坑道内に形成された Selenite (透明石膏:  $\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ ) の巨大結晶 (長さ 10m・幅 1m を超える) 群が報告されている (Badino, 2008)<sup>10)</sup> (図 17)。現在の坑道 (洞窟) 内の気温は  $50^\circ\text{C}$ ・湿度は 100% である。

### 3-6. 生物の関与で形成される鍾乳石 (Bio-speleothems)

17. 珪藻鍾乳石 (Diatom speleothem) 洞窟内に地表から流入した珪藻類が、洞口付近や微光帯内で群体として成長し、洞窟珊瑚のような鍾乳石を構成したものである。光線方向に成長するので Speleophotothems (Lino, 2001)<sup>11)</sup>・Light-oriented stalactite (王福星ほか、1993)<sup>12)</sup> などとも呼ばれている(図 18)。

18. ムーンミルク (Moonmilk) 方解石・苦灰石・水苦土石・マグネサイトなどの鉱物から構成される白色粉末状～糊・クリーム状の鍾乳石であるが、その生成に微生物 (バクテリア・菌類・藻類) の関与している鍾乳石である (大出ほか、1978)<sup>13)</sup> (図 19)。

19. 樹根管 (Rootsicle) 地表の樹木の根が洞窟内に垂れ下がり、その表面が方解石結晶で覆われ鍾乳管のような外観を示す鍾乳石である。しかし鍾乳管とは異なり、その直径に種々のサイズのものがあることやひげ根部分は鍾乳管が分岐していることから容易に区分される(図 20)。

20. 樹根石筍 (Root Stalagmite) 洞口付近に繁っている樹木が水分を求めて、その根を洞窟内に延長しその先端が石筍のように洞天井に向かって伸びている鍾乳石である。Czech Republic の砂岩洞窟 (図 21) のほか、Poland, Germany, Austria, Slovakia, Hungary, Sweden, Spain, South Africa, Australia で発見されている (Roman, 2010)<sup>14)</sup>。

### 3-7. その他の作用で形成される鍾乳石 (Other speleothems)

21. バーミキュレーション (Vermiculation) 泥・粘土・方解石などから構成されている軟らかい、不規



則な形をした鍾乳石である。水没した洞窟通路の滞水の後の汀線以下の部分に形成され、虫の這い跡に見られるところから **vermiculation** と名付けられているが、古代の象形文字に似るとして **hieroglyphics** とも言われる(図 22)。



図 13. 石楯(Shield) Marakoopa Cave(Tasmania・Australia) 左図

図 14. 中空球状鍾乳石(Blister) 船久保洞窟(紫波町・岩手県) 中図

図 15. Boxwork シムクガマ(読谷村・沖縄県)右図

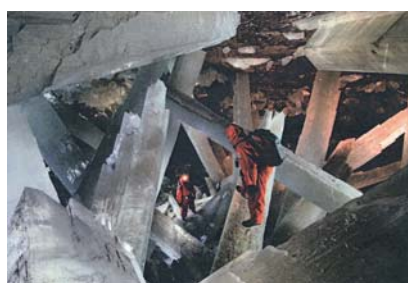


図 16. 石花(Anthodite) 深山洞(内子町・愛媛県) 左図

図 17. 巨大結晶(Giant crystal) Nica Cave(Chilhauhau・Mexico)中図

図 18. 珪藻鍾乳石(Diatom speleothem) 戸川境谷洞(日之影町・宮崎県)右図



図 19. Moonmilk の流れ石 Sonora Cave (Texas・U.S.A.)左図

図 20. 樹根管(Rootsicle) 挾才窟(済州島・大韓民国)中図

図 21. 樹根石筍(Root stalagmite) Sandstone Cave(Czech Republic)右図



図 22. Vermiculation 羅漢穴(西予市・愛媛県)左図

図 23. Bracken-like lava stalactite Kazumura Cave(Hawaii・U.S.A.)中図

図 24. Lava pendant 柏原溶岩樹形 No.75(富士吉田市・山梨県)右図

22. 溶岩鍾乳(Lava speleothem) 溶岩洞窟形成直後に、洞窟内に流入した酸素を含む空気により洞窟内壁の溶岩が再溶融して、滴り落ちまた洞壁を流れて形成された鍾乳石である。図 23 はワラビ状溶岩鍾乳(Bracken-like lava stalactite)・図 24 は溶岩平板鍾乳(Lava penndant) である。

## 4. 人間と洞窟との関わり

過去・現在を問わず人間と洞窟・鍾乳石との関わりについては、洞窟環境の特異性を基に洞窟そのものの利用や鍾乳石の利用など多方面にわたるものが挙げられる。

まず洞窟そのものの利用については、①信仰・祭祀・修業の地、②住居・墓地、③栽培養殖場、④氷室・貯蔵庫・醸成庫、⑤洞窟治療所、⑥各種地下施設(人工洞窟)などが挙げられる。洞内より湧出する地下水は、①飲料水・都市上水道、②灌漑用水・発電用水、③冷泉・温泉、④地下ダムとしての利用がなされている。鍾乳石は、①鑑賞石、②漢方石薬(カルシウム剤)に、③洞窟堆積物よりは黒色火薬の生成やコウモリグアノが窒素-リン酸肥料に利用されているが、過去の環境変化が解析出来るデータバンクとしての重要性が認められている。最も大きな利用として挙げられるのは、観光資源としての洞窟と鍾乳石である。更に学術研究・スポーツとしての洞窟探検や未知の最長・最深の洞窟を求めての洞窟探検を挙げる事が出来る。

## 5. おわりに

洞窟は地表の風化作用・侵食作用から隔離された地下の過去のデータ・バンクであると共に、地下水の包有体として上水道・農業用水等の源として貴重な存在である。また観光資源として地方活性化の起爆剤となっている。学術研究の対象として、ケービングの対象としても、洞窟内の現状を破壊することなくその完全な管理運営がなされ、次世代に継承されることを期待するものである。

(2011年1月7日受稿、2011年1月8日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 沢 勲・鹿島愛彦・大橋 健:『洞窟科学入門—写真と図解—』、171p、大阪経済法科大学出版部、2006年。
- 2) 洞窟編集部:「洞窟の系統図と分類基準」、洞窟環境 NET 学会紀要、1、51-53、2010年。
- 3) 鹿島愛彦:「洞窟鉱物と洞窟環境」、洞窟環境 NET 学会紀要、1、3-6、2010年。
- 4) 藤堂明保:『学研漢和大字典』、1,740p、学習研究社、1978年。
- 5) 鹿島愛彦:「鍾乳石の分類と種類について」、大阪経済法科大学科学技術研究所紀要、11、29-40、2006年。
- 1) Hill, C. & Forti, P.(eds):『Cave Minerals of the World(second edition)』、463p、National Speleological Society, Huntsvill, 1997.
- 7) Prinz, W.:“Les Cristallisation des grottes de Belgique”, Nouv. Mem. Soc. Bdg.Geol., ser. 4, no.2, 90p, 1908.
- 8) 山内 浩・鹿島愛彦:「沖縄産中空球状鍾乳石」、愛媛大学紀要、II[D]、5、121-132、1967年。
- 9) 鹿島愛彦:「愛媛県深山洞の特異な花卉状アンソダイト」、愛媛大学紀要、II[D]、5、81-88、1965

年。

10)Badino, Giovanni(edt.):『Crystal Giants in the caves of Naica』, 47p, 2008 年.

11)Lino Clayton F.:『Caves the fascination of underground Brazil』, 288p, aedition Gaia Ltda, Sao Paulo, 2001 年.

12)王福星・曹健华・黄俊友・江利登・黄基富・王 晶:『生物岩溶』、国際地質対比計画 299 項、130p、地質出版社、1993 年。

13)大出 茂・滝井 進:「ムーン・ミルクの生成環境と微生物」、洞窟学雑誌、3、44-52、1978 年。

14)Roman Mlejnek:“America, Look for Root Stalagmites!”, NSS News, 68(4), 14/15, 2010 年.

# 岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞のユニークな鍾乳石の考察

—観光洞窟の入口・天井・壁・床・滝—

肥塚 義明\*・沢 勲\*\*

(洞窟環境 NET 学会事務局長\*・大阪経済法科大学名誉教授\*\*)

## Consideration of Unique Stalactites of Otaki Stalactite Cave, Gujo City, Gifu Prefecture

— Entrance / Ceiling / Wall / Floor / Waterfall of Tourism Cave—

Yoshiaki KOEZUKA\*, Isao SAWA\*\*

### ABSTRACT

Otaki Stalactite Cave is a lime cave in Gujo, Gifu City Hachimancho. Total extension is Tokai district maximum grade with about 2km. Of these, about 700m are shown for sightseeing. There is various stalactites in the cave. The symbol of this cave is a cave waterfall called Otaki. Otaki has it of about 60m below from the surface of the earth, and the height is a cave waterfall of the scales eminent about 30m in Japan. Abundant water springs out and still brings up a stalactite cave now. Gujo City of Gifu is almost located in the central part. In the area where a pitch difference is big, the minimum height above the sea level is 110m of Minami-cho Kio, and the best height above the sea level is 1,810m of Shiratori-town Choshigamine. There is 24 first-grade river and, other than the Nagara River, sum Yoshikawa, Itoshiro River, has abundant water. Hachimancho with the Otaki stalactite cave has Sougisui (Hakuunsui) which is the first of 100 selections of Japanese famous clear water. It is said to spring out of the mountains of the lime layer this famous clear water. Stalactite cave may be said to be the geographical features that are easy to be generated.

キーワード:大滝鍾乳洞、鍾乳石、洞窟滝

*Key Words: Otaki, Stalactite Cave, Cave Waterfall*

[洞窟環境 NET 学会紀要第 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)*、Vo2.1(2011)、00-00pp]

### 目次

1. はじめに
2. 大滝鍾乳洞の入口
3. 大滝鍾乳洞の天井
4. 大滝鍾乳洞の壁
5. 大滝鍾乳洞の床
6. 大滝鍾乳洞の滝と豊富な水
7. おわりに



## 1. はじめに

大滝鍾乳洞は岐阜県郡上市八幡町にある石灰洞窟である。総延長が約2kmで、東海地区最大級と言われている。このうち約700mが観光用に公開されている。洞窟内部には多彩な鍾乳石が見られる。最深部には、この洞窟のシンボルである大滝と呼ばれる洞窟滝がある。大滝は、地表より約60m下にあり、高さは約30mで日本でも有数の規模の洞窟滝である。現在も豊富な水が湧き出しており、今でも鍾乳洞を成長させる要因となっている。

郡上市は、岐阜県のほぼ中央部に位置している。高低差が大きい地域で、最低海拔は、美並町木尾の110mで、最高海拔は白鳥町銚子ヶ峰の1,810mである。長良川、和良川、石徹白川の他、一級河川が24本あり水資源豊富な地域である。大滝鍾乳洞のある八幡町は、日本の名水百選の第一号である宗祇水(白雲水)がある。この名水は、石灰層の山々から湧き出ていると言われ、鍾乳洞が生成されやすい地勢であると言えるだろう。

## 2. 大滝鍾乳洞の入口

大滝鍾乳洞は、山の石灰岩中の断層が地下水によって溶解し、拡大されて生成されたものである。そのため、この洞窟の見学は、高低差のある洞内を移動する。鍾乳洞の入口へは、ケーブルカー(図1)で移動し、低い天井の入口(図2と図3)から入洞する。鍾乳洞の入口付近にある「大滝鍾乳洞について」と書かれた看板には、岐阜大学の梶田澄雄氏による解説が掲載されている。

それによれば、「鍾乳石類は量、質共に豊富、多彩であらゆる種類のもが見られるとあってよい。アンソダイト(石花)、ヘリグマイト、ヘリクタイト等はこの地方では本洞だけにしかみられないものである。洞くつ珊瑚の中には、他に報告のない型のもがある。成長中のもも多く、新鮮で純度が高く光を通すものも多い。又、赤色からピンク色に着色したのもあるのは注目される。母岩の石灰石には古生代ペルム紀のフズリナ化石等が多量に含まれ、二億数千万年前当地域が海底であったことを示している。なお、洞くつの生成された時期は、他の証拠によって数十万年を越えることはない。この付近一帯には数十の洞くつがあり、その中からナウマン象、ヘラ鹿、犬角鹿をはじめとする現在絶滅した動物の化石が大量に発見され、当地域が数十万年前、現在よりも寒冷な高原であったことが予想されている。」とあり、実際に様々な形状、色の鍾乳石が確認できた。



図1. トロッコ風ケーブルカー



図2. 大滝鍾乳洞の入口



図3. 大滝鍾乳洞の入口付近

## 3. 大滝鍾乳洞の天井

大滝鍾乳洞では、様々なタイプの鍾乳石がみられる。鍾乳石は、方解石から成る洞窟生成物で、炭酸カルシウムを含んだ水が落下時に再結晶するなどの作用で成長する。天井から垂れ下がっているつらら石は、重力の影響を受けた堆積物質である。形状は様々な物が見られ、細長く尖った物、筒状の物、帯状の物など様々である。色は、茶褐色の物が多いが、白色などもみられる。色の変化は、鍾乳洞の土壌や水に含まれる成分の違いによって生じている。(図4, 図5, 図6, 図7, 図8と図9)

大滝鍾乳洞は現在でも水が豊富に流出しており、天井からも水滴が滴り落ちている状況が確認できた。つらら石の表面にも水滴がついている物が多く見られ、現在でも成長中であるといえる。



図4. 無数にぶら下がる尖ったつらら石



図5. 巨大で尖ったつらら石



図6. 円筒のつらら石

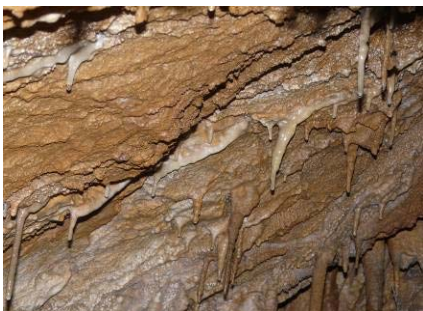


図7. 細い筒状の鍾乳管(ストロー)



図8. 帯状で幕のようなベーコン



図9. 洞窟珊瑚が群生する天井

#### 4. 大滝鍾乳洞の壁

大滝鍾乳洞の壁には、多量の水が流れた痕跡を示すものが見られる。大規模な流れ石(図10)の壁や、多数の鍾乳石が連結した壁(図11)、洞窟珊瑚が群生した壁(図12)などがみられ、場所によってそれぞれが特徴的な形状と色をしている。





図 10. 黄土色の大規模な流れ石

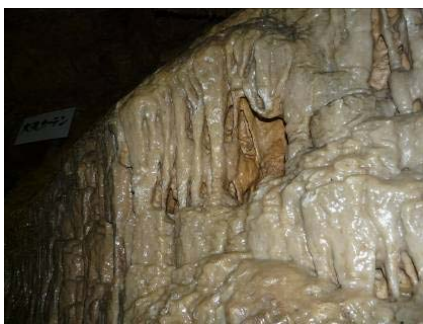


図 11. 白色の鍾乳石が連なる壁



図 12. 茶色の洞窟珊瑚が群生する壁

## 5. 大滝鍾乳洞の床

大滝鍾乳洞の床には、比較的小さな石筍(図 13 と図 14)が多く見られる。石花(図 15)のような特徴的な鍾乳石も見られた。また、天井と床が隣接した小さな空間には、石柱が多く見られる(図 16, 図 17 と図 18)。石柱は、天井から落ちた水滴によって成長した石筍と、上部から成長したつらら石と連結することで生成している神秘的な現象が見られる。



図 13. 尖った形状の石筍



図 14. 壁と結合した状態になっている石筍



図 15. 石花の上には硬貨が置かれていた



図 16. 白色でまっすぐな状態の石柱

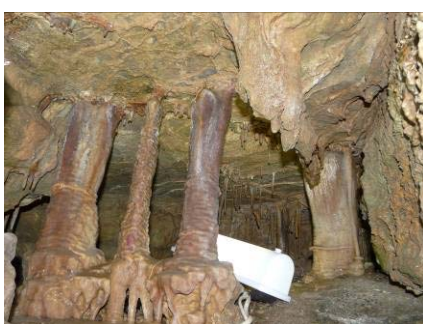


図 17. 赤茶色で特徴的な下部を持つ石柱



図 18. 鍾乳管が連結したような細い石柱

## 6. 大滝鍾乳洞の滝と豊富な水

大滝鍾乳洞のシンボルである大滝は、冒頭に述べたように地表より約 60m 下にあり、高さは約 30m ある大きな洞窟

滝である。洞窟滝のそばの壁面には、5ヶ月かけて彫られたという大滝洞窟不動尊が祀られている(図 19)。大滝の水源は約 4km さかのぼっているとされており、現在も豊富な水が流れている(図 20)。この清流を利用して、鍾乳洞のそばに流しそうめんや釣り堀などの施設を作って観光利用されている(図 21)。



図 19. 洞窟壁面に彫られた不動尊



図 20. 大滝の水が流れ込む洞窟湖



図 21. 観光名物の流しそうめん施設

## 7. おわりに

岐阜県郡上市八幡町は、郡上八幡と呼ばれ、古い城下町の町並みと郡上おどりで有名な場所である。また、町のいたる所で用水路などの清流を見ることができ、水の町とも言える。町の中心部では、長良川の支流である吉田川と小駄良川が合流している。その付近には、日本の名水百選「宗祇水」がある。この水の豊かな地域に、大きな洞窟滝をもつ鍾乳洞が生成されたのは偶然ではなく、この他にも大小様々な鍾乳洞が存在すると考えられる。清らかで豊かな水が続く限りは、鍾乳洞の成長は続く。美しい自然がいつまでも続き、何百年、何千年という先にもこの鍾乳洞が成長していることを願う。

(2011年1月15日受稿、2011年1月25日掲載決定)

## 参考文献

- 1) 沢勲・鹿島愛彦・大橋健 :『洞窟科学入門—写真と図解—』、171p. 大阪経済法科大学出版部、2006。
- 2) 岐阜県郡上市: <http://www.city.gujo.gifu.jp/>、2011年1月現在。
- 3) 郡上八幡・大滝鍾乳洞/美濃関物産館: <http://www13.ocn.ne.jp/~ootaki/>、2011年1月現在。
- 4) 由良薫:「岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞(観光洞窟)の見学と考察 —地域一体で取り組む観光洞窟資源—」洞窟環境 NET 学会紀要、2号、2010年

# 中国経済「光と陰」に関する小考察

村田 貞博

(産業経済新聞社総合企画室理事・洞窟環境 NET 学会相談役)

## Small Consideration about China Economy "Light and Shade"

Sadahiro MURATA

### ABSTRACT

In China, the investment from the developed nation is active and changes from "the world's factory" into the world eminent "consumption market". On the other hand, in China, a distortion with the rapid growth of the economy and contradiction, the problems are highlighted, too. Chinese growth is about whether it collapses by continuing like this or the bubble. This paper considers "light and shade" about a Chinese economic problem. In 2009, the Chinese new car sale number made hole through 10,430,000 U.S.A. in 13,800,000 of them and made rapid progress in the first place world. All Japanese are bigger markets named the bunch.

In Japan, pollution occurred for the period of the high growth of economy and became the social problem. China becomes the major economic power and will become the big problem that I should overcome in future. From now on, Chinese growth, the resource problem which is two sides of the same coin, and a food problem turn into a big subject.

キーワード: 外資進出、消費市場、環境・公害問題、資源エネルギー

Keywords: Foreign Funding Advance, Spending Market, Environment and Pollution Problem, Resource Energy.

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

1. はじめに
2. 外資進出で急成長
3. 巨大な消費市場
4. 表面化する矛盾
  - 4-1. 都市と農村の格差
  - 4-2. 蔓延する腐敗・汚職
  - 4-3. 環境・公害問題
  - 4-4. 資源エネルギー問題
  - 4-5. 少数民族問題
5. おわりに

## 1. はじめに

過去 10 年間、毎年 10%前後の成長を記録し、高度成長を続ける中国経済。2011 年 1 月 20 日、中国国家统计局は胡錦濤主席の訪米—オバマ米大統領との首脳会談に合わせて、10.3%の成長を成し遂げたと発表、日本を抜いて GDP 世界第2位の経済大国に躍り出たことを明らかにした。中国に対しては日米欧の先進国からの投資も活発で、今や「世界の工場」から世界有数の「消費市場」へと変貌している。世界最高の外貨保有高を背景にアフリカや南米などでの資源外交も活発に展開、世界経済に於けるプレゼンスを発揮してきた。しかし、その一方で中国経済の急成長に伴う歪みや矛盾、問題点も浮き彫りになってきた。中国の成長は何時まで続くのか、はたまたバブルで崩壊するのか。世界経済で脚光を浴びる中国経済に焦点をあて、その「光と陰」を考察する。

## 2. 外資進出で急成長

中国の国土は 959 万 6960 平方キロメートル、ロシア、カナダに次ぐ広大な領土を持つ。人口 13 億 4575 万人 (2009 年推計) は世界一で、漢民族が約 93%、残りが 55 の少数民族で構成されている。建国以来、人民公社を核とした計画経済で進んできたが、次第に行き詰まり、1960 年代の毛沢東主導の文化大革命で疲弊の極みに達した。その中国経済が成長の糸口を見出したのは 1979 年、時の指導者・鄧小平が「改革開放」政策を打ち出してからである。爾来、中国は共産党一党独裁の下、資本主義と市場主義の手法による経済政策を相次ぎ打ち出し、俗に言う「赤い資本主義」の壮大な実験がスタートした。

開放当初は広州、上海、天津など中国沿海部からの取り組みが始まりであり、経済成長もスローテンポであった。筆者が初めて中国を訪れた 1985 年。北京市内の主要交通機関は自転車で、天安門前を走る長安大街を埋めるおびただしい銀輪が印象的であった。自動車もボチボチ普及していたがまだ数少なく、その中で共産党指導部、幹部が乗る国産車「紅旗」「上海」などが大きな顔をして走っていたのを思い出す。北京に続き天津、大連と訪れたが、庶民の服装は人民服が圧倒的で、女性のスカート姿はちらほら垣間見る程度であった。

その中国が年毎に大きく変容。数年おきに北京や上海、広州などを訪問するたびに、庶民の服装だけでなく生活も向上していった。市街を走る車窓から見る松下電器産業 (現パナソニック)、ソニーなどの広告看板も目立ち始め、テレビや冷蔵庫を自転車の荷台に積んで帰宅する市民が目についた。街角では自動車が増えており、経済成長と歩を一にして保有台数が増加の一途をたどり、まさに成長の「証し」を実感したものである。とりわけ昨年夏の北京訪問では、通勤ラッシュの朝夕に限らず日中ですら交通渋滞に巻き込まれるなど、現地では東京、大阪以上に大きな都市問題となっていた。

もとより中国の経済成長は、外資の進出によることが大である。日本の 10 分の 1 以下の賃金 (労働コスト) を見込んで、先進各国から各種の製造業が進出、生産・輸出拠点としての世界の工場の地位を確立した。この背景には内陸部から流れ込んでくる「農民工」(農民出身の労働者) と呼ばれる低コスト労働力の存在がある。この農民工、端的に言えば出稼ぎ労働者であり、中国全土で 3 億人とも 4 億人とも推測されている。都市部の工場で働く単純労働者だが、人件費コストは先進国のそれより遥かに安く、中国が輸出で稼ぐ産業構造は「貿易立国」を標榜する日本の比ではない。企業にとりこの労働コストは国際競争力の観点から大きなインセンティブであり、中国へ欧米企業だけでなく日本企業も雪崩をうって進出する現象が出現、2000 年初頭には日本で「産業空洞化論」「中国脅威論」が取り沙汰され、今に至っている。

## 3. 巨大な消費市場



こうした中国経済の成長に伴い同国民の可処分所得も増大、中間層の増加に伴い一部の富裕層にとどまっていた購買力が拡大するのは自明の理であろう。産業構造は当初の生産・輸出拠点に加えて、巨大な内需が期待できる消費市場へと発展、昨今、中国市場を意識した企業進出が相次いでいることは周知の通りである。

その顕著な事例が前述した自動車市場である。中国の 2009 年の新車販売台数は 1380 万台で、初めて自動車王国・米国(1043 万台)抜き、世界第 1 位に躍進した。2010 年は 1806 万台と米国の 1158 万台、第 3 位の日本 495 万台をはるかに凌駕する自動車大国となった。ちなみに日本のピークは 1990 年の 777 万台である。中国の人口比における自動車普及率はまだ一ケタ台で、普及率 8 割の米国、同 6 割の日本と比べても「大きく伸びる超有望市場」であることは間違いない。

その他の内需部門(消費財)の魅力はどうか。改革開放政策直後、いち早くビール部門で中国市場(山東省)に工場進出したサントリーの佐治敬三社長は「中国には 13 億の口と胃袋がある。これは期待できるでー」と語っていた。中国料理の「満漢全席」ではないが、中国人の食に対する食欲さは、佐治社長にとり「大きなポテンシャルを備えたマーケット」と映っていたのである。可処分所得が増え、生活が豊になるにつれて消費意欲が膨張するのは、人間の性(さが)である。昨今、銀聯カードを握り締めて日本を訪れる中国人観光客のカネの使いっぷりは、テレビ報道で目の当たりにするが如くである。将来、人口の 10%が金持ち(または小金持ち)となれば、その数 1 億 3000 万人。日本人全てが東になるより多い市場であり、この層が増えるほど市場規模は拡大する。

## 4. 表面化する矛盾

### 4-1. 都市と農村の格差

こうした光＝高度成長の裏側で中国特有の矛盾、歪み、問題が表面化、陰の部分がクローズアップされてきた。以下に述べる。

その第一が「先富論」の破綻である。「先に富めるものは先に豊になればよい」「白い猫でも、黒い猫でも」(鄧小平)の考えは、中国人にプラス作用とマイナス作用の両局面で具現化したと指摘できる。プラス面は先述した「光」の部分である。マイナス面の第一は、産業政策及び地政学上で経済的に有利な都市部と農村部の貧富の格差を拡大を一気に招いたことである。

中国は全人口の約 3 分の 2、8 億人余が農民だが、皮肉なことに成長に伴って都市住民との格差拡大が顕著になってきたのである。例えば、昨年万国博覧会が開かれた上海の一人当たり GDP は、少数民族の多い貴州省のそれに比べて 30 倍以上である。農作以外に現金収入の手段のない農民は、たとえ低賃金であっても仕事(現金)を求めて出稼ぎに出る以外にないのである。日本においても戦後こうした現象がみられたが、中国の農民工は労働環境面(賃金も含め)で比較にならないほどの悪条件であるいわざるを得ない。

だが、農村に残れば権力による苛斂誅求に泣くケースがしばしば散見されるといふ。悪名高き「農業税」は廃止されたが、地方行政単位(県、郷、鎮など)の一部では未だに党官僚や有力者による「乱収費」(例えば通行税)という搾取手段が存在すると聞く。このため貴州省に限らず内陸部の農村地帯の疲弊は進む一方で、中国の心ある学識者は「三農問題」(農民＝真苦、農村＝真窮、農業＝真危険)と警鐘を鳴らしている。政府は農村救済、戸籍差別(後述)の緩和などを打ち出しているが、現実には都市に定住できず、出稼ぎ先に於いて医療や保健、住宅、子弟の教育など社会インフラの恩恵に預かれない農民工の存在は社会問題として顕在化している。

この格差拡大を助長する中国特有の矛盾として「戸籍」問題がある。

中国には「農村戸籍」と「都市戸籍」の二種類が存在し、農村戸籍の農民は住居異動(都市部への引越し)もままならず、出稼ぎはあくまで出稼ぎの待遇で、社会福祉面でも各種の差別を受けているのが実情だ。のみならず都市戸籍を保有する住民からは(同じ国民でありながら)「二等国民」「外地人」と呼ばれ、蔑みの対象にすらなっている。しばしば新聞の紙面をにぎわす強制的な土地収用を巡る当局と住民のトラブルも絶えず、住民が警察・権力機関を襲う襲撃事件やトラブルは2007年で9万5000件、その後も年間10万件前後にのぼると報道されている。

## 4-2. 蔓延する腐敗・汚職

蔓延する腐敗、汚職も中国社会が抱える暗部といえよう。昨年暮れ、中国国務院が発表した初の反腐敗白書では、2003年—09年に各地の検察機関が立件した汚職事件は24万件余に達するとしている。近年では土地使用权や不動産開発に絡んだ贈収賄事件が増加傾向にあり、05年—09年に商業取引に関連した賄賂総額は166億元(約2062億円)の達したと明らかにした。別の調査では、腐敗の温床は地方政府の北京事務所との指摘もある。地方官僚が地元案件を有利に取り計らってもらうための「灰色経費」が、実に200億元(約2500億円)に達するという。直接的な賄賂か、官々接待の費用かは別にして、途方もない金額であることは確かである。筆者の友人(中国人)は「共産党幹部(太子党)の子弟の腐敗、横暴は目にあまる」と嘆いている。

反腐敗白書の公表は腐敗摘発の実績をアピールし、深刻化する政府、党に対する国民の不満を和らげる狙いとみられる。しかし、党重鎮や閣僚級以上の大物の摘発が少ないため、「本気で腐敗摘発に取り組んでいない」との批判の声も上がっている。中国は今も法治国家でなく「人治国家」と語られる所以であろう。

## 4-3. 環境・公害問題

環境(公害)問題も深刻なテーマである。成長に伴って各地で排煙、排ガスなどによる大気汚染、富栄養化や重金属汚濁による水質汚染、農薬汚染などの環境悪化が表面化、市民生活に影響が出始めているのだ。かつて日本でも高度成長期に発生した各種の公害が大きな社会問題となったが、経済大国となった中国が今後克服すべき大きな課題となることは疑うべきもない。

まず大気汚染では窒素酸化物(NOx)、二酸化炭素(CO2)の排出量は世界トップで、日本でも偏西風で運ばれてくる酸性雨の被害が懸念されている。また水質汚濁は特に大都市部の河川に於いて深刻で、上海市内を流れる黄浦江の汚染は安全数値・水質基準を大きく上回っているとされる。農薬や過度の防腐剤濫用による「食の安全」も問題となっている。段ボール入りのハンバーグや毒餃子は論外にしても、家庭で洗濯機で野菜を洗浄するといった笑えぬ笑い話も聞こえてくる。北京で雇ったガイド氏は31歳の女性だったが、子供のミルクは「値段が高くても日本の商品を使っている」と語っていた。

「拝金主義」が横行する中国では、先進国と比較して環境に対する産業界・企業の認識はまだ不十分である。環境対策費用は企業にとり当然のコストという意識が希薄なのである。当局は有害物質の垂れ流しをはじめ各種の公害防止に神経を尖らせているが、対策は万全とは言い難いのが実情だろう。

## 4-4. 資源エネルギー問題

水については「水資源」の確保も重要テーマである。世界四大河川の一つ、黄河は豊かな水量を誇り、古代より「竜神問題」(黄河の氾濫防止)は統治者を悩ます課題であったが、現在は「断水現象」(上流域の砂漠化と中流域の上水道、灌漑用水などの採取が原因)が頻発している。中国は世界人口の約2割を擁するが、地球上の水資源の約6%の水源しか持っていない。人口増加と生活水準の向上に伴い水需要が増加する中、水源の枯渇や水質汚濁が著しい。特に北部は水不足が深刻で、政府は水量の豊富な南部(長江)から運河で北部へ引水する「南水北調」プロジェクトな



どを推進しているが、下水の再利用や海水淡水化など水資源確保への課題はまだ多い。

資源エネルギーもしかし。特に産業だけでなく国民生活を支える電力は常に不足傾向にあり、進出企業に対しても電力抑制や計画停電の要請が行われた事例が少なくない。政府は原子力発電の建設など電源開発に躍起となっているが、増大する電力需要に十分な供給が可能か否か、今後の正念場であろう。石油についても完全な輸入国に転じており、輸入依存度は5割に達している。省エネ技術の推進とあいまって、エネルギー確保は「成長のカギ」となっている。また鉱物資源についてはレアアース(希土類)こそ世界最大の生産国であるが、鉄鋼石はじめ銅、ニッケルなどの資源は自給不足となっている。

こうした中国の成長と表裏一体である資源エネルギー問題は、今後大きな課題になると予想される食料問題と合わせて中国の成長戦略で大きなウエート占める。同時に中国が海外で資源確保に動き出した場合、その動向は世界の商品相場・市況に少なからぬ影響を及ぼすことは間違いない(すでにその兆しは出ているが)。

#### 4-5. 少数民族問題

少数民族問題も中国の“アキレス腱”である。55 民族が散らばる居住区はざっと中国国土の 60%を占めるが、2008 年(北京五輪の年)のチベット騒動、09 年の新疆・ウイグルの暴動は我々の記憶に新しい。当局はこれら騒動を弾圧で抑え込んだが、チベットの独立意識や自治区に於ける漢民族の入植、経済優位に対する水面下の反発は強い。人権・宗教問題などを含めて少数民族問題は、将来にわたって中国指導部・共産党の大きな政治課題であることは間違いない。

### 5. おわりに

以上、経済的側面から中国にまつわる「光」と「陰」の部分を概説してきたが、中国は 10 年後には一人っ子政策の副作用とも言うべき少子高齢化問題に直面する。日本が歩みつつある道の後追いである。中国の財政状態は日本ほど悪化しておらず、指導部は今後も成長路線を走るとは疑う余地がないが、カネ余りを背景としたインフレ、不動産バブルの懸念は収まっていない。中国の成長エンジンが何時停止するのかは「神のみぞ知る」だが、経済に限っていえば、日本の最大の貿易パートナーは中国であり、日中間の相互依存の度合いは今後も増加こそすれ、減ることはない。中国経済がクラッシュすれば日本のみならず世界経済に与える影響は余りにも大きく、いずれの時期か、中国経済のソフトランディングへの準備が必要であろう。日本としても政治、経済、外交、軍事さらには領土問題まで、様々な側面で価値観が異なる巨大な隣人から目をそらすことはできない。

(2011 年 1 月 20 日受稿、2011 年 1 月 22 日掲載決定)

### 参考文献

- 1) 三和総合研究所監修:『恰好アジアのことがわかる本』、かんき出版、1996 年。
- 2) 何清漣:『中国現代化の落とし穴』、草思社、2002 年。
- 3) 杉本伸行:『大地の咆哮』、PHP研究所、2007 年。
- 4) 石平:『これが本当の中国33もツボ』、海竜社、2008 年。
- 5) 上場大:『中国市場に踏みとどまる』、草思社、2009 年。
- 6) 石平:『中国経済一崩壊の現場』、海竜社、2009 年。

# レアアースと鉱山人口洞窟を取り巻く情勢についての論考

藤浦 淳

(産経新聞総合編集部次長)

## Considering About Situation surround Rare-Earth and Mines

Atsushi FUJIURA

### ABSTRACT

2010 in the mining and mineral resources, worldwide attention was the year than ever before. Conceived set of issues and political aspects related to the rare earth, mine cave-in accident in San Jose, Copiapo Chile, "33 Miners" and the drama of the rescue, this accident rescue operations and put the national pride of the Chilean government had become. The human race walked with metal to form a society have to use metal. Its value will continue to position will not change. This paper reviews the situation while the world around rare earth from the perspective of a journalist, former coal mine cave-in accident in Japan occurred in the San Jose mine accidents or problems that occurred last October that the development of mineral resources development and being discussed through and want to examine the role of Japan's position to rely on rare earth abroad.

キーワード:レアアース、レアメタル、サンホセ鉱山、中国

*Keywords:rare earth,rare metal,San Jose mine,China*

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp*]

### 目次

#### 1. はじめに

1-1. レアアースとは 1-2. レアアースの産出について

#### 2. 鉱山開発について

2-1. サンホセ鉱山で起こったこと 2-2. 旧坑道の劣化について

#### 3. おわりに

## 1. はじめに

平成22年は鉱産資源や鉱山が、かつてないほど世界的な注目を集めた年であった。レアアースに関わる政治的側面もはらんだ一連の問題と、チリ・コピアポのサンホセ鉱山の落盤事故「33マイナーズ」の救出劇であり、この事故も救出作戦はチリ政府の国家威信をかけた事業となったのであった。人類は金属とともに歩み、金属を利用して社会を形成してきた。今後もその価値、位置づけは変わらないであろう。本稿では、ジャーナリストとしての視点から見たレアアースを取り巻く世界の状況を概説しつつ、その開発や鉱産資源開発の問題を昨年10月に起こったサンホセ鉱山の事故や国内で起こった旧炭坑の落盤事故を通じて論じつつ、レアアースを海外に頼らざるを得ない日本の立場と果たすべき役割について検証したい。

## 1-1. レアアースとは

レアアース(*Rare Earth*)という英語は、その本来の態様からすれば微妙な表現である。レアという言葉を邦訳するならば、「珍しい」「希少な」ということになるが、では何と比べて希少なのか、という疑問が残る。レアアースは、その上位の 카테고리として「レアメタル」(*Rare Metal*)という金属の一群を総称するものの範疇に属する。元素記号では57～71番のランタノイド(*Lanthanoid*)に、スカンジウム(*Scandium*)、イットリウム(*Yttrium*)を加えた元素群の総称で、非常に似通った性質を持つ元素である。そしてこれらと近い元素周期上にレアメタルも存在している。すなわち、リチウム(*Lithium*)やベリリウム(*Beryllium*)などである。そこで大きなくくりとしてレアアースとは、鉄や銅、鉛、亜鉛、水銀など人間社会に必要な欠くべからざる、かつ大量に地球で産出する金属などと比べて産出量は少ないが、大変有用な金属としてのレアメタル、その中でも特に性質が似通っている金属群をの通称と考えて良いと思われる。日本語の中で最も普通に使用される用語としてはレアメタル、レアアースを総称する「希元素」があり、本稿でもこれに準じることとする。ちなみにレアメタルもレアアースも「レア」とはいえ、金、銀、白金族などに比べるとその産出は遙かに多いことを断っておきたい。

ちなみに独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構では、レアメタルとして「地球上にその存在が稀であるか、又はその抽出が経済的、物理的に非常に困難な金属元素を総称する」と定義して、ニッケル、クロム、タンゲステン、コバルト、モリブデン、マンガン、バナジウムをその対象としている。この定義中、経済的、物理的に抽出が困難という特性が、特にレアアースに当てはまるという点については後述することとする。



Photo1. 三菱自動車の電気自動車 iMiEV

レアアースは鉱物から抽出される金属である。その需要は、年々高まりつつあって、いまやハイテク産業はレアアースなしには成立しないとされるほどの重要性を持つに至っている。最も主要なネオジウム(*Neodymium*)は磁性を有する鉄との合金によって、その磁性を著しく高める性質を持つことから、様々なモーター類に使われている。電気自動車(Photo1)やリアモーターカーから身近なところではコンピューターのハードディスク、携帯電話のバイブレーション機能などであり、いずれもネオジウム磁石の半永久的で強力な磁力による小型化がなくては誕生しなかったであろう。ちなみにレアメタルであるリチウムは、乾電池に使われるようになって久しいが、従来のマンガン電池に比べて格段に長持ちするようになった。このようにレアメタル、レアアースは、社会的な視点に立つと、大量に存在する金属との合金など利用法の開発次第で、極めて有用であり社会や人間生活を豊かにしてくれる物質である、とすることができる。

## 1-2. レアアースの産出について

では、レアアースはどんな形で産出するのか。実はその多くは、マグマに直接的に由来する火成岩の中でもマントル

の深部でマグマが長期間かけて冷却、凝結する際に種々の成分が鉱物を形成し、それらが一定の割合で組み合わせられて生成される深成岩の一種である花崗岩(御影石)に含まれる。しかしその構成鉱物の中でもわずかにしか存在せず、放射性物質を含むモナズ石(*Monazite*,Ce)、ガドリニ石(*Gadronite*,Y)、ジルコン(*Zircon*,Zr)などといった鉱物にわずかに含まれているのである。しかも花崗岩は地球上の地殻には広く存在する岩石であるにもかかわらず、レアアースを含む鉱物は偏在する傾向が強い。

実際日本列島から中国東北部、モンゴル周辺、中国・四川省からベトナム北部かけての地域、マレー半島からオーストラリア西部地域、中央アジアなどである。現在世界最大の鉱山は、中国・内モンゴル自治区にあるバイヤンオーボであり、ここでは風化した花崗岩に由来する土砂の中に大量に含まれているとされるが、近年外国人研究者らの立ち入りは禁じられていて、詳細は不明であるという。ただ供給される黄河石(*Fanhonite*)と呼ばれるレアアースなどを高濃度に含む新鉱物の標本などを見る限り、花崗岩が相当な圧力や温度による変成を受けてできる片麻岩と呼ばれる岩石の中に胚胎する鉱床が主流ではないかと推定されているという。

他にもベトナムの首都ハノイ北方に位置するドンパオ鉱床は有望で、2010年10月31日に、日越首脳会談で共同開発とレアアースの日本への供給に関する協定が結ばれたところであるが、ここなどは現在の日本の需要量なら数十年は賄えるほどの埋蔵量があると推定されている。また西豪州のマウントウェルド鉱山での日豪共同開発も2010年11月に基本合意が締結されたところであり、レアアースの抽出は、人件費が安価で日本と豪州の間に位置するマレーシア国内に建設する施設で実施することが想定されている。

これまで世界の需要の9割を中国が供給してきたが、その背景にはこうした人件費の安さがあった。経済的、物理的な抽出の困難さは、各元素がその比重や電気的性質に於いて大変似通った性質を持ち、なおかつそれらを含む鉱物が巨大な鉱床を生成し難い傾向にあるためである。

1986年に時の最高実力者であった鄧小平氏が「中東に石油があり、中国にレアアースあり」と宣言したとき、世界生産を安価な人件費によって一手に引き受ける、というその長期戦略に政治的意図があったと見るができるようになったのは、昨年の尖閣諸島周辺海域での漁船衝突事件に端を発するレアアース供給停止騒動がきっかけであった。中国政府は、WTO 違反となるそうした資源の輸出停止措置を認めることはなかったが、国内外でレアアースの供給が激減、停止した現象はそれ以外で説明は困難なのではないであろうか。

### 1-3. 日本国内でのレアアース

レアアースを含む鉱物は、日本国内でも随所で産地が確認されている。佐賀県肥前町の噴出溶岩に起源を持つアルカリ玄武岩に産出する木村石(*Kimuraite*)やネオジウムランタン石(*Lanthanite-(Nd)*)はかなり珍しい産出形態とされており、最も国内で大規模なのは福島県中通り地方中部の須賀川市、石川町周辺、及び同地方北部の伊達町周辺である。これらの地域では花崗岩ペグマタイトが広範囲に広がっており、「希元素鉱物の宝庫」と称される。鉱物種としては前述したモナズ石やジルコンなどのほか、フェルグソン石(*Fergusonite*,Ye/Er/Ce/Nb/Ta/Ti,Photo2)、イットリア石(*Yttrialite*,Y/Th)、タレン石(*Thalenite*,Y)、ゼノタイム(*Xenotime*,Y)、鉄コロンブ石(*Ferrocolumbite*,Nb)、ユークセン石(*Euxenite*,Y/Ce/Th/Nb/Ta/Ti)など他種類に渡る鉱物が報告されている。

産地としては他にも、岐阜県中津川市から恵那市周辺や三重県四日市市の宮妻峡、滋賀県大津市の田上山などが有名でいずれも花崗岩ペグマタイトが広く分布する地域だが、福島県に勝る産地はなさそうである。しかしその福島県においてもすでに鉱山資源として意味があるほどの産出量はなく、研究者や鉱物採集・収集を趣味とする人々が時折発見する程度となっている。



Photo2. 福島県産のフェルグソン石=岩石下部の小結晶

1960年代、大手家電メーカーの日立製作所が画期的なカラーテレビを開発、発売した。ブラウン管の発色をよくするためにレアアースのテルビウム (*Terbium, Tb*) を使ってカラーの発色を美しく仕上げた商品で「キドカラー」と命名されていた (*Photo3*)。



Photo3. 1960年代のキドカラー

キドは、レアアースの「希土」と明るさの「輝度」をかけたネーミングだという。レアアースが一般の注目を浴びるようになったのは、前述した2010年の漁船衝突事件直後からの一連の世界的騒動であるが、実は40年も前からすでに産業界では利用が進んでいたものであり、それ以来日本にとって無くてはならない資源となって重要性を増してきたのである。

## 2. 鉱山開発について

### 2-1. サンホセ鉱山で起こったこと

2010年、世界を騒がせたもう一つの鉱物資源を巡る事件が、南米・チリ北部のコピアポ市郊外で発生した金と銅の鉱山サンホセの落盤事故であった。坑道最下部の深さ約700メートル地点に取り残された33人の鉱山作業員らは「33 miners (サーティースリー・マイナーズ)」と称され、縦坑を掘削して全員を救出する作業は、いつしか国家の威信を賭けた事業として連日、世界中で報道されたことは記憶に新しい。

これまでに報道されてきたことを総合すると、実はサンホセ鉱山ではこの事故の数時間前から、事故のあった地下4～500メートルの坑道付近で、異様な音が聞こえたり、穴の壁面が崩れるなどの小規模な異変が起こっていたという。これに対してそれより上部にいた作業員らは危険を感じて鉱山会社に報告していたが、会社からの反応はなく、それが続く



大規模落盤事故につながる現象だと解した人は少なかったようである。

しかしこれは一般には国内の鉱山で「山はね」と呼ばれた現象と考えてよく、鉱山関係者の間では古くから知られた大規模な落盤事故の前兆であるとされている。上からの圧力に対してアーチ型に掘った穴の強度が、風化やその他の理由で保たれていない部分が現出した場合に、そこから坑道の崩壊が始まるのである。

山はねは鉱山にとって時に命取りとなり、兵庫県朝来市にあった生野銀山も山はね事故の多発が閉山の大きな要因とされている。サンホセ鉱山でも、こうした現象について会社側が深い知識を有していればあれだけの被害者が出るのは避けられたに相違ないと断言できる。

日本国内ではすでに金属鉱山は姿を消し、金鉱山の菱刈鉱山(いちき串木野市)を残すのみであるが、商社や金属会社などは海外での鉱産資源開発と資源確保に活躍している。こうした際、日本国内でまだ鉱山の実務に関する知識を有する人が存命のうちその知識を新たな地域での鉱山開発で有効に活用する手立てを考慮する必要があると思われるのである。特に今後新規開発が予想される花崗岩地帯に多いレアアースの鉱山開発に際して、落盤事故対策など安全面からも日本が世界に資することができるし、必要であると思われるのである。

## 2-2. 旧坑道の劣化について

サンホセ鉱山の落盤事故と同じ頃、岐阜県御嵩町で起きたもう一つの落盤事故も、注目すべき現象であった。同様の落盤事故はかなり以前から起きていたようであるが、昨年事故で改めて、市街地の下に亜炭と呼ばれる石炭の一種を採掘した古い旧坑道が網の目のように広がり、内部で劣化が進んでいることがクローズアップされた。

事故は2010年10月20日に、同町顔戸付近で発生。住宅地の道路下の旧坑道天井が落盤で崩壊、坑道が浅い位置にあったため地表にまで崩壊の影響が出て道路陥没や住宅外構の破壊、建物の傾斜などが広範囲で発生した。地表陥没の規模は3000平方メートルに及んだ。(Photo4)



Photo4. 岐阜県御嵩町の陥没事故現場

御嵩町のホームページでは、地下に残存する坑道の規模や深さなどがハザードマップとして紹介されているが、それを見れば市街地のかなりの部分とその地下空洞の上に立地していることが分かる。坑道は第二次世界大戦前後、資源不足の時代に燃料として亜炭を採掘した跡で、同町だけでなく、岐阜県美濃地方の南東部から愛知県北部にかけて今も無数の坑道跡が残存しているのが現状である。

これに対して御嵩町などでは、「国策」による採掘であり、坑道の埋め戻しは国の負担で行うべきだと主張し、事故の拡大防止を申し入れているが、国側は「事業主の責任」であって、国は関係ないという立場を貫いている。いずれにせよ、御嵩町のものだけを見ても埋め戻すのに数千億円の費用が見込まれるとされ、町の財政規模を遙かに超えて町で

の実施は不可能であり、かつ戦後の混乱期の当時の事業主など特定も困難である中、町民の生活が脅かされている現状を放置するのは現代国家としてふさわしくないとされる。国と地方自治体が、責任を押しつけ合うよりも、お互いの責任で何ができるかを早急に話し合う場につくことが望ましい。

こうしたことも、今後の海外での鉱山開発において留意するべき点である。海外での鉱山開発は、山間部が多く、貧困層や少数民族が居住する地域も少なくないと予想されることから、開発の実務について現地だけに任せると乱開発につながるおそれがある。その際に、かつて我が国が踏んだ轍を他の国、民族が踏むことのないように、まずは我が国が関係する鉱山開発における日本の責任として、無理のない安全な、そして資源の枯渇やその他の理由で鉱山が閉山される将来にわたって、責任の所在が明確であるような鉱山開発を真摯に行う必要がある。事後のメンテナンスを含めた取り組みが日本方式として鉱山開発の手本となれば、さらに日本の鉱山開発に対する需要が高まるとされる。

### 3. おわりに

レアアースはその重要性と使用量の増大は日々増すばかりである。電気自動車1台につき、ネオジウムなどのレアアースが2キログラム必要であるとされる。鉄やアルミニウムほどの量ではないが、今や、レアアースは希土類などとは呼びにくい存在となっている感がある。それはベトナムや豪州、さらには今後開発が一から始まるであろうモンゴルやカザフスタンなどにおいて大規模な開発が行われることによってさらに拍車がかかるであろう。こうした資源を海外に頼らざるを得ない我が国は、今後ますます資源を国の主要な外貨獲得の手段とする国々と手を結んで開発することになるのであるが、我が国はそれで完成した製品を売るだけが役割ではないことを強調したい。

2010年1月12日、中米ハイチで大地震が発生した際、時の鳩山由紀夫首相は「大地震が首都で起こったらどうなるかをハイチから学ばなければならない」と言う趣旨の発言をした。しかしこれは世界に於ける日本の立場を180度逆さまに見誤った発言であった。地震大国であり、関東大震災、阪神大震災を経験した日本だからこそ「ハイチに何をしてあげられるか」を早急に考え、世界に先駆けての救援隊の派遣や物資の搬入、ボランティア活動の統制など、辛い経験で得た教訓を真っ先に生かすべきであるということを考えねばならなかった。

他国の危機に際して「学ぼう」という姿勢は、先進国としては無責任かつ自己中心的である。日本はもう地震から十分に学んできたと言える。地震に常に怯え悩む先進国としてできることは、地震に際しての危機管理のノウハウを伝授することであるからだ。そして同様の考え方に立てば、地震被害と同じく、鉱山開発での様々な角度からの経験を他国で生かしてこそ先進国たり得るのであり、他国や他民族からの信頼を得る方法であろうと思われる。そうしたことを改めて肝に銘じて、レアアース資源の大規模開発にのぞむことが必要であると思われる。

### 参 考 文 献

- 1) 藤原卓:『日本の鉱物』、成美堂出版、1994年
- 2) 国立天文台編:『理科年表2005年版』、2005年
- 3) 岐阜県御嵩町公式ホームページ:<http://www.town.mitake.gifu.jp/>、2011年1月現在。
- 4) 生野銀山公式ホームページ:<http://www.ikuno-ginzan.co.jp/>、2011年1月現在。

# 土壤汚染リスクの移転手法としての保険

八頭司 彰久

(株式会社ヤトウジ保険センター代表取締役社長・  
洞窟環境 NET 学会監事・大阪経済法科大学客員教授)

## Insurance as a Means of Transferring Soil Pollution Risk Akihisa YATOUJI

### ABSTRACT

Today, attempts are underway to encourage small- and medium-sized companies to take appropriate soil pollution control measures. This paper was written to discuss the role that environmental insurance can play as a means of transferring soil pollution risk (based on my survey and literature studies of cases in Japan and the U.S.), and propose various solutions to what are known as “Brownfield problems” — problems stemming from properties that remain undeveloped — that will become a greater threat in Japan. This paper concludes that it is now highly likely, not in theory, but in practice, that the combination of affordable and effective pollution control measures; and environmental insurance will enable even small- and medium-sized companies to successfully manage soil pollution risk.

キーワード: 環境保険、移転手法、土壤汚染危険

Key Words: *Environmental Insurance, Means of Transferring, Soil Pollution Risk*

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)* , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

1. はじめに
2. 土壤汚染リスクの移転手法としての保険
  - 2-1. 東京海上日動火災保険株式会社の土壤浄化費用保険
  - 2-2. エース損害保険株式会社の環境汚染賠償責任保険
3. おわりに

## 1. はじめに

本稿の目的は、中小企業における土壤汚染対策の一層の進展を求めた試みの中で、土壤汚染リスクの移転手法としての環境保険が果たしうる役割について、筆者の調査や文献研究などの方法を用いて米国や我が国における事例を参考にしながら今後の我が国におけるブラウンフィールド問題(ブラウンフィールドが開発されないことによる、いわゆる土地の塩漬けが発生している問題)の縮減に向けて様々な提言を行うことである。

## 2. 土壤汚染リスクの移転手法としての保険

完全除去を前提とした汚染土壌対策費は高額に上り、中小企業は対策を施したくとも踏み切れない。それを打開するには、コストの安い汚染除去方式の選択と環境保険の組合せが考えられる。

土壤汚染対策費が高額になる大きな理由の一つが、個々の土地の利用状況や周辺の地下水の利用状況等をきめ細かく把握しないままに、原位置浄化の方策ではなく、掘削除去を選択するということである。掘削除去が採用される理由は、①完全除去となるのに加え、イメージを伝えやすく第三者への説明が容易であること、②工事期間が事前に計算できること、など土地開発者や資金提供者にとって取引リスクを低く抑えられるからである。

逆に、覆土処理など原位置浄化や不要化処理については、コストは低いものの、取引後の汚染リスクの顕在化懸念が残るため、実質的な取引コストが高くなると思われる。これに対応するには、「安価で効率的な汚染対策」+「環境保険」の組合せが有効となる。土壤汚染対策をも企業のリスク・マネジメントの発想で取り扱おうというわけである。

すなわち、汚染の可能性を有する土地の売買やそうした土地の継続使用において考えられるリスクには、①調査を実施したにもかかわらず汚染が見逃され、将来にその汚染が顕在化するリスク、②対策工事は行ったものの、不完全な、もしくは不適正な工事により将来において汚染が顕在化するリスク、③抜本対策を先延したことによりかえって蓄積性汚染を進行させてしまい、将来大きな汚染として顕在化するリスク等が数えられる。それらは、環境汚染として顕在化するばかりでなく、企業イメージの悪化というリスクをも背負い込ませることとなる。また、そうした汚染が顕在化する、ないしそれが強まるといった場合には、④追加工事を求められるリスクも存在する。さらに、この追加工事を求められるリスクは、リスク評価基準に係る法制の改正等によっても発生する、つまり、⑤リスク評価基準に係る法制の改正等により、現行の汚染処理が将来においては不十分と判断されるリスクもまた顧慮されなければならない。

また、そうした土地を担保に融資する金融機関にとっては、上述のようなさまざまな理由で将来において汚染が顕在化して、担保資産価値が棄損するリスクが懸念される。さらに、対策工事が予定の期間どおり進まないリスクも数えられてよいであろう。

このようなリスクを移転するために、米国では大きく次の4つの種類の環境保険が活用されてきた。すなわち、①環境汚染賠償責任保険、②土壤浄化差額費用保険、③プレファンド型ファイナイト、④担保土地汚染浄化費用保険である。また、我が国でも、土壤浄化差額費用保険がコストキャップ保険という名称で株式会社損害保険ジャパンから発売されているということである。

さらに、東京海上日動火災保険株式会社の「土壤汚染リスク」簡易診断付き保険、機械簡易ボーリングを中核とする調査を採用する三井住友海上火災保険株式会社の土壤汚染浄化費用保険、施設賠償責任保険に特約として環境汚染賠償責任保険を付けたエース損害保険株式会社の特約型環境エース、及び保険加入前審査で一定の評価をされた施設または土地についてのみ保険加入ができる AIU 保険会社のオンサイト汚染浄化費用カバー付帯環境汚染賠償責任保険等も発売されている。いずれも、引受リスクの絞り込み、あるいは環境格付の利用に類した工夫を凝らして、企業にとってアクセスしやすい環境保険となるように設計されたものである。

また保険ではないが、株式会社プロパティ・リスク・ソリューションが提供する P1 瑕疵担保責任保証がある。これは、加入者が保証料を支払うことにより、土壤汚染簡易調査(フェーズ1)の結果による瑕疵担保責任の引受けを行う。フェーズ 1 調査を基礎にすることにより、審査期間の短縮化と、保証料の低価格化を実現させた商品である。同じく、株式会社ランドソリューションの提供する「リスクヘッジ機能」浄化工事保証型の商品が、同社のリスクの定量化要件に合うという条件で、販売され、実績がある(国土交通省土地・水資源局監修(2003)221-222 頁参照)。

こうして、我が国でも、「安価で効率的な汚染対策」+「環境保険」の組合せをもって、中小企業にも取り組みやすい

かたちで土壌汚染リスクを管理していく可能性は、決して机上の構想ではないところまで広がってきているように思われる。そのあたりのところを、東京海上日動火災保険株式会社の土壌浄化費用保険、及び筆者が直接にヒアリング調査したエース損害保険株式会社の特約型環境エース「環境汚染賠償責任保険特約」について少し詳しく立ち入って考察してみることで確かめてみたい。

## 2-1. 東京海上日動火災保険株式会社の土壌浄化費用保険

2002年5月に土壌汚染対策法の制定を契機に、同社から発売された土壌浄化費用保険は、保険の対象を土壌汚染のみに絞込み、従来の土壌調査を簡便化した「土壌汚染簡易調査手法」を採用している。同調査手法は、文献・資料等調査を主体とした従来のフェーズ1調査と比較して、相当程度精度が高いのに加え、実施調査にかなりのコストがかかる従来のフェーズ2の調査に比して割安なコストで実施できるところにメリットがある。

吉川栄一氏も同手法を「従来のサイト調査に比べて比較的簡易になっている」と評価している通り(吉川栄一(2005b)165頁参照)、企業の環境監査負担は、審査期間の短縮化や審査にかかる費用の低減により大きく軽減された。この保険は、環境リスクを土壌汚染、その中でも土壌汚染の浄化責任費用に限定しており、その意味ではいわゆるリスク細分型保険である。リスク細分型保険におけるリスク評価改善など、今後の環境保険の新しい流れを示す商品と言える。

## 2-2. エース損害保険株式会社の環境汚染賠償責任保険

エース損害保険株式会社は、特約型「環境エース」を2008年2月に発売している。そこで、同社の担当者に特約型環境エースの仕組みなどを詳細に聞き取り調査した。

エース損害保険株式会社の特約型環境エース「環境汚染賠償責任保険特約」の特性を一言で表現すれば、次のようになる。すなわち、同保険は、施設賠償責任保険の「特約」として位置づけられることにより、単体の環境保険では打ち出せない低価格や使いやすさを実現したものである、と。

この点、従来の主契約である環境汚染賠償責任保険「環境エース」と比較しながら当該保険の特徴を挙げてみるとよく理解できよう。

- ①初年度契約の保険期間開始前に発生した環境汚染に起因する損害賠償請求を支払いの対象にしないというように、保険金の支払い対象を抑えている。
- ②保険料は5万円からと低廉に設定している。
- ③事前の環境監査は、7項目(企業名、企業の電話番号、業種、施設内容が2項目、地下タンクの数、過去5カ年間の環境事故歴)に限定している。
- ④事前の環境監査・リスク評価診断等は求めない。
- ⑤免責額(自己負担額)も5万円からと低額に設定している。
- ⑥販売ターゲットを中小企業に設定している。

要するに、保険で引き受けるリスクを限定する一方で、保険料を安くし、事前の環境監査やリスク評価診断など不要とし、いわばパターン化した保険契約となっているというわけである。企業が環境保険に二の足を踏んだ理由は、高額な保険料と大きなコストや時間がかかる事前審査であった。この商品は、この要因を除去し、環境保険普及への第一歩となるものと評価される。のみならず、まさに企業にとっていわば敷居の低い保険商品を目指したことによって、中小企業をターゲットとして意識していることも、本稿としてとくに注目しておきたいところである。

たしかに、下記のような問題点も残されている。

- ①小企業に対する補償額としても、同保険の填補額は5億円と小さい。



②保険期間開始前に発生した環境汚染に起因する賠償責任の支払いは免責とされ、もし事故が発生した場合、加入時以前の汚染原因調査はかなり困難を極める。

③填補限度額が5億円以上の場合は、環境汚染賠償責任保険に加入せざるを得ない。

だが、エース損害保険株式会社が、外資系損害保険として、米国での経験をも活用しながら、我が国における保険を通じた環境リスク・マネジメントの普及に向けて、興味深い先進的な取り組みを見せていることはまちがいない。

こうして、我が国でも、環境保険の市場性を高めるための工夫が込められた保険商品がそれなりに既に商品化されている。

### 3. おわりに

きめ細かなリスク・アセスメント制度の導入や国、地方自治体による種々の中小企業支援策の積極的導入といった制度的改善と重ね合わせてこうした環境保険商品を活用していき、さらに環境リスク・マネジメント体制の枠組みの下、リスク・コミュニケーションを活性化しうるような社会環境を醸成し、土壌汚染についての社会的なコンセンサスの形成を促進することができれば、過剰に掘削除去に頼ることなく、「安価で効率的な汚染対策」+「環境保険」の組合せという、相対的に中小企業も取り組みやすい土壌汚染対策を推し進め、ブラウンフィールド問題の縮減に向けて前進していけるのではないかと期待される。

### 謝 辞

本稿をご掲載頂きますにあたり、沢会長様をはじめ紀要編集委員長、査読委員など、関係諸先生方には大変お世話になりました。ここに深甚なる感謝の意を表する次第であります。

### 参考文献

- 1) 国土交通省土地・水資源局土地政策課土地市場企画室監修、財団法人土地総合研究所編：『土壌取引と土壌汚染問題への対応』、ぎょうせい、2003。
- 2) 久保英也：『保険の独立性と資本主義との融合』、千倉書房、2009。
- 3) 國本裕一：「環境汚染賠償責任保険の現状と今後の展開」、『環境研究』No.118、環境調査センター、2000。
- 4) 黒川哲志：「環境保険を利用した規制手法」、『帝塚山法学』6号、帝塚山大学法学会、2002。
- 5) 黒川哲志：『環境行政の法理と手法』、成文堂、2004。
- 6) 松村弓彦編著：『環境ビジネスリスクー環境法からのアプローチ』、産業環境管理協会、2009。
- 7) 斉藤考志・保高徹生：「不動産流動化に伴う土壌汚染リスクの移転手法に関する考察」、『第14回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会講演集』、2008。
- 8) 八頭司彰久：「ビジネスに役立つ環境保険に関する研究」、『関西実践経営』第33号、2007。
- 9) 吉川栄一：『企業環境法』、上智大学出版会、2002。
- 10) 吉川栄一：「環境と保険」、『上智法學論集』第46巻2号、上智大学法学会、2003。
- 11) 吉川栄一：『企業環境法(第2版)』、上智大学出版、2005a。
- 12) 吉川栄一：『企業環境法の基礎』、有斐閣、2005b。

ネパールにおけるヨード欠乏症との戦い  
—ヒマラヤ山間部のヨード欠乏症に関する研究—

熱田 親憲

(NPO 法人ネパール・ヨードを支える会理事長・  
大阪経済法科大学地域総合研究所客員教授・洞窟環境 NET 学会相談役)

**On Iodine Deficiency Disorders of Rural People in Nepal**  
—Research on the Iodine Deficiency Disease of Himalaya Mountain Slope—  
**Chikayoshi ATSUTA**

ABSTRACT

My study is to find the most effective strategy to eliminate Iodine Deficiency Disorders (IDD) in rural people in Nepal. Through the Government of Nepal is making an effort to universe iodized fine salt with two children logo in order to supplement Iodine to them、 the prevalence rate of IDD in Nepal lessens gradually. But it is too slow. Considering this fact, kombu mineral capsules are supplemented in my study in stead of iodized fine salt. Presently iodine supplementation and pregnancy outcome among pregnant women are being researched in Nepal.

キーワード:ヨード、甲状腺腫、ヨード添加塩、ヒマラヤ山脈、昆布ミネラルカプセル

**Keywords:** Iodine, Goiter, Iodized salt, Himalaya Mountains, Kombu mineral capsule

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)*、Vol.1(2011)、 - pp]

## 1. はじめに(ヨード欠乏症との出会い)

ヨード欠乏症とはヨードの欠乏による甲状腺の機能障害で、前頸部に腫瘤のできる甲状腺腫と知能、身体発育遅延を先天的に受けるクレチン症が主な症状である。この病気の存在を知ったのは、わが娘の出産がキッカケであった。国際ボランティアが縁でネパール青年と結婚した娘の子が、一過性とはいえクレチン症を患っていることが分かった。入院先の大学病院でヨード欠乏症であることを知らされ、ホルモン注射の継続で発育に支障はないが、生涯ホルモン補給の覚悟が必要と諭された。3 年間の通院で、ホルモンの分泌が奇跡的に自力でが現れ、正常な身体に戻った。この間にネパール、ブータン、インド、モンゴル、中央アジア諸国などにも罹患者が多いこと、WHO がこの根絶に懸命になっている世界的な貧困病で、リスク人口が 17 億人とも 20 億人ともいわれていることなどを学んだ。孫の奇跡的な完治に感謝と喜びを感じ、ネパールで苦しむ農村の人々に対する地域医療の支援を決意したのである。

## 2. ヨードという微栄養素

ヨードは 19 世紀はじめ、フランスはナポレオンの統治下であり、火薬の代替品の開発に迫られていた。海岸に漂流する海藻の焼却灰からの抽出過程で、金属様の結晶から紫色の蒸気が立ち上がるのを発見。当時の化学者ガイ・リュサックに

よりハロゲン属の新しい元素と確認され、紫色を意味するヨード(iode)と名づけられた。ヨードは水素と磷とは結合するが、酸素とは結合せず、アンモニアと混合すると爆発性を生ずる。溶液中では陰イオンとして存在し、塩素と化学的性質を同じくする。用途はさまざまで、レントゲン造影剤、殺菌防黴剤、工業用触媒、飼料添加物、医薬品、安定剤。添加塩、除草剤、液晶関係などがある。

### 3. ヨードの自然循環

地表に存在するヨードの総量は 8 億7千万トンと推定され、その大部分が海底堆積物と堆積岩に含まれており、海水中には約0.8%の700百万トンが存在するといわれている。ヨードは海上から蒸発し、大気の循環により内陸に運ばれ、雨、風に運ばれて山岳地帯の表土に降下する。これが河川により、丘陵や平野を下って海洋に還流し、循環を形成する。(図1)先史時代にはヨードは大地に十分していたようであるが、地質時代には大地の表土に存在していたヨードは雨、雪、氷河によって漏出し、風、川、洪水により海に流出した。漏出の著しい地域は、ヒマラヤ、アンデス、アルプス、東欧、ウラル以西のロシア、米国中西部、シベリアから中国東北地方などが上げられ、氷河期の氷河による大地浸食が原因とされている。南極のシェットルトン氷河底の地層にはヨード含有量の多いことが証明されている。現在でも深層の地層にはヨードが比較的多く含まれ、その深層の地下水や油田の湧出はヨードの原料として利用されている。

わがふるさと・千葉県は有力な天然ガス産出県である。戦後間もなく、わが田んぼにガス井が掘削され、ガスの採掘と同時に湧き出るかん水から、ヨードを抽出すると聞いていた。天然ガスを開発する会社からの資料によると、ガス田は房総中部の一連の上総層群で、新第三紀鮮新世～第四紀更新世(今から約 300 万年前～40 万年前)に海底に堆積した砂岩と泥岩からなる地層だという。ガスは地下 200～2000m付近の砂岩の間隙に、堆積物と一緒に地層中に取り込まれた海水(海水)の中に溶存しているという。いまでは海水から製造されたヨードの一部はインドに輸出されて、インドで製造された精塩やポータ塩にヨードカリが添加されて、ヨード添加塩としてネパールが輸入しているのである。経済的循環が介在した自然循環である。

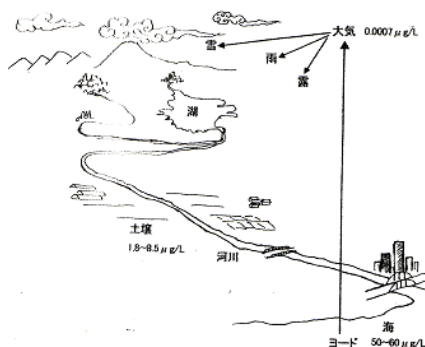


図1. 自然界のヨードの循環

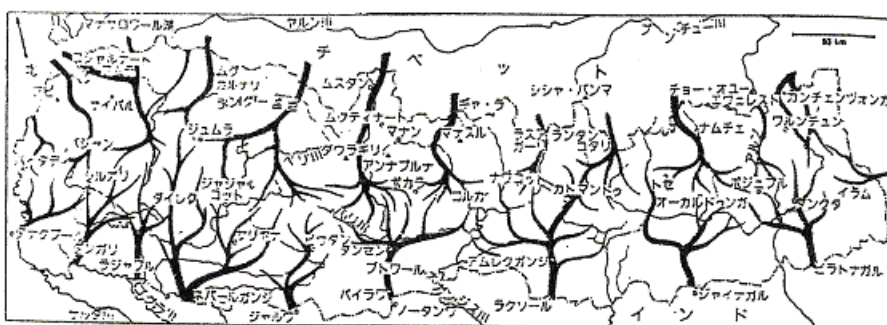


図2. 1959年以前の塩の道(参考文献2、3)

### 4. ヨード欠乏症の発生条件

氷河による大地浸食によりヨード不足になっている表土に生育する作物は、当然ヨード不足となり、この作物のみで人や家畜の食物を依存する自給自足の農家の人や家畜は永遠にヨード欠乏に陥る。従って、このような地理的条件の中で住む農村の人々は、人為的にヨード補給をしなければ、この欠乏症から開放されない宿命をもっている。ヨード欠乏地域を世

界的にみると次のような共通点があることに気づく。

- (1) 海から遠い大陸内部
- (2) 起伏のある山岳部
- (3) 社会的インフラの未発達な地域
- (4) 表土の侵食が激しい地域
- (5) 物流・アクセスが悪い地域
- (6) 貧困な農村地帯

## 5. ヨード欠乏と日本

このヨード欠乏症の研究をはじめて間もない'00年ごろ、日本人は日ごろ海藻をよく食しているのに、日本にはヨード欠乏症の患者はいないだろうと思っていたら、内分泌科の何人かの医師から、日本でも常に5000人ぐらいの患者はいると聞いていた。最近では、大学生や若者の偏食傾向から、ヨード欠乏症が増えつつあるという飽食時代の申し子という現代性ももってきている。

では、昔の日本はどうであったかという疑問が沸いてくる。少々ロマンテックな話であるが、この回答のルーツを日本に伝わる民話「コブ取り爺さん」に求めてみたい。ヒマラヤ山脈の山間部の農村地帯のように、日本でも海から遠く、交通の便も悪い山奥の農村地帯ではコブをもった人が多かったのではないかと。

この民話は宇治拾遺物語に載っており、岩波文庫にも紹介されている。

「昔、むかし、あるところに、げんこつほどのコブのあるお爺さんが、二人いた。二人のお爺さんはコブがみつともないからとってもらおうと思ひ、神様に願かけして山奥のお宮に詣り、夜ごもりをしていた。ある晩、ま夜中になって、遠くの方から音が聞こえてきた。その音は笛や太鼓のはやしの音だった。二人のお爺さんが隅に隠れようとしたところで、お宮の戸がガラリとあき、6尺もあろうと思われる顔の赤い、鼻の高い天狗たちが、5、6人入ってきた。(中略)

隠れていた二人のお爺さんは天狗たちに見つかってしまう。《人間の爺どもがいたぞ。早く出てきて舞ってくれ》といって、立っていた一人のお爺さんの袖を引っ張って、みんなの中につきだされた。一人のお爺さんははやしの音にのって踊りだした。《本当によい舞い手だ》といいながら、天狗どもはお爺さんの額のこぶをとってしまう。爺さんは急に頭が軽くなったような気がして、喜んで引きさがった。(後略)」この民話は岩手県上閉伊郡、いまの遠野市周辺伝わるものである。遠野市は海岸線の釜石までは30キロの距離であるが、生活に必要な「塩」の確保は難儀していたようである。瀬戸内海の塩を運ぶ北上川水路が確立するまでは、遠野の人々は山を下りて宮城・渡波の海岸で一定期間、浜小屋を立てて海水を釜で煮詰めたり、海藻焼きをしたりして一年分の塩を馬の背に乗せて持ち帰ったという。この馬の道：ウマッコミチが出来るまでは、遠野の人々は海岸の渡波までは遠く、塩不足、海藻不足は用意に想像できる。従って甲状腺腫のコブが出来ののも想像できる。天狗の登場も医術をもった渡来人のご来光を願っていた村人の祈りかもしれない。コブ取り爺さんのコブは、額に出来ているとあるので、現代医学では脂肪腫、繊維腫と呼ばれているが、民話の世界では、頸部コブ(甲状腺腫)が額コブに代わって口承伝授されて、今日の民話になっているのかもしれない。いづれにしてもネパールのヒマラヤの山間部の農村地帯と同じように、奥羽の山奥の農村地帯にもコブが存在するのは、非常に興味深いことである。

## 6. ヨード欠乏症とネパール・ヒマラヤ山麓

奥羽の遠野の山村と海岸線の渡波までのウマッコミチは塩を運ぶ「塩の道」はネパールにもあり、経済・文化の交易道路の役割を果たしていた。ネパールの農村も農耕文明が発達し、植物性食品を主にとることで、体内のナトリウムとカリウムが排泄されるので、塩分補給が必要になってきた。幸いなことに南側にインド、北側に中国・チベットに挟まれたネパールは何条もの塩の道を南北に持っていた。(図2)この道の流れをみるとネパールの地形の特徴がはっきりしてくる。

## 6-1. 地理的位置と特徴

- ① 経緯 北緯 27 度～30 度(台湾、エジプト並み) 東経 80 度～88 度
- ② 面積 14 万 1000 平方 Km(北海道の 2 倍)
- ③ 位置 ヒマラヤ山脈の南斜面
- ④ 海拔 200m～8000m級(エレベスト 8848m)

## 6-2. 地形の特徴

- ① 主要河川 西側からチャムリヤ川、セティ川、カルナリ川、ベリ川、ガンダキ川、トウリス川、スン・コン川、アルン川、タムール川の 9 本がヒマラヤ山脈の山岳地帯から南下してネパール国を縦断してガンジス川に合流する。
- ② 分水嶺 ヒマラヤ山脈山稜ではなく、その裏にあるチベット周縁山脈(ガンディセ山脈)が分水嶺となって、チベット側のヤルン川と 9 本のガンジス河川にわかれる。これら 9 本の河川はヒマラヤ山脈を横断して南下している。縦断してないところが珍しい。
- ③ 溪谷 世界一の標高差と最短水平距離が鋭い V 字型溪谷を示す特徴をもつが、これはヒマラヤ山脈造山運動の歴史に起因している。

インド亜大陸の北上に押されてヒマラヤ山脈の北側(裏側)にあるチベット周縁山脈が隆起し、これが分水嶺となって南側(ネパール側)にガンジス川に通じる何条かの川が生まれた。その後インド亜大陸の北上による衝上運動の進行で、最初のヒマラヤ山脈が隆起した。既にできていた何条かの川の傾斜は更に増し、雨量の増大で川底を削り、かつて海底だった肥沃な表土は栄養失調の土壌となった。カトマンズ盆地に住めない移住民は急峻な川と段々畑の山岳地帯で自給自足の生活を強いられるのである。ここに栄養失調やヨード欠乏症の宿命的原因がある。(図3)

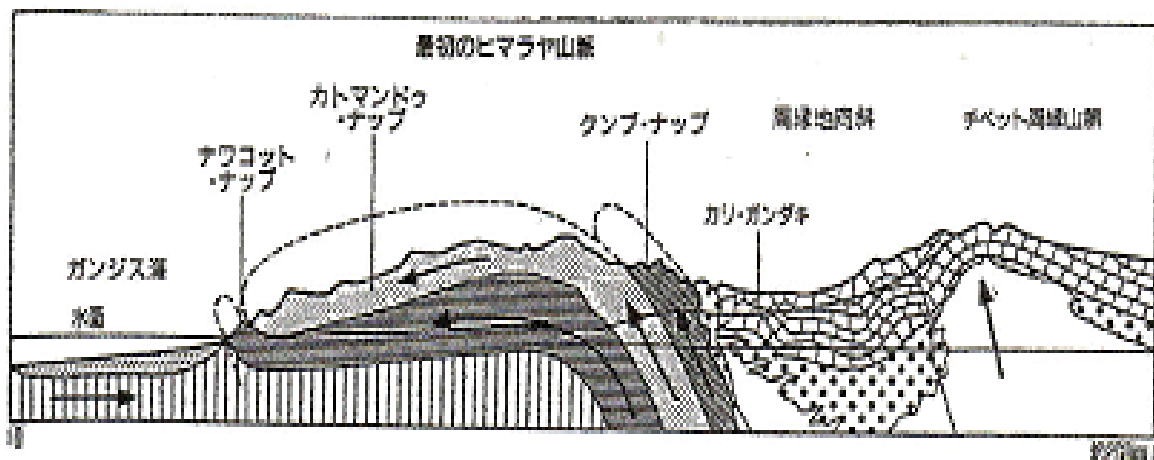


図 3. カトマンズ平原の造山運動(参考文献 2)

## 7. おわりに

ネパールを含むアジア 17 カ国の比較の中で、ネパールは次の特徴をもつ。まず、GNP が最も低く最貧国であること。次に、ヨード欠乏症重症 5 カ国に入っていること。(バングラデシュ、ネパール、パキスタン、インドネシア、インド)。最後に、ヨード補給のために政府が勧めているヨード添加塩の普及率は高いが、良質の精塩の普及は低いことが判明できる。

ヨード補給のためのヨード添加塩の普及率は高いが、依然としてヨード欠乏症の罹患率が高く(表1)、その減少も遅々としていることに疑問を持ち、2 年間の現地踏査で次の原因が分かった。



経済的要因は次の 2 点がある。まず、政府の勧める精塩は高価で農村の人々には買える価格ではない。次に、価格設定も原価プラス運賃の積み上げ方式のため、遠隔地の農村ほど高価になるという皮肉な現象になっている。

生活習慣は次の点があげられる。最初に、山間部の農村の人々は、昔からチベット塩を食していることから岩塩志向が強く、精塩よりは価格も安く岩塩に近いポーダ塩を好む傾向がある。次に、そのポーダ塩を食するときに水洗いをするため、添加されていたヨードが流出して、ヨードの摂取量が減少してしまう点である。

ヨード添加塩の品質は次の通りである。最初に、ネパールとインドとの国境にある食塩公社の倉庫では規模が小さく、インドからのヨード添加塩(精塩とポーダ塩)を野ざらし保管を余儀なくされ、ヨードの流出が激しいこと。次に、倉庫より輸送された小売店の店頭では、精塩は店内、ポーダ塩は軒先または露地販売なので、ポーダ塩のヨード流出は更に激しくなっている。

教育的な問題は次のようにあげられる。① 義務ではない小学校の卒業率は50%前後で、授業内容もバラバラで、栄養教育が乏しい。② 村人の知識は、村の長老や祈祷師によって左右される場合が多い。③ 正しい医学的知識は医師から得るが、その機会が少ないので、噂を信じやすい。④ この背景から、全般的に栄養に関する知識は乏しく無関心である。従って、政府がヨード添加精塩を推奨しても無関心者が多い。

表1. ネパールのヨード欠乏症主要調査の結果概要

年	調査地区	年齢	罹患率			
			全甲状腺腫	クレチン症	尿中ヨード排出量低下(<100µg/l)	非ヨード塩
1965	全国	13歳以上	55			
1969	郡	小学生	74~100			
1976/77	トリスリ北部とランタン北部	全世代	55.3	5.1		
1979/82	14郡	全世代	57.6	2.8		
1985/86	15郡	全世代	39.7	0.4	52.0	
		小学生	44.2	0.2		
1992	2郡	小学生	32.0		70.0	
1998	全国	女性	50		16.0	17.0
		小学生	40		13.9	

出典: Nepal National Micronutrient Status Survey 1998. Draft Report.

資料: R.P.Joshi(2000)

ネパール政府のヨード欠乏症対策の効果が遅々としている原因を探求した結果、ヨード添加塩の品質に注目し、ヨードの自然流失のない媒介物として「昆布」に注目した。農村地帯に多い高血圧、糖尿病患者を勘案すると、食塩よりは昆布の方が身体に優しいが、問題はネパール人が海藻類を食する習慣がないことである。大手食品メーカーのフジッコ(株)の開発本部に相談の結果、昆布より抽出されたミネラルをカプセルに封印することで、ネパール人に受け入れられるサプリメントが完成したのである。

山間部のチョウタラ村において、2002年から2006年の5年間はチョウタラ村の青年グループ有志によるヨード補給活動を行った。昆布ミネラルカプセルを1日1錠飲む運動を甲状腺腫の母親と歩行困難や発育不全の子どもに行った。約20人の子女が運動の継続をしてきたが、母親の甲状腺腫は多少の改善は見られたが顕著なものはなかった。しかし歩行困難や発育不全の子どもは顕著な改善がみられた。現在も子どもたちにはヨード補給を行っている。

山間部パルチョーク郡のチョウタラ病院において、甲状腺腫の母親に対する後追いのヨード補給に改善の限界を感じて、予防に重点を置いて、出産前の妊婦に十分なヨード補給を行うことによって、ヨード欠乏のない新生児を生むことを目的とするプロジェクトを組み、実験的測定や調査研究を2007年から実施して今日に至っている。

## 謝 辞

洞窟環境NET学会の沢 勲会長と肥塚 義明事務局長には厚く御礼申し上げます。

(2010年10月1日受稿、2010年12月25日掲載決定)

## 参考文献

- 1) 山本智英・熱田親憲:「アジアの瘤ネパールの瘤」、春風社、2003年。
- 2) トニー・ハーゲン・町田靖治訳:「ネパール」、白水社、2000年(復刻)。
- 3) 大西英文・神馬征峰:「ネパールに於ける塩の流通とヨード欠乏症対策」、1998年。
- 4) B・S・ヘッツェル・山本智英訳:「ヨード欠乏症—世界の大きな課題」、ICCIDD 日本、1994年。
- 5) 関敬吾編:「こぶとり爺さん・かちかち山—日本の昔ばなし(1)」、岩波文庫、1956年。

# 大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382年)の由来と鳥居

## －四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作－

沢 勲\*・肥塚 義明\*\*・北川 和孝\*\*\*

(大阪経済法科大学名誉教授\*・洞窟環境 NET 学会事務局長\*\*・辰美工芸彫刻師\*\*\*)

### History of the Nozato-Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

－Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model－

Isao SAWA\*・Yoshiaki KOEZUKA\*\*・Kazutaka KITAGAWA\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Nozato-Sumiyoshi Shrine in 1-15-12, Nozato, Nishi-Yodogawa Ward, and there is our study for the purpose of making the database of the cultural heritage. The Nozato-Sumiyoshi Shrine can recognize connection about the Emperor Nintoku's wife, Yakamochi Otomono (a poet having written lots of tankas in the Man' yo-shu), Ichiya-Kanjo, the internal conflict of the Hosokawa family, Yoshimitsu Asikaga(the third shogun of the Muromachi government).

The origin of the Nozato-Sumiyoshi Shrine supported in the globalization times and translated it into Multilingual Translation (Japanese-English-Korea and Chinese). About the torii environment, we analyzed data of the torii environment by scientific management method.

The height of a certain 37 toriis is 6.59m from 2.17 in Nishiyodogawa-ward. The height of five toriis in the Nozato-Sumiyoshi Shrine is 6.59m from 2.17. The writer was able to confirm the generation of the torii cultural heritage in the Nozato-Sumiyoshi Shrine clearly. Erection of the torii in Nishi-Yodogawa-ku has gone from 1511 to 2006. Erection of the torii in the Nozato Sumiyoshi shrine is performed from 1923 to 1936.

キーワード: 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作、一夜官女、足利三代将軍の義満

Keywords: Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese, Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model, Ichiya-Kanjo, Yoshimitsu Asikaga

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

#### 1. はじめに

#### 2. 野里住吉神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 野里住吉神社の日文由来

2-2. 野里住吉神社の英文由来

2-3. 野里住吉神社の韓文由来

2-4. 野里住吉神社の中文由来

#### 3. 野里住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 野里住吉神社鳥居の写真と模型製作

3-2. 野里住吉神社鳥居の構造観察

#### 4. 野里住吉神社鳥居の計測結果と解析

#### 5. 野里住吉神社鳥居の考察

5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

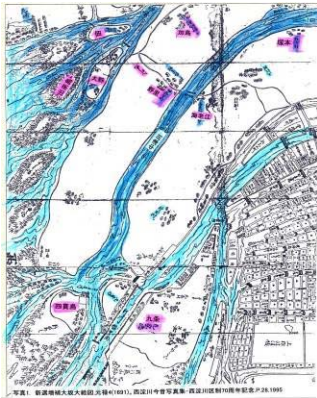
- 5-4.西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-5.西淀川区にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

- 6-1.西淀川区の地域環境
- 6-2.西淀川区にある野里住吉神社の調査要約

# 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区野里にある野里住吉神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査(2010)報告の一部である。西淀川区は大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、南北約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。野里住吉神社は、西淀川区の最東端に位置し、標高 1m、緯度 34°42'35"N;経度 135°27'46"にある。野里住吉神社は、「野里村を水害や災害から守る目的」で室町幕府足利義満三代将軍によって、永徳 2(1382)年に創建されたものである。鎮座地は、西淀川区の南東部にあり、大阪市西淀川区野里 1 丁目 15-12 に属する標高(1m)、面積(3799.9 平方 m=約 1151.5 坪)、外周距離(0.3km=295m)である。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない。新淀川と交差する旧中津川が接近した位置にあり、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、新撰増補大坂大絵図の元禄 4(1691)年、写真 1 の中央は、野里住吉神社の鳥瞰図、写真 1 の右は、野里住吉神社の社殿である。



新撰増補大坂大絵図、元禄 4(1691)年



野里住吉神社の鳥瞰図



野里住吉神社の社殿、建築様式は住吉造

### 写真 1. 大阪市西淀川区にある野里住吉神社の鳥瞰図と本殿

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。野里住吉神社と行政との関連歴史の結果は、① 明治 5(1872)年、大阪神史 p.410、神社の村社・郷社に列し、② 明治 40(1907)年、西成郡史 p.835、大阪府告示 493 号、会計規定適用指定、③ 明治 42(1909)年、大阪神史 p.410、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定、

④ 明治47(1912)年、野里平成21(2009)年、「一夜官女祭」を大阪府文化財保護委員会が重要民族資料として認定(村社野里住吉神社)である。

神社の歴史と由来を四ヶ国語(日英韓中)用語に翻訳するにあたって、①明治末期の新淀川開削までは、旧中津川右岸に、住吉神社の石垣、②中津川には野里の渡しがあり、尼崎へ抜ける八丁街道の交通網、③安閑天皇の時代に奉獻された三野郷(みのごう)で、この地域をさす、④地帯が開発され時期は、南北朝時代(1331～1392年)、⑤永徳年間(1381～1384年)に、開発が進み、住吉大神を勧請、⑥大阪府指定文化財の一夜官女(いちやかんじょ)神事、⑦細川家内紛から戦に発展した「野里川(中津川)の合戦」と「島村蟹」等がある。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成22(2010)年夏、西淀川区民祭り図書館の展示において中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2. 野里住吉神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

### 2-1.野里住吉神社の日文由来

野里は、名称変更により歌島・姫里とも呼ばれる。明治末期の新淀川開削までは旧中津川(なかつがわ)の右岸に沿って開けた村落で、今日の住吉神社の石垣はその中津川の堤防の名残をとどめている。中津川には野里の渡し(別名、柏の渡し)があり、大坂から「渡し」をわたり尼崎へ抜ける八丁街道は人馬の往来が絶えない交通の要衝であった。

この「渡し」は、仁徳(にんとく)天皇の皇后が、「櫛(かしわ)の葉」を海に投げ入れられた故事から名づけられたという。万葉歌人・大伴家持(おおとものやかもち)が「船いだす沖つしほさい白妙にかしわのわたり浪高見ゆ」と詠じのもこの渡しだと言われています。また、一説では、安閑(あんかん)天皇の時代に奉獻された上御野(みの)・下御野は「和名抄(わみょうしょう:平安時代の辞書)」にいう三野郷(みのごう)で、野里周辺地域をさすのではないとも言われる。

野里は、このように古い伝説を有する土地で、難波八十島(やそしま:島が多い)と呼ばれたデルタ地帯であった。この地帯が開発され時期は、南北朝時代(1331～1392年)であろうと推定される。とくに永徳年間(1381～1384年)に、この地の開発が進み、住吉大神を勧請したという記録がある。地元では、野里住吉神社の創建年代は、永徳2(1382)年と伝わっている。現存する旧崇禅寺(そうぜんじ)の古文書には嘉吉2(1442)年、摂州中島野里庄(野里の旧名)の現在地に宮が存在したことを示す記述もある。

また、本神社には大阪府指定文化財の一夜官女(いちやかんじょ)神事がある。この祭は摂津名所図絵(せつつめいしょずえ)や摂陽落穂集(せつようおちぼしゅう)などにも見えるなど、江戸時代から近郷に広く知れわたり、人身御供(ひとみごくう)の伝説話が神事として伝わっている。

現在使われている祭具には、元禄15(1702)年の墨書があり、それ以前からの古い神事であることには間違いない。もとは正月20日の夜中に行われた神事が、明治40(1907)年から2月20日に改められた。さらに、野里は一夜官女にまつわる話として、岩見重太郎の豪傑退治話や、細川家内紛から戦に発展した享禄4(1531)年の「野里川(中津川)の合戦」と「島村蟹(しまむらがに)」の由来など、数多くの昔話を伝承する町でもある。「平成祭礼データ」から一部修正)。一方、本神社の創建について、「当時の野里村を水害や災から守る目的で室町幕府足利三代将軍の義満(よしみつ)によりなされたものである」という説明もある(表1)。(神社から加筆)

表1. 大阪市西淀川区、野里住吉神社の詳細資料

御祭神	住吉大神(底筒男命、中筒男命、上筒男命、神功皇后)
キーワード	仁徳天皇の皇后、万葉歌人・大伴家持、一夜官女、細川家内紛、足利三代将軍の義満



鎮座地	555-0024 西淀川区野里 1-15-12	神社創建	永徳 2(1382)年
電話番号	06-6471-0277	Fax 番号	06-6471-0277
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiyodogawa_nozatosumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiyodogawa_nozatosumiyosi.html</a>		
交通手段	市バス・阪神バス「野里下車」北へ 200m、JR神戸線「塚本駅」西へ約 10 分		

## 2-2.野里住吉神社の英文由来

(History of the Nozato-Sumiyoshi Shrine Founded in 1382 (Eitoku 2))

Nozato was also called Utajima or Himezato in the past. Until the end of the Meiji era when the Shin-Yodogawa River was built, it was a village located along the right bank of the old Nakatsu River. The stone fence of today's Sumiyoshi Shrine still shows a few remains of the Nakatsu River's bank. This river had the Nozato ferry, a.k.a. the Kashiwa-no ferry, which was an important part of the Haccho-Main-Road linking Osaka and Amagasaki, with lots of humans and horses passing through it.

This ferry was probably named according to the tradition that the Emperor Nintoku's wife threw an oak (kashiwa) leaf into it. It is also said that Yakamochi Otomo, a famous poet during the Nara period, composed here his kanka "Far away from the boat, the roar of the sea is purely white. The Kashiwa-no ferry shows high waves." Still another rumor says that the localities Kami-Mino and Simo-Mino offered up to the Emperor Ankan were Mino-Go mentioned in Wamyō-shō, a dictionary written during the Heian period, and that the district was none other than Nozato and its skirts.

Nozato is full of such old legends. It was geographically a delta region called Namba-Yasoshima, "yasoshima" meaning "so many islands." This district was developed probably during the Namboku-cho period (1331-1392). Especially, during the Eitoku era (1381-1384), according to some documents, the development was rapid, and Sumiyoshi-no Okami was received by local people.

In the locality, the Nozato-Sumiyoshi Shrine is said to have been founded in 1382 (Eitoku 2). The documents still owned by the old Sozenji Temple also show that in 1442 (Kakitsu 2) there was a shrine here in Nakajima Nozato manor, Settsu Province, which is another old name of Nozato.

The shrine has a Shinto ritual, Ichiya-Kanjo, designated cultural heritage of Osaka Prefecture. This festival has been widely known in the locality since the Edo period, listed in Settsu-Meisho-Zue as well as Settsu-Ochibo -Shu, and famous for its legend of the human sacrifice.

Since the ritual's instruments used at the present time have a mention of 1702 (Genroku 15) written in Chinese ink, the ritual must have been already celebrated before that date. Originally it was held during the night of January 20 but a change in 1907 (Meiji 40) moved the celebration to February 20.

Nozato is a town filled with old legends, such as Jutaro Iwami's having murdered a daring man who perturbed the ritual of Ichiya-Kanjo, or the internal conflict of the Hosokawa family which degenerated into the battle over the Nozato River (the Nakatsu River), or the legend of "Shimamura-Gani."

We partially adapted these details from Heisei's Festivals Data. Moreover, the director of the shrine says that the Nozato Shrine was founded "by Yoshimitu Ashikaga, the third shogun of the Muromachi government, wishing to protect the then Nozato village from disasters such as floods" (Table2).

表 2. 大阪市西淀川区、野里住吉神社の詳細資料(和英翻訳)

Table2. Details on the Nozato-Sumiyoshi Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City

Worshipped Gods	Sumiyoshi-no-Okami (Sokotsutsu-no-Onomikoto, Naka-tsutsu-no-Onomikoto, Uwatsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu)
-----------------	--

Key Words	the Emperor Nintoku's wife, Yakamochi Otomo (a poet having written lots of tankas in the Man'yo-shu), Ichiya-Kanjo, the internal conflict of the Hosokawa family, Yoshimitsu Asikaga (the third shogun of the Muromachi government)		
Site	555-0024,1-15-12,Nozato, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	1382 (Eitoku 2)
Telephone	06-6471-0277	Fax	06-6471-0277
Websites	http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiyodogawa_nozatosumiyosi.html		
Access	200 meters north of the "Nozato stop" of Osaka-city -Bus / Hanshin-Bus, or 10 minutes' walk west of "Tsukamoto Station" on the JR Kobe-Line		

### 2-3. 野里住吉神社の韓文由来 (노자토 스미요시 신사의 유래 영덕 2(1382) 년창건)

노자토는 명칭변경에 의해 우타시마/노자토/히메사토로 불리운다. 메이지 말기의 신요도 강을 개척하기까지는, 구 나카즈강의 우측 암벽을 따라서 개발된 촌락으로,오늘날 스미요시 신사의 돌담은 그 나카즈강의 제방의 자취를 남겨놓고 있다. 나카즈강에는 노자토 나룻배가 있었고 오사카에서 나룻배로 건너와서 아마가사키로 통하는 팔정가도는 사람과 말의 왕래가 끊어지지 않았던 중요한 교통망이었다.

이 나자토 나룻배는 인덕천황의 황후가 「떡갈나무의 잎」을 바다에 던져넣었던 고사에서 명명되었다고 한다. 만엽가인·야카모토 오모토가 「배가 해변에서 떨어져 갈때 물보라치는 떡갈나무의 의자에서 파도가 높게 보인다」라고 읊었던것도 이 나룻배라고 말해지고 있다. 또한, 일설에는 안한(안칸)천황시대에 봉헌된 카미미노와·시모미노는 「와묘쇼: 헤이안시대의 사진」에서 말하는 미노고로, 노자토 주변 지역을 가리키고 있는것이 아닌지 추측되기도 한다.

노자토란, 이와같이 오래된 전설을 가진 지역으로, 나니와야소시마(야소시마: 섬이 많다)로 불리운 델타지대였다. 이 지대가 개발되어진 시기는 남북조시대(1331~1392년)였다고 추정된다. 특히 영덕(에이토쿠)천황의 연간(1381~1384년)에 이 지역의 개발이 진행되어, 스미요시 대신을 모셨다는 기록이 있다. 그 지역에서는, 노자토 스미요시신사의 창건 연대를 영덕 2(1382)년으로 전하고 있다. 현존하는 구 승선사(소우젠지)의 고문서에는 희길 2(1442)년, 셋츠나카지마노자토(노자토의 옛이름)가 현존하고 있는 곳에 신사가 존재한 것을 표시하는 기록도 있다.

또한, 본 신사에는 오사카후 지정문화재의 일야관녀(이치조칸쵸)제사가 있다. 이 제사는 셋츠명소도(셋츠메이쇼즈)나 섭양낙수집(셋츠요우오치보슈)등에도 보이는등, 에도시대부터 그 근처에 널리 알려져 인신공양(히토미구쿠라)의 전설위 신사로 전해오고 있다.

현재 사용되고 있는 제사도구에는, 원록 15(1702)년의 목서에 기록되어, 그 이전부터 유래가 있는 제사임에는 틀림이 없는 것 같다. 원래는 정월 20일의 밤중에 행해졌던 제사가 메이지 40년(1907)부터 2월 20일로 변경되었다. 더욱이, 노자토는 일야관녀와 관련된 이야기로, 이와미슈타로의 호걸퇴치 이야기나 호소카와의 집안 내분에서 큰 싸움으로 발전된, 향록 4(1531)년의 「노자토강(나카즈)의 전투」와 「시마무라가니」의 유래등, 수많은 옛날 이야기를 전승하는 마을이기도 하다.

한편, 본 신사의 창건에 있어 「당시의 노자토 마을을 수해나 재앙으로부터 지키는 목적으로 무로마치 막부의 아시카가 삼대장군의 요시미즈에 의해 세워진 것이다」라는 설도 있다(표 3).

表 3. 大阪市西淀川区、野里住吉神社の詳細資料(和韓翻訳)

표 3. 오사카시 니시 요도가와구 노자와 스미요시 신사의 상세 데이터

모시는 신	스미요시대신 (소코쯔쯔의 오노미코토, 나카쯔쯔의 오노미코토, 우와쯔쯔노 오노미코토, 진구황후)
키워드	인덕천황의 황후, 만엽가인·야카모토 오모토, 일야관녀, 호소카와의 집안 내분, 아시카가 삼대장군의 요시미즈

진좌지	555-0024 니시요도가와구 노자토 1-15-12	신사창건	영덕 2(1382)년
전화번호	06-6471-0277	Fax 번호	06-6471-0277
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiodogawa_nozatosumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiodogawa_nozatosumiyosi.html</a>		
교통수단	시버스·한신버스「노자토 하차」북쪽으로 200m, JR고베선「쯔かも토 역」서쪽으로 약 10 분		

## 2-4. 野里住吉神社の中文由来 (野里住吉神社的由来 永德 2(1382)年创建)

野里，据其名称的变化又称歌岛，野里，姬里。其是在明治末期开凿新淀川之前，沿旧中津川的右岸兴起的村落。今天的住吉神社的石墙作为中津川的堤防而名存于世。在中津川有一处叫做野里渡口(别名 柏之渡口)的地方。过去从大坂经野里渡口出发，通过尼崎到达八丁街道，作为重要的交通要道，这里曾商贸繁荣，人马往来络绎不绝。

关于这个渡口，据说其名字是由仁德天皇的皇后将“榭之叶”投入海中这个故事而来。有万叶的诗人·大伴家持的诗歌描述这个野里渡口。另外还有一说，安闲天皇时代的上御野，下御野，在《和明抄》(平安时代的辞典)里面叫做三野乡，据说这个三野乡也应该是指野里周边地区。

在野里这样一个拥有古老传说的土地上，有着曾被称作难波八十岛的三角洲地区。据推定，此地区在南北朝时期已被开发。尤其是在永德年间，对该地区的开发达到了最高峰。这时期开展了对住吉大神的请神运动。关于野里住吉神社的创建年代，据传为永德 2 年(1382 年)。在现存的旧崇禅寺的古文献里，这样描述道：“嘉吉 2 年(1442 年)，在摄州中岛野里庄(野里的旧名)的现在地，有神社殿堂存此地”。

此外，本神社拥有作为大阪府指定文化遗产的“一夜官女”祭神仪式，关于这个仪式，在“摄津名所图绘”以及“摄阳落穗集”等文献里面也能看到。自江户时代起远近闻名。相传“人身御供”(小学馆日中辞典：以活人献祭作为牺牲品)的传说也因本神社而广为流传。

在现今仍被使用的祭祀用道具中，因为有元禄 15 年(1702 年)的墨书。于是能确定在这之前也有古代的祭神的仪式在这里举行。原本于正月 20 日的午夜举行的祭神仪式，在明治 40 年(1907 年)开始，被更改于 2 月 20 日举行。此外，在野里，围绕着“一夜官女”的这个话题，还有着像岩见重太郎打倒豪绅的故事，以及细川家从内部纠纷发展到战争的历史事件——享禄 4 年(1531 年)的“野里川大战”。还有岛蟹村的由来等等，总之，野里是一个传承了众多传奇故事的地方。

另外，关于本神社的创建的目的，神社里有“为了保护野里村不受水灾，由当时室町幕府足利三代将军义满建造”的说明(表 4)。

表 4. 大阪市西淀川区、野里住吉神社の詳細思慮資料(和中翻譯)

表 4. 大阪市西淀川区，野里住吉神社详细资料

祭神	住吉大神(底筒男命，中筒男命，上筒男命，神功皇后)		
关键词	仁德天皇的皇后，万叶歌人·大伴家持，一夜官女，细川家内乱，足利三代将军义满		
供奉地	555-0024 西淀川区野里 1-15-12	创建年	永德 2(1382)年
电话号码	06-6471-0277	Fax 传真	06-6471-0277
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiodogawa_nozatosumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_01_nisiodogawa_nozatosumiyosi.html</a>		
交通手段	乘市公交或阪神公交在“野里”下车往北 200 米。乘 JR 神户线在“塚本站”下车，往西徒步 10 分。		

## 3. 野里住吉神社鳥居の模型制作と構造觀察

### 3-1. 野里住吉神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、

構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている(写真2上左と下)。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は巖島神社・気比神社等である。

写真2は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、野里住吉神社にある鳥居の測量値から20分の1に縮小にした製作品である。



正面鳥居の構造は明神系



正面鳥居の模型



月頼稲荷神社鳥居の構造は明神系



天満・春日・八幡・八百万神社鳥居の構造は神明系



淀川戎神社鳥居の構造は神明系



東門鳥居の構造は明神系

## 写真2. 野里住吉神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 野里住吉神社鳥居の構造観察

表5は野里住吉神社鳥居の構造観察を行った。写真2からも理解でき、次のように要約できる。①反り増し(そりまし)の有は、東門、正面、淀川戎、天満・春日・八幡・八百万神、月頼稲荷である。明神系鳥居は3基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、有名な稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・梓差の鳥居と類似点がある。



見られる。②笠木(かさぎ)有は、東門、正面、淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神、月頼稲荷である。③島木(しまぎ)の角型曲線の有は、東門、正面、月頼稲荷で、無は淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神である。明神系鳥居は3基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、有名な稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・杵差の鳥居と類似点が見られる。④台輪(だいわ)は無である。⑤楔(くさび)の有は、東門、正面、月頼稲荷であり、無は淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神である。明神系鳥居は3基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、有名な稲荷・台輪・春日・山王・八幡・明神・三輪・両部・杵差の鳥居と類似点が見られる。⑥額束(がくづか)の有は、東門、正面、月頼稲荷であり、無は淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神である。明神系鳥居は3基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、有名な稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・杵差の鳥居と類似点が見られる。

⑦貫(ぬき)四角・外側は、東門、正面、月頼稲荷であり、四角・内側は淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神である。明神系鳥居は3基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・明神・三輪・両部・杵差の鳥居と類似点が見られる。⑧根巻・藁座(わらざ)の有色は、月頼稲荷であり、無は東門、正面、淀川戎、天満・春日・八幡・八百萬神である。明神系鳥居は1基であることを確認した。野里住吉神社の鳥居は、山王の鳥居と類似点が見られる。⑨亀腹・饅頭(かめはら)有は、東門、正面、淀川戎、月頼稲荷であり、無は天満・春日・八幡・八百萬神である。野里住吉神社の鳥居は、稲荷・台輪・春日・明神・三輪・両部・杵差の鳥居と類似点が見られる。表5は、大阪市西淀川区、野里住吉神社鳥居の構造観察を表示した。

表5. 大阪市西淀川区、野里住吉神社鳥居の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻藁座	亀腹饅頭	構造
正面大鳥居	角型直線	角型直線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
月頼稲荷神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
天満・春日・八幡・八百萬神社鳥居	無	丸形直線	無	無	無	四角内側	無	無	神明系鳥居
淀川戎神社鳥居	無	丸形直線	無	無	無	四角内側	無	有	神明系鳥居
東門鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居

構造と観察から本鳥居と他鳥居のとの類似点と特徴を有と無で確認できるようになった。①正面大鳥居では、反り増しは角型直線で、島木は角型直線で、台輪は無で、楔と額束は有で、貫は四角外側で、根巻藁座は無で、亀腹饅頭は有で、構造は明神系鳥居に見られる。②月頼稲荷神社鳥居と東門鳥居では、反り増しと島木は角型曲線で、台輪は無で、楔と額束は有で、貫は四角外側で、根巻藁座は無で、亀腹饅頭は有で、構造は明神系鳥居に見られる。神田神社と類似。③天満・春日・八幡・八百萬神社鳥居では、反り増しは無で、島木は丸形直線で、台輪と楔と額束は無で、貫は四角内側で、根巻藁座と亀腹饅頭は無で、構造は明神系鳥居に見られる。④淀川戎神社鳥居では、反り増しは無で、島木は丸形直線で、台輪と楔と額束は無で、貫は四角内側で、根巻藁座は無で、亀腹饅頭は有で、構造は明神系鳥居に見られる。

#### 4. 野里住吉神社鳥居の計測結果と解析

野里住吉神社鳥居の測量値は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。野里住吉神社にある5基鳥居の測量値は、次の通りである。①正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.52m、柱内側幅4.45m、高さ(笠木上点)6.27、

頂点 6.59m)、高さは区内上位、大正 12(1923)年建立である。②月頼稲荷神社の構造は明神系鳥居、柱の直径は 0.17m、柱内側幅 1.58m、高さ(笠木上点 2.45、頂点 2.50m)、屋根は平入様式(神明造)。大正 2(1913)年建立である。③天満・春日・八幡・八百万神神社の構造は神明系鳥居、柱の直径は 0.20m、柱内側幅 1.42m、高さ(笠木上点 2.13、頂点 2.17m)である。④淀川戎神社の構造は神明系鳥居、柱の直径は 0.29m、柱内側幅 2.73m、高さは(笠木上点 3.34、頂点 3.34m)、屋根は平入様式(神明造)である。昭和 11(1936)年建立である。⑤東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は 0.40m、柱内側幅 3.05m、高さは(笠木上点 4.47、頂点 4.78m)、元文 2(1738)年建立である。

表 6 は、大阪市西淀川区、野里住吉神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測データを表示している。

表 6. 大阪市西淀川区、野里住吉神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.80	0.52	4.45	5.11	4.74	5.15	6.02	6.27
月頼稲荷神社鳥居	0.47	0.17	1.58	1.72	1.91	2.05	2.38	2.45
天満・春日・八幡・八百万神神社鳥居	0.59	0.20	1.42	1.60	1.60	1.75	1.97	2.13
淀川戎神社鳥居	0.97	0.28	2.73	3.04	2.52	2.73	3.06	3.34
東門鳥居	1.28	0.40	3.05	3.48	3.35	3.68	4.28	4.47
最大値	1.80	0.52	4.45	5.11	4.74	5.15	6.02	6.27
平均値	1.02	0.31	2.65	2.99	2.82	3.07	3.54	3.73
最小値	0.47	0.17	1.42	1.60	1.60	1.75	1.97	2.13

野里住吉神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったのである。ベスト 10 にある鳥居の高さとして、柱直径・柱間幅・貫上高さ・笠木上高さは 2 基である。平均貫下高さと平均貫上高さは、2.82m と 3.07m である。この値により算術すると貫の厚さは、0.25m である。平均笠木下高さと平均笠木上高さは、3.54m と 3.73m である。この値により算術すると笠木の厚さは、0.19m である。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。

平均貫下高さは 2.45m(計測値)と 9.1 直径の高さは 2.82m(計算値)で、誤差は-0.37m(37cm)である。

平均貫上高さは 3.07m(計測値)と 9.9 直径の高さは 3.07m(計算値)で、誤差は 0m(0cm)である。

平均笠木下高さは 3.54m(計測値)と 11.2 直径の高さは 3.47m(計算値)で、誤差は 0.07m(7cm)である。

平均笠木上高さは 3.73m(計測値)と 11.8 直径の高さは 3.66m(計算値)で、誤差は 0.07m(7cm)である。

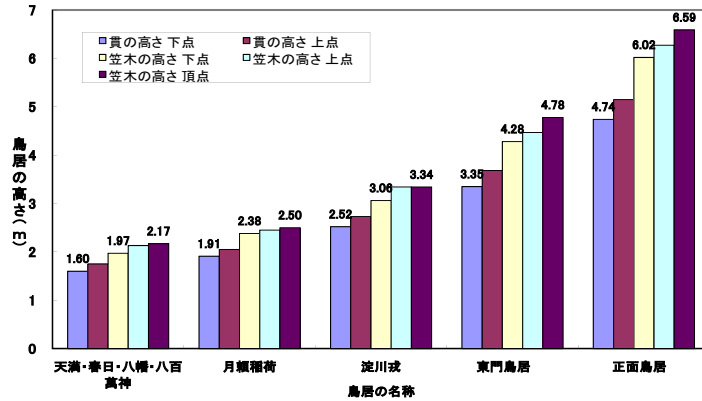
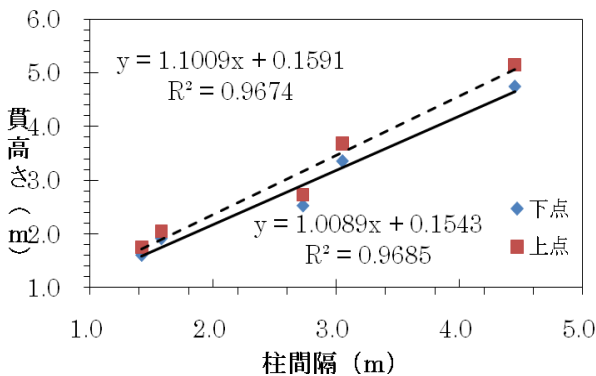
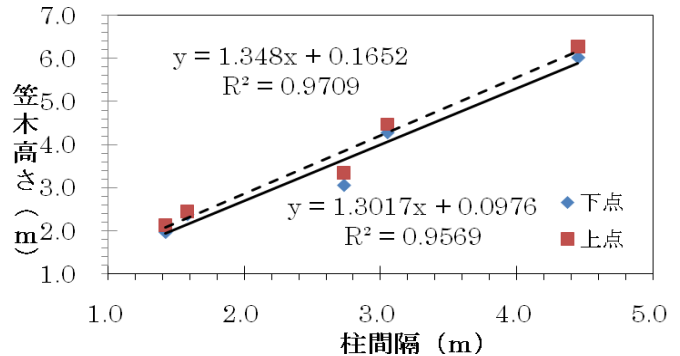


図 1. 野里住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 1 は、表 6 から野里住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間隔は 1.42～4.45m の範囲で、平均 2.65m である。貫高さは、下点の範囲(1.60～4.74m、平均 2.82m)と上点の範囲(1.75～5.15m、平均 3.07m)である。笠木高さは、下点の範囲(1.97～6.02m、平均 3.54m)と上点の範囲(2.13～6.27m、平均 3.73m)と頂点の範囲(2.17～6.59m、平均 3.88m)である。



野里住吉神社鳥居の柱間幅と高さ



野里住吉神社鳥居の柱間幅と笠木の高さ

図 2. 野里住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、野里住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ: 上}) = 1.101(\text{柱間幅}) + 0.159 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.967) \dots\dots\dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ: 下}) = 1.009(\text{柱間幅}) + 0.154 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.969) \dots\dots\dots (2)$$

野里住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 1 と式 2 の勾配は、それぞれ 1.101 と 1.009 である。式 1 と式 2 の決定係数は、それぞれ 0.967 と 0.969 である。式 1 の勾配と決定係数は、式 2 のよりほぼ同じ値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 2 右は、野里住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和

である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ: 上}) = 1.348(\text{柱間幅}) + 0.165 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.971) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ: 下}) = 1.302(\text{柱間幅}) + 0.098 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.957) \dots \dots \dots (4)$$

野里住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 3 と式 4 の勾配は、それぞれ 0.996 と 0.898 である。式 3 と式 4 の決定係数は、それぞれ 0.919 と 0.904 である。式 3 の勾配と決定係数は、式 4 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 野里住吉神社鳥居の考察

### 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図 3)。区内の神社鳥居の建立年は、田蓑神社の正門の永正 8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成 19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成 7(1995)年 1 月 17 日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は 8 基である。8 基の内容は、五社神社が 6 基、大和田住吉神社が 1 基、大野百鳥住吉神社が 1 基である。野里住吉神社鳥居の東門は元文 2(1738)年、正面は大正 12(1923)年、淀川戎は昭和 11(1936)年である。野里住吉神社の鳥居は図 3 の左側枠線に囲まれている。

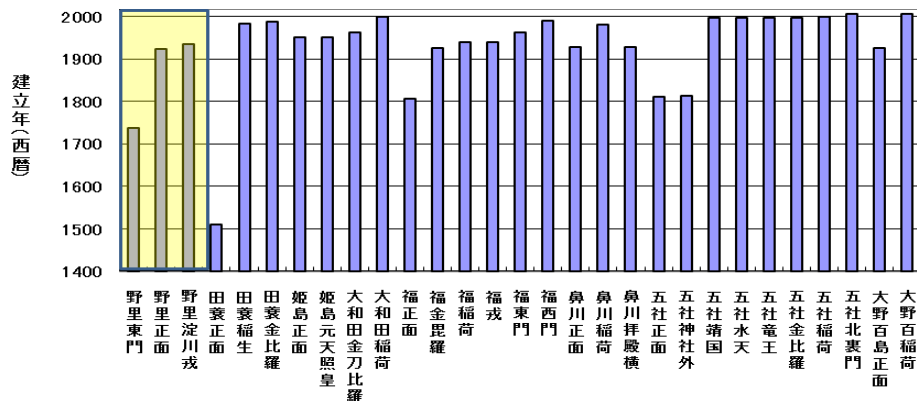


図 3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため 29 基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800 年前では 2 基、1800 年代では 3 基、1900 年代の前半では 8 基、および 1900 年代の後半では 16 基を建立している。従って、戦後に多いことが理解できる。

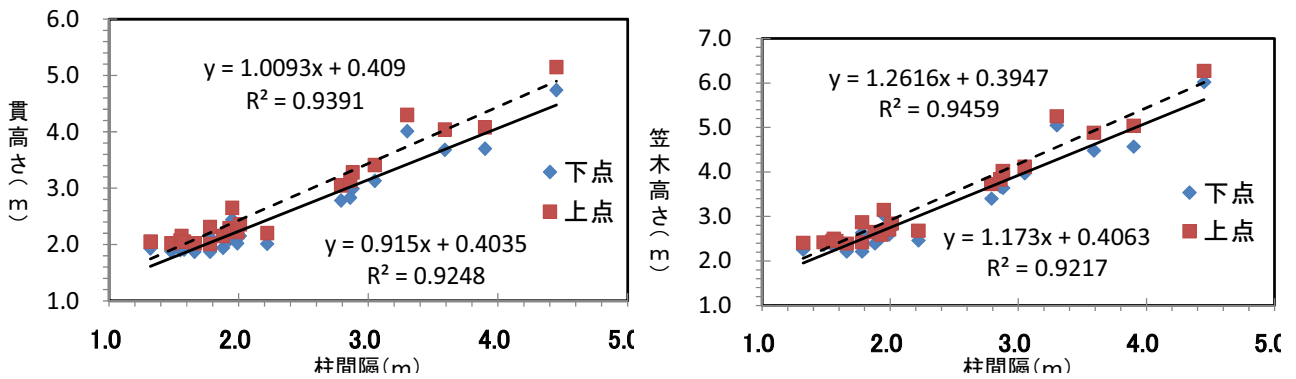
### 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つものとのよごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は 1500 年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには、次のようなデータから認識すべきである。区内の神社鳥居の古いものは阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要である。

柱間隔は 1.32～4.45m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～4.74m、平均 2.55m)と上点の範囲(2.01～5.15m、平均 2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～6.02m、平均 3.15m)と上点の範囲(2.39～6.27m、平均 3.35m)である。図 3 は区内の柱間幅(X 軸)に対する貫と笠木高さ(Y 軸)との関係を表示した。図 4 は正面の鳥居、稻荷神社系と金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さである。

図 4 左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。



区内の柱間幅と貫高さとの関係

区内の柱間幅と笠木高さとの関係

図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

$$Y_{貫上} = 1.009 \text{柱間幅} + 0.409 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \cdots \cdots (5)$$

$$Y_{貫下} = 0.915 \text{柱間幅} + 0.404 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \cdots \cdots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 5 と式 6 の勾配は、それぞれ 1.009 と 0.915 である。式 5 と式 6 の決定係数は、それぞれ 0.939 と 0.925 である。式 5 の勾配と決定係数は、式 6 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 4 右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{笠木上} = 1.262 \text{柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

$$Y_{笠木下} = 1.173 \text{柱間幅} + 0.406 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \cdots \cdots (8)$$

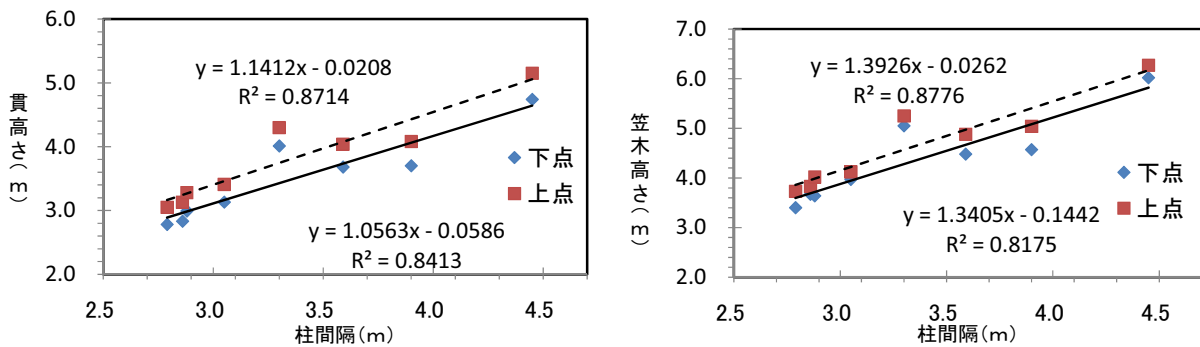


西淀川区区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拝し、太陽を吉や明さを表現であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、野里住吉神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・大和田住吉神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79～4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78～4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05～5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40～6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73～6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。野里住吉神社の正面大鳥居において、柱間隔は 4.45m、貫高さは、下点 4.74m、上点 5.15m である。笠木高さは、下点 6.02m、上点 6.27m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区区内にある正面大鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

図 5 左は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$$

$$Y_{貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法

として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \cdots \cdots (11)$$

$$Y \text{ 笠木下} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \cdots \cdots (12)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

#### 5-4. 西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百島住吉神社の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48～1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01～2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39～2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。野里住吉神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は 1.58m、貫高さは、下点 1.91m、上点 2.05m である。笠木高さは、下点 2.38m、上点 2.45m である。

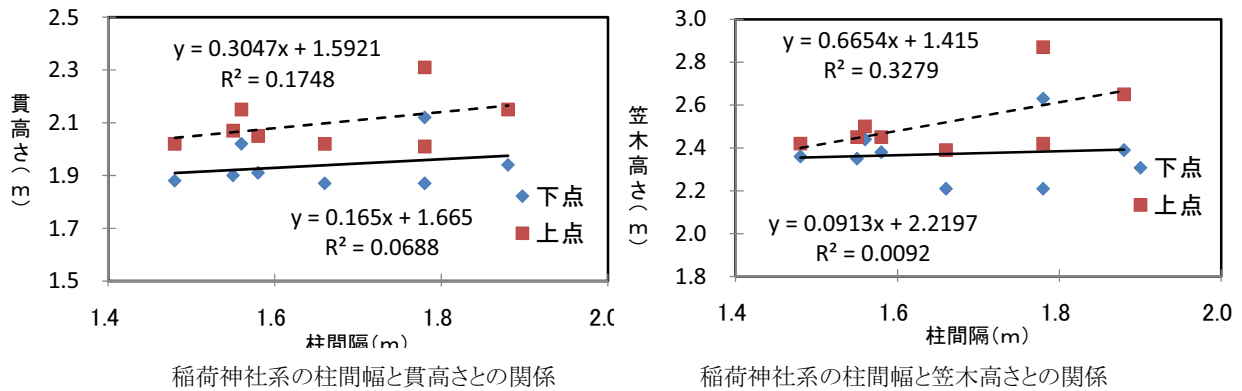


図 6. 稲荷神社系鳥居の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \cdots \cdots (13)$$

$$Y \text{ 貫下} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾

配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (15)$$

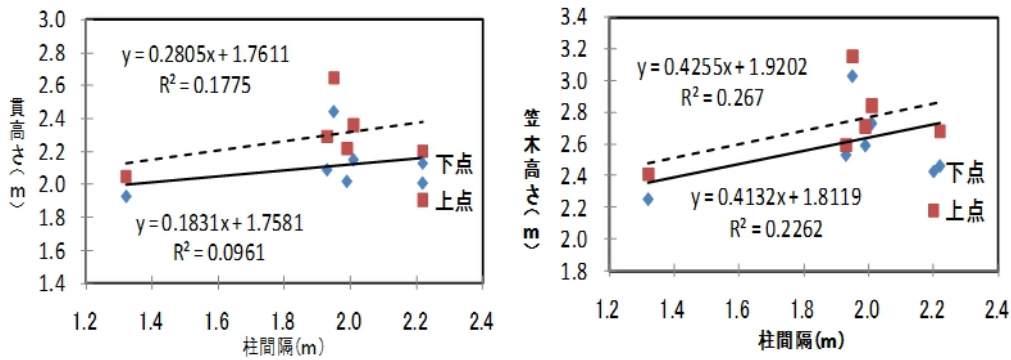
$$Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \dots \dots \dots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

### 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社昭和 2(1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32~2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93~2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05~2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25~3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41~3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係      金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 7. 金毘羅神社系鳥居の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

### 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表しているデータを収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 7 に表示している。この図 7 における左側のプロット数は、区内のデータである。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方へシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。そのため、グラフ下は各神社のデータとの区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4~5 倍であることが確認された。

外山晴彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、全国鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係を図示した(図 8)。

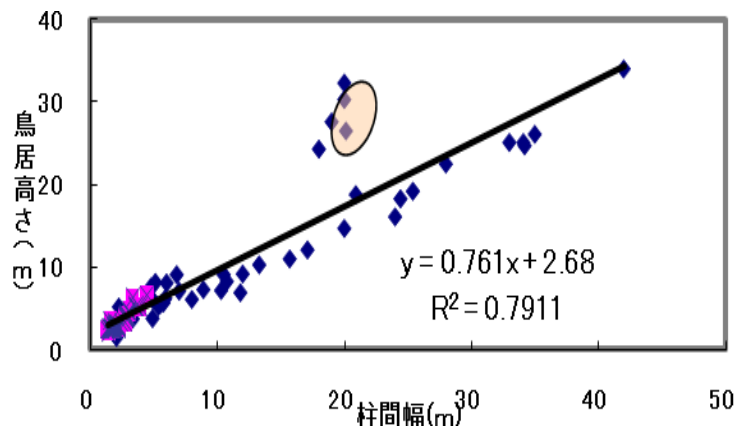


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係



神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761と0.791である。

## 6. おわりに

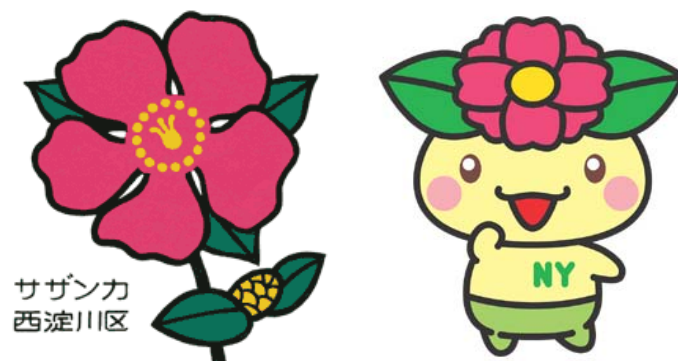
### 6-1. 西淀川区の地域環境

日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、34°42'33"N と 135°28'15"E で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、34°42'23"N と 135°25'57"E で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、34°41'13"N と 135°25'05"E で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、34°43'59"N と 135°26'57"E で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。



⑫14 市立小学校名(創立順)は香簀・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2.西淀川区にある野里住吉神社の調査要約

野里住吉神社の由来と測量と解析によって明らかにした点をはじめ、さらに、鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 野里住吉神社の創建は永徳 2(1382)年で、鳥居の建立は 1738 年～1936 年間である。

2. 神社の由来に関して、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語の翻訳を行った。

3. 鳥居の構造観察によって特徴が見られた。構造と観察から本神社の鳥居と他鳥居との類似点を考察した。すなわち、東門の鳥居は、明神系明神鳥居。神田神社と類似。正面の鳥居は、明神系明神鳥居。神田神社と類似した淀川戎の鳥居は、神明系靖国鳥居。靖国神社と類似。天満・春日・八幡・八百萬神の鳥居は、神明系伊勢神明鳥居。伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)と類似。月頼稲荷の鳥居は、明神系明神鳥居。神田神社と類似が見られた。

4. 鳥居計測値の結果と解析としては、柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数(R<sup>2</sup>)からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 鳥居の模型製作については、鳥居実測の 20 分の 1 で、左から正面、東門、淀川戎神社、月頼稲荷神社および天満・春日・八幡・八百萬神神社の鳥居の順に並べると区別できる。

6. 鳥居全体、正面大鳥居、稲荷神社と金比羅神社の回帰分析を行った。その特徴は次のように解析できる。

笠木上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.393)が大きく、決定係数は区内全体(0.946)が大きい。

区内全体 Y 笠木上 = 1.262 柱間幅 + 0.395……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.946)……………(7)

正面鳥居 Y 笠木上 = 1.393 柱間幅 - 0.026……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.878)……………(11)

稲荷神社 Y 笠木上 = 0.665 柱間幅 + 1.415……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.069)……………(15)

金比羅神社 Y 笠木上 = 0.425 柱間幅 + 1.920……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.267)……………(19)

笠木下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.341)が大きく、決定係数は区内全体(0.922)が大きい。

区内全体 Y 笠木下 = 1.173 柱間幅 + 0.406……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.922)……………(8)

正面鳥居 Y 笠木下 = 1.341 柱間幅 - 0.144……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.818)……………(12)

稲荷神社 Y 笠木下 = 0.091 柱間幅 + 2.220……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.009)……………(16)

金比羅神社 Y 笠木下 = 0.413 柱間幅 + 1.812……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.226)……………(20)

貫上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.141)が大きく、決定係数は区内全体(0.939)が大きい。

区内全体 Y 貫上 = 1.009 柱間幅 + 0.409……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.939)……………(5)

正面鳥居 Y 貫上 = 1.141 柱間幅 - 0.021……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.871)……………(9)

稲荷神社 Y 貫上 = 0.305 柱間幅 + 1.592……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.175)……………(13)

金比羅神社 Y 貫上 = 0.281 柱間幅 + 1.761……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.178)……………(17)

貫下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.056)が大きく、決定係数は区内全体(0.925)が大きい。

区内全体 Y 貫下 = 0.915 柱間幅 + 0.404……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.925)……………(6)

正面鳥居 Y 貫下 = 1.056 柱間幅 - 0.059……………決定係数(R<sup>2</sup> = 0.841)……………(10)

稲荷神社 Y 貫下 = 0.165 柱間幅 + 1.665.....決定係数( $R^2 = 0.069$ ).....(14)

金比羅神社 Y 貫下 = 0.183 柱間幅 + 1.758.....決定係数( $R^2 = 0.096$ ).....(18)

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある野里住吉神社の鎌田義昭宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕講師、和韓の翻訳には金世徳学術博士・朴永旻学術博士、和中の翻訳には、富田和広教授・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の西山正明社長・石田信也建築士、吉村明信氏・西谷真志氏および NPO 法人洞窟環境 NET 学会の藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010 年 12 月 1 日受稿、2010 年 12 月 25 日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 創立 60 周年事業委員会:『野里わたしたちの学校と町』、大阪市立野里小学校創立 60 周年記念誌、1980 年
- 2) 池永悦治:『野里誌』、山治弥生会、1989 年
- 3) 駕洛国史蹟開発研究員:『駕洛国の栄光②』、駕洛中央宗親会、1991 年
- 4) 駕洛慶尚南留道宗親会:『駕洛国・500 年歴史と文化』駕洛中央宗親会、1991 年
- 5) 金榮俊:『画報から見る駕洛国の歴史と文化』、駕洛中央宗親会、1995 年
- 6) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 7) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 8) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 9) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 10) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 11) 正木晃・中尾伊早子監修:『よくわかる！ 神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 12) 野里まちづくりを推進する会 事務局編集部:『のざと』、野里まちづくりを推進する会、2007 年
- 13) 黒田一充・編集:『神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)、関西大学、2007 年
- 14) 渋谷伸博:『日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 15) 井上順孝:『図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 16) 外山晴彦:『神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 17) 大阪市立野里小学校創立 90 周年事業委員会:  
『創立九十周年記念誌 野里』、大阪市立野里小学校・PTA・創立 90 周年事業委員会、2009 年
- 18) 山形明郷:『卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 19) 洞窟環境 NET 学会編集部:『野里住吉神社の環境写真』、洞窟環境 NET 学会紀要、2010 年
- 20) 洞窟環境 NET 学会:『大阪市西淀川区の神社研究』<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>
- 21) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:『大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居』、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 22) 沢 勲・石田信也・朴永旻:『大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居』、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 23) 沢 勲・富田和広・北川和孝:『大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居』、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 24) 沢 勲・西山正明・金世徳:『大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居』、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 25) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:『大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居』、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

26) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2号、2010年

27) 沢 勲・石田信也・朴永晙:「大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2号、2010年

# 大阪市西淀川区、田蓑神社(869年)の由来と鳥居

— 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・上野 裕\*\*・西山 正明\*\*\*

(洞窟環境 NET 学会会長\*・佛教大学講師\*\*・西山組社長\*\*\*)

## History of the Tamino Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Hiroshi UENO\*\*・Masaaki NISHIYAMA\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Tamino Shrine in 1-18-14, Tsukuda, Nishi-Yodogawa Ward, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Tamino Shrine is 869 (Jogan 11) age. Erection of the torii in Nishi-Yodogawa-ku has gone from 1511 to 2007. The number of torii in the Tamino Shrine is five sets. Erection of the torii in the Tamino Shrine is performed from 1511 to 1987.

Worshipped Gods of the Tamino Shrine is the four Pillars of Sumiyoshi (Uwatsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Sokotsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu). Key Words of the Tamino Shrine is Amaterasu-Omikami, the Empress Jingu, the subjugation of the Three Kans, Ieyasu Tokugawa. The origin of the Tamino Shrine supported in the globalization times and translated it into multi-lingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese).

About the torii environment, we analyzed data of the torii environment by scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in the Tamino Shrine is 2.72m ranges from 4.53m.

キーワード:伊勢神宮の天照皇大神、神功皇后、三韓征討、徳川家康

Keywords: Amaterasu-Omikami, The Empress Jingu, The subjugation of the Three Kans, Ieyasu Tokugawa

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

#### 1. はじめに

#### 2. 田蓑神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 田蓑神社の日文由来

2-2. 田蓑神社の英文由来

2-3. 田蓑神社の韓文由来

2-4. 田蓑神社の中文由来

#### 3. 田蓑神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 田蓑神社鳥居の写真と模型製作

3-2. 田蓑神社鳥居の構造観察

#### 4. 田蓑神社鳥居の計測結果と解析

#### 5. 田蓑神社鳥居の考察

5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

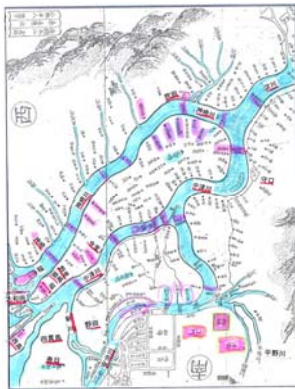
- 5-4. 西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

- 6-1. 西淀川区の地域環境
- 6-2. 西淀川区にある田蓑神社の調査要約

## 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、田蓑神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査平成 22(2010)年報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。田蓑神社は、西淀川区の最東端に位置し、区内神社内では北端神社で、標高 0m、緯度 34°43'07"N; 経度 135°26'54"にある。田蓑神社の場所は、大阪市の西部東部は海岸に位置し、標高(1m)で、大阪市西淀川佃 1-18-14 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない。新淀川と交差する旧中津川が接近した位置にあり、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、増修大坂大絵図の寛政 9(1797)年、写真 1 の中央は、田蓑神社の位置図、写真 1 の右は、田蓑神社の社殿である。



増修大坂大絵図の寛政 9 (1797)年

西淀川区位置図、②田蓑神社

田蓑神社社殿。建築様式は住吉造

### 写真 1. 大阪市西淀川区にある田蓑神社の位置と本殿

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。田蓑神社と行政との関連歴史の結果は、①貞観 11(869)年に鎮座、当初は「田蓑嶋神社」と言われた。②寛保元(1741)年に、「住吉神社」と改名、明治元(1868)年に「田蓑神社」現在に至る。③天照皇大神の兄神に当たる表筒之男命・中筒之男命・底筒之男命の三柱。④神功皇后が三韓(馬韓・辰韓・弁韓の国)征討へ赴く時、三韓の王等を降伏させて、国に戻る途中、田蓑嶋に立ち寄って勝ち戦を祝った。⑤天正 14(1586)年、家徳川康がこの地に立ち寄り、池田市多田神社に参詣時、田蓑嶋の漁民らが漁船をつかって、神崎川の渡船を勤めた。漁業の一方、田も作れと命じ、それを機に田蓑嶋を佃と改め、寛永 8(1631)年、田蓑嶋神社内に、徳川家康も奉られることになった。⑥現在、東京都中央区佃にある住吉神社である。



さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22(2010)年夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区田蓑神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2. 神社の 4ヶ国語(日英韓中)由来

### 2-1. 田蓑神社の日文由来

貞観 11(869)年 9 月 15 日に鎮座(ちんざ)、当初は「田蓑嶋(たみのしま)神社」と言われた。その後、寛保元(1741)年 9 月に、「住吉神社」と改名し、さらに明治元(1868)年に「田蓑神社」となって現在に至る。

この神社は「住吉の四柱」として知られている。元は、伊邪那岐(いざなぎ)大神の子で、伊勢神宮の天照皇大神(あまてらすおおみかみ)の兄神に当たる表筒之男命(うわつつのおのみこと)・中筒之男命(なかつつのみこと)・底筒之男命(そこつつのおのみこと)の三柱である。そこへ、神功(じんぐう)皇后が三韓(馬韓・辰韓・弁韓の国)征討へ赴く時、住吉三神を守り神とし、三韓の王等を降伏させて、国に戻る途中、この田蓑嶋に立ち寄って勝ち戦を祝った。後に、この三柱に、神功皇后自身も加わって四柱となり、「住吉の四柱の大神」と言われるようになった。その時の船の鬼板が神宝として今も祀(まつ)られている。

また、この神社は徳川家康とも深い縁がある。天正 14(1586)年、家康がこの地に立ち寄り、多田の廟(現在、池田市多田神社)に参詣の時、田蓑嶋の漁民らが漁船をつかかって、神崎川の渡船を勤めた。その縁により、漁民らには「全国どこで漁をしてもよし、また、税はいらない」という特別のごほうびが与えられた。さらに、漁業の一方、田も作れと命じられた。それを機に田蓑嶋を佃と改め、寛永 8(1631)年、田蓑嶋神社内に、徳川家康も奉られることになった。

さらに、天正 18(1590)年 8 月 1 日、徳川家康が関東へ下った時に、佃の人ら 33 名と田蓑嶋神社宮司、平岡正太夫の弟、権太夫好次が住吉四神の分神霊を奉戴して、安藤対馬守、石川大隅守の邸内に一時奉祭した。寛永年間に鉄炮洲(現在佃嶋)の地をいただき、大阪の佃と同じ名を付け、住吉大神の社地を定めた。正保 3(1646)年 6 月 29 日、住吉の四柱大神と徳川家康の霊を祭った。現在、東京都中央区佃にある住吉神社である。(表 1)(「平成祭礼資料」から一部修正)

表 1. 大阪市西淀川区、田蓑神社の詳細資料

御祭神	住吉四柱大神(表筒男命、中筒男命、底筒男命、神功皇后)		
キーワード	伊勢神宮の天照皇大神、神功皇后、三韓征討、徳川家康		
鎮座地	555-0001 西淀川区佃 1-18-14	神社創建	貞観 11(869)年
電話番号	06-6471-5416	Fax 番号	06-6471-5059
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html</a>		
交通手段	阪神電車「千船駅」北へ 700m 徒歩 10 分		

### 2-2. 田蓑神社の英文由来

#### (History of the Tamino Shrine Founded in 869 (Jogan 11))

This shrine was finished on the 15th of September in 869 (Jogan 11). In the beginning it was called the Taminoshima Shrine. Then in September 1741 (Kampo 1) its name was changed to be called the Sumiyoshi Shrine. The name was still changed in 1868 (Meiji 1) and now it is the Tamino Shrine. The

shrine is well known for the Four Pillars of Sumiyoshi. In the origin, the number of the Pillars was three, namely Uwatsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto and Sokotsutsu-no-Onomikoto, elder brothers of Amaterasu-Omikami worshipped in the Ise-Jingu Shrine.

They were children of Izanagi-no-Okami. Afterward the Empress Jingu, when she was going to subjugate the Three-Kans, Ba-Kan, Shin-Kan and Ben-Kan, chose the Sumiyoshi's Three Pillars as her guardian deities. After subjugating the Three-Kans' kings, on the way home, the Empress stopped and celebrated her victory at the Taminoshima Shrine. After a certain time, she herself was added to the Pillars, so the shrine was nicknamed "Sumiyoshi's Four Pillars." One of her warship's boards is still worshipped as a sacred treasure.

The shrine is also strongly related to Ieyasu Tokugawa. In 1586 (Tensho 14), he dropped at the site and visited the Tada Mausoleum which is the present Tada Shrine in Ikeda City. The fishermen of Taminoshima advised him to cross the Kanzaki River using their fishing boat. This offer brought the fishermen a special permission according to which they could fish anywhere in Japan and might not pay any tax. Ieyasu also said that they should lay out rice fields instead of depending only on fishing. After this event, the name of Taminoshima was changed to be called Tsukuda, and in 1631 (Kan'ei 8) Ieyasu was also deified inside the Taminoshima shrine.

Moreover, when Ieyasu moved to the Kanto region on the 1st of August in 1590 (Tensho 18), 33 people from Tsukuda, the director of the Taminoshima shrine, Shodayu Hiraoka's brother and Yoshitsugu Gondayu received another self of the Spirit and set it up temporarily inside the residences of Ando Tsusima-no-kami and Ishikawa Osumi-no-kami. During the Kan'ei era, Ieyasu gave Tepposu, present Tsukudajima, to the inhabitants. These people named it Tsukuda, the same name as Tsukuda of Osaka, and they determined the limits of the Sumiyoshi-no-Okami Shrine. On the 29th of June in 1646 (Shoho 3), they held a ceremony for the repose of Sumiyoshi's Four Pillars as well as Ieyasu Tokugawa. At present, the Sumiyoshi Shrine is in Tsukuda, Chuo Ward, Tokyo Prefecture. We partially adapted the information from *Heisei's Festivals Data*. (表 2)

表 2. 大阪市西淀川区、田養神社の詳細資料(和英翻訳)

(Table2. Details on the Tamino Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City)

Worshipped Gods	The Four Pillars of Sumiyoshi (Uwatsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Sokotsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu)		
Key Words	Amaterasu-Omikami, the Empress Jingu, the subjugation of the Three Kans, Ieyasu Tokugawa		
Site	555-0001,1-18-14,Tsukuda, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	869 (Jogan 11)
Telephone	06-6471-5416	Fax	06-6471-5059
Websites	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html</a>		
Access	700 meters (10 minutes' walk) north of "Chihune Station" on the Hanshin Line		

### 2-3. 田養神社の韓文由来 (타미노신사의 유래 창건 점관 11(869)년)

점관 11(869)년 9 월 15 일에 모셔졌다. 당초는 「타미노신사」로 불리웠다. 그 후, 「스미요시신사」로 개명된 후 메이지 원년(1868)에 「타미노신사」가 되어 현재에 이르고 있다.

이 신사는 「스미요시의 사주」로 알려져 있다. 원래는, 이자나기대신의 아들로, 이세신궁의 천조황대신의 형에 해당하는 우와쯔쯔의 오노미고토·나까쯔쯔의 오노미코토·소코쯔쯔노 오노미코토의 3 주이다. 그곳에 진구황후가 3 한(마한·진한·변한국)정벌에 나섰을때 스미요시 3 신을 수호신으로 해, 삼한의 왕을 정복시켜 나라로 돌아오던 중, 이 타미노시마에 들러 승리를 축하했다. 그후, 이 삼주에 진구황후자신도 더해져서 4 주가되고 「스미요시 4 주대신」으로 불리워지게 되었다. 그 당시의 배의 귀관이 신물로서 지금도 모셔지고 있다.

또한, 이 신사는 도쿠가와이에야쓰와도 깊은 인연이 있다. 천정 14(1586)년, 이에야쓰가 이곳에들러 타다의묘(현재, 이케다시 타다신사)에 참배할때, 타미노시마의 어민들이 어선을 사용해 카자카강에 나룻배를 띄워 건너게 했다. 이 인연에 의해 어민들은 「진국 어디서든 고기잡이를 해도 좋고 세금은 필요없다」라는 특별한 포상이 주어졌다. 더욱이, 어업뿐만 아니라 논도 경작하라는 명이 내려졌다. 그것을 기회로 타미노시마를 쓰쿠다로 개명하고, 1631 년 타미노시마 신사내에 도쿠가와이에야쓰도 모셔지게되었다.

더욱이, 천정 18(1590)년 8 월 1 일, 두쿠가와이에야쓰가 관동으로 내려갔을때 쓰쿠다의 사람 33 명과 타미노시마 신사의 공사인 히라오카의 남동생 곤다유요시쯔구가 스미요시 4 신의 분신령을 봉헌하여 안도 쓰시마누카미, 이시카와 오수미노카미의 저택내에 일시적으로 모시게되었다. 칸에이 연간에 텃포수(현재 쓰쿠다시마)의 영토를 받아 오사카의 쓰쿠다와 같은 이름을 붙여 스미요시 대신의 사지로 정하고 세호 3(1646)년 6 월 29 일, 스미요시의 사주대신과 도쿠가와이에야쓰의 영혼을 제사지냈다. 현재, 도쿄도 중앙구 쓰쿠다에 있는 스미요시 신사다(표 3).

表 3. 大阪市西淀川区、田蓑神社の詳細資料(和韓翻訳)  
(표 3. 오사카시 니시 요도가와구, 타미노신사의 상세 데이터)

모시는 신	스미요시사대신(우와쯔쯔노 오노미고토, 나까쯔쯔노 오노미코토, 소코쯔쯔노 오노미코토, 진구황후)		
키워드	이세신궁의 천조황대신, 진구황후, 삼한정도, 도쿠가와이에야쓰		
진좌지	555-0001 니시요도가와구 쓰쿠다 1-18-14	신사창건	점관 11(869)年
전화번호	06-6471-5416	Fax 번호	06-6471-5059
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html</a>		
교통수단	한신전철「치부네역」북쪽으로 700m 도보 10 분		

#### 2-4. 田蓑神社の中文由来 (田蓑神社的由来 贞观 11(869)年创建)

本神社建于贞观 11(869)年 9 月 15 日, 当时叫做田蓑嶋神社. 之后于宽保元(1741)年 9 月更名为住吉神社, 后又在明治元(1868)年改为田蓑神社, 沿用至今.

这座神社作为“住吉 4 柱”广为人知. 本来, 神社只供奉着伊邪那岐大神的儿子, 伊势神宫的天照大神的兄神——表筒之男命, 中筒之男命, 底筒之男命这三柱神. 关于第四柱的来历, 据说神功皇后在前往征讨三韩的时候, 曾把住吉三神当做守护神. 后来打败了三韩之王, 凯旋归来的途中, 在田蓑嶋举行了庆祝, 之后, 在这三柱神之上加上了神宫皇后自身, 成为了第四柱神. 从此便被称为“住吉的四柱大神”. 那时候战船上的木板也被作为神的宝物供奉在这里.

这座神社还和德川家康有着很深的缘分. 天正 14 年, 家康来到田蓑嶋多田庙参拜的时候, 因使用了田蓑嶋渔民的渔船渡过神崎川. 此后, 这里的渔民们得到了特别的优待, 全国任何地方的鱼都可以捕捞, 并不用课税. 而且, 除了渔业, 渔民们还被命令种田. 借此契机, 之后田蓑嶋被改为了耕地. 宽永 8(1590)年, 田蓑神社开始供奉德川家康.

此外, 天正 18(1590)年 8 月 1 日, 德川家康下关东的时候, 当地佃农 33 人和田蓑神社宫司(神社的最高神官), 平冈正太夫的弟弟, 权太夫好次一同, 奉戴了住吉四神的分神灵. 一时供奉于安藤对马守, 石川大隅守的府内.

田蓑嶋在寛永年間得到鉄炮洲(現在佃嶋)封地。和大阪の耕地取同名。并定为住吉大神的社地。正宝 3(1646)年 6 月 29 日。神社祭奠了住吉的四柱大神和徳川之灵。现在, 在东京都中央区有座住吉神社。(表 4)(选自平成祭祀资料, 一部分有修改)

表 4.大阪市西淀川区、田蓑神社の詳細資料(和中翻訳)  
(表 4. 大阪市西淀川区, 田蓑神社详细资料)

祭神	住吉四柱大神(底筒男命, 中筒男命, 上筒男命, 神功皇后)		
关键词	伊勢神宮の天照大神, 神功皇后, 三韓征討, 徳川家康		
供奉地	555-0001 西淀川区佃 1-18-14	创建年	貞観 11(869)年
电话号码	06-6471-5416	Fax 传真	06-6471-5059
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_02_nisiyodogawa_taminoi.html</a>		
交通手段	乘阪神電車“千船站”下車, 往北行 700 米 徒歩 10 分		

### 3. 田蓑神社鳥居の模型制作と構造観察

#### 3-1. 田蓑神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神靈として鳥を招く意味である。構造は 2 本柱に 2 本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の 9 部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき)・素木(しらき)は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2 本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の 9 部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稻荷(いなり)・台輪(だいわ)は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所台輪がある特

徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている(写真2上左と下)。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は巖島神社・気比神社等である。

写真2は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、田蓑神社にある鳥居の測量値から20分の1に縮小にした製作品である。



正面鳥居の構造は明神系



正面鳥居の模型



西門鳥居の構造は明神系



金比羅神社横鳥居の構造は明神系



稲生神社鳥居の構造は明神系



裏門鳥居の構造は明神系

## 写真2. 田養神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 田養神社鳥居の構造観察

表5は田養神社鳥居の構造観察を行った写真2からも理解でき、次のように要約できる。①反り増し(そりまし)の有は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居で、無は稲生神社鳥居である。②島木(しまぎ)の角型曲線の有は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居で、円形直線は稲生神社鳥居である。③台輪(だいわ)は、すべて無である。④楔(くさび)の有は、金比羅神社鳥居、稲生神社鳥居、裏門鳥居であり、無は正面鳥居、西門鳥居である。⑤額束(がくづか)は、有である。⑥貫(ぬき)四角外側は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居であり、四角・内側は裏門鳥居である。⑦根巻・藁座(わらざ)の有は、正面鳥居、西門鳥居で、無は金比羅神社鳥居、稲生神社、鳥居裏門鳥居である。⑧亀腹・饅頭(かめはら)有は、全鳥居にある。表5は、大阪市西淀川区、田養神社鳥居の構造観察を表示した(表5)。

表5. 大阪市西淀川区、田養神社鳥居の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・藁座	亀腹・饅頭	構造
正面鳥居	角型曲線	角型曲線	無	無	有	四角外側	有	有	明神系鳥居
西門鳥居	角型曲線	角型曲線	無	無	有	四角外側	有	有	明神系鳥居
金比羅神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
稲生神社鳥居	無	円形直線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
裏門鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角内側	無	有	明神系鳥居

構造と観察から本鳥居の類似点を考察した。すなわち、田養神社鳥居の構造観察の結果、それぞれの特徴を有と無で確認でき、次のような事項が見られた。①正面鳥居と西門鳥居では、反り増し、額束、根巻・藁座、亀腹・饅頭があり、島木は角型曲線で、台輪、楔は無で、貫は四角外側で、構造は明神系鳥居である。②金比羅神社鳥居と裏門鳥居では、反り増し、楔、額束と亀腹・饅頭があり、台輪と亀腹・饅頭が無で、島木は角型曲線で、貫は四角外側で、構造は明神系鳥居である。③稲生神社鳥居では、楔、額束と亀腹・饅頭はあり、反り増し、台輪と根巻・藁座は無で、島木は円形直線で、貫は四角外側で、構造は明神系鳥居である。

## 4. 田養神社鳥居の計測結果と解析



田蓑神社鳥居は5基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。田蓑神社の5鳥居の測量値と建立年代は、次の通りである。①正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.38m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.12m、頂点4.53m)、高さは区内上位。永正8(1511)年建立。②西門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.22m、柱内側幅1.61m、高さ(笠木上点2.62m、頂点2.72m)、建立は不明。③金比羅神社横の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.95m、高さ(笠木上点3.15m、頂点3.26m)、境内社入り口の鳥居。昭和62(1987)年建立。④稲生神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.22m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.87m、頂点2.99m)、昭和59(1984)年建立。⑤裏門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.34m、柱内側幅2.71m、高さ(笠木上点3.86、頂点4.08m)。他の神社から移動してきた基である。

表6は、大阪市西淀川区、田蓑神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表6. 大阪市西淀川区、田蓑神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.19	0.38	3.05	3.43	3.13	3.41	3.97	4.12
金毘羅神社鳥居	0.78	0.25	1.95	2.20	2.44	2.65	3.03	3.15
稲生神社鳥居	0.69	0.22	1.78	2.00	2.12	2.31	2.63	2.87
裏門鳥居	1.07	0.34	2.71	3.07	2.94	3.22	3.71	3.86
西門鳥居	0.69	0.22	1.61	1.84	2.03	2.20	2.53	2.62
最大値	1.19	0.38	3.05	3.43	3.13	3.41	3.97	4.12
平均値	0.88	0.28	2.22	2.51	2.53	2.76	3.17	3.32
最小値	0.69	0.22	1.61	1.84	2.03	2.20	2.53	2.62

田蓑社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったのである。ベスト10にある鳥居の高さとして、柱直径・貫上高さ・笠木上高さは2基で、柱間幅は1基である。平均貫下高さと平均貫上高さは、2.53mと2.76mである。この値により算術すると貫の厚さは、0.23mである。平均笠木下高さと平均笠木上高さは、3.17mと3.32mである。この値により算術すると笠木の厚さは、0.15mである。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。

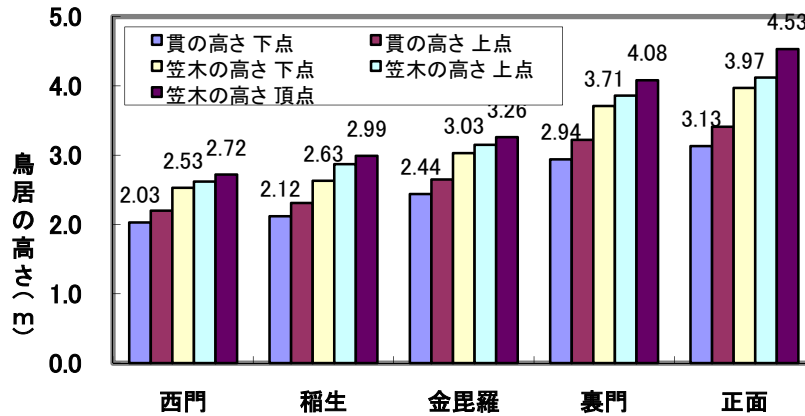
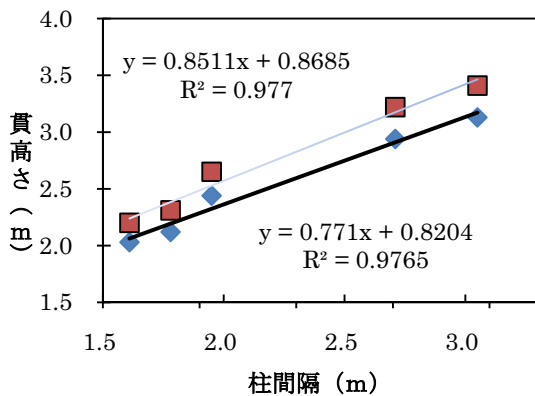


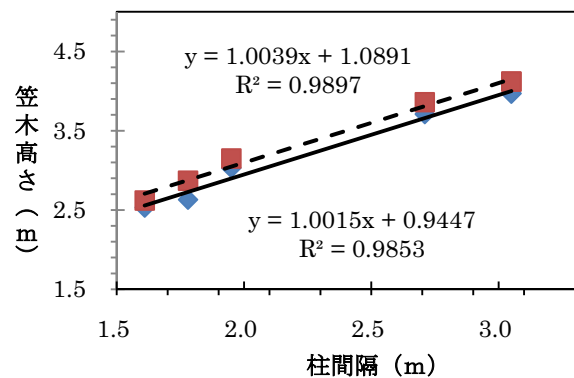
図 1. 田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

平均貫下高さは 2.53m(計測値)と 9.1 直径の高さは 2.55m(計算値)で、誤差は -0.02m(2cm)である。平均貫上高さは 2.76m(計測値)と 9.9 直径の高さは 2.77m(計算値)で、誤差は -0.01m(1cm)である。平均笠木下高さは 3.17m(計測値)と 11.2 直径の高さは 3.14m(計算値)で、誤差は 0.07m(7cm)である。平均笠木上高さは 3.32m(計測値)と 11.8 直径の高さは 3.30m(計算値)で、誤差は 0.02m(2cm)である。

図 1 は、表 6 から田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間隔は 1.61~3.05m の範囲で、平均 2.22m である。貫高さは、下点の範囲(2.03~3.13m、平均 2.53m)と上点の範囲(2.20~3.41m、平均 2.76m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.53~3.97m、平均 3.17m)と上点の範囲(2.62~4.12m、平均 3.32m)と頂点の範囲(2.72~4.53m、平均 3.52m)である。図 2 は、田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。



田蓑神社鳥居の柱間幅と貫高さとの関係



田蓑神社鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 2. 田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、田蓑神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ: 上}) = 0.851(\text{柱間幅}) + 0.869 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.977) \quad \dots\dots(1)$$

$$Y(\text{貫高さ: 下}) = 0.771(\text{柱間幅}) + 0.820 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.977) \quad \dots\dots(2)$$

田蓑神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式1と式2の勾配は、それぞれ0.851と0.771である。式1と式2の決定係数は、それぞれ0.977と0.977である。式1の決定係数は、式2と同じ値である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図2右は、田蓑神社鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和である)に計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ:上}) = 1.004(\text{柱間幅}) + 1.089 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.990) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ:下}) = 1.002(\text{柱間幅}) + 0.945 \dots \text{決定係数 } R^2 = 0.985) \dots \dots \dots (4)$$

田蓑神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式3と式4の勾配は、それぞれ1.004と1.002である。式3と式4の決定係数は、それぞれ0.990と0.985である。式3の勾配と決定係数は、式4のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

西淀川区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図3)。区内の神社鳥居の建立年は、田蓑神社正門の永正8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成7(1995)年1月17日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は8基である。8基の内容は、五社神社が6基、大和田住吉神社が1基、大野百鳥住吉神社が1基である。田蓑神社の鳥居は図3の枠線に囲まれている。

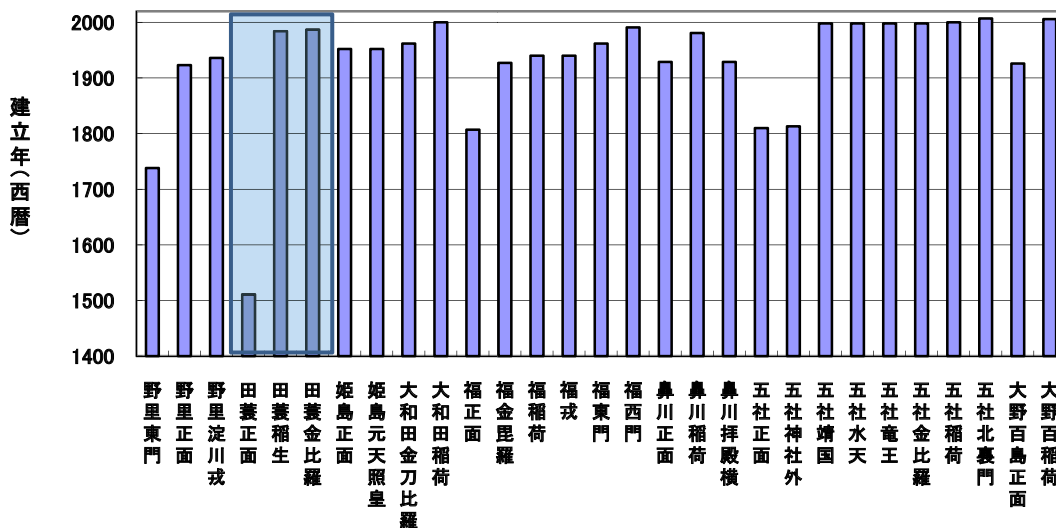


図3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため29基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800年前では2基、1800年代では

3基、1900年代の前半では8基、および1900年代の後半では16基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよのごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は1500年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには次のような資料から認識できる。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。住民の誠意ある努力と奉仕によって再建されたものもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要であると痛感する。

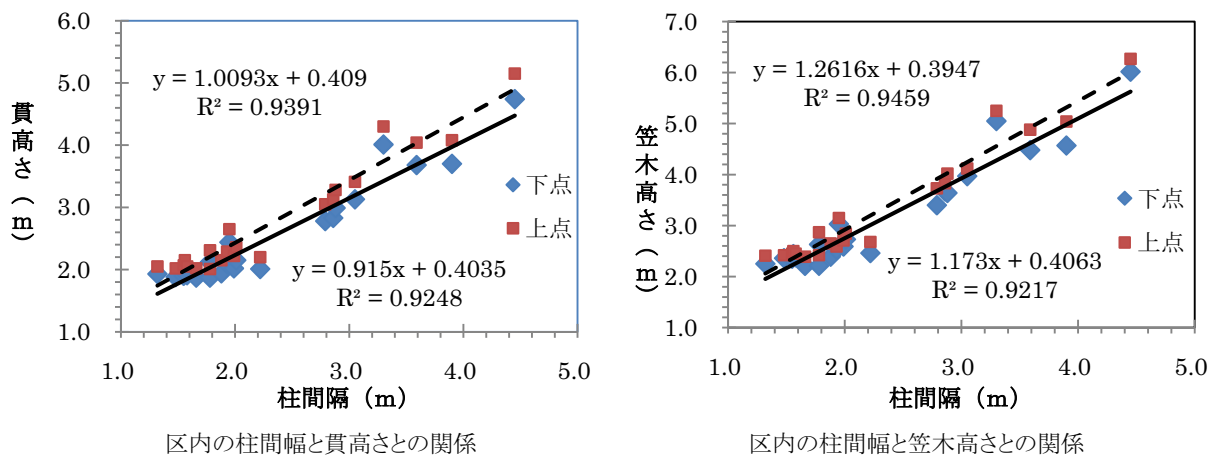


図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

柱間幅は1.32～4.45mの範囲で、平均2.34mである。貫高さは、下点の範囲(1.87～4.74m、平均2.55m)と上点の範囲(2.01～5.15m、平均2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～6.02m、平均3.15m)と上点の範囲(2.39～6.27m、平均3.35m)である。図4は区内の柱間幅(X軸)に対する貫と笠木高さ(Y軸)との関係を表示した。

図4左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と貫下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9Dに計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \cdots \cdots (5)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \cdots \cdots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式5と式6の勾配は、それぞれ1.009と0.915である。式5と式6の決定係数は、それぞれ0.939と0.925である。式5の勾配と決定係数は、式6のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図4右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和

である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

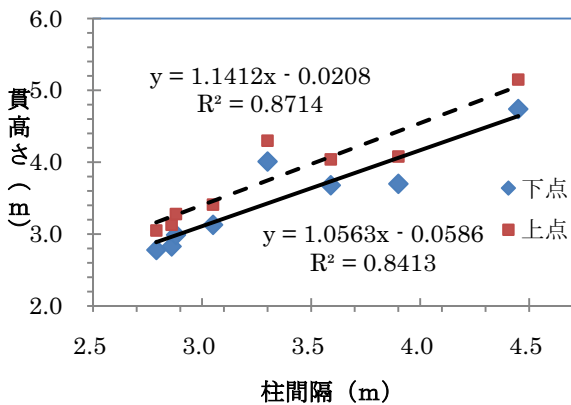
$$Y \text{ 笠木下} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \cdots \cdots (8)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

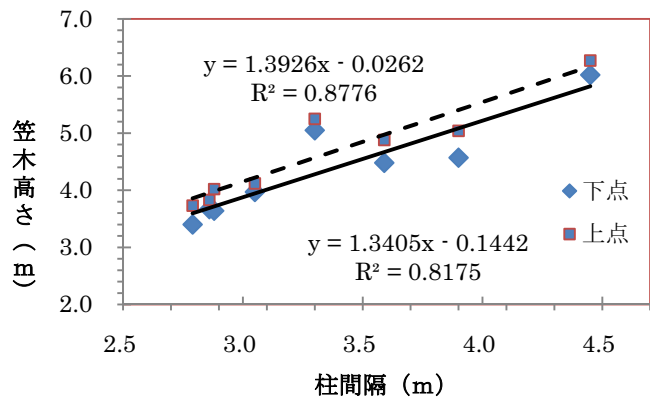
### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、田蓑神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・大和田住吉神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79~4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78~4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05~5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40~6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73~6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。田蓑神社正面鳥居において、柱間隔は 3.05m、貫高さは、下点 3.13m、上点 3.41m である。笠木高さは、下点 3.97m、上点 4.12m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係



区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 5 左は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \cdots \cdots (9)$$

$$Y \text{ 貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \cdots \cdots (10)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式9と式10の勾配は、それぞれ1.141と1.056である。式9と式10の決定係数は、それぞれ0.871と0.841である。式9の勾配と決定係数は、式10のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図5右は、西淀川区正面鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和である)に計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$$

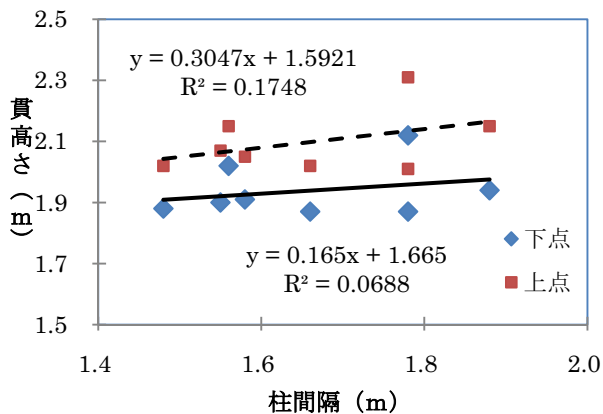
$$Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式11と式12の勾配は、それぞれ1.393と1.341である。式11と式12の決定係数は、それぞれ0.878と0.818である。式11の勾配と決定係数は、式12のより大きい値である。

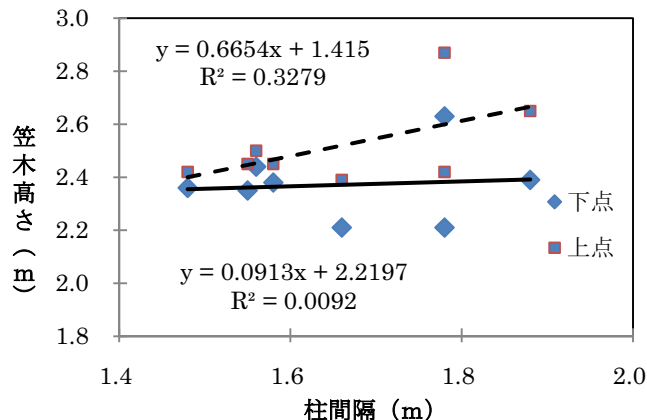
#### 5-4. 西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百島の平成18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は1.48~1.88mの範囲で、平均1.66mである。貫高さは、下点の範囲(1.87~2.12m、平均1.94m)と上点の範囲(2.01~2.31m、平均2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~2.63m、平均2.37m)と上点の範囲(2.39~2.87m、平均2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図6)。田蓑神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は1.78m、貫高さは、下点2.12m、上点2.31mである。笠木高さは、下点2.63m、上点2.87mである。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係



稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係



図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \cdots \cdots (13)$$

$$Y \text{ 貫下} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (15)$$

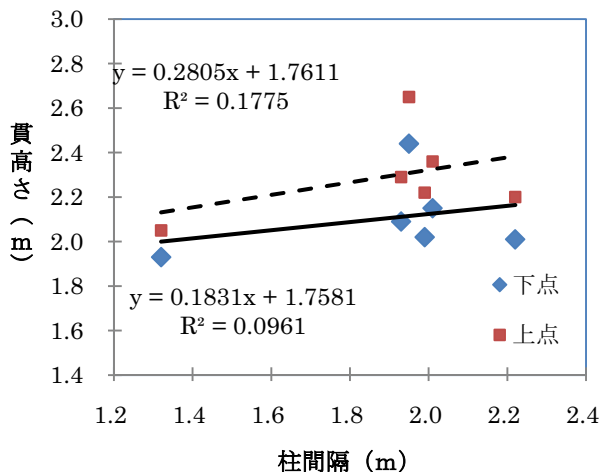
$$Y \text{ 笠木下} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \cdots \cdots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

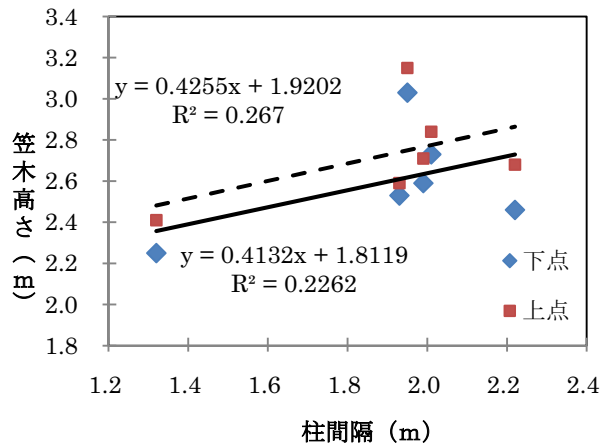
## 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社昭和 2(1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32～2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93～2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05～2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25～3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41～3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している(図 7)。田蓑神社金毘羅神社系鳥居において、柱間隔は 1.95m、貫高さは、下点 2.44m、上点 2.65m である。笠木高さは、下点 3.03m、上点 3.15m である。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

## 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 8 に表示している。この図 8 における左側のプロット数は、西淀川区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方へシフトしていることが分かる。地域の

区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4～5 倍であることが確認された。

外山晴彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、全国鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係を図示した(図 8)。

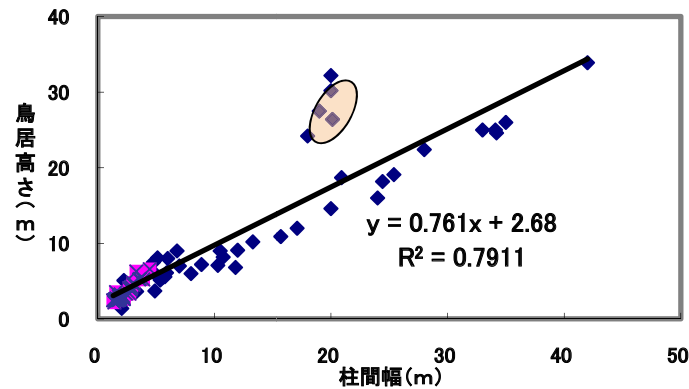


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

### 6-1. 西淀川区の地域環境

日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、 $34^{\circ}42'33''\text{N}$ と $135^{\circ}28'15''\text{E}$ で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、 $34^{\circ}42'23''\text{N}$ と $135^{\circ}25'57''\text{E}$ で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、 $34^{\circ}41'13''\text{N}$ と $135^{\circ}25'05''\text{E}$ で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、 $34^{\circ}43'59''\text{N}$ と $135^{\circ}26'57''\text{E}$ で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香蓑・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある田蓑神社の調査要約

大阪市西淀川区、田蓑神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 田蓑神社の創建は貞観 11(869)年で、鳥居建立は 1511 年～1987 年間である。
2. 田蓑神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 田蓑神社鳥居の構造観察の結果、それぞれの特徴が見られ、構造と観察から本神社の鳥居と他鳥居のとの類似点を考察した。すなわち、反り増しの有は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居で、無は稲生神社鳥居である。島木の角型曲線の有は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居で、円形直線は稲生神社鳥居である。台輪は、すべて無である。楔の有は、金比羅神社鳥居、稲生神社鳥居、裏門鳥居であり、無は正面鳥居、西門鳥居である。額束は、有である。貫四角外側は、正面鳥居、西門鳥居、金比羅神社鳥居、裏門鳥居であり、四角・内側は裏門鳥居である。根巻・藁座の有は、正面鳥居、西門鳥居で、無は金比羅神社鳥居、稲生神社、鳥居裏門鳥居である。亀腹・饅頭有は、全鳥居にある。
4. 田蓑神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、

笠木の厚さより厚くなっている。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 田蓑神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

6. 鳥居全体、正面大鳥居、稲荷神社と金比羅神社の回帰分析を行った。その特徴は次のように解析できる。

笠木上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.393)が大きく、決定係数は区内全体(0.946)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{笠木上}} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \dots \dots \dots (7)$

正面鳥居  $Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$

稲荷神社  $Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (15)$

金比羅神社  $Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$

笠木下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.341)が大きく、決定係数は区内全体(0.922)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{笠木下}} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \dots \dots \dots (8)$

正面鳥居  $Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$

稲荷神社  $Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \dots \dots \dots (16)$

金比羅神社  $Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$

貫上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.141)が大きく、決定係数は区内全体(0.939)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \dots \dots \dots (5)$

正面鳥居  $Y_{\text{貫上}} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$

稲荷神社  $Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \dots \dots \dots (13)$

金比羅神社  $Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$

貫下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.056)が大きく、決定係数は区内全体(0.925)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \dots \dots \dots (6)$

正面鳥居  $Y_{\text{貫下}} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$

稲荷神社  $Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (14)$

金比羅神社  $Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある田蓑神社の平岡努宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和韓の翻訳には金世徳博士・朴永昊博士、和中の翻訳には、富田和広教授・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、石田信也建築士、NPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010年12月1日受稿、2010年12月25日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年

- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『 神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:『 鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 5) 梨本敬法他:『 これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『 よくわかる！ 神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『 神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『 日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『 図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『 神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『 卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>、2010 年
- 13) 沢勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 15) 沢 勲・石田信也・朴永晙:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・富田和広・北川和孝:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永晙:「大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年



# 大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居

## — 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・石田 信也\*\*・朴 永旻\*\*\*

(洞窟環境 NET 学会会長\*・一級建築士事務所 ADE 所長\*\*・コリア国際学園学術博士\*\*\*)

### History of the Himejima Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Shinya ISHIDA \*\*・Yong-Kyung PARK\*\*\*

#### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Himejima Shrine in 4-14-2, Himejima, Nishi-Yodogawa Ward, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Himejima Shrine is uncertain.

Erection of the torii in Nishi-Yodogawa-ku has gone from 1511 to 2007. The number of torii in the Himejima Shrine is six sets. The erection generation of the torii in the Himejima Shrine is 1952.

Worshipped Gods of the Himejima Shrine is Akaruhime-no-Mikoto and Sumiyoshi-no-Okami. Key Words of the Himejima Shrine is the Emperor Ojin's era, the goddess Akaruhime and, the Warring States period and Man'yo-shu. The origin of the Himejima Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese).

Data of the torii environment that existed in the Himejima Shrine was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in Nozato-Sumiyoshi Shrine is 2.77m ranges from 6.29m.

キーワード: 応神天皇の時代、女神(アカルヒメ)、戦国時代、万葉集

Keywords: the Emperor Ojin's era, the goddess Akaruhime, the Warring States period, Man'yo-shu  
[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

#### 目次

##### 1. はじめに

##### 2. 姫嶋神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 姫嶋神社の日文由来                      2-2. 姫嶋神社の英文由来

2-3. 姫嶋神社の韓文由来                      2-4. 姫嶋神社の中文由来

##### 3. 姫嶋神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 姫嶋神社鳥居の写真と模型製作    3-2. 姫嶋神社鳥居の構造観察

##### 4. 姫嶋神社鳥居の計測結果と解析

##### 5. 姫嶋神社鳥居の考察

5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立              5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

5-4. 西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

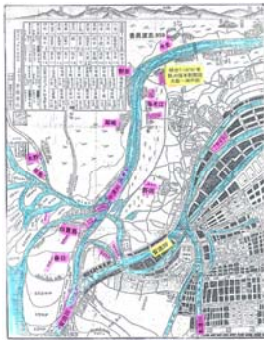
## 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

### 6. おわりに

#### 6-1. 西淀川区の地域環境 6-2. 西淀川区にある姫嶋神社の調査要約

## 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、姫嶋神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査平成 22(2010)年報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。姫嶋神社の鎮座地は、は、西淀川区の約東南部に位置し、標高 0m、緯度 34°42'16"N;経度 135°27'12"にある。場所は、行政上は大阪市西淀川区姫島 4-14-2 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない。新淀川と交差する旧中津川が接近した位置にあり、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、大阪市中地区町名改正絵図、明治 8(1885)、写真 1 の中央は、姫嶋神社の位置図、写真 1 の右は、姫嶋神社の社殿である。



大阪市中地区町名改正絵図、明治 8(1885)



姫嶋神社位置は③番



姫嶋神社の社殿 建築様式は住吉造

### 写真 1. 大阪市西淀川区にある姫嶋神社の位置と本殿

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

生駒山の東斜面の中腹に、岩塊の突起物がある。古代の大和には火山が多く、若草山、春日山、大和三山は火山活動を起こした。現在、般若窟として生駒宝山寺に祀られる岩塊の突起は、1600 万年～2000 万年前の火山の噴火活動の名残である。単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。姫嶋神社と行政との関連歴史の結果は、①「応神天皇の時代に新羅の女神が、今の分県・姫島にしばらくいた。②新羅から遠く離れていない、今の大阪に移り住んだ、もといた所の名をとって比売島(ひめしま)と名付けた。③姫島は、女神(アカルヒメ)がとどまった比売島(みめしま)が、この地にあたる。④昔、木綿織が盛んで、女性は三幅前掛(みはば)をしてよく働いたといい、機織(はたおり)の技術や三幅前掛は、戦国時代とされ、史実とは異なる。⑤阿迦留姫命(あかるひめのみこと)が、産土神(うぶすながみ:土地の守り神)として大切に祀(まつ)られてきた。⑥祭神は阿迦留姫命と住吉大神である。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22(2010)年夏、西淀川区民祭りにおい

て中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2. 神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

### 2-1. 姫嶋神社の日文由来

『撰津国風土記(せつのくにふどき)』逸文によると、「応神(おうじん)天皇の時代に新羅(しらぎ: 古代朝鮮の国名)の女神が、夫のもとを逃れて筑紫(ちくし)国の伊波比の比売島(いわいのみめしま: 今の大分県・姫島)にしばらくいた。が、ここは、まだ新羅から遠く離れていないので、きっと夫が追いかけてくるにちがいないと思い、摂津(今の大阪)に移り住んだ。そして、もといいた所の名をとって比売島(ひめしま)と名付けた」とである。

姫島は、女神(アカルヒメ)がとどまった伊波比の比売島(いわいのみめしま)が、この地にあたると伝えられ、古老の話によると、その「ヒメ」がなまって「ヒュ(稗)島」と呼ばれ、「ヘジマ」と変化していったという。また、この地は昔、木綿織が盛んで、女性は三幅前掛(みはばまえかけ: 女性が労働用に使った幅の広い前掛け)をしてよく働いたといい、この機織(はたおり)の技術や三幅前掛は「アカルヒメ」が伝えたと言われている。

ただし、大阪で木綿織が始まったのは、戦国時代とされ、史実とは異なるが、このような伝承が残っているのも、この地の人々に阿迦留姫命(あかるひめのみこと)が産土神(うぶすながみ: 生まれた土地の守り神)として大切に祀(まつ)られてきたからであろう(以上、神社から一部修正)。

一方、ホームページによると、祭神は阿迦留姫命と住吉大神。古代淀川の河口にできたデルタを難波八十島(やそしま)と総称し、その頃から「ヒメジマ」の地名があったことはよく知られている。古事記によると、旧新羅の王子である天の日矛(ひほこ: 旧名朴。日本に帰化)の妻である阿迦留姫が、夫の虐待にたえかねて難波の地に逃げてきたことが記されており、それが姫島の発祥だとも伝えられている。祭神の「阿迦留姫」と「アカルヒメ族」とでも呼ぶべき部族が朝鮮半島から難波の姫島へ移動していた。大阪湾一帯は、この部族の渡来によって開け始めていったとの説もある。万葉集にも姫島に関する歌がある。すなわち、「妹が名は千代に流れむ姫島の小松がうれにこけむすまでに」である。(表 1)

表 1. 大阪市西淀川区、姫嶋神社の詳細資料

御祭神	阿迦留姫命、住吉大神		
キーワード	応神天皇の時代、女神(アカルヒメ)、戦国時代、万葉集		
鎮座地	555-0033 西淀川区姫島 4-14-2	神社創建	不詳
電話番号	06-471-5230	Fax 番号	06-6471-5238
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html</a>		
交通手段	阪神本線「姫島駅」南西 200m		

### 2-2. 姫嶋神社の英文由来

#### (History of the Himejima Shrine Whose Foundation Date is Unknown)

An anecdote in *The Description of the Settsu Province* says, “During the Emperor Ojin’s era, a Korean goddess from Shiragi, one of Korea’s old states, escaped from her husband and stayed temporarily on Iwai-no-Mimeshima (the present Oita Prefecture’s Himejima) in Chikushi Province. This place, however, was not far enough from Shiragi. She said to herself that her

husband surely would chase her, so she moved to Settsu Province (a part of present Osaka Prefecture). She named her new place Himeshima according to her previous address.”

There was a rumor that Himejima, a.k.a. Iwai-no-Mimeshima where the goddess Akaruhime had stayed, existed here in Settsu Province. According to an elderly person, “Himejima” was corrupted into “Hiejima” and then into “Hejima.” Also, in the old times, this locality produced lots of cotton goods and the women were quite active, wearing mibae-aprons (large aprons worn by working women). The weaving as well as the mibae-aprons was supposedly taught by Akaruhime.

However, history says that cotton weaving began during the Warring States period. Despite the difference from this historical fact, such a legend proves that Akaruhime-no-Mikoto was much worshipped as an ubusuna-gami, goddess protecting people’s native locality. In this paragraph, we partially adapted what the director of the shrine had told us. We partially adapted from shrine data.

On the other hand, according to the shrine’s website, they worship Akaruhime- no-Mikoto and Sumiyoshi-no-Okami. It is well known that the delta on the mouth of the old Yodo-River was generally called Namba-Yasoshima and that there had been already the local name of Himejima. According to *The Journal of Old Things*, Akaruhime, the wife of Ama-no-Hihoko who was the prince of Shiragi and afterward became Japanese by naturalization, could not stand her husband’s maltreatments and fled to the locality of Namba. There is a tradition that the name of Himejima originated in that fact. With the goddess Akaruhime, a tribe having the same name also moved from the Korean Peninsula to Himejima in Namba. A theory says that the district along Osaka Bay began to be developed since the arrival of this tribe. There is a tanka about Himejima in Man’yo-shu, *The Collection of Ten Thousand Leaves*. “My wife’s name will be never forgotten for one thousand years until moss covers the top of the little pine in Himejima.”(表 2)

表 2. 大阪市西淀川区、姫嶋神社の詳細資料(和英訳)

(Table2. Details on the Himejima Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City)

Worshipped Gods	Akaruhime-no-Mikoto, Sumiyoshi-no-Okami		
Key Words	the Emperor Ojin’s era, the goddess Akaruhime, the Warring States period, Man’yo-shu		
Site	555-0033, 4-14-2, Himejima, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	unknown
Telephone	06-471-5230	Fax	06-6471-5238
Websites	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html</a>		
Access	200 meters south-west of “Himejima Station” on the Hanshin Main Line		

### 2-3. 姫嶋神社の韓文由来 (히메지마신사의 유래 창건미상)

『셋츠노쿠니 풍토기』라는 글에 의하면, 「오진천황시대에 신라시대의 여신이 남편 곁을 떠나 키쿠시국의 이와이의 히메섬(지금의 오이타현·히메시마)에 잠깐동안 갔었는데, 거기는 아직 신라에서 멀리 떨어진 곳이 아니기 때문에 반드시 남편이 뒤쫓아올것이 틀림없다고 생각해 셋츠(현재의 오사카)에 옮겨 살았다. 그래서, 원래의 이름을 따서 히메섬이라고 이름붙였다」라고 한다.

히메섬은 여신(아카르공주)이 머문 이와이의 이와이노미섬이 이 지역이라고 전해진다. 옛 이야기에 따르면, 그 「공주」가 변하여 「히에섬」으로 불리어 「헤섬」으로 변화되었다고 한다. 또, 그 지역은 옛날 면직물이 번성하고 여성은 세폭 앞치마 (여성이 노동용으로 사용한 폭이넓은 앞치마)를 하고 일했다고 해, 이 면직의 기술이나 세폭 앞치마는 「아카르공주」가 전했다고 이야기 되어진다.

다만, 오사카에서 면직물이 시작된것은 전국시대로서 역사적 사실과는 다르지만 이런 전승이 남아있는것도 이 지역 사람들에게 아카류희명이 산신(태어난 토지의 수호신)으로 소중히 받아들여지게 되었다고 한다.

한편, 홈페이지에 따르면 제신은 아카류희메명과 스미요시대신이다. 고대 요도가와의 하구에 생긴 델타를 나니와야소섬이라고 총칭하고 그 무렵부터 「히메지마(공주섬)」의 지명이 있었다는 것은 잘 알려져 있다. 고사기에 따르면, 구신라의 왕자인 아메노히보코(옛성은 박. 일본에 귀화)의 처인 아카류공주가 남편의 학대에 견디기 어려워 나니와에 도망쳐왔다고 기록되어있고, 그것 이 공주섬의 시초였다고 전해지고 있다. 제신의 「아카류공주」와 「아카류공주 부족」이라고도 불리우는 부족이 조선반도로부터 나니와의 히메지마로 이동해 왔다. 오사카만 일대는 이 부족의 도래에 의해 시작되었다는 설도 있다. 만엽집에도 공주섬에 관한 노래가 있다.

즉, 「이모가나와의 이름은 천대에 흐르는 공주섬의 작은 소나무가 죽어서 썩을때까지」이다. (표 3)

表 3. 大阪市西淀川区、姫嶋神社の詳細資料(和韓訳)  
(표 3. 오가카시 니시 요도가와구, 히메지마신사의 상세 데이터)

모시는 신	아카류희명, 스미요시대신		
키워드	웅신천황의시대, 여신(아카루 공주), 전국시대, 만엽집		
진좌지	555-0033 니시 요도가와구 히메지마 4-14-2	신사창건	미상
전화번호	06-471-5230	Fax 번호	06-6471-5238
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html</a>		
교통수단	한신혼선「히메지마」남서쪽으로 200m		

#### 2-4. 姫嶋神社の中文由来 (姫嶋神社的由来 创建年不详)

根据《摄津国封土记》的章节, 在应神天皇时代, 新罗的女神, 逃离了原来的丈夫, 在筑紫国的伊波比的比卖岛(现大分县, 姬岛)短暂停留了一段时间后, 觉得这里离新罗还是不太远, 丈夫肯定还是会追来, 于是移居到了摄津(现大阪)。并取之前所在地的名字, 把摄津称作比卖岛。

据传女神曾停留过的伊波比的比卖岛, 其实就是姬嶋。据传, 那个“姬”后来被讹化成了“稗(岛)”, 最后又演化成“hejima”。(日语里面“姬”读作“hime”, 姬嶋本来应该读为“himejima”但是由于这个“hi”讹化变成了“hie(稗)”, 所以后来就变成“hejima”了)此外, 这个地方以前就盛行木棉织, 有传当地女性只要穿上三副前挂(女性劳动时使用的宽幅围裙)就会变得极其勤劳。关于此地织布机械的技术和三副前挂都被说成是“女神 akaruhime”传下来的。

但是, 在大阪, 木棉织布被普遍认为是在战国时期出现的。这和上述有所矛盾。不过像这些传承下来的东西, 就像阿迦留姬命被当地的人们作为产土神一样, 被人们悉心的供奉着。

另一方面, 从网上的资料看来, 这里供奉的神是阿迦留姬命和住吉大神。在古代淀川的河口形成的三角洲, 被称为难波八十岛。从这个时候开始, “姬嶋”这个地方开始被人们熟知。据《古事记》记载, 旧新罗王子天之日矛之妻的阿迦留姬, 传说她无法忍受丈夫的虐待, 逃到了难波这个地方。这被认为是姬嶋的发祥。当作祭神被供奉的“阿迦留姬”和“akaruhime 族”的部族从朝鲜半岛移动到了难波的姬嶋。传说大阪湾一带是根据这个部族的渡来而得到开发的。此外《万叶集》里还有关于姬嶋的诗歌。(表 4)

表 4. 大阪市西淀川区、姫嶋神社の詳細資料(和中文)

(表 4. 大阪市西淀川区、姫嶋神社详细资料)

祭神	阿迦留姫命, 住吉大神		
关键词	应神天皇时代, 女神(akaruhime), 战国时代, 万叶集		
供奉地	555-0003 西淀川姫嶋 4-14-2	创建年	不详
电话号码	06-471-5230	Fax 传真	06-471-5238
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_03_nisiyodogawa_himejima.html</a>		
交通手段	阪神本线“姫島站”西南 200 米		

### 3. 姫嶋神社鳥居の模型制作と構造観察

#### 3-1. 姫嶋神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似



鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている(写真2上左と下)。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は巖島神社・気比神社等である。

写真2は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から20分の1に縮小にした製作品である。



正面大鳥居の構造は明神系鳥居



正面鳥居の模型



稲荷神社の構造は明神系鳥居



元天照皇大神社鳥居の構造は明神系鳥居。



琴平神社の構造は明神系鳥居。

## 写真2. 姫嶋神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 姫嶋神社鳥居の構造観察

表5は姫嶋神社鳥居の構造観察を行った。次のように要約できる。①反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、元天照皇大神社鳥居は無である。②島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、元天照皇大神社鳥居は円形直線である。③台輪は、すべて無である。④楔と額束の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、無は元天照皇大神社鳥居である。⑤貫の四角・外側は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居であり、四角・内側は元天照皇大神社鳥居と琴平神社である。⑥根巻・藁座と亀腹・饅頭の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居であり、無は元天照皇大神社鳥居と琴平神社である。

ここで、明神系鳥居は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、元天照皇大神社鳥居は該当なしである。表5は大阪市西淀川区、姫嶋神社鳥居の構造観察を表示した。

表5. 大阪市西淀川区、姫嶋神社鳥居環境の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻藁座	亀腹饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	有	有	明神系鳥居
稲荷神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	無	明神系鳥居
元天照皇大神社鳥居	無	円形直線	無	無	無	四角内側	無	無	該当なし
琴平神社	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角内側	無	無	明神系鳥居

構造と観察から本鳥居の類似点を考察した。すなわち、姫嶋神社鳥居の構造観察の結果、それぞれの特徴を有と無で確認でき、次のような事項が見られた。① 正面大鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、額束と楔は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。② 稲荷神社鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、額束と楔は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は無である。鳥居の構造は明神系鳥居である。③ 元天照皇大神社鳥居では、反り増しは無で、島木は円形直線で、台輪は無、額束と楔は共に有であり、貫は四角内側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は無である。鳥居の構造は該当する鳥居は見当たらない。④ 琴平神社は、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、額束と楔は共に有であり、貫は四角内側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は無である。鳥居の構造は明神系鳥居である。

## 4. 姫嶋神社鳥居の計測結果と解析

姫嶋神社鳥居は5基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。姫嶋神社の5鳥居の測量値と建立年代は次の通りである。① 正面大鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.41m、柱内側幅3.30m、高さ(笠木上点5.25m、頂点6.29m)、昭和27(1952)年建立である。② 稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.26m、柱内側幅1.88m、高さ(笠木上点2.65m、頂点2.79m)、奥には鳥居2基がある。③ 元天照皇大神社鳥居の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.27m、柱内側幅2.23m、高さ(笠木上点2.58m、頂点2.77m)、昭和27(1952)年建立である。④ 琴平神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.93m、高さは、笠木上点2.59m、頂点2.77mである。

表6は、大阪市西淀川区、姫嶋神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表 6. 大阪市西淀川区、姫嶋神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.30	0.41	3.30	3.70	4.01	4.30	5.05	5.25
稲荷神社鳥居	0.83	0.26	1.88	2.14	1.94	2.15	2.39	2.65
元天照皇大神社鳥居	0.86	0.27	2.23	2.49	1.85	2.05	2.32	2.58
琴平神社鳥居	0.79	0.25	1.93	2.17	2.09	2.29	2.53	2.59
最大値	1.30	0.41	3.30	3.70	4.01	4.30	5.05	5.25
平均値	0.95	0.30	2.34	2.63	2.47	2.70	3.07	3.27
最小値	0.79	0.25	1.88	2.14	1.85	2.05	2.32	2.58

姫嶋神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったものである。ベスト 10 にある鳥居の高さとして、柱直径・柱間幅・貫上高さ・笠木上高さは共に 1 基である。平均貫下高さ・平均貫上高さは、2.47m と 2.70m である。この値により算術すると貫の厚さは、0.23m である。平均笠木下高さ・平均笠木上高さは、3.07m と 3.27m である。この値により算術すると笠木の厚さは、0.20m である。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。

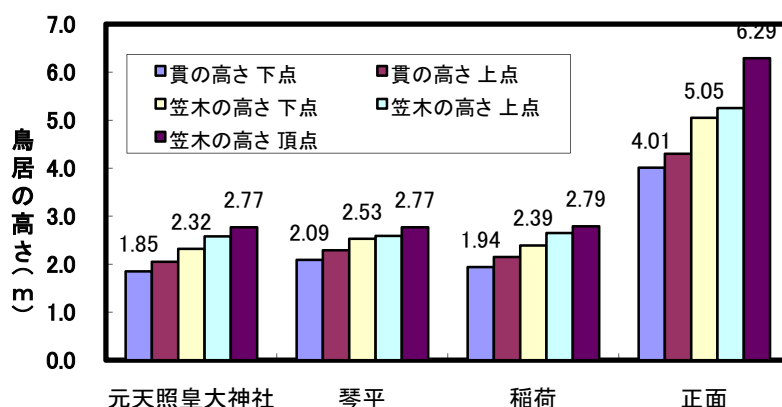
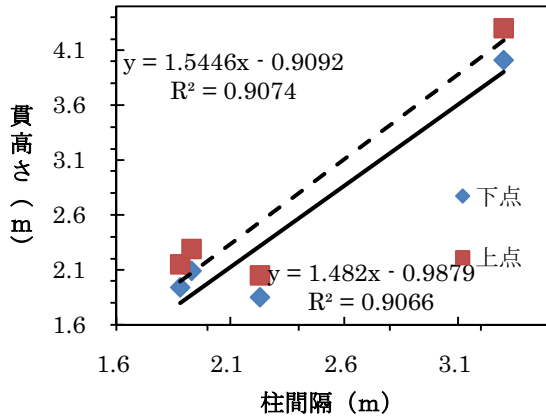


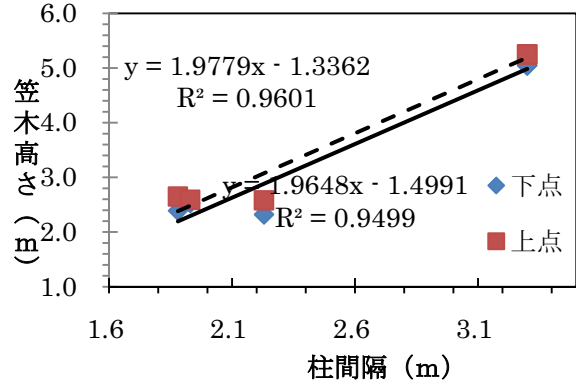
図 1. 姫嶋神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

次に、貫上高さ・笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。平均貫下高さは 2.53m(計測値)と 9.1 直径の高さは 2.73m(計算値)で、誤差は -0.20m(20cm)である。平均貫上高さは 2.76m(計測値)と 9.9 直径の高さは 2.97m(計算値)で、誤差は -0.21m(21cm)である。平均笠木下高さは 3.17m(計測値)と 11.2 直径の高さは 3.36m(計算値)で、誤差は -0.19m(19cm)である。平均笠木上高さは 3.32m(計測値)と 11.8 直径の高さは 3.54m(計算値)で、誤差は -0.22m(22cm)である。

図 1 は、表 6 から姫嶋神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間幅は 1.88~3.30m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.85~4.01m、平均 2.47m)と上点の範囲(2.05~4.30m、平均 2.70m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.32~5.05m、平均 3.07m)と上点の範囲(2.32~4.12m、平均 3.32m)である。頂点の範囲(2.77~6.29m、平均 3.66m)である。図 2 は、田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。



姫嶋神社鳥居の貫幅と高さとの相関分析



姫嶋神社鳥居の笠木幅と高さとの相関分析

図 2. 姫嶋神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、姫嶋神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ:上}) = 1.545(\text{柱間幅}) - 0.909 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.907) \quad \dots\dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ:下}) = 1.482(\text{柱間幅}) - 0.989 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.907) \quad \dots\dots (2)$$

姫嶋神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 1 と式 2 の勾配は、それぞれ 1.545 と 1.482 である。式 1 と式 2 の決定係数は、それぞれ 0.907 と 0.907 である。式 1 の決定係数は、式 2 と同じ値である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 2 右は、姫嶋神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ:上}) = 1.978(\text{柱間幅}) - 1.336 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.960) \quad \dots\dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ:下}) = 1.965(\text{柱間幅}) - 1.499 \quad \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.950) \quad \dots\dots (4)$$

姫嶋神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 3 と式 4 の勾配は、それぞれ 1.978 と 1.965 である。式 3 と式 4 の決定係数は、それぞれ 0.960 と 0.950 である。式 3 の勾配と決定係数は、式 4 のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考 察

### 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

西淀川区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図 3)。区内の神社鳥居の建立年は、姫嶋神社の正門永正(1511)年が古く、五社神社北裏門平成 19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成

7(1995)年1月17日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は8基である。8基の内容は、五社神社が6基、大和田住吉神社が1基、大野百島住吉神社が1基である。姫嶋神社の鳥居は図3の左側枠線に囲まれている。

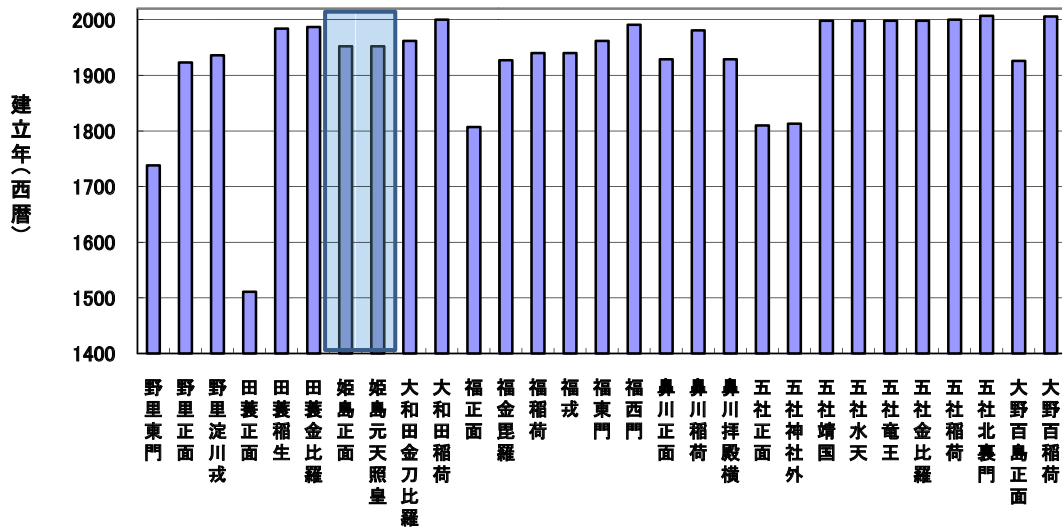


図3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため29基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800年前では2基、1800年代では3基、1900年代の前半では8基、および1900年代の後半では16基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもりのとよあだ、つもりのとよのごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は1500年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには、次のようなデータから認識すべきである。区内の神社鳥居の古いものは阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要である。

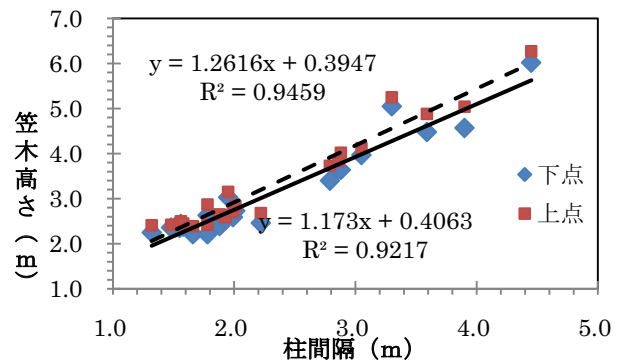
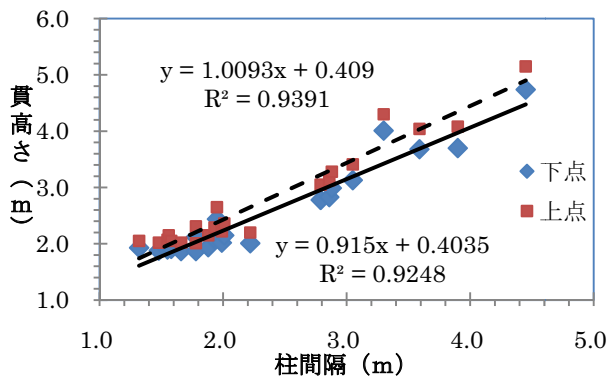


図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

柱間隔は 1.32～4.45m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～4.74m、平均 2.55m)と上点の範囲(2.01～5.15m、平均 2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～6.02m、平均 3.15m)と上点の範囲(2.39～6.27m、平均 3.35m)である。図 4 は区内の柱間幅(X 軸)に対する貫と笠木高さ(Y 軸)との関係を表示した。図 4 は正面の鳥居、稲荷神社系と金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さである。

図 4 左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 1.009 \text{柱間幅} + 0.409 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \cdots \cdots (5)$$

$$Y_{貫下} = 0.915 \text{柱間幅} + 0.404 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \cdots \cdots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 5 と式 6 の勾配は、それぞれ 1.009 と 0.915 である。式 5 と式 6 の決定係数は、それぞれ 0.939 と 0.925 である。式 5 の勾配と決定係数は、式 6 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 4 右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{笠木上} = 1.262 \text{柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

$$Y_{笠木下} = 1.173 \text{柱間幅} + 0.406 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \cdots \cdots (8)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

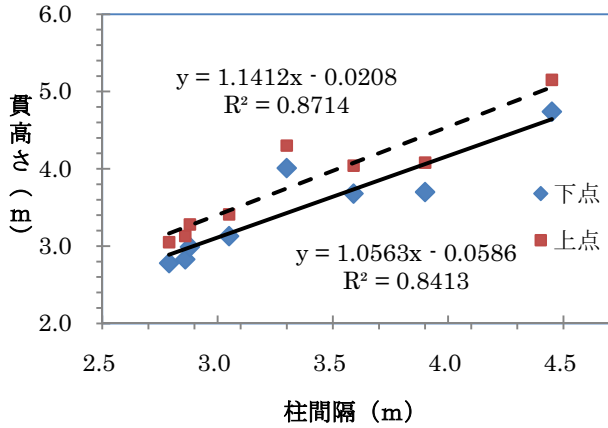
神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、野里住吉神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・大和田住吉神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79～4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78～4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05～5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40～6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73～6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居

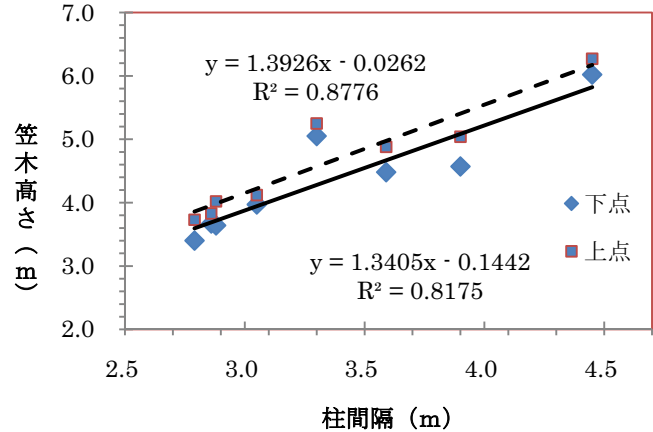


上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。

姫嶋神社の正面大鳥居において、柱間隔は 3.30m、貫高さは、下点 4.01m、上点 4.30m である。笠木高さは、下点 5.05m、上点 5.25m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係



区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 5 左は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$$

$$Y_{貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{笠木上} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$$

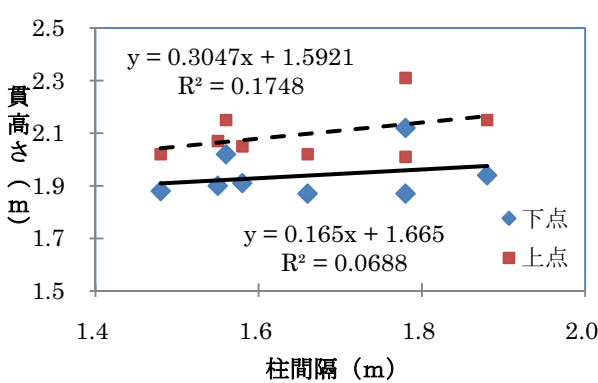
$$Y_{笠木下} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

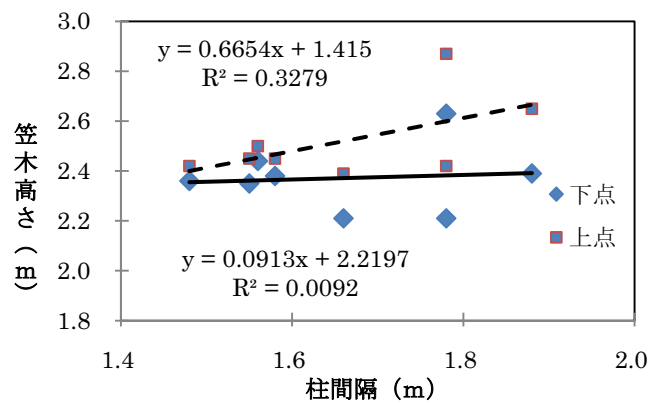
#### 5-4. 西淀川区区内にある稻荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百鳥住吉神社の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48~1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01~2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39~2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。野里住吉神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は 1.58m、貫高さは、下点 1.91m、上点 2.05m である。笠木高さは、下点 2.38m、上点 2.45m である。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係



稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図 6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \dots \dots \dots (13)$$

$$Y \text{ 貫下} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (15)$$

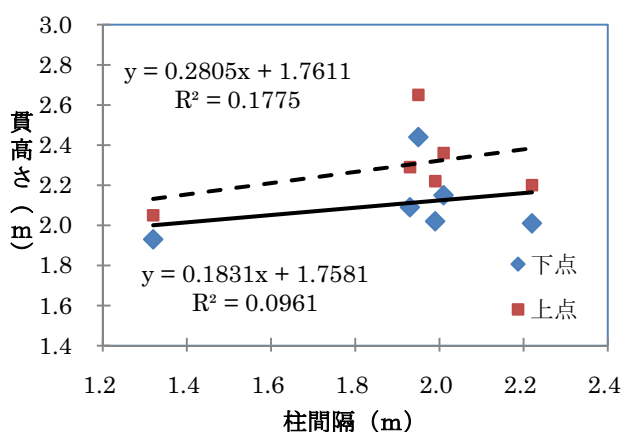
$$Y \text{ 笠木下} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \dots \dots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

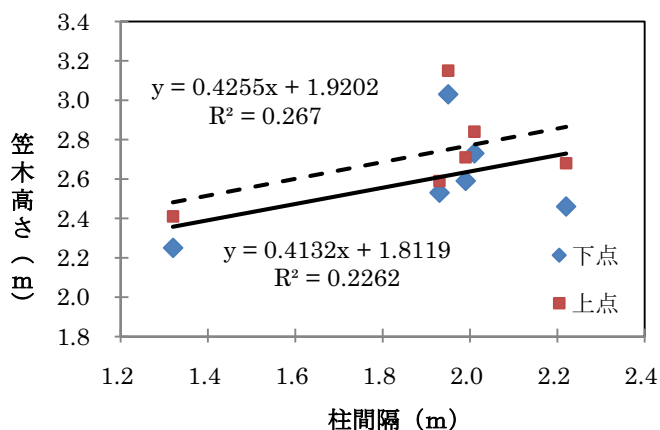
### 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百鳥住吉神社の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48～1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01～2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39～2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 7)。野里住吉神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は 1.58m、貫高さは、下点 1.91m、上点 2.05m である。笠木高さは、下点 2.38m、上点 2.45m である。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots (17)$$

$$Y \text{ 貫下} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y \text{ 笠木下} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

### 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表しているデータを収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 8 に表示している。この図 8 における左側のプロット数は、区内のデータである。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方ヘシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。そのため、グラフ下は各神社のデータとの区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。

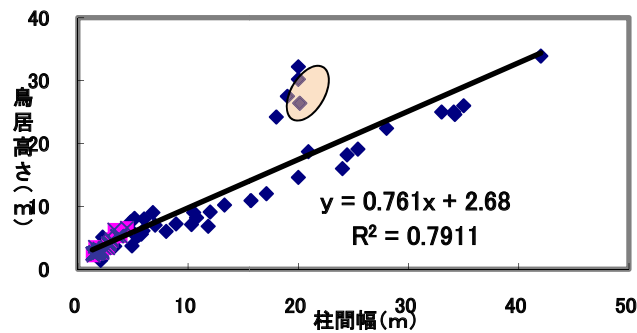


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4~5 倍であることが確認された。

外山靖彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、全国鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係を図示した(図 8)。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数(R2)は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

### 6-1. 西淀川区の地域環境

日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99.090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、34°42'33"N と 135°28'15"E で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、34°42'23"N と 135°25'57"E で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、34°41'13"N と 135°25'05"E で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、34°43'59"N と 135°26'57"E で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。



⑫14 市立小学校名(創立順)は香簀・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある姫嶋神社の調査要約

大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 姫嶋神社の鳥居建立は、昭和 27(1952)年である。
2. 姫嶋神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 姫嶋神社鳥居の構造観察の結果、それぞれの特徴が見られた。構造と観察から本神社の鳥居と他鳥居のとの類似点を考察した。すなわち、反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、元天照皇大神社鳥居は無である。島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、元天照皇大神社鳥居は円形直線である。台輪は、すべて無である。楔と額束の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、琴平神社であるが、無は元天照皇大神社鳥居である。貫の四角・外側は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居であり、四角・内側は元天照皇大神社鳥居と琴平神社である。根巻・藁座と亀腹・饅頭の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居であり、無は元天照皇大神社鳥居と琴平神社である。

4. 姫嶋神社の鳥居計測値の結果と解析によりそれぞれの特徴が見られた。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。 神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 姫嶋神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。
6. 鳥居全体、正面大鳥居、稲荷神社と金比羅神社の回帰分析を行った。その特徴は次のように解析できる。笠木上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.393)が大きく、決定係数は区内全体(0.946)が大きい。

区内全体  $Y$  笠木上 = 1.262 柱間幅 + 0.395……………決定係数( $R^2 = 0.946$ )……………(7)

正面鳥居  $Y$  笠木上 = 1.393 柱間幅 - 0.026……………決定係数( $R^2 = 0.878$ )……………(11)

稲荷神社  $Y$  笠木上 = 0.665 柱間幅 + 1.415……………決定係数( $R^2 = 0.069$ )……………(15)

金比羅神社  $Y$  笠木上 = 0.425 柱間幅 + 1.920……………決定係数( $R^2 = 0.267$ )……………(19)

笠木下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.341)が大きく、決定係数は区内全体(0.922)が大きい。

区内全体  $Y$  笠木下 = 1.173 柱間幅 + 0.406……………決定係数( $R^2 = 0.922$ )……………(8)

正面鳥居  $Y$  笠木下 = 1.341 柱間幅 - 0.144……………決定係数( $R^2 = 0.818$ )……………(12)

稲荷神社  $Y$  笠木下 = 0.091 柱間幅 + 2.220……………決定係数( $R^2 = 0.009$ )……………(16)

金比羅神社  $Y$  笠木下 = 0.413 柱間幅 + 1.812……………決定係数( $R^2 = 0.226$ )……………(20)

貫上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.141)が大きく、決定係数は区内全体(0.939)が大きい。

区内全体  $Y$  貫上 = 1.009 柱間幅 + 0.409……………決定係数( $R^2 = 0.939$ )……………(5)

正面鳥居  $Y$  貫上 = 1.141 柱間幅 - 0.021……………決定係数( $R^2 = 0.871$ )……………(9)

稲荷神社  $Y$  貫上 = 0.305 柱間幅 + 1.592……………決定係数( $R^2 = 0.175$ )……………(13)

金比羅神社  $Y$  貫上 = 0.281 柱間幅 + 1.761……………決定係数( $R^2 = 0.178$ )……………(17)



貫下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.056)が大きく、決定係数は区内全体(0.925)が大きい。

区内全体  $Y$  貫下 = 0.915 柱間幅 + 0.404・……………決定係数( $R^2 = 0.925$ )……………(6)

正面鳥居  $Y$  貫下 = 1.056 柱間幅 - 0.059・……………決定係数( $R^2 = 0.841$ )……………(10)

稲荷神社  $Y$  貫下 = 0.165 柱間幅 + 1.665・……………決定係数( $R^2 = 0.069$ )……………(14)

金比羅神社  $Y$  貫下 = 0.183 柱間幅 + 1.758・……………決定係数( $R^2 = 0.096$ )……………(18)

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある姫嶋神社の鈴木孝季宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕大学講師、和韓の翻訳には金世徳博士、和中の翻訳には、富田和広大学教授・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の西山正明社長、北川和孝彫刻師、吉村明信氏・西谷真志氏および NPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010 年 12 月 1 日受稿、2010 年 12 月 25 日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 5) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『よくわかる！神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>.2010 年
- 13) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 15) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田蓑神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・富田和広・北川和孝:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永昊:「大阪市西淀川区、大野百鳥住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

# 大阪市西淀川区、大和田住吉神社(1313年)の由来と鳥居

— 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・富田 和広\*\*・北川 和孝\*\*\*

(洞窟環境 NET 学会会長\*・県立広島大学教授\*\*・辰美工芸彫刻師\*\*\*)

## History of the Owada -Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Kazuhiro TOMITA\*\*・Kazutaka KITAGAWA\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of 5-20-20, Owada, Nishi-Yodogawa Ward, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Owada-Sumiyoshi Shrine is 1313 (Gen'oh 2) age.

The construction age of the torii in Nishi-Yodogawa Ward is a range for 2007 years from 1511. The number of toriis that exists in the Owada-Sumiyoshi Shrine is three sets. The construction age of the torii that exists in The Owada-Sumiyoshi Shrine is a range for 2000 years from 1962.

Worshipped Gods of the Owada-Sumiyoshi Shrine is Sokotsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Uwatsutsu-no-Onomikoto and the Empress Jingu. Key word of the Owada-Sumiyoshi Shrine is the land of the dead, the Empress Jingu, the Emperor Chuai, Yoshitsune Minamoto, and a place described in tankas of the Japanese poem. The origin of the Owada-Sumiyoshi Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese).

Data concerning the torii environment was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in the Owada-Sumiyoshi Shrine is 2.67m ranges from 5.30m.

キーワード: 黄泉国、神功皇后、仲哀天皇、源九郎判官、和歌の名所

Keywords: the land of the dead, the Empress Jingu, the Emperor Chuai, Yoshitsune Minamoto, a place described in tankas

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)*、Vol.2(2011)、 - pp]

### 目次

#### 1. はじめに

#### 2. 大和田住吉神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 大和田住吉神社の日文由来

2-2. 大和田住吉神社の英文由来

2-3. 大和田住吉神社の韓文由来

2-4. 大和田住吉神社の中文由来

#### 3. 大和田住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 大和田住吉神社鳥居の写真と模型製作

3-2. 大和田住吉神社鳥居の構造観察

#### 4. 大和田住吉神社鳥居の計測結果と解析

#### 5. 大和田住吉神社鳥居の考察

- 5-1.西淀川区内の鳥居文化の建立
- 5-2.西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ
- 5-3.西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-4.西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-5.西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

6. おわりに

- 6-1.西淀川区の地域環境
- 6-2.西淀川区にある大和田住吉神社の調査要約

## 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、大和田住吉神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査(2010)報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。大和田住吉神社は、西淀川区の中央に位置し、標高 1m、緯度 34°42'32"N;経度 135°26'37"にある。大和田住吉神社の鎮座地は、行政上、大阪市西淀川区大和田 5 丁目 20-20 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ないし、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、陸地測量部大阪地図、明治 19(1886)年、写真 1 の中央は、大和田住吉神社社殿。建築様式は住吉造の位置図、写真 1 の右は、大和田住吉神社の社殿である。



陸地測量部大阪地図、明治 19(1886)年

大和田住吉神社の位置は④番

大和田住吉神社社殿、建築様式は住吉造

写真 1. 大阪市西淀川区にある大和田住吉神社の位置と本殿写真

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。大和田住吉神社と行政との関連歴史の結果は、①伊邪那岐命が愛妻の伊邪那美命を追って黄泉国(よみのくに)まで、迎えに行った。②その時、住吉大神の三神とは、信仰の神で、底筒男命、中筒男命、表筒男命の総称。③縁の深い神功皇后は、第 14 代仲哀(ちゅうあい)天皇の皇后。天日槍。④仲哀天皇と一緒に九州征伐に向かい、天皇崩御後も、女性の身ながら、朝鮮半島にまで出兵、凱旋帰国の際、当「大和田の浦」に船を寄せた。⑤昔から「大和田の庄」・「大和田の浦」とも称して、神崎川下流の東岸にあって、平安朝時代には、大小の船舶が寄港した大きな港である。⑥元暦元(1184)年、源義経(みなもと よしつ

ね)が、木曾義仲(源義仲)を近江に破り、兵庫福原にいた平氏を攻めるため、西進する途中、住吉の神に戦勝祈願。⑦その際、庄屋の家敷(屋敷)に休憩時、記念として松を西南にある丘に植樹、⑧当時の人は、これを「判官松」と唱えた、和歌の名所としても知られた。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22 年(2010)年夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2-1. 大和田住吉神社の日文由来

日本書紀や古事記のところによると、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)が愛妻の伊邪那美命(いざなみのみこと)を追って黄泉国(よみのくに)まで、迎えに行った。が、望みは達せず、却って黄泉国の穢(けが)れをうけ、それを祓い清めるため、筑紫(ちくし)の日向(ひむか)の橘(たちばな)の小戸(をど)の櫛原(あはきはら)に行き、海に入って、御禊(みそぎ)祓(ばらい)をした。

その時、生れた神が、底筒男命(そこつつのおのみこと:海(わた)の底に沈んで禊して生んだ神)・中筒男命(なかつつのおのみこと:潮(しお)の中に潜って禊をして生んだ神)・表筒男命(うわつつのおのみこと:潮の上)に浮いて禊をして生んだ神)の三柱である。住吉大神(すみよしさんじん)の三神(三柱の御神)とは、神道で信仰される神で、底筒男命、中筒男命、表筒男命の総称である。

また、本神社と縁の深い神功皇后は、第 14 代仲哀(ちゅうあい)天皇の皇后である。父は開化(かいか)天皇の曾孫にあたる気長宿禰王(おきなながのすくねのみこ)、母は葛城高額媛(かざらぎのたかぬかひめ)で、天日槍(アメノヒボコ(天之日矛)の末裔(まつえい)である。

仲哀天皇と一緒に九州の熊襲(くまそ)征伐に向かい、天皇崩御後も、女性の身ながら、さらに進んで朝鮮半島にまで出兵、凱旋帰国の際、当「大和田の浦」に船を寄せたと伝えられている。

昔から「大和田の庄」・「大和田の浦」とも称して、神崎川下流の東岸にあつて、佃島を狭んで、大物の浦に対し、大河尻として大物とともに平安朝時代には、大小の船舶が寄港した大きな港である。魚介類に富み、漁業を営む里人の海上守護神として信仰を集めた。

元暦元(1184)年 2 月、源九郎判官の義経(みなもと の よしつね、平安時代末期の武将。鎌倉幕府を開いた源頼朝の異母弟。義朝の九男)が木曾義仲(源義仲)を近江に破り、つづいて兵庫福原に陣地を設けていた平氏を攻めるため、西進する途中、この浦に碇を降ろし、住吉の神に戦勝祈願した。

その際、庄屋(しょうや)の家敷(屋敷)に休憩時、ご祝儀として三宝に松を植えて、献上したところ、非常に喜び、記念として松を西南にある丘に植樹した。当時の人は、これを「判官松」と唱えたと伝えられている。和歌の名所としても知られており、数多くの歌が残されている。

「浜清く うら懐かしき神代より 千船もとまる 大和田の浜 (万葉集)」、「君が代は 千船の泊る 大和田に立つ細浪の 数も知られず (名寄)」、「大和田の浦わに 今宵船とめて 清き浜へに 月をいさ見ん(夫木)」、「何となく鯉は浮けり 春の水(湘久)」。 「平成祭礼データ」から一部修正

表 1. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社の詳細資料

御祭神	底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后		
キーワード	黄泉国、神功皇后、仲哀天皇、源九郎判官、和歌の名所		
鎮座地	555-0032 西淀川区大和田 5-20-20	神社創建	正和 2(1313)年
電話番号	06-6471-5353	Fax 番号	06-6471-5353

ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>
交通手段	阪神電鉄本線「千船駅」南へ 500m

注：神社創建は西成郡史 p.836。村社大和田住吉神社は、住吉四柱神、勸請、(西成郡史 p.836) ▲大阪神史 p.403 の正和 9 年 9 月の勸請とあるが、正和 9 年は和暦に無いため、西成郡史 p.836 を参考にする。

## 2-2. 大和田住吉神社の英文由来

### *(History of the Owada-Sumiyoshi Shrine Founded in 1313(Seiwa 2))*

According to The Imperial History of Japan and The Journal of Old Things, Izanagi-no-Mikoto ran after his dearly-loved wife, Izanami-no-Mikoto, far away to the land of the dead. However, his wish was not realized. Moreover, since he had gotten the impurity of that land, he went to Chikushi Province in order to purify his body. In that province, there was a place named Ahakihara of Odo of Tachibana of Himuka. On his arrival there, he went into the sea and purified his body.

The gods born at this occasion are Sokotsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto and Uwatsutsu-no-Onomikoto, generically called the Three Pillars. The first was born from the purification at the bottom of the sea, the second from the purification at a depth of the sea, and the third from the purification on the surface of the sea. The Three Pillars of Sumiyoshi-no-Okami, deities adored in Shinto, are no more than the generic name of those three gods.

The Empress Jingu, also strongly related to the Owada-Sumiyoshi Shrine, was the wife of the fourteenth Emperor Chuai. Her father was Okinaga-no-Sukune-no-Miko, one of the Emperor Kaika's great-grandchildren. Her mother was Kazuragi-no-Takanukahime, a descendant of Ame-no-Hiboko.

With her husband, she went to the Kyushu Island in order to subjugate the tribe Kumaso. After her husband's death, this belligerent lady went on to the Korean Peninsula and, during her triumphant return, she supposedly told her soldiers to moor the ships here along Owada-no-ura.

This seashore has been also called Owada-no-sho for a long time. It is located on the eastern side of the Kanzaki River's lower reaches. Beyond the Tsukuda Island, it faces toward Omono-no-ura. Owada-no-ura as well as Omono-no-ura was, in the mouth of the Kanzaki River, a busy, large port during the Heian period. The sea was full of fishery products and the shrine was worshipped by the fishermen as the abode of the gods protecting them.

In February 1184 (the first year of the Genryaku era), Yoshitsune Minamoto, a general at the end of the Heian period and a half-brother of Yoritomo Minamoto who established the Kamakura government, defeated Yoshinaka Kiso in Omi Province and was advancing westward in order to assault the family Taira whose headquarters was at Fukuhara of the Hyogo district. On the way, he cast anchor off this seashore and prayed for victory to Sumiyoshi-no-Okami.

At that occasion, when he took a rest at the residence of the village headman, he presented him with some pine trees, which he ordered his soldiers to plant on three sides. The headman was so delighted that he replanted the trees in commemoration on the mound located south-west of the residence. It is said that the then people named the trees "Hogan-Matsu," "hogan" designating the official title of Yoshitune and "matsu" meaning "pine. This mound is well known as a place often described in tankas and there are numerous works left:

"The seashore of Owada is clean where a thousand ships have stopped ever since the beginning of time about which I think with nostalgia." (Man'yo-shu) "The years of our Emperor's reign are as numerous as the ripples of Owada, where a thousand ships are at anchor." (Nayoro) "I will cast anchor at the seashore

of Owada this evening and enjoy the beautiful moon from a clean beach.” (Huboku) “A carp is floating for no reason. Water of the spring.” (Shokyu)

We partially adapted the information from Heisei’s Festivals Data.

表 2. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社の詳細資料(和英訳)

Table2. Details on the Owada-Sumiyoshi Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City

Worshipped Gods	Sokotsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Uwatsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu		
Key Words	the land of the dead, the Empress Jingu, the Emperor Chuai, Yoshitsune Minamoto, a place described in tankas		
Site	555-0032, 5-20-20, Owada, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	1313 ( <i>Syouwa</i> 2)
Telephone	06-6471-5353	Fax	06-6471-5353
Website	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
Access	500 meters south of “Chifune Station” on the Hanshin Main Line		

2-3. 大和田住吉神社の韓文由来 (오와다 스미요시 신사의 유래 창건 정화 2(1313)년)

일본서기나 고사기에 따르면, 아자나기노미고토가 애처인 이자나미노 미고토를 쫓아 황천국까지 맞이하려 갔지만 소망은 이루어지지 않고 오히려 황천국의 정결하지 못함을 받아 그곳을 청결하게 하기 위하여 짜쿠시, 히무카의 타찌마나, 오도의 아하키하라에 가서 바다에 들어가 몸을 깨끗하게 했다.

그 때 태어난 신이 소코쯔쯔노 오노미고토:바다밑에 가라앉아서 낳은신)·나까쯔쯔노 오노미고토:바다안에 들어가 낳은신)·우와쯔쯔노 오노미고토:바다위에 떠서 낳은신의 삼주이다. 스미요시대신의 삼신(삼주의 신)이란, 신도로 신앙화된 신으로, 소코쯔쯔노 오노미고토, 나까쯔쯔노오노미고토, 우와쯔쯔노 오노미고토의 총칭이다.

또한, 본 신사와 인연이 깊은 진구황후는, 제 14 대 츠야이 천황의 황후이다. 아버지는 카이카 천황의 종손에 해당되는 오키나가노수쿠네노미코, 어머니는 카주라기노타카누카히메로, 아메노히보코의 후예다.

츠야이 천황과 함께 쿠마소 정벌을 위해 떠났고, 천황붕괴 후 여성임에도 불구하고 더욱더 나아가 조선반도까지 출병하여 개신귀국할때, 당시의 「오와다의 포」에 배를 대었다고 전해지고 있다. 옛날부터「오와다의 쇼」·「오와다의 포」라고도 칭해지고 칸자키강 하류의 동쪽해안에 위치했으며, 쓰쿠다섬이 협소해서 오모노노포에 대해서는 오카와지리로서 오모노와 함께 헤이안조 시대에는 크고작은 선박이 기항한 큰 항구이다. 어패류가 풍부해 어업을 영위하는 마을사람의 해상 수호신으로서 신망을 받았다.

겐랏크 원년(1184)2 월, 미나모토노 요시쯔네(헤이안시대 말기의 무장, 카마쿠라 막부를 연 미나모토 요리모토의 이복동생, 의조의 9 남)가 키소요시나카(미나모토노 요시나카)를 오미에서 몰리치고, 계속해서 효고 후쿠하라에 진지를 설치해 헤이씨를 공격하기위해 서진하는 도중에 이 포에 정을 내려 스미요시 신에게 전승을 기원했다.

그 때, 쇼우야의 야시키에서 휴식할때 축하하는 의미로 삼보에 소나무를 심고 헌상했는데 아주 기뻐해, 그 기념으로 소나무를 서남쪽에 있는 언덕에 식수했다. 당시의 사람들은 이것을「판관 소나무」라고 불렀다고 전해지고 있다. 단가의 명소로서도 알려져있고 수많은 노래가 남아있다.

表 3. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社の詳細資料(和韓訳)

표 3. 오사카시 니시 요도가와구, 오와다스미요시 신사의 상세 데이터

모시는 신	소코쯔쯔노 오노미고토, 나까쯔쯔노 오노미고토, 우와쯔쯔노 오노미고토
-------	---------------------------------------



키워드	황천국, 진구황후, 추아이천황, 미나모토누쿠로 관관, 단가의 명소		
주소지	555-0032 니시요도가와구 오와다 5-20-20	신사창건	정화 2(1313)
전화번호	06-6471-5353	Fax 번호	06-6471-5353
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
교통수단	한신전철본선「치부네역」남쪽으로 500m		

## 2-4. 大和田住吉神社の中文由来 (大和田住吉神社的由来 正和 2(1313)年创建)

根据《日本书记》和《古事记》的记载，伊邪那岐命(日本神话中的男神)为追随自己的爱妻伊邪那美命，到达黄泉国去迎接她。但是，愿望却没能达成。反倒被黄泉国的秽物弄脏了身体。为了清除身体的污秽，他前往筑紫日向的橘之小戸(地名)。在橘之小户的櫛原入海，洗净了身体。

当时，出生了三位神灵，分别是底筒男命(沉入海底进行沐浴的时候诞生)中筒男命(潜入潮水进行沐浴的时候诞生)表筒男命(从潮水之中浮上的时候诞生)这三柱神。称为住吉大神的三神(三柱御神)。即底筒男命，中筒男命，表筒男命的总称。是神道教共同信奉的神灵。

此外，关于和这座神社结下缘分的神功皇后，是 14 代仲哀天皇的皇后。她的父亲气长宿禰王是开化天皇的曾孙。母亲葛城高媛是天日枪(天之日矛)的后裔。

神功皇后曾随夫仲哀天皇征讨九州的熊袭。天皇驾崩后，作为一个女性，独自对朝鲜出兵并凯旋归来。据传她当时曾靠岸大和田浦。

这片土地古时候就被叫做“大和田庄”“大和田浦”。其位于神崎川下游东岸，包围着佃岛。海产丰富，渔业繁荣，在平安时代就是大小船舶的停靠港。对于靠打鱼营生的渔民来说，他们都信仰大和田住吉神社就是他们的海上守护神。

元历元(1184)年 2 月，源九郎判官义经(平安末期武将，镰仓幕府开国之君源赖朝的同母兄弟，义朝的第 9 个儿子)在近江打败源义仲(源义仲)，之后为了进攻驻守在兵庫福原的平氏。在向西进军的途中，曾在大和田浦抛锚停靠。并向住吉之神祈求胜利。

当时，义经在庄屋(村头，村长，被任命为村代表的百姓)家休息的时候，作为贺礼，村人为他种上松树献给他。他非常高兴。在西南部的山丘上植树留作纪念。当时的人们把他种下的树称为“判官松”。此外这里作为和歌的创作名地也广为人知，留下了很多经典的诗句。

表 4. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社の詳細資料(和中訳)

表 4. 大阪市西淀川区，大和田住吉神社详细资料

祭神	底筒男命，中筒男命，上筒男命，神功皇后		
关键词	黄泉国，神功皇后，仲哀天皇，源九郎判官，和歌名所		
供奉地	555-0032 西淀川区大和田 5-20-20	创建年	正和 2(1313)年
电话号码	06-6471-5353	Fax 传真	06-6471-5353
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_04_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
交通手段	乘阪神地铁本线到“千船站”下车，往南行 500 米		

## 3. 大和田住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

### 3-1. 大和田住吉神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている(写真2上左と下)。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は巖島神社・気比神社等である。

写真2は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から20分の1に縮小にした製作品である。



正面大鳥居の構造は明神系鳥居

正面鳥居の模型

稲荷神社の構造は明神系鳥居

金刀比羅宮の構造は明神系鳥居

写真2. 大和田住吉神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 大和田住吉神社鳥居の構造観察

表5は大和田住吉神社鳥居の構造観察を行った。鳥居の項目別に要約を行った。反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居と金刀比羅宮鳥居である。島木の角型曲線の有は稲荷神社鳥居であり、角型直線の有は、正面大鳥居と刀比羅宮鳥居である。台輪は、すべて無である。楔と額束は有である。貫の四角・外側は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居と金刀比羅宮鳥居である。根巻・藁座の有は稲荷神社鳥居であり、無は正面大鳥居と金刀比羅宮鳥居である。亀腹・饅頭の有は稲荷神社鳥居と金刀比羅宮鳥居である。次は、鳥居別に特徴を行った。正面大鳥居では、反り増しは角型曲線であり、島木は共に角型直線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座。亀腹・饅頭は無である。鳥居の構造は明神系鳥居である。稲荷神社鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。金刀比羅宮鳥居では、反り増しは角型曲線であり、島木は角型直線で、台輪は無、額束と楔は共に有であり、貫は四角内側で、根巻・藁座は無であり、亀腹・饅頭は有である。

表5. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社鳥居の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・藁座	亀腹・饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型直線	無	有	有	四角外側	無	無	明神系鳥居

稲荷神社鳥居	黒色角型曲線	赤色角型曲線	無	赤色有	赤色有	赤色四角外側	黒色	有	明神系鳥居
金刀比羅宮鳥居	角型曲線	角型直線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居

#### 4. 大和田住吉神社鳥居の計測結果と解析

大和田住吉神社鳥居は5基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。大和田住吉神社の3鳥居の測量値と建立年代は次の通りである。①正面鳥居構造は明神系鳥居。正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.45m、柱内側幅3.59m、高さ(笠木上点4.88m、頂点5.30m)である。②稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.17m、柱内側幅1.56m、高さ(笠木上点2.50m、頂点2.67m)m。2000年建立である。③金刀比羅宮の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅2.01m、高さ(笠木上点2.84m、頂点3.01m)。1962年建立である。

表6は、大阪市西淀川区、大和田住吉神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表6. 大阪市西淀川区、大和田住吉神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.47	0.45	3.59	4.07	3.68	4.04	4.48	4.88
金毘羅神社鳥居	0.55	0.17	1.56	1.57	2.02	2.15	2.44	2.50
稲生神社鳥居	0.78	0.25	2.01	2.26	2.15	2.36	2.73	2.84
裏門鳥居	1.47	0.45	3.59	4.07	3.68	4.04	4.48	4.88
西門鳥居	0.55	0.17	1.56	1.57	2.02	2.15	2.44	2.50
最大値	1.47	0.45	3.59	4.07	3.68	4.04	4.48	4.88
平均値	0.93	0.29	2.39	2.63	2.62	2.85	3.22	3.41
最小値	0.55	0.17	1.56	1.57	2.02	2.15	2.44	2.50

大和田住吉神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったのである。ベスト10にある鳥居の高さとして、柱直径・柱間幅・貫上高さ・笠木上高さは共に1基である。平均貫下高さと平均貫上高さは、2.62mと2.85mである。この値により算術すると貫の厚さは、0.23mである。平均笠木下高さと平均笠木上高さは、3.22mと3.41mである。この値により算術すると笠木の厚さは、0.19mである。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。平均貫下高さは2.62m(計測値)と9.1直径の高さは2.64m(計算値)で、誤差は-0.02m(2cm)である。平均貫上高さは2.85m(計測値)と9.9直径の高さは2.87m(計算値)で、誤差は-0.02m(2cm)である。平均笠木下高さは3.22m(計測値)と11.2直径の高さは3.25m(計算値)で、誤差は-0.03m(3cm)である。平均笠木上高さは3.41m(計測値)と11.8直径の高さは3.42m(計算値)で、

誤差は-0.01m(1cm)である。平均貫下と上の高さにおける計測値と計算値の誤差は、2cm である。平均笠木下と上の高さは、1~3cm の範囲である。

図 1 は、表 6 から大和田住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間幅は 1.56~3.59m の範囲で、平均 2.39m である。貫高さは、下点の範囲(2.02~3.68m、平均 2.62m)と上点の範囲(2.15~4.04m、平均 2.85m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.44~4.48m、平均 3.22m)と上点の範囲(2.50~4.88m、平均 3.41m)である。図 2 は、大和田住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。

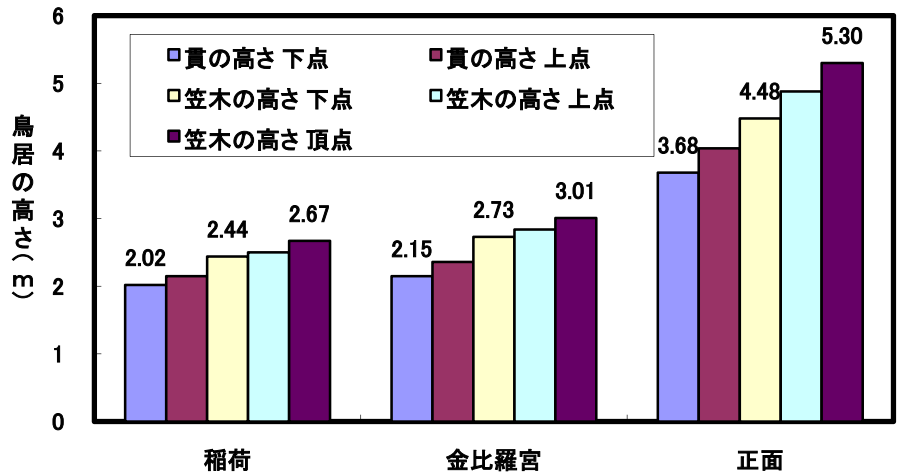


図 1. 大和田住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

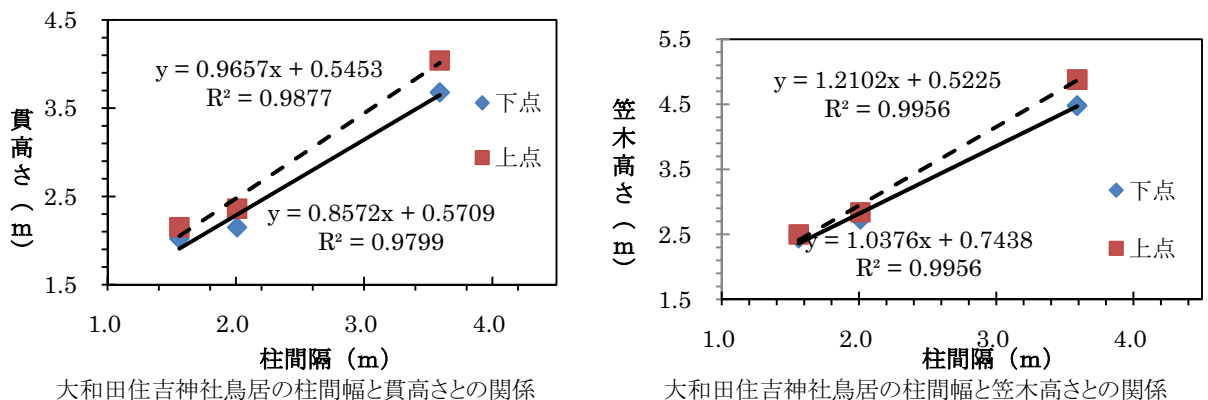


図 2. 大和田住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、大和田住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ:上}) = 0.966(\text{柱間幅}) + 0.545 \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.988) \dots\dots(1)$$

$$Y(\text{貫高さ:下}) = 0.857(\text{柱間幅}) + 0.571 \dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.980) \dots\dots(2)$$

大和田住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 1 と式 2 の勾配は、それぞれ 1.545 と 1.482 である。式 1 と式 2 の決定係数は、それぞれ 0.907 と 0.907 である。式 1 の決定係数は、式 2 と同じ値である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 2 右は、大和田住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ: 上}) = 1.210(\text{柱間幅}) + 0.523 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.996) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ: 下}) = 1.038(\text{柱間幅}) + 0.744 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.996) \dots \dots \dots (4)$$

大和田住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 3 と式 4 の勾配は、それぞれ 1.978 と 1.965 である。式 3 と式 4 の決定係数は、それぞれ 0.960 と 0.950 である。式 3 の勾配と決定係数は、式 4 のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川内の鳥居文化の建立

西淀川区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図 3)。区内の神社鳥居の建立年は、大和田住吉神社の正門永正 8(1511)年が古く、五社神社北裏門平成 19 年(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成 7(1995 年)1 月 17 日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は 8 基である。8 基の内容は、五社神社が 6 基、大和田住吉神社が 1 基、大野百鳥住吉神社が 1 基である。大和田住吉神社の鳥居は図 3 の左側枠線に囲まれている。

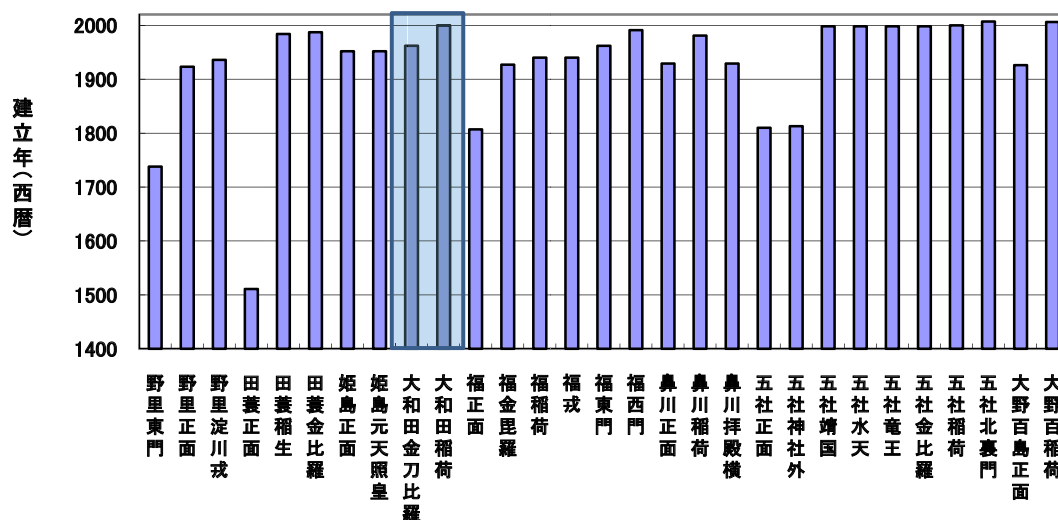


図 3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため 29 基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800 年前では 2 基、1800 年代では 3



基、1900年代の前半では8基、および1900年代の後半では16基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は1500年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには、次のようなデータから認識すべきである。区内の神社鳥居の古いものは阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要である。

柱間隔は1.32~4.45mの範囲で、平均2.34mである。貫高さは、下点の範囲(1.87~4.74m、平均2.55m)と上点の範囲(2.01~5.15m、平均2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~6.02m、平均3.15m)と上点の範囲(2.39~6.27m、平均3.35m)である。図4は区内の柱間幅(X軸)に対する貫と笠木高さ(Y軸)との関係を表示した。図4は正面の鳥居、稻荷神社系と金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さである。

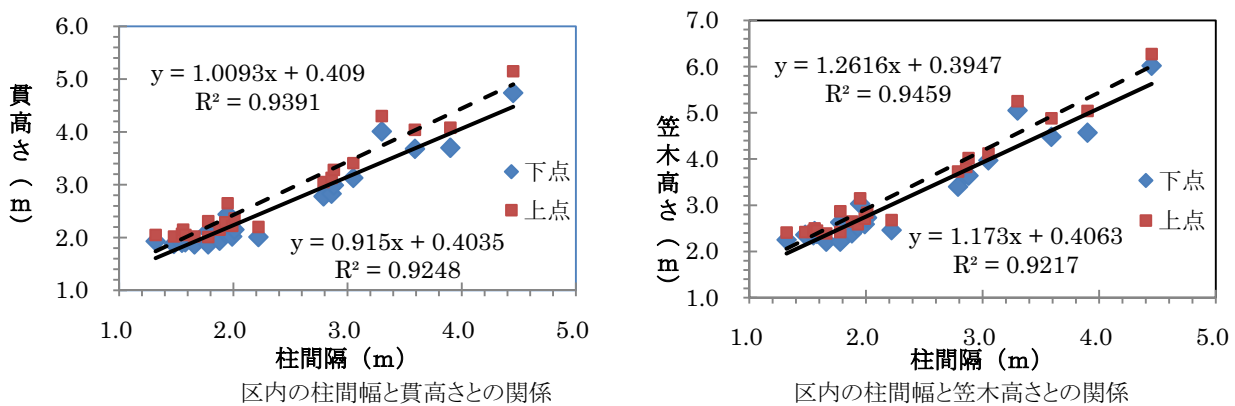


図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図4左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と貫下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9Dに計算する外山靖彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 1.009 \text{柱間幅} + 0.409 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \dots \dots \dots (5)$$

$$Y_{貫下} = 0.915 \text{柱間幅} + 0.404 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \dots \dots \dots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式5と式6の勾配は、それぞれ1.009と0.915である。式5と式6の決定係数は、それぞれ0.939と0.925である。式5の勾配と決定係数は、式6のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図4右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の

実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \dots \dots \dots (7)$$

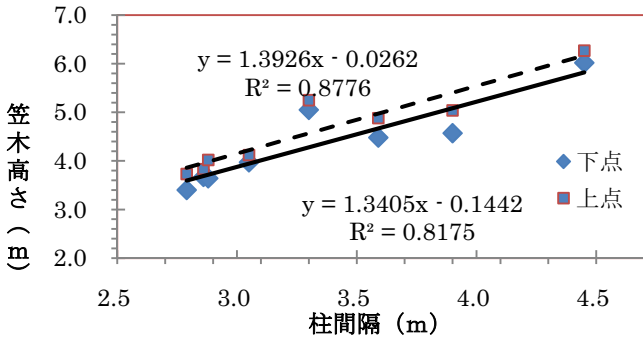
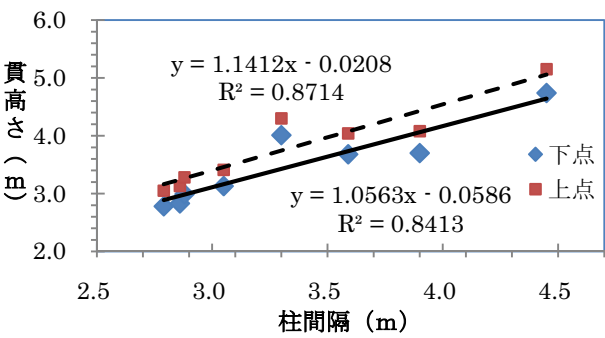
$$Y \text{ 笠木下} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \dots \dots \dots (8)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、野里住吉神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・大和田住吉神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79～4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78～4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05～5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40～6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73～6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。大和田住吉神社の正面大鳥居において、柱間隔は 3.59m、貫高さは、下点 3.68m、上点 4.04m である。笠木高さは、下点 4.48m、上点 4.88m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 5 左は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$$

$$Y \text{ 貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$$

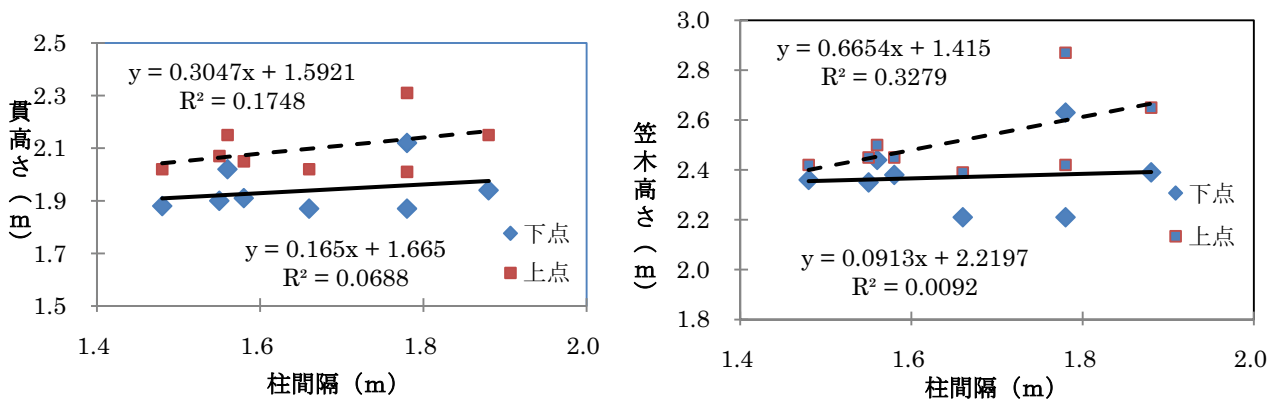
$$Y \text{ 笠木下} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

#### 5-4. 西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気为全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百島の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48~1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01~2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39~2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。大和田住吉神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は 1.56m、貫高さは、下点 2.02m、上点 2.15m である。笠木高さは、下点 2.44m、上点 2.50m である。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係

稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図 6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \cdots \cdots (13)$$

$$Y \text{ 貫下} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (15)$$

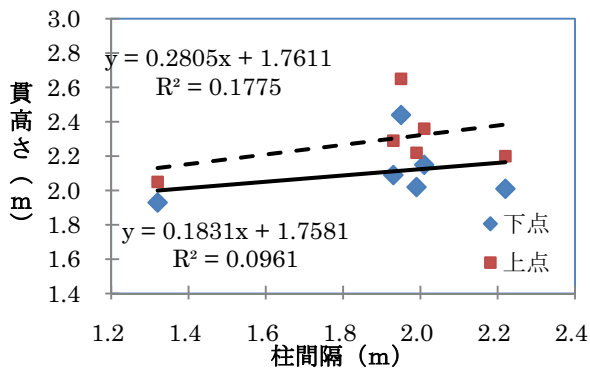
$$Y \text{ 笠木下} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \cdots \cdots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

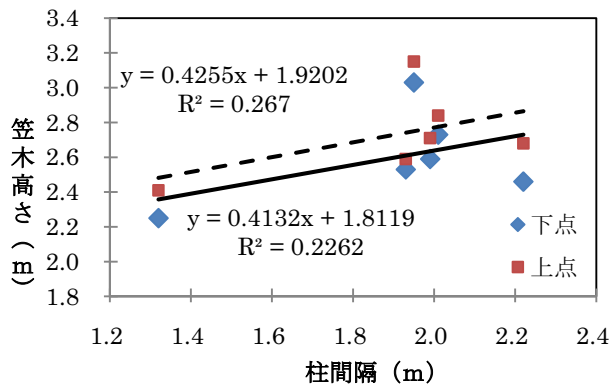
## 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 2(1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社の平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32～2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93～2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05～2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25～3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41～3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している。大和田住吉神社の金毘羅神社系鳥居において、柱間隔は 2.01m、貫高さは、下点 2.15m、上点 2.36m である。笠木高さは、下点 2.73m、上点 2.84m である。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山靖彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

## 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 8 に表示している。

この図 8 における左側のプロット数は、区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方ヘシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。



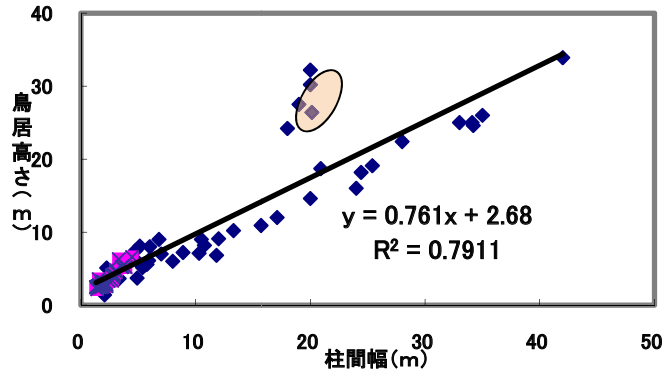


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4～5 倍であることが確認された。外山靖彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

### 6-1. 西淀川区の地域環境

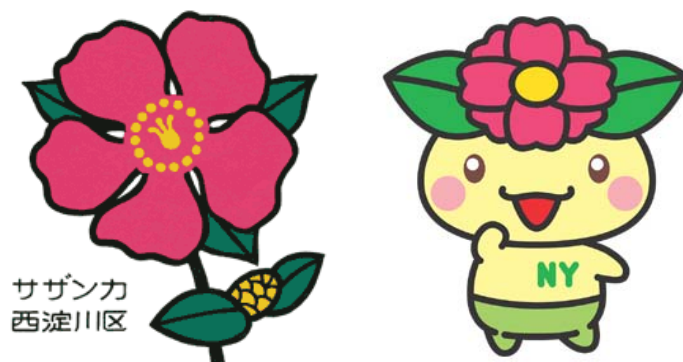
日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。





西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、 $34^{\circ}42'33''\text{N}$ と $135^{\circ}28'15''\text{E}$ で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、 $34^{\circ}42'23''\text{N}$ と $135^{\circ}25'57''\text{E}$ で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、 $34^{\circ}41'13''\text{N}$ と $135^{\circ}25'05''\text{E}$ で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、 $34^{\circ}43'59''\text{N}$ と $135^{\circ}26'57''\text{E}$ で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香簀・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある大和田住吉神社の調査要約

大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 大和田住吉神社の創建は正和 2(1313)年で、鳥居建立は 1962～2000 年間である。
2. 大和田住吉神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 大和田住吉神社鳥居の構造観察の結果を要約する。反り増しの角型曲線はすべて有、島木の角型曲線の有は稲荷神社鳥居であり、角型直線の有は、正面大鳥居と刀比羅宮鳥居である。台輪は、すべて無である。楔と額束は有である。貫の四角・外側は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居と金刀比羅宮鳥居である。根巻・藁座の有は稲荷神社鳥居であり、無は正面大鳥居と金刀比羅宮鳥居である。亀腹・饅頭の有は稲荷神社鳥居と金刀比羅宮鳥居である。
4. 大和田住吉神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。
5. 大和田住吉神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

6. 鳥居全体、正面大鳥居、稲荷神社と金毘羅神社の回帰分析を行った。その特徴は次のように解析できる。笠木上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.393)が大きく、決定係数は区内全体(0.946)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{笠木上}} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \dots \dots \dots (7)$

正面鳥居  $Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$

稲荷神社  $Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (15)$

金比羅神社  $Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$

笠木下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.341)が大きく、決定係数は区内全体(0.922)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{笠木下}} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \dots \dots \dots (8)$

正面鳥居  $Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$

稲荷神社  $Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \dots \dots \dots (16)$

金比羅神社  $Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$

貫上のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.141)が大きく、決定係数は区内全体(0.939)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \dots \dots \dots (5)$

正面鳥居  $Y_{\text{貫上}} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$

稲荷神社  $Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \dots \dots \dots (13)$

金比羅神社  $Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$

貫下のデータから考察すると、勾配では正面鳥居(1.056)が大きく、決定係数は区内全体(0.925)が大きい。

区内全体  $Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \dots \dots \dots (6)$

正面鳥居  $Y_{\text{貫下}} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$

稲荷神社  $Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (14)$

金比羅神社  $Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある大和田住吉神社の中井秀樹宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕講師、和韓の翻訳には金世徳学術博士と朴永炅学術博士、和中の翻訳には立川昌司スミヨシ社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の西山正明社長、石田信也、およびNPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010年12月1日受稿、2010年12月25日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制70周年記念』、西淀川区制70周年記念事業実行委員会、1995年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制70周年記念事業実行委員会、1996年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005年
- 4) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007年
- 5) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007年

- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『 よくわかる！ 神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『 神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『 日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『 図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『 神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『 卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>
- 13) 沢勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 15) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田蓑神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・石田信也・朴永昊:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永昊:「大阪市西淀川区、大野百鳥住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

# 大阪市西淀川区、福住吉神社(1656年)の由来と鳥居

— 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・西山 正明\*\*・金 世徳\*\*\*

(洞窟環境 NET 学会会長\*・西山組社長\*\*・芦屋大学准教授\*\*\*)

## History of the Fuku-Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Masaaki NISHIYAMA \*\*・Sae-Duk KIM\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Fuku-Sumiyoshi Shrine in Nishiyodo-gawa-ku, Osaka-City, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Fuku-Sumiyoshi Shrine is 1656 (Meireki 2) age. The construction age of the torii in Nishi-Yodogawa Ward is a range for 2007 years from 1511. The number of toriis that exists in the Fuku-Sumiyoshi Shrine is ten. The construction age of the torii that exists in The Owada-Sumiyoshi Shrine is a range for 2000 years from 1962.

Worshipped Gods of The Owada-Sumiyoshi Shrine is the Four Pillars of Sumiyoshi (Uwatsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Sokotsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu). Key word of The Owada-Sumiyoshi Shrin is Emperor Go-komyo, a marine guardian deity, Shikanjima-Sumiyoshi Shrine.

The origin of the Owada-Sumiyoshi Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese). Data concerning the torii environment was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in the Fuku-Sumiyoshi Shrine e is 2.56m ranges from 3.68m.

キーワード: 後光明天皇、海の守護神、四貫島住吉神社

Keywords: Emperor Go-komyo, a marine guardian deity, Shikanjima-Sumiyoshi Shrine

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

#### 1. はじめに

#### 2. 福住吉神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 福住吉神社の日文由来

2-2. 福住吉神社の英文由来

2-3. 福住吉神社の韓文由来

2-4. 福住吉神社の中文由来

#### 3. 福住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 福住吉神社鳥居の写真と模型製作

3-2. 福住吉神社鳥居の構造観察

#### 4. 福住吉神社鳥居の計測結果と解析

#### 5. 福住吉神社鳥居の考察

5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

- 5-4.西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-5.西淀川区にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

- 6-1.西淀川区の地域環境
- 6-2.西淀川区にある福住吉神社の調査要約

## 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、福住吉神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査平成 22(2010)年報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。福住吉神社は、西淀川区の南端に位置し、緯度 34°41'49"N;経度 135°26'27"にある。福住吉神社の鎮座地は、行政上、大阪市西淀川区福町 2-15-6 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、陸地測量部大阪地図、明治 19(1886)、写真 1 の中央は、福住吉神社の位置図、写真 1 の右は、福住吉神社の社殿である。



陸地測量部大阪地図、明治 19(1886)



福住吉神社の位置は⑤番



福住吉神社社殿の建築様式は住吉造

### 写真 1. 大阪市西淀川区にある福住吉神社の位置と本殿

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。福住吉神社と行政との関連歴史の結果は、①明暦 2(1656)年、神社が創建した年。②正保元(1644)年、後光明天皇(1633~1654:江戸時代前期の第 110 代天皇の時に開発。③明暦 2(1656)年、村人は主として漁業を業としていたため、航海の安全と豊漁を願って、神崎川沿い宮地を築き、殿舎を建て、住吉大神を勤請し、奉った。④延宝 5(1677)年、海の守護神として、また、当村の氏神として信仰をみつめている。大阪市此花区梅香の住吉神社、別称「四貫鳥住吉神社」は、当福住吉神社とは大野川緑陰道路を挟んで東と西という位置にある。本来“住吉神社”とするところだが、混乱を防ぐために地名をつけて呼んでいる。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22(2010)年夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研



究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2-1. 福住吉神社の日文由来

神社創建は明暦 2(1656)年である。当神社のある「福村」は正保元(1644)年、後光明(ごこうみょう)天皇(1633～1654:江戸時代前期の第 110 代天皇。父は後水尾天皇。母は壬生院藤原光子)の時に開発された。村人は主として漁業を業としていたため、航海の安全と豊漁を願って、12 年後の明暦 2(1656)年に、神崎川沿いのこの地に宮地を築き、殿舎を建て、住吉大神を勤請し、奉ったのが、当社の始まりである。以来、海の守護神として、また、当村の氏神として信仰をあつめている(福村北村弥三郎所蔵、延宝 5(1677)年、青山大膳亮検地本帳登載)。(神社から一部修正)。

大阪市此花区梅香の住吉神社、別称「四貫島住吉神社」は、当福住吉神社とは大野川緑陰道路を挟んで東と西という位置にある。本来“住吉神社”とするところだが、混乱を防ぐために地名をつけて呼んでいる。(ホームページから一部修正)

⑩後光明天皇は、東福門院(とうふくもんいん:後水尾天皇の中宮)が養母となり、形式的には徳川氏は外戚の地位を保った。幼少から聡明、特に和学よりも儒学、詩文を好み朝山意林庵(あさやまいりん:江戸時代前期の儒学者)などの民間の朱子学者を招いて聴講した。また藤原惺窩(ふじわらせいか:江戸前期の儒者で近世儒学の祖と言われる)を追慕し文集に序文を与えた。詩作は『鳳啼集』(ほうていしゅう)にみられる。一方武芸を学ぶなどいささか激烈な性質、言動があり、将来を期待した父・後水尾(ごみずのう:第 108 代天皇)は短慮を慎むこと、仏神を敬い学問に励むこと、幕府に弱みを握られないよう行動を律することなど 3 回にわたる訓戒書を与えた。

表 1. 大阪市西淀川区、福住吉神社の詳細資料

御祭神	住吉四柱大(表筒男命、中筒男命、底筒男命、神功皇后)		
キーワード	後光明天皇、海の守護神、四貫島住吉神社		
鎮座地	555-0034 西淀川区福町 2-15-6	神社創建	明暦 2(1656)年
電話番号	06-6472-4640	Fax 番号	06-6472-4640
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
交通手段	阪神西大阪線「福駅」西へ 500m		

## 2-2. 福住吉神社の英文由来

### (History of the Fuku-Sumiyoshi Shrine Founded in 1656(Meireki 2))

Fukusumiyoshi shrine was built in 1656. Fuku-mura' was developed on the shrine in 1644. Emperor Go-komyo (1633-1654) is the first-term the 110th Emperor in the days of Edo. The father of Emperor Go-komyo is Emperor Go-mizunoo.

The village consisting of fishermen built the shrine hoping to voyage and bumper, along Kanzaki-river after 12 years. Sumiyoshi-no-Okami shrine beginninng was that there is enshrined. Since then, faith is collected as a marine guardian deity and a patron saint of this village. *We partially adapted these details from Shrine Data.*

Sumiyoshi shrine which is baika of konohana ward, Osaka-city and Fuku-sumiyoshi shrine are in a position east and west across Oono-river ryokuin street. 'Shikanshima-Sumiyoshi shrine'of Sumiyoshi shrine is an alias. The place originally made into the "Sumiyoshi shrine", but, in order to prevent confusion, the name of a place is attached and called.

*We partially adapted these details from Websites.*



表 2. 大阪市西淀川区、福住吉神社の詳細資料(和英訳)

Table2. Details on the Fuku-Sumiyoshi Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City

Worshipped Gods	The Four Pillars of Sumiyoshi (Uwatsutsu-no-Onomikoto, Nakatsutsu-no-Onomikoto, Sokotsutsu-no-Onomikoto, the Empress Jingu)		
Key Words	Emperor Go-komyo, a marine guardian deity, Shikanjima-Sumiyoshi Shrine		
Site	555-0034,2-15-6,Fuku,Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	1656 (Meireki 2)
Telephone	06-6472-4640	Fax	06-6472-4640
Websites	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
Access	500m west of " Fuku Station" on the Hanshin West Osaka line		

2-3. 福住吉神社の韓文由来 (후쿠스미요시 신사의 유래 창건 메이레키 2(1656)年)

신사창건은 서기 1656 년. 신사가 있는「후쿠무라」는 세호 원년(1644), 고코우묘우 천황 (1633-1654: 에도시대 이전의 제 110 대 천황)때에 개발되었다. 마을사람은 주로 어업을 업으로 하고 있었기 때문에 항해의 안전과 풍어를 바라고 12 년 후인 메이레키 2(1656)년에 칸자키강가에 신사터를 쌓아 사당을 건립하여, 스미요시대신을 받들어 봉헌한것이 이 신사의 시작이다. 그후 바다의 수호신으로 또한, 마을의 씨족신으로 받아들여지게 되었다.

오사카시 코노하나구 바이카의 스미요시신사, 별칭인「시칸지마스미요시 신사」는 후쿠스미요 시 신사와는 오노강 녹음도로를 사이에 두고 동과 서에 위치하고 있다. 본래“스미요시신사” 라고하는 곳이지만 혼란을 방지하기 위해 지명을 붙여 부르고 있다.

(주): 고코우메이 천황은, 도후쿠몬인(고미즈노우 천황의 중궁)이 양모가 되어, 형식적으로 도쿠가와 씨는 외척의 지위를 얻었다. 어릴때부터 공명, 특히 일본학문보다도 유학, 시문을 좋아했고, 아사야 마이린(에도시대 전기의 유학자)등의 민간 주자학자를 초청하여 청강, 또한 후지와라세이카 (에도 전기의 유학으로 근세유학의 시조로 불리워짐)를 추모하여 시문집에 서문을 내렸다.

시집은 『호우테이집』 으로 보인다. 일방무예를 배우는등 조금 격렬한 성질과 언행을 소유하여, 장래를 기대한 아버지·고미즈노우(제 108 대 천황)는 단시간에 결정하지 말 것, 불신을 경계하고 학문에 전념할 것, 막부에 약점을 잡히지 않기위해 언동을 주의할 것 등 3 회에 걸쳐 훈계서를 내렸다.

表 2. 大阪市西淀川区、福住吉神社の詳細資料(和韓訳)

표 2. 오사카시 니시 요도가와구 후쿠스미요시 신사의 상세 데이터

모시는 신	스미요시 사주대(소코쯔쯔노 오노미고토, 나카쯔쯔노 오노미고토, 우와쯔쯔노 오노미고토)		
키워드	후코우메이천황, 바다의 수호신, 시칸지마 스미요시신사		
진좌지	555-0034 니시요도가와구 후쿠마쯔 2-15-6	신사창건	메이레키 2(1656)년
전화번호	06-6472-4640	Fax 번호	06-6472-4640
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
교통수단	한신오사카선「후쿠역」서쪽으로 500m		

## 2-4. 福住吉神社の中文由来 (福住吉神社的 明历 2(1656)年创建)

神社创建于公元 1656 年。本社所在地“福村”是在正保元(1644)年，后光明天皇(1633—1654：江户时代前期的第 110 代天皇。父亲是后水尾天皇，母亲是壬生院藤原光子)时期被开发。当时，村民主要以渔业为生，为了祈祷航海的安全以渔业的丰收，建村 12 年后，也就是明历 2(1656)年，沿着神崎河河边的这个地方开始动工，建起了大殿，请来了住吉大神，并且供奉起来，本神社也就从此诞生。之后，作为海的守护神以及当地的地方守护神备受信奉至今。(福村北村弥三郎所藏，延宝 5(1677)年，登载于青山大膳亮土地台帐)。(神社方面有部分订正)。

大阪市此花区梅香的住吉神社，别称“四贯岛住吉神社”与本福住吉神社，分别位于大野川绿荫道路的东西两侧，本来要以“住吉神社”命名，但为了便于分辨而加上了地名。(主页上有部分订正)

注后光明天皇因拜东福门院(后水尾天皇的正宫)为养母，因而在形式上确保了德川氏母系亲戚的地位。年少时便聪明的他，比起日本学对儒学以及诗文更有兴趣，邀请朝山意林庵(江户时代前期的儒学者)等等民间的朱子学者来授课，并因景慕藤原惺窝(江户时代前期的儒学者，被尊称为近世儒学的先祖)而为之文集赠与序文。作品有诗集“风啼集”。另一方面学武的他，因在性格以及言谈举止上有些许激烈，对其期望甚高的父亲后水尾(第 108 代天皇)三次赠与他训诫书，一是告诫他谨慎行事，二是鼓励他学习敬佛和神方面的学问，最后还要他约束自己的行动，绝不能让人抓住幕府的弱点。

表 4. 大阪市西淀川区、福住吉神社の詳細資料(和中訳)

表 4. 大阪市西淀川区 福住吉神社的详细资料

祭神	住吉四柱大(表筒男命，中筒男命，底筒男命，神功皇后)		
关键词	后光明天皇，海的守护神，四贯岛住吉神社		
供奉地	555-0034 西淀川区福町 2-15-6	神社创建	明历 2(1656)年
电话号码	06-6472-4640	Fax 传真	06-6472-4640
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_05_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
交通手段	阪神西大阪线“福站”下车，往北行 500m		

## 3. 福住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

### 3-1. 福住吉神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居とは神霊として鳥を招く意味。構造は 2 本柱に 2 本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。

神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の 9 部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は

無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢齋宮・野宮齋院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は厳島神社・気比神社等である。

写真 2 は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から 20 分の 1 に縮小にした製作品である。



正面鳥居の構造は明神系鳥居



正面鳥居の模型



稲荷神社の構造は明神系鳥居



西門の構造は明神系鳥居



金毘羅神社の構造は明神系鳥居



福住神社の構造は明神系鳥居

## 写真2. 福住吉神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 福住吉神社鳥居の構造観察

表 5 は福住吉神社鳥居の構造観察を行った。鳥居の項目別に要約を行った。反り増しと島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、西門鳥居、金毘羅神社鳥居と福戎神社鳥居である。台輪は、すべて無である。楔と額束は、すべてが有である。貫の四角外側は、正面大鳥居、稲荷神社鳥居、西門鳥居、福戎神社鳥居である。四角内側は、金毘羅神社鳥居である。根巻・藁座の有は稲荷神社鳥居であり、無は正面大鳥居と金刀比羅宮鳥居である。根巻藁座の有は福戎神社鳥居であり、無はその他の 4 末社である。亀腹・饅頭の有は 5 末社の全部である。

次は、鳥居別に特徴を行った。正面大鳥居、西門鳥居では、反り増しと島木は有であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無で、亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。稲荷神社鳥居と福戎神社鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。金毘羅神社鳥居では、反り増しと島木は有であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角内側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。

表 5. 大阪市西淀川区、福住吉神社鳥居環境の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻藁座	亀腹饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
稲荷神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	有	有	明神系鳥居

西門鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
金毘羅神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角内側	無	有	明神系鳥居
福戎神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	有	有	明神系鳥居

#### 4. 福住吉神社鳥居の計測結果と解析

福住吉神社鳥居は5基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。福住吉神社の3鳥居の測量値と建立年代は次の通りである。①正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.33m、柱内側幅2.79m、高さ(笠木上点3.73m、頂点3.88m)。文化5(1808)年建立。②稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.20m、柱内側幅1.55m、高さ笠木上点2.45m、頂点2.56m。奥には4基鳥居が建立。③西門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ笠木上点2.82m、頂点2.96m。1992年建立。④金毘羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.99m、高さ笠木上点2.71m、頂点2.90m。1927年建立。⑤福戎神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.97m、高さ笠木上点2.77m、頂点2.92m。

表6は、大阪市西淀川区、福住吉神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表6. 大阪市西淀川区、福住吉神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.06	0.33	2.79	3.13	2.79	3.05	3.40	3.73
稲荷神社鳥居	0.63	0.20	1.55	1.75	1.90	2.07	2.35	2.45
西門鳥居	0.79	0.25	2.18	2.43	2.23	2.44	2.80	2.93
金毘羅神社鳥居	0.78	0.24	1.99	2.24	2.02	2.22	2.59	2.71
福戎神社鳥居	0.80	0.25	1.97	2.24	2.11	2.30	2.67	2.77
東門鳥居	0.77	0.24	1.98	2.22	2.12	2.32	2.70	2.82
最大値	1.06	0.33	2.79	3.13	2.79	3.05	3.40	3.73
平均値	0.81	0.25	2.08	2.34	2.20	2.40	2.75	2.90
最小値	0.63	0.20	1.55	1.75	1.90	2.07	2.35	2.45

福住吉神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったものである。ベスト10にある鳥居の高さとして、柱間幅のみ1基である。平均貫下高さと平均貫上高さは、2.20mと2.40mである。この値により算術すると貫の厚さは、0.20mである。平均笠木下高さと平均笠木上高さは、2.75mと2.90mである。この値により算術すると笠木の厚さは、0.15mである。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。

次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。平均貫下高さは2.20m(計測値)と9.1直径の高さは2.28m(計算値)で、誤差は-0.08m(8cm)である。平均貫上高さは2.40m(計測値)と9.9直径の高さは2.48m(計算値)で、誤差は-0.08m(8cm)である。平均笠木下高さは2.75m(計測値)と11.2直径の高さは3.80m(計算値)で、誤差は-0.05m(5cm)である。平均笠木上高さは2.90m(計測値)と11.8直径の高さは2.95m(計算値)で、



誤差は-0.05m(5cm)である。平均貫下と上の高さにおける計測値と計算値の誤差は、8cm である。平均笠木下と上の高さは、5cm である。

図1は、表6から福住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したものである。柱間幅は1.55~2.79mの範囲で、平均2.08mである。貫高さは、下点の範囲(1.90~2.79m、平均2.20m)と上点の範囲(2.07~3.05m、平均2.40m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.35~3.40m、平均2.75m)と上点の範囲(2.45~3.73m、平均2.90m)である。図2は、田蓑神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。

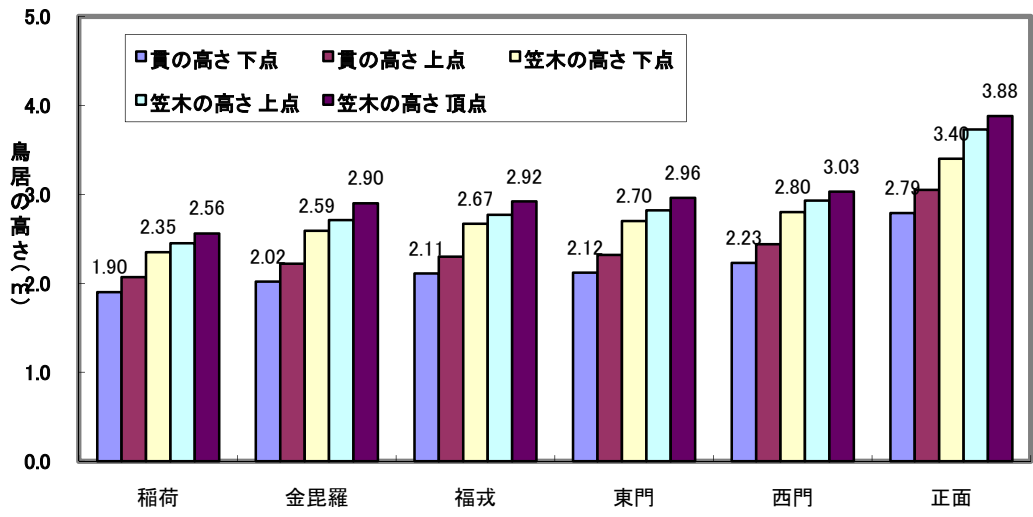
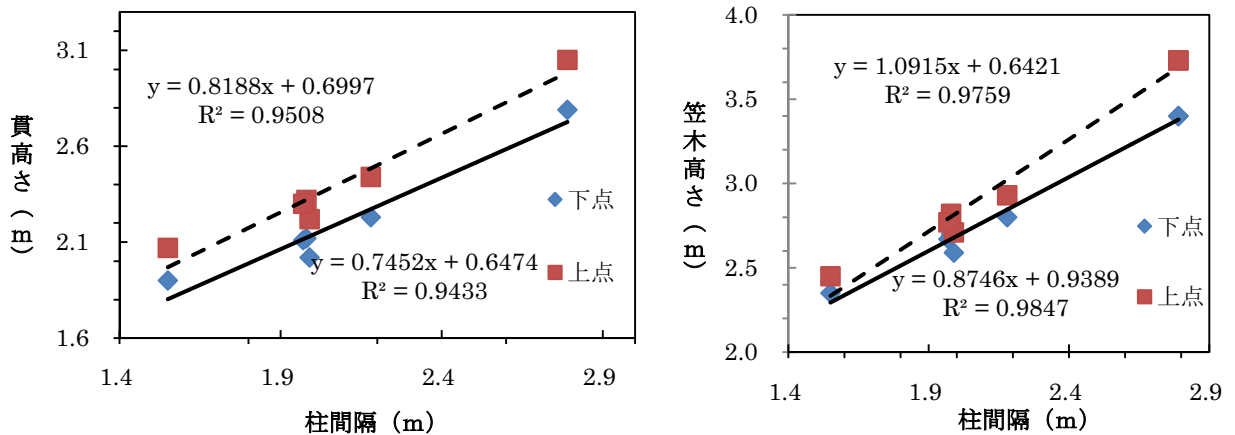


図1. 福住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係



福住吉神社鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

福住吉神社鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図2. 福住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図2左は、福住吉神社鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と貫下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9Dに計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ:上}) = 0.819(\text{柱間幅}) + 0.700 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.951) \dots \dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ:下}) = 0.745(\text{柱間幅}) + 0.647 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.943) \dots \dots (2)$$



福住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 1 と式 2 の勾配は、それぞれ 0.819 と 0.745 である。式 1 と式 2 の決定係数は、それぞれ 0.951 と 0.943 である。式 1 の勾配と決定係数は、式 2 によりわずかに大である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 1 右は、福住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ:上}) = 1.092(\text{柱間幅}) + 0.642 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.976) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ:下}) = 0.875(\text{柱間幅}) + 0.939 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.985) \dots \dots \dots (4)$$

福住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 3 と式 4 の勾配は、それぞれ 1.092 と 0.875 である。式 3 と式 4 の決定係数は、それぞれ 0.975 と 0.985 である。式 3 の勾配と決定係数は、式 4 のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川内の鳥居文化の建立

西淀川区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図 2)。区内の神社鳥居の建立年は、福住吉神社の正門の永正 8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成 19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成 7(1995 年)1 月 17 日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は 8 基である。8 基の内容は、五社神社が 6 基、福住吉神社が 1 基、大野百鳥住吉神社が 1 基である。福住吉神社の鳥居は図 3 の枠線に囲まれている。

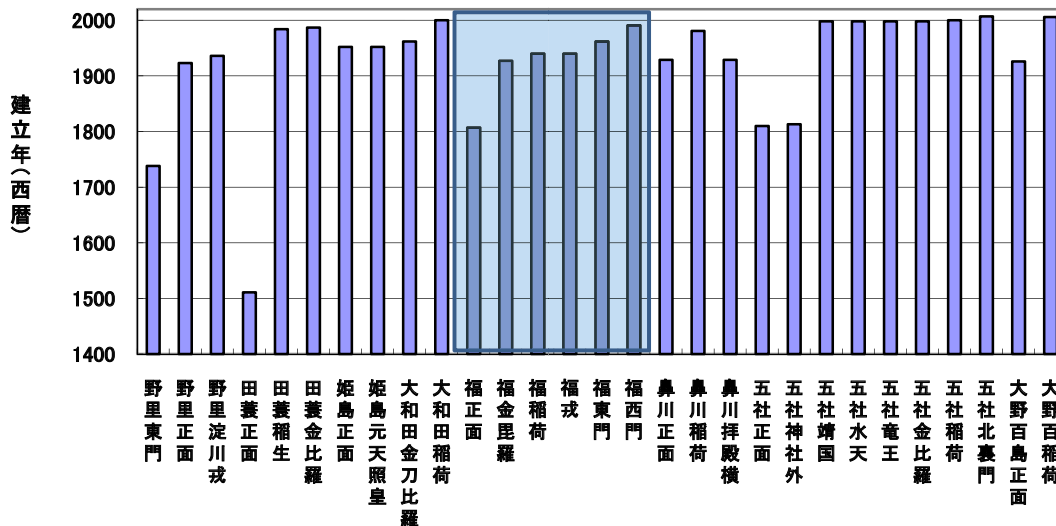


図 3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため 29 基の鳥居のみ情報処理を行った。福住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800 年前では 2 基、1800 年代では 3 基、

1900年代の前半では8基、および1900年代の後半では16基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、仲哀天皇9年(200年)、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は1500年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには次のような資料から認識していただきたいのである。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。住民の誠意ある努力と奉仕によって再建されたものもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要であると痛感する。

柱間隔は1.32~4.45mの範囲で、平均2.34mである。貫高さは、下点の範囲(1.87~4.74m、平均2.55m)と上点の範囲(2.01~5.15m、平均2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~6.02m、平均3.15m)と上点の範囲(2.39~6.27m、平均3.35m)である。図4は区内の柱間幅(X軸)に対する貫と笠木高さ(Y軸)との関係を表示した。

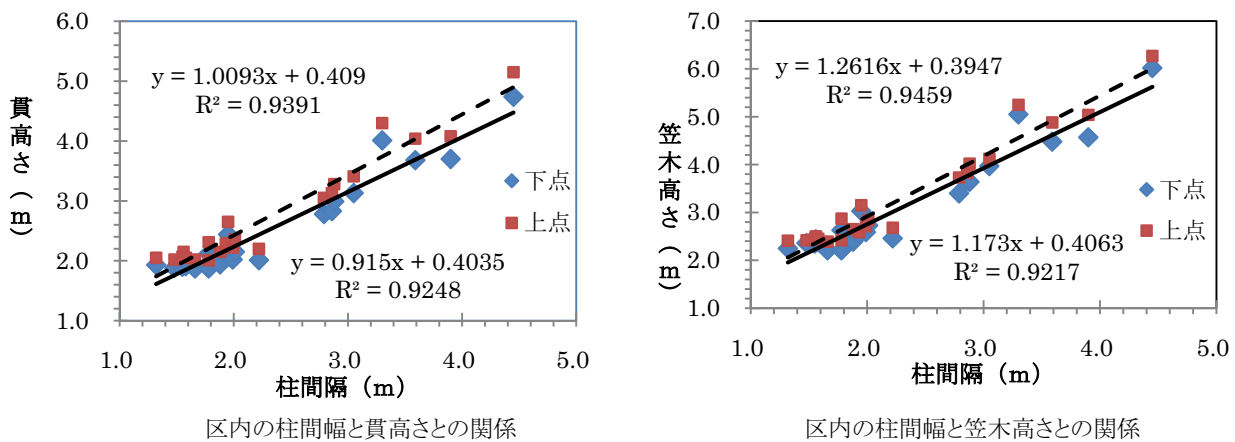


図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図4左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と貫下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9Dに計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \dots \dots \dots (5)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \dots \dots \dots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式5と式6の勾配は、それぞれ1.009と0.915である。式5と式6の決定係数は、それぞれ0.939と0.925である。式5の勾配と決定係数は、式6のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図4右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和

である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

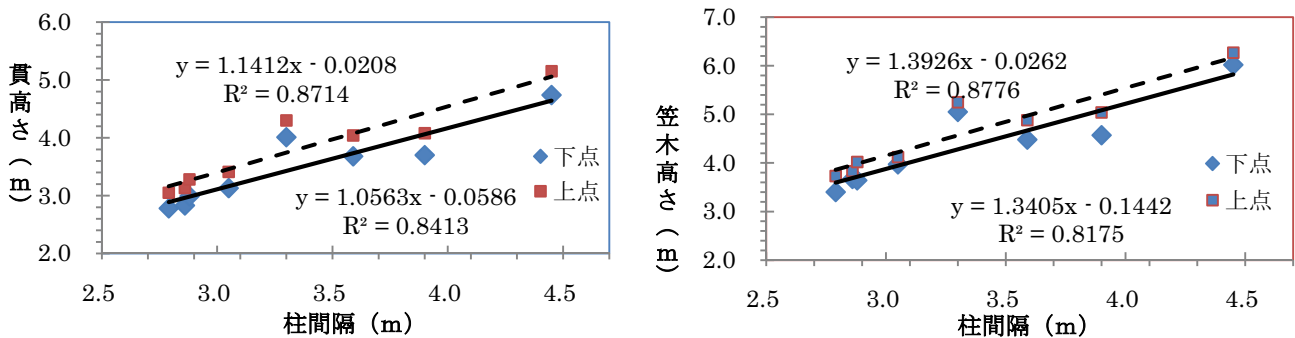
$$Y \text{ 笠木下} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \cdots \cdots (8)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、姫嶋神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・福住吉神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79~4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78~4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05~5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40~6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73~6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。福住吉神社の正面大鳥居において、柱間隔は 2.79m、貫高さは、下点 2.78m、上点 3.05m である。笠木高さは、下点 3.40m、上点 3.73m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 5 左は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \cdots \cdots (9)$$

$$Y \text{ 貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \cdots \cdots (10)$$

西淀川区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10

の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$$

$$Y \text{ 笠木下} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$$

西淀川区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

#### 5-4. 西淀川区内にある稲荷神社系鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百島の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48~1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01~2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39~2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。福住吉神社の稲荷神社系鳥居において、柱間隔は 1.55m、貫高さは、下点 1.90m、上点 2.07m である。笠木高さは、下点 2.35m、上点 2.45m である。

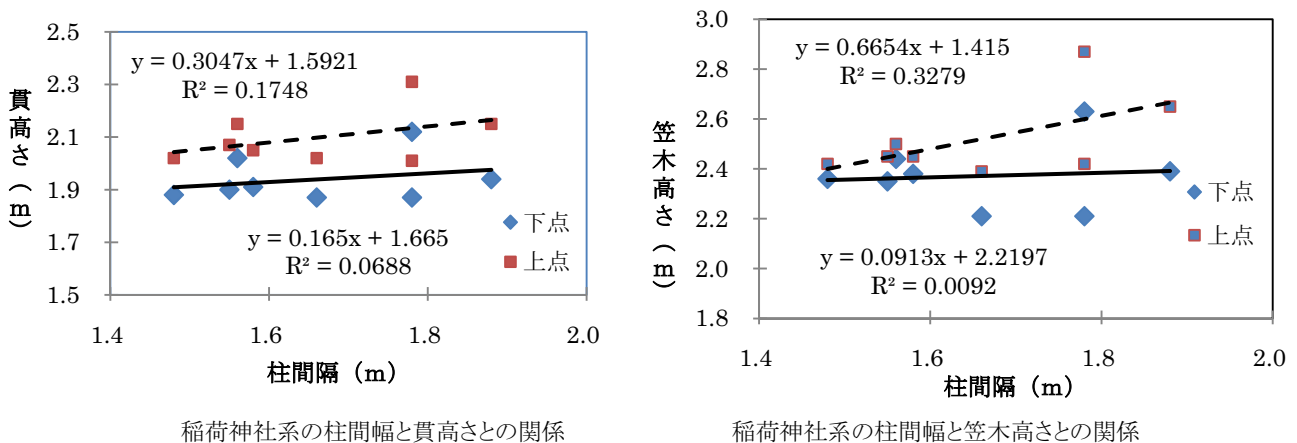


図 6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実

線である。貫下の高さは  $9.1D$ (直径)と貫上の高さは  $(9.1+0.8)=9.9D$  に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \cdots \cdots (13)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは  $11.2D$ (11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは  $11.8D$ (11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (15)$$

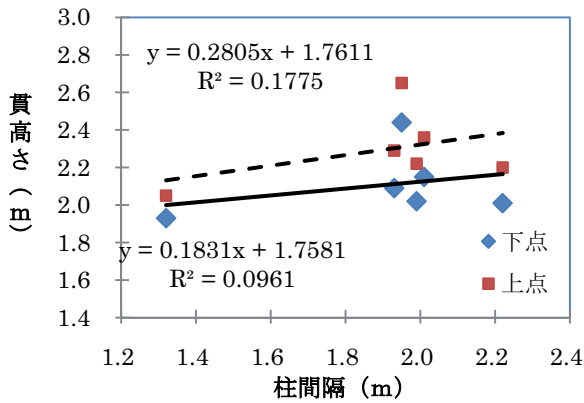
$$Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \cdots \cdots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

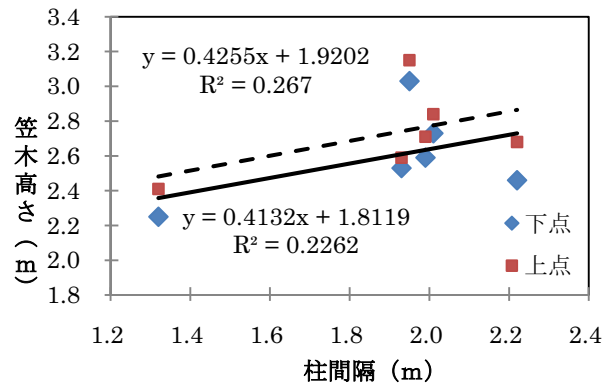
## 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は福住吉神社の昭和 2 年(1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社の平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32~2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93~2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05~2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25~3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41~3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している。福住吉神社の金毘羅神社系鳥居において、柱間隔は 1.99m、貫高さは、下点 2.02m、上点 2.22m である。笠木高さは、下点 2.59m、上点 2.71m である。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは  $9.1D$ (直径)と貫上の高さは  $(9.1+0.8) = 9.9D$  に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは  $11.2D$ ( $11.2$  は  $9.9$  と  $1.3$  の和である)と笠木上の高さは  $11.8D$ ( $11.8$  は  $11.2$  と  $0.6$  の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

## 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 8 に表示している。この図 8 における左側のプロット数は、区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方へシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。



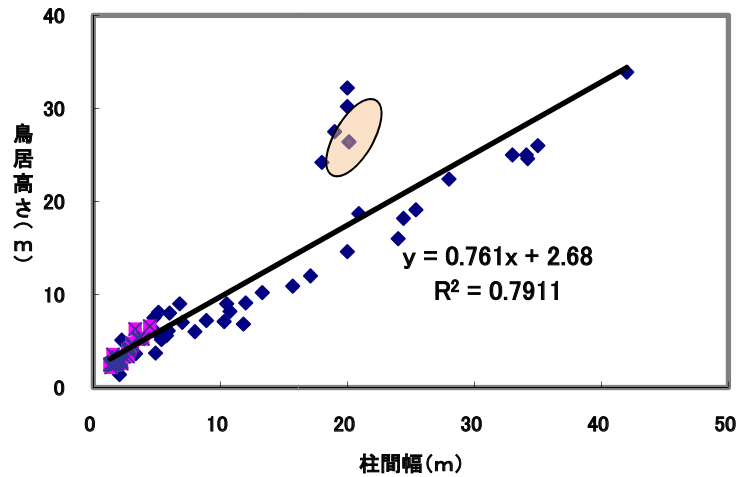


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にいる鳥居は約7m以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約4～5倍であることが確認された。

外山晴彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

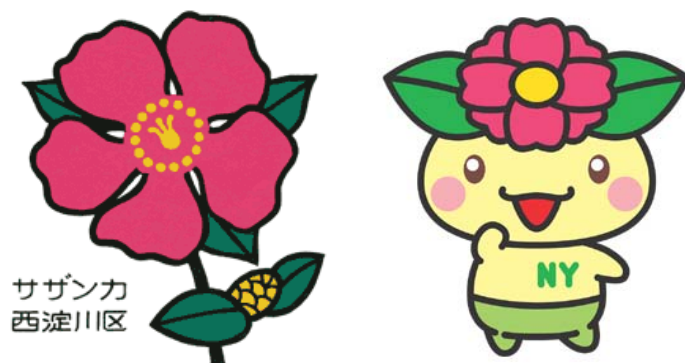
### 6-1. 西淀川区の地域環境

日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、 $34^{\circ}42'33''\text{N}$ と $135^{\circ}28'15''\text{E}$ で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、 $34^{\circ}42'23''\text{N}$ と $135^{\circ}25'57''\text{E}$ で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、 $34^{\circ}41'13''\text{N}$ と $135^{\circ}25'05''\text{E}$ で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、 $34^{\circ}43'59''\text{N}$ と $135^{\circ}26'57''\text{E}$ で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香簀野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある福住吉神社の調査要約

大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 福住吉神社の創建は明暦 2(1656)年で、鳥居建立は 1807～1991 年間である。
2. 福住吉神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 福住吉神社鳥居の構造観察の結果を要約する。反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居の 3 末社である。島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居であり、角型直線の有は、稲荷神社鳥居である。台輪は、すべて無である。楔と額束は、すべてが有である。貫の四角外側は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居である。根巻・藁座)の無は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居である。亀腹・饅頭の無は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居で、有は稲荷神社鳥居である。

4. 福住吉神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。 神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 福住吉神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある福住吉神社の加藤幸男宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕講師、和韓の翻訳には朴永炅学術博士、和中の翻訳には、富田和広教授・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の北川和孝彫刻師、西谷真志氏および NPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010 年 12 月 1 日受稿、2010 年 12 月 25 日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 5) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『よくわかる！神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>、2010 年
- 13) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 15) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田蓑神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 16) 沢 勲・石田信也・朴永炅:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 17) 沢 勲・富田和広・北川和孝:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 18) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 19) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永炅:「大阪市西淀川区、大野百鳥住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2011 年

# 大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居

## — 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・富田 和広\*\*・肥塚 義明\*\*\*

(大阪経済法科大学名誉教授\*・県立広島大学教授\*\*・洞窟環境 NET 学会事務局長\*\*\*)

### History of the Hanakawa Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Kazuhiro TOMITA\*\*・Yoshiaki KOEZUKA \*\*\*

#### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Hanakawa Shrine in Nishiyodogawa-ku, Osaka-City, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Hanakawa Shrine is unknown. The construction age of the torii in Nishi-Yodogawa Ward is a range for 2007 years from 1981511. The number of toriis that exists in the Hanakawa Shrine is seven. The construction age of the torii that exists in the Hanakawa Shrine is a range for 1981 years from 1962.

Worshipped Gods of the Hanakawa Shrine is the Empress Jingu, the Susanoo-no-Mikoto. Key word of the Hanakawa Shrine is the Empress Jingu, the Nozato ferry, a.k.a. the Kashiwa-no ferry and the Yodogawa repair work.

The origin of the Hanakawa Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese). Data concerning the torii environment was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in the Hanakawa Shrine is 2.45m ranges from 5.22m.

キーワード:神功皇后、かしの渡し、淀川改修工事

**Keywords:**the Empress Jingu, the Nozato ferry, a.k.a. the Kashiwa-no ferry, the Yodogawa repair work  
[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)*、Vol.2(2011), - pp]

#### 目次

##### 1. はじめに

##### 2. 鼻川神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1.鼻川神社の日文由来

2-2.鼻川神社の英文由来

2-3.鼻川神社の韓文由来

2-4.鼻川神社の中文由来

##### 3. 鼻川神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1.鼻川神社鳥居の写真と模型製作

3-2.鼻川神社鳥居の構造観察

##### 4. 鼻川神社鳥居の計測結果と解析

##### 5. 鼻川神社鳥居の考察

5-1.西淀川区内の鳥居文化の建立

5-2.西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

5-3.西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

5-4.西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

5-5.西淀川区にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

6-1.西淀川区の地域環境 6-2.西淀川区にある鼻川神社の調査要約

## 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したのである。本稿は、大阪市西淀川区、鼻川神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査平成22(2010)年報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。鼻川神社は、西淀川区の最東端に位置し、標高 3m、緯度 34°42'22"N;経度 135°27'55"にある。鼻川神社の鎮座地は、行政上、大阪市西淀川区花川 2-1-12 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない、新淀川と交差する旧中津川が接近した位置にあり、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、西淀川区誕生時の地図、大正 14(1925)、写真 1 の中央は、鼻川神社の位置図、写真 1 の右は、鼻川神社の社殿である。



西淀川区誕生時の地図、大正 14(1925)



鼻川神社位置は②番



鼻川神社社殿の建築様式は住吉造

### 写真 1. 大阪市西淀川区にある鼻川神社の位置と本殿写真

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。鼻川神社と行政との関連歴史の結果は、①淀川水系旧中津川口のデルタ地帯上に発達し、対岸に突き出だした半農半漁の集落。②社記に「神功皇后が、鹿島にお出でになった時、この地にお立ち寄りになられた、住民たちは取り急ぎ、つき立ての餅を柏の葉に載せ、野に咲いていた草花を添え、地名は、対岸に突き出した地形が“鼻”のようで、“はなかわ”、渡しを“かしわ”と命名。③以来、この地を“鼻川の里”、渡しを“かしわの渡し”と呼び習わしている。④この名を記念してお堂を建て、神功皇后をお祀りした。⑤後に、対岸の海老江の氏神である須佐之男命を祀って『鼻川の社』と称する。⑥祭礼には、柏餅と菜の花を束ねて御供えする」と記されている。⑦承久 3(1221)年、神前に豊作を祈願したところ、希にみる豊作となり、集落挙げて感謝、一粒万倍の御利益を賜ったとして、社地を「万倍の地」と称する。⑧明治 30(1897)年、淀川改修工事で社地が河川敷にかかったため、堤防外側に移転。その際、大阪府の神社整理の意向に沿って、姫島神社と書類合併。⑨昭和 9 年(1934 年)、現在の社殿を建てた。



さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22 年(2010 年)夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2-1. 鼻川神社の日文由来

当地は、古く淀川水系旧中津川口の三角州(デルタ地帯)上に発達し、対岸に突き出だした半農半漁の集落であった。社記に「神功皇后が、鹿島にお出でになった時、この地にお立ち寄りになられた。高貴の方のお出でを知った住民たちは取り急ぎ、つき立ての餅を柏の葉に載せ、野に咲いていた草花を添えてお出しすると、皇后はこれをことのほかお喜びになり、賞味された。その時、地名が無いことを聴かれて、対岸に突き出した地形が“鼻”のように変わっているからと、地名を“はなかわ”、渡しを“かしわ”と命名された。以来、この地を“鼻川の里”、渡しを“かしわの渡し”と呼び習わしている。また、この名を記念してお堂を建て、神功皇后をお祀りした。後に、対岸の海老江の氏神である須佐之男命(すさののみこと)を祀って『鼻川の社』と称し、祭礼には、柏餅と菜の花を束ねて御供えする」と記されている。

半農半漁の集落は、「度々水害に遭い、幾度も社殿を修復・改築し、祭の時は住民が交替で祭費を集め、宮座を組み、その経費を賄ってきた」とも書かれている。その当番頭を“とや”と称し、神事一切を主宰し、御供物も調達、煮物を献ずる習慣を受け継ぐなど、厳粛に奉仕し、無言の行事として伝統を承継してきた。承久 3(1221)年、神前に豊作を祈願したところ、希にみる豊作となり、集落挙げて感謝、一粒万倍の御利益を賜ったとして、社地を「万倍の地」と称し、同年社殿を改築し、通常のお供えの外、初めて甘酒を献じたという。万倍の地名は現在も残っている。

明治 30(1897)年、淀川改修工事で社地が河川敷にかかったため、堤防外側に移転。その際、大阪府の神社整理の意向に沿って、姫島神社と書類合併。しかし、その後も、村民挙げて基本金を積立てるなどして再興に務め、大正 13(1924)年 8 月、独立神社として承認され、昭和 9(1934)年、現在の社殿を建てたのである。(神社データから一部修正)

表 1. 大阪市西淀川区、鼻川神社の詳細資料

御祭神	神功皇后、素盞鳴尊(すさのおのみこと)		
キーワード	八坂神社、神功皇后、かしわの渡し、万倍の地、淀川改修工事		
鎮座地	555-0023 西淀川区花川 2-1-12	神社創建	創建不詳
電話番号	06-6471-3903	Fax 番号	06-6473-1986
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiodogawa_hanakawa.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiodogawa_hanakawa.html</a>		
交通手段	阪神姫島駅東へ・JR「塚本駅」西へ 800m		

## 2-2. 鼻川神社の英文由来

### (History of the Hanakawa Shrine Whose Foundation Date Is Unknown)

This was farming and fishing village of conduct on the delta of old Nakatsu-river in Yodo-river system. The written record of the shrine is as follows. When Empress Jingu came to KAJIMA, you dropped in at this ground. The Empress Jingu came here, the villagers were served fresh rice cake placed on “the Kashiwa,” leaves along with wildflowers, and then she was delighted taste.

She was named ‘Hanakawa’ landscape with a nose like and ferry to ‘Kashiwa’. Since then, ‘Hanakawa no sato’ and ‘Kashiwa no watashi’ now called. In addition, ‘Dou’ was built in commemoration of this name, and it deified Empress Jingu. Hanakawa Shrine would enshrine patron saint - the Susanoo-no-Mikoto of



Ebie in the opposite bank later and called myself "Hanakawa Shrine". At the festival, it is describing "kashiwa-mochi" and rape blossoms were offered.

As for the farming and fishing colony, "flood damage was encountered frequently, shrine pavilions were restored and rebuilt many times, at the time of a festival, residents collected festival expense by turns, and the household head was constructed, and it has covered the cost" is written. I named the turn head "unpleasant" (Toya) and presided over act of God all and inherited the custom that the votive offering offered a supply, food boiled and seasoned and served it solemnly and succeeded tradition as an event of the silence.

The villagers are grateful to the good harvest, so they gave the sweet sake restored the shrine and called here 'Manbai no chi', in 1221. 1897, Outside of the bank transfer for the renovation of the Yodo-river. At the same time, merged with Himeshima shrine in the instruction of Osaka prefecture. But they aimed to collect funds for revival. But they aimed to collect funds for revival. 1924 The separate shrine. 1934 Built a new shrine.

*We partially adapted these details from Shrine Data.*

表 2. 大阪市西淀川区、鼻川神社の詳細資料(和英訳)

Table2. Details on the Hanakawa Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City

Worshipped Gods	The Empress Jingu, the Susanoo-no-Mikoto		
Key Words	The Empress Jingu, the Nozato ferry, a.k.a. the Kashiwa-no ferry, the Yodogawa repair work		
Site	555-0023,2-1-12,Hanakawa, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	unknown
Telephone	06-6471-3903	Fax	06-6473-1986
Websites	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html</a>		
Access	To the Hanshin train "Himeshima station" east or 800m to JR "Tsukamoto station" west.		

### 2. 3. 鼻川神社の韓文由来 (하나카와 신사의 유래)

이 지역은 옛날부터 요도가와 물길인 옛날 구나카츠 강 입구의 삼각주(델타지대)위에 발달해 강 건너편에 마을이 형성된 농사 반 어업 반의 촌락이었다. 사기에 「진구황후가 카시마에 갔을때, 이 땅에 들렀는데 고귀한 분의 출타를 안 주민들은 서둘러 막 만든 떡을 복숭아 잎에 놓고 들에 피어있던 들꽃을 같이 바쳐서 황후는 이것을 알고 크게 기뻐하여 상을 내렸다. 그 때, 지명이 없는것을 듣고 지형이 “코” 처럼 변했기 때문이라고 하여 지명을 “하나카와” 에서 “와타시오 카시와” 로 이름지었다. 이후로, 이 땅을 “하나카와의 마을” 로 부르게 되었다. 또한, 이 이름을 기념해서 사당을 세우고 진구황후를 제사지냈다. 그 후에, 강 건너편의 에비에의 씨족신인 스사노오노 미고토를 모시고 『하나카와의 사당』으로 칭하고, 제례로는 복숭아 떡과 유채꽃을 묶어 공양했다」라고 기록하고 있다.

반농사 반어업의 취락은, 「종종 수해를 당하여 몇번이고 신전을 수복·개축하고 제사를 지낼때는 주민이 교대로 제사비용을 모아 제단을 꾸미고 그 비용을 조달해 왔다」라고도 쓰여져있다. 그 제사 담당자를 “토야” 로 칭하고 제사의 일체를 주재하며 각종 봉헌물을 조달, 어물을 바치는 습관을 계승하게 하는 등, 엄숙히 봉사하고 무언의 행사로 전통을 계승해 왔다. 1221 년, 신전에 풍작을 기원했는데 오랫동안 풍작을 이뤄 모두모여 감사를 드리고 만배의 이익을 얻어 사지를 「만배의

땅」으로 칭하고, 동년 사당을 개축해, 통상 봉헌하는 것 이외에 처음으로 감주를 봉헌했다고 한다. 만배의 지명은 현재도 남아있다.

메이지 30(1897)년, 요도가와 개수공사때, 사당이 하천부지에 들어있어, 재방 바깥쪽으로 이전했다. 그 후, 오사카 후의 신사정리 계획에 의해 히메시마 신사와 문서를 합칩다. 그러나, 그 후에도 마을사람들이 다같이 모여 재건에 힘써, 다이쇼 13(1924)년 8월, 독립신사로서 계승되어, 소화 9(1934)년, 현재의 사당을 건립하게 되었다.

(주) : 1. 진구황후는 추아이천황의 황후. 추아이천황의 사망(200년) 후, 스미요시대신의 신탁에 따라 배속에 아이(후에 오우신 천황)를 임신한 채 바다를 건너 조선반도에 출병해 신라를 공격했다. 진구황후는 아무것도 하지않았으나 바다의 물고기들이 배들을 등에 업고 운반하고, 순풍이 불고 파도는 신라의 대륙까지 덮쳐 도착했다 라고 전해지고 있다. 이 신라 정벌에 있어, 진구황후는 오미와신에 검과 방패를 봉헌하고 모든나라에 명령하여 쯔쿠시에 병사와 배를 모으고 황후자신은 남장을 하여 함선을 꾸미고 스미요시대신(스미요시 대사당 : 오사카시스미요시구 스미요시)의 혼령을 모시고 선봉에 섰다라고 한다.

表 3. 大阪市西淀川区、鼻川神社の詳細資料(和韓訳)  
표 3. 오사카시니시 요도마와구, 하나카와신사의 상세 데이터

모시는 신	진구황후, 수사노오노미고토		
키워드	진구황후, 카시와의 아타시, 만배의 땅, 요도가와 개수공사		
진좌지	555-0023 니시 요도가와구 하나카와 2-1-12	신사창건	
전화번호	06-6471-3903	Fax 번호	06-6473-1986
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html</a>		
교통수단	한신 히메시마역 동쪽으로・JR「쓰카모토역」서쪽으로 800m		

#### 2.4. 鼻川神社の中文由来 (鼻川神社的由来)

当地是由古代淀川水系旧中津口的三角洲(三角洲地带)上发展起来, 向对岸突起的一个半农半渔的村落。根据社记的记载, 它是被这样描述的“神功皇后巡访鹿岛时曾到过这个地方, 当地的村民得知这样一位尊贵的人物到来的消息, 莫不争先恐后的以柏树的叶子把刚做好的年糕包裹起来, 并挑选了野外开的正艳的花草来做点缀, 用来招待这位皇后, 对于村民的热情, 皇后格外地开心, 并享用了村民送来的食物。听说此地还未取名, 边因向对岸突出而变得像鼻子一样的地形, 便分别以“鼻川”和“柏”来为当地以及当地的渡口命名。同时, 为了纪念这个名字专门修起了祠堂, 并供奉起了神功皇后。后来, 改为供奉海老江的神明—须左之男命, 被称作“鼻川的神社”, 祭礼的时候把柏饼和花扎成束来供奉神明”

根据记载, 这个半农半渔的村落在当时“时常遭遇水灾, 数度修复改建神殿, 以祭祀时村民们轮流筹集祭祀时的费用, 组织祭祀团体, 并负责其他经费”当值的领头被称作“鹰”, 主管祭祀时的一切事物, 供品的办置以及供菜的习惯的传承等等都要严格地遵守, 并把这个沉默的仪式作为传统一直传承下去。承久 3(1221)年, 因在神前祈祷丰收后不久, 果真灵验, 为表示神明一粒万倍的恩赐, 全村上下无不表示感激之情, 把神社所在地成为“万倍之地”, 并与同年改建大殿, 供品也初次加入了甜酒一项。“万倍”这个地名也流传至今。

明治 30(1897)年, 淀川进行修复工程而神社因地基正好位于河床之上, 便迁移到堤防外侧。恰逢此时大阪府正在进行神社整理, 于是按照规划与姬岛神社的资料档案并在了一起。尽管如此, 当时的村民并未放弃神社的复兴, 不断地筹集基本基金等等, 终于于大正 13(1924)年 8月, 被批准为独立的神社, 而现在的大殿则是于昭和 9(1934)年所建。(选自神社的资料, 有部分订正)

注1.神功皇后是仲哀天皇的皇后。仲哀天皇骤亡(200年)后, 遵循住吉大神的神谕, 正怀有身孕(后来的

应神天皇)的神功皇后渡海出征朝鲜半岛，并攻下了新罗国。据说神功皇后当时不费吹灰之力，由海里的鱼载着大船，加上顺风卷起的海浪直接把军队送到了新罗的土地上。这次征讨新罗之行，神功皇后为大三轮神奉上剑和矛，命令诸国把士兵和船队都聚集在筑紫，而皇后自己则作为先锋，身着男装，组织船队，并招来了住吉大神(住吉大社 大阪市住吉区住吉)的荒御魂。

表 4.大阪市西淀川区、鼻川神社の詳細資料(和中訳)

表 4. 大阪市西淀区，鼻川神社的详细信息

祭神	神功皇后，素盞鸣尊		
关键词	神功皇后，“柏”渡口，万倍之地，淀川修复工程		
供奉地	555-0023 西淀川区花川 2-1-12	神社创建	天平宝字 19(800)年
电话号码	06-6471-3903	Fax 传真	06-6473-1986
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_06_nisiyodogawa_hanakawa.html</a>		
交通手段	阪神姫島站往东，JR“塚本站”往西 800m		

### 3. 鼻川神社鳥居の模型制作と構造観察

#### 3-1. 鼻川神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居とは神霊として鳥を招く意味。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。

神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき)・素木(しらき)は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。



正面大鳥居の構造は  
明神系鳥居。



正面鳥居の模型



拝殿横の構造は  
明神系鳥居。



稲荷神社の構造は  
明神系鳥居

## 写真2. 鼻川神社鳥居の写真と模型写真

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は厳島神社・気比神社等である。

写真 2 は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から 20 分の 1 に縮小にした製作品である。

### 3-2. 鼻川神社鳥居の構造観察

表 5 は鼻川神社鳥居の構造観察を行った。鳥居の項目別に要約を行った。①反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居の 3 末社である。②島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居の 2 末社であり、角型直線の有は、稲荷神社鳥居の 1 末社である。③台輪(だいわ)は、すべて無である。④楔(くさび)と額束(がくづか)は、全 3 末社が有である。⑤貫(ぬき)四角外側は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居の 3 末社である。⑥根巻・藁座(わらざ)の無は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居と稲荷神社鳥居の 3 末社である。⑦亀腹・饅頭の無は、正面大鳥居、拝殿横の鳥居の 2 末社で、有は稲荷神社鳥居の 1 末社である。

次は、末社別に特徴を要約する。

①正面大鳥居と拝殿横の鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は無である。鳥居の構造は明神系鳥居である。

②稲荷神社鳥居では、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有である。鳥居の構造は明神系鳥居である。

表 5. 大阪市西淀川区、鼻川神社鳥居環境の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・藁座	亀腹・饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	無	明神系鳥居
拝殿横の鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	無	明神系鳥居
稲荷神社鳥居	角型曲線	角型直線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居

## 4. 鼻川神社鳥居の計測結果と解析

鼻川神社鳥居は 5 基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。鼻川神社の 3 鳥居の測量値と建年代は次の通りである。①正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は 0.48m、柱内側幅 3.90m、高さ(笠木上点 5.04m、頂点 5.22m)。高さは区内上位。②拝殿横の鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は 0.29m、柱内側幅 2.41m、高さ(笠木上点 3.22m、頂点 3.33m)。③稲荷神社鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は 0.18m、柱内側幅 1.66m、高さ(笠木上点 2.39m、頂点 2.45m)。

表 6 は、大阪市西淀川区、鼻川神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表 6. 大阪市西淀川区、鼻川神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.49	0.48	3.90	4.36	3.70	4.08	4.57	5.04

稲荷神社鳥居	0.58	0.18	1.66	1.84	1.87	2.02	2.21	2.39
拝殿横の鳥居	0.92	0.29	2.41	2.76	2.37	2.61	2.93	3.22
最大値	1.49	0.48	3.90	4.36	3.70	4.08	4.57	5.04
平均値	1.00	0.32	2.66	2.99	2.65	2.90	3.24	3.55
最小値	0.58	0.18	1.66	1.84	1.87	2.02	2.21	2.39

鼻川神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったのである。ベスト 10 にある鳥居の高さとして、柱間幅のみ 1 基である。平均貫下高さと同貫上高さは、2.65m と 2.90m である。この値により算術すると貫の厚さは、0.35m である。平均笠木下高さと同笠木上高さは、3.24m と 3.55m である。この値により算術すると笠木の厚さは、0.31m である。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。

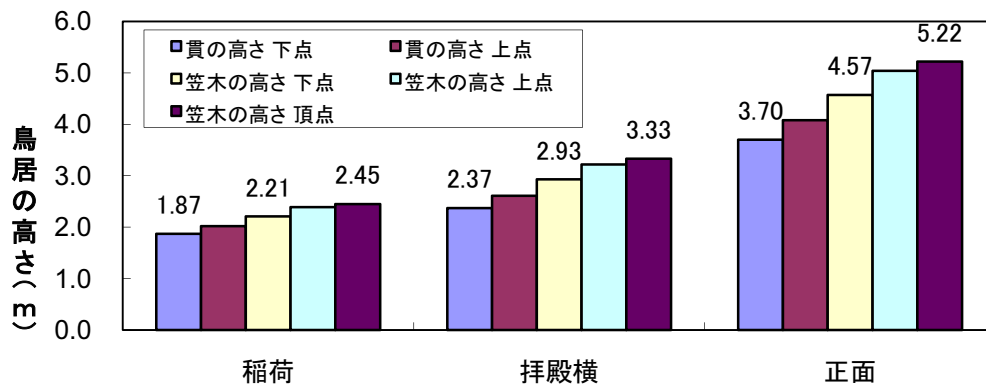
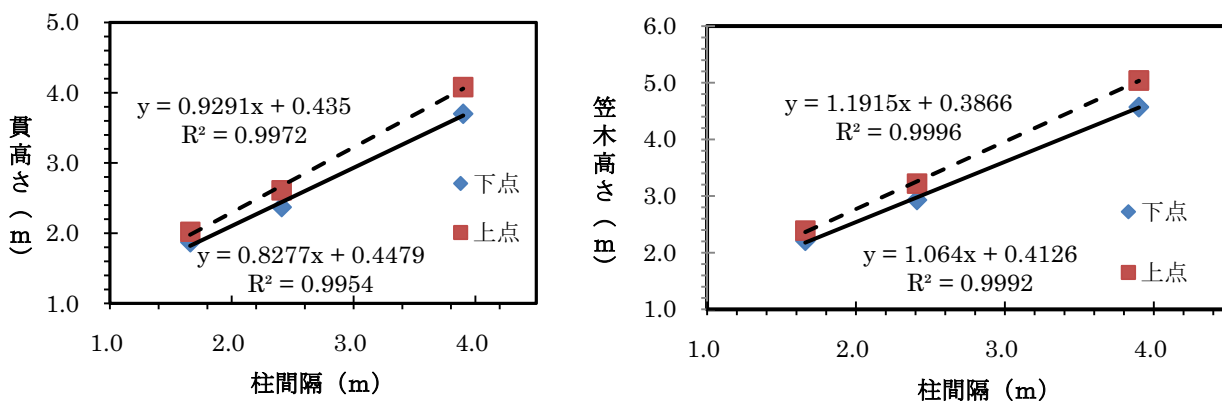


図 1. 鼻川神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。平均貫下高さは 2.65m(計測値)と 9.1 直径の高さは 2.91m(計算値)で、誤差は -0.26m(26cm)である。平均貫上高さは 2.90m(計測値)と 9.9 直径の高さは 3.17m(計算値)で、誤差は -0.27m(27cm)である。平均笠木下高さは 3.24m(計測値)と 11.2 直径の高さは 3.58m(計算値)で、誤差は -0.34m(34cm)である。平均笠木上高さは 3.55m(計測値)と 11.8 直径の高さは 3.78m(計算値)で、誤差は -0.23m(23cm)である。平均貫下と上の高さにおける計測値と計算値の誤差は、26.5cm である。平均笠木下と上の高さは、23~34cm である。



鼻川神社鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

鼻川神社鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 2. 鼻川神社鳥居の柱間幅と高さとの関係



図1は、表6から鼻川神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間隔は1.66～3.90mの範囲で、平均2.66mである。貫高さは、下点の範囲(1.87～3.70m、平均2.65m)と上点の範囲(2.02～4.08m、平均2.90m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～4.57m、平均3.24m)と上点の範囲(2.39～5.04m、平均3.55m)である。図2は、鼻川神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。

$$Y(\text{貫高さ:上}) = 0.929(\text{柱間幅}) + 0.435 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.997) \dots \dots \dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ:下}) = 0.828(\text{柱間幅}) + 0.445 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.995) \dots \dots \dots (2)$$

鼻川神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式1と式2の勾配は、それぞれ0.929と0.828である。式1と式2の決定係数は、それぞれ0.997と0.995である。式1の勾配と決定係数は、式2によりわずかに大である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図2右は、鼻川神社鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和である)に計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ:上}) = 1.192(\text{柱間幅}) + 0.387 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.9996) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ:下}) = 1.064(\text{柱間幅}) + 0.413 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.9992) \dots \dots \dots (4)$$

鼻川神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式3と式4の勾配は、それぞれ1.192と1.064である。式3と式4の決定係数は、それぞれ0.9996と0.9992である。式3の勾配と決定係数は、式4のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川内の鳥居文化の建立

西淀川区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図3)。区内の神社鳥居の建立年は、田蓑神社の正門の永正8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成7(1995)年1月17日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は8基である。8基の内容は、五社神社が6基、鼻川神社が1基、大野百島住吉神社が1基である。鼻川神社の正面鳥居とは拝殿横の鳥居は昭和4(1929)年に、稲荷神社は昭和56(1981)年に建立した。鼻川神社の鳥居は図3の枠線に囲まれている。

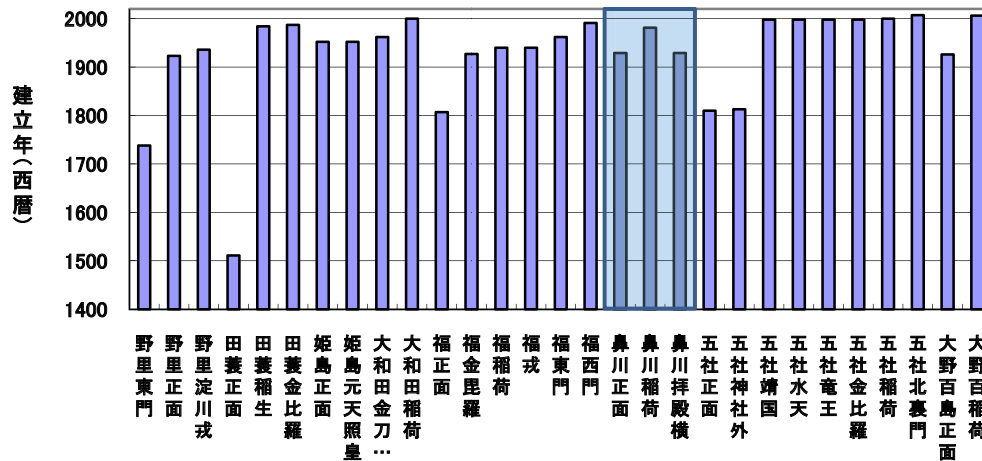


図 3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため 29 基の鳥居のみ情報処理を行った。鼻川神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800 年前では 2 基、1800 年代では 3 基、1900 年代の前半では 8 基、および 1900 年代の後半では 16 基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、仲哀天皇 9 年(200 年)、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよのごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は 1500 年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには次のような資料から認識していただきたいのである。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。住民の誠意ある努力と奉仕によって再建されたものもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要であると痛感する。

柱間隔は 1.32~4.45m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~4.74m、平均 2.55m)と上点の範囲(2.01~5.15m、平均 2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~6.02m、平均 3.15m)と上点の範囲(2.39~6.27m、平均 3.35m)である。図 4 は区内の柱間幅(X 軸)に対する貫と笠木高さ(Y 軸)との関係を表示した。

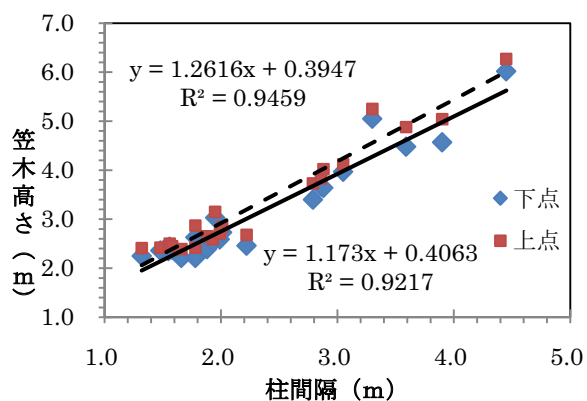
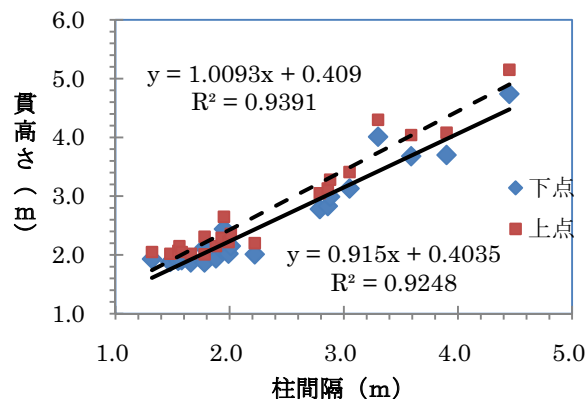


図4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図4左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と貫下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9Dに計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \dots \dots \dots (5)$$

$$Y_{貫下} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \dots \dots \dots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式5と式6の勾配は、それぞれ1.009と0.915である。式5と式6の決定係数は、それぞれ0.939と0.925である。式5の勾配と決定係数は、式6のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図4右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和である)に計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

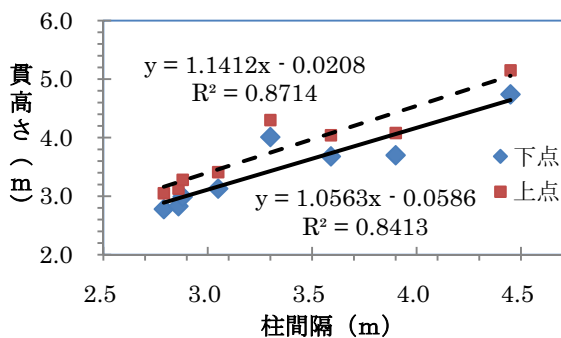
$$Y_{笠木上} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \dots \dots \dots (7)$$

$$Y_{笠木下} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \dots \dots \dots (8)$$

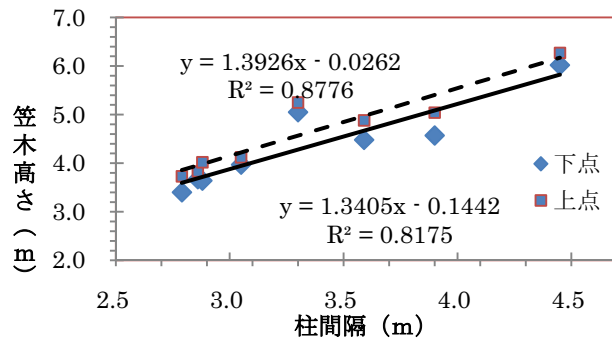
西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式7と式8の勾配は、それぞれ1.262と1.173である。式7と式8の決定係数は、それぞれ0.946と0.922である。式7の勾配と決定係数は、式8のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、姫嶋神社(5.15m)で最高である、次に、4m以上は、姫嶋神社(4.30m)・鼻川神社(4.08m)・鼻川神社(4.04m)・五社神社(4.02m)である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係



区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

## 図 5. 西淀川区区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

柱間隔は 2.79～4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78～4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05～5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40～6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73～6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。鼻川神社の正面大鳥居において、柱間隔は 3.90m、貫高さは、下点 3.70m、上点 4.08m である。笠木高さは、下点 4.57m、上点 5.04m である。

図 5 左は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは  $9.1D$ (直径)と貫上の高さは  $(9.1+0.8)=9.9D$  に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \cdots \cdots (9)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \cdots \cdots (10)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは  $11.2D$ (11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは  $11.8D$ (11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \cdots \cdots (11)$$

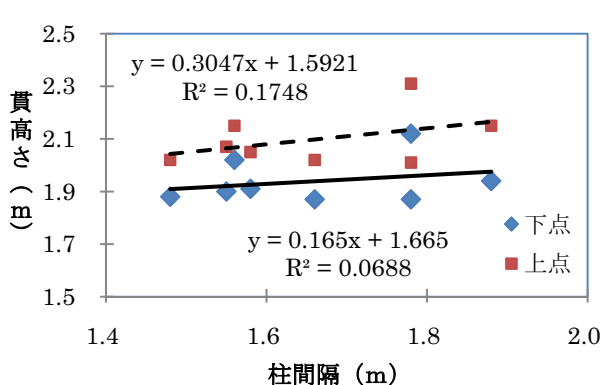
$$Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \cdots \cdots (12)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

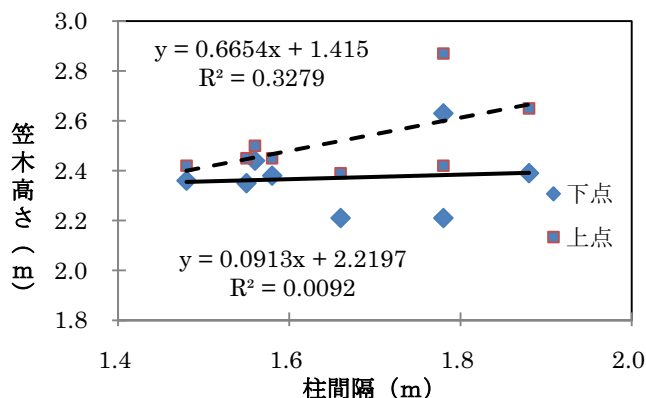
### 5-4. 西淀川区区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人氣が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は鼻川神社の昭和 15 年(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百鳥神社の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48～1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01～2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39～2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。鼻川神社の正面大鳥居において、柱間隔は 1.66m、貫高さは、下点 1.87m、上点 2.02m である。笠木高さは、下点 2.21m、上点 2.39m である。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係



稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図 6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは  $9.1D$ (直径)と貫上の高さは  $(9.1+0.8)=9.9D$  に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \dots\dots\dots (13)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots\dots\dots (14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは  $11.2D$ ( $11.2$  は  $9.9$  と  $1.3$  の和である)と笠木上の高さは  $11.8D$ ( $11.8$  は  $11.2$  と  $0.6$  の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots\dots\dots (15)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \dots\dots\dots (16)$$

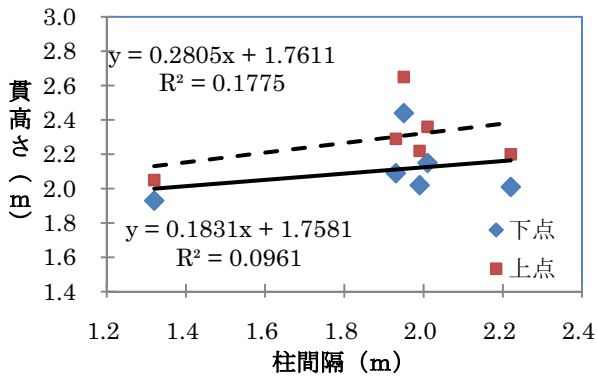
稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

### 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

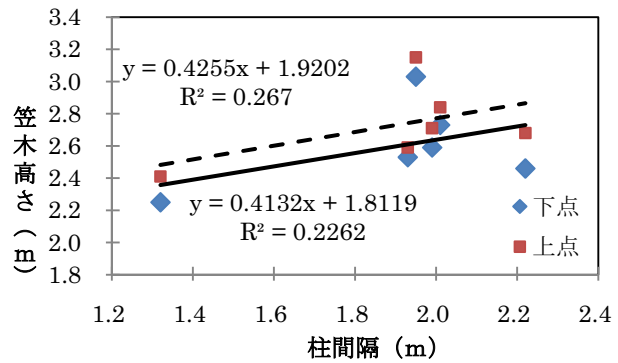
江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について

て、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は鼻川神社の昭和 2 年 (1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社の平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32～2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93～2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05～2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25～3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41～3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。



## 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図8に表示している。この図8における左側のプロット数は、区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は5基である。これは、標準値より上方へシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。

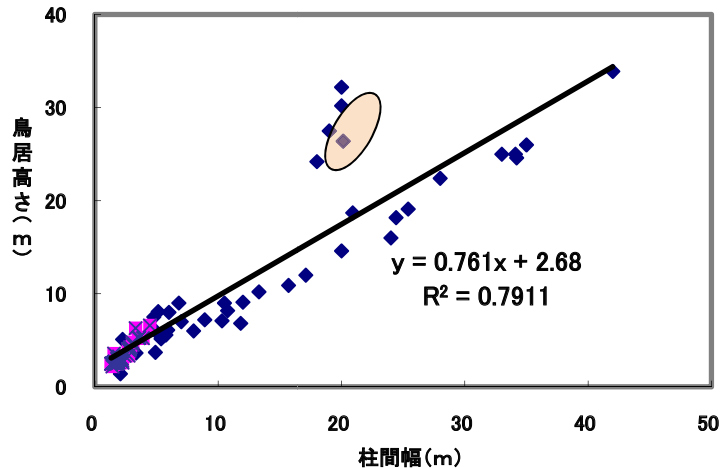


図8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8mで国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約7m以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約4~5倍であることが確認された。

外山晴彦(平成20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の11.8倍になっている。ここで、推定値の直径の11.8倍は、貫の幅0.8、貫と笠木間の幅1.3および笠木の幅0.6の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761と0.791である。

## 6. おわりに

### 6-1. 西淀川区の地域環境

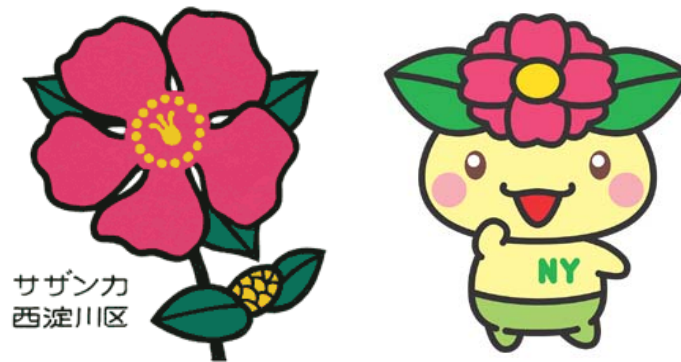
日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正14(1925)年4月1日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策

を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、34°42'33"N と 135°28'15"E で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、34°42'23"N と 135°25'57"E で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、34°41'13"N と 135°25'05"E で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、34°43'59"N と 135°26'57"E で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・田蓑神社・姫嶋神社・大和田住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香簀・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2.西淀川区にある鼻川神社の調査要約

大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 鼻川神社の鳥居建立は、1981～1929 年間である。
2. 鼻川神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 鼻川神社鳥居の構造観察の結果を要約する。反り増しと島木の角型曲線の有は、正面大鳥居、稻荷神社鳥居、西門鳥居、金毘羅神社鳥居と福戎神社鳥居である。台輪は、すべて無である。楔と額束は、全末社が有である。貫の四角外側は、正面大鳥居、稻荷神社鳥居、西門鳥居、福戎神社鳥居の 4 末社である。四角内側は、金毘羅神社鳥居である。根巻・藁座の有は稲荷神社鳥居であり、無は正面大鳥居と金刀比羅宮鳥居である。根巻藁座の有は福戎神社鳥居であり、無はその他の 4 鳥居である。亀腹・饅頭の有は 5 鳥居である。

4. 鼻川神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚い。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 鼻川神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある鼻川神社の下垣 太宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕講師、和韓の翻訳には金世徳学術博士・朴永昊学術博士、和中の翻訳には富田和広・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の北川和孝彫刻師、西谷真志氏および NPO 法人洞窟環境 NET 学会の藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010 年 12 月 1 日受稿、2010 年 12 月 25 日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 5) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『よくわかる！神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>.2010 年
- 13) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 15) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田養神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・石田信也・朴永昊:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永昊:「大阪市西淀川区、大野百鳥住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

# 大阪市西淀川区、五社神社(1688年)の由来と鳥居

— 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作—

沢 勲\*・上野 裕\*\*・西山 正明\*\*\*

(大阪経済法科大学元学長補佐\*・京都橘大学講師\*\*・西山組社長\*\*\*)

## History of the Gosya Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Hiroshi UENO\*\*・Masaaki NISHIYAMA\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Gosya Shrine in Nishi-yodogawa Ward, Osaka-City, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Gosya Shrine is 1688(Genroku1) age. The construction age of the torii in Nishi-Yodogawa Ward is a range for 2007 years from 1511. The number of torii in the Gosya Shrine is 13 sets.

The construction age of the torii that exists in the Gosya Shrine is a range for 2000 years from 1962. Worshipped Gods of the Gosya Shrine is the five pillars of main shrine (Amaterasu-ōmikami, Toyouke-no-Ogami, Susano-no-Mikoto, Hino-kagututi-kami, Sumiyoshi-no-Okami).

Key word of the Gosya Shrine is Amaterasu-ōmikami, Yasukuni Shrine, Tsunenori Tsuda, Nishijima-Sumiyoshi-Shrine. The origin of the Gosya Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese).

Data concerning the torii environment was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in Nozato-Sumiyoshi Shrine is 2.44m ranges from 5.21m.

キーワード:天照大御神、靖国神社、津田常則(平常則又は城常則とも云う)、西島住吉神社

**Keywords:** Amaterasu-ōmikami, Yasukuni Shrine, Tsunenori Tsuda, Nishijima-Sumiyoshi-Shrine  
[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][*Cave Environmental NET Society(CENS)*、Vol.2(2011)、 - pp]

### 目次

1. はじめに
2. 野里住吉神社の4ヶ国語(日英韓中)由来
  - 2-1. 野里住吉神社の日文由来
  - 2-2. 野里住吉神社の英文由来
  - 2-3. 野里住吉神社の韓文由来
  - 2-4. 野里住吉神社の中文由来
3. 野里住吉神社鳥居の模型制作と構造観察
  - 3-1. 野里住吉神社鳥居の写真と模型製作
  - 3-2. 野里住吉神社鳥居の構造観察
4. 野里住吉神社鳥居の計測結果と解析
5. 野里住吉神社鳥居の考察
  - 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立
  - 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ
  - 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ
  - 5-4. 西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

5-5.西淀川区にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

6-1.西淀川区の地域環境 6-2.西淀川区にある野里住吉神社の調査要約

# 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、五社神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査(2010)報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。五社神社は、西淀川区の最西端に位置し、標高 0m、経度 34°42'23"N;経度 135°25'57"にある。五社神社の鎮座地は、行政上、大阪市西淀川区中島 1-2-8 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、西淀川区その周辺、平成 6(1994)年、写真 1 の中央は、五社神社の位置図、写真 1 の右は、五社神社の社殿である。



西淀川区その周辺、平成 6(1994)



五社神社位置は⑦番



五社神社社殿の建築様式は住吉造

## 写真 1. 大阪市西淀川区にある五社神社の位置と本殿写真

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。五社神社と行政との関連歴史の結果は、①元禄元(1688)年、中島新田開発時、天照大御神を始め、豊受大神、素盞鳴尊、火之迦具土神、住吉大明神等の四神を勧請。②末社として稲荷神社・事平神社・水天宮神社や靖国神社・龍王社。③飛地境内社として西島住吉神社を祀る。④古来より五穀豊穡・排水治水の神、無病息災等の顕著な神徳多くの信仰を集める。⑤1804 年～1830 年、津田常則と呼ぶ神官が、『病む“くさ”(腫れもの)治癒』という神のお告げを受け、霊頭、『城島のくさ神様』と呼ぶ、祈願に参拝する者の跡が絶えないと伝えた。⑥建物神殿には、絵画(文政 8 年平常則奉納 16 編和歌)、造形物(龍の彫り物)、写真(牛の藪入り)等の宝物・奉納品などを保管。⑦空襲により本殿屋根破壊・井戸屋形倒壊他被害、火災や焼夷弾により社務所全廃、水害・台風等により貴重な神社の宝物はなくなっている。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22(2010)年夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であったため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研



究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2-1. 五社神社の日文由来

元禄元(1688)年、中島新田開発の時、天照大御神を始め、豊受大神(とようけのおおみかみ)、素盞鳴尊(すさのうのみこと)、火之迦具土神(ひのかぐつちかみ)、住吉大明神等の四つ神を勧請。その後、末社として稲荷神社・事平神社・水天宮神社や靖国神社・龍王社をお祀りした。さらに飛地境内社として西島住吉神社を祀っている。古来より五穀豊穡・排水治水の神、無病息災等の顕著な神徳があると多くの信仰を集めている。

「文化文政の頃(1804年～1830年)、津田常則(平常則)と呼ぶ神官が『この世の人が病む“くさ”(腫れもの)はことごとく治癒するであろう』という神のお告げを受け、治療にあたったところ、霊頭(れいけん)あらたかだったため、誰言うもなく『城島のくさ神様』と呼ぶようになり、近郷から祈願に参拝する者の跡が絶えなかった』との言い伝えが残っている。(神社から一部修正)

神を祀る建物神殿には、絵画(文政8年平常則奉納16編和歌)、造形物(龍の彫り物)、写真(牛の藪入り)等の宝物・奉納品などを保管している。

五社神社は、空襲により本殿屋根破壊・井戸屋形倒壊他被害があり、火災や焼夷弾により社務所全廃された。他に、水害・台風等により貴重な神社の宝物はなくなっている。

①1.豊受大神は、伊勢神宮の御饌(ミケ)の神として伊勢神宮外宮(豊受大神宮)に祀られる穀物女神である。御饌とは天照大神の食べる食物のことで、この神は本来それを調達する役目を果たす神だった。そこから発展して五穀の主宰神とる。

②2.素盞鳴尊は、日本神話の主役の一人として、あるときは善玉として、またあるときは悪玉となって登場する。多重人格的な性格は、変化に富んだ謎の多い神としての神秘性と、人間に近い性格を備えた俗っぽさを感じさせる。

③3.火之迦具土神は、「輝く火の神」「ものが燃えているにおいのする火の神」といった意味。迦具(かぐ:「輝く」)の意から「かぐや姫」などにも通じる。土(つち)の「ち」は、神などの超自然的なものをあらわす言葉。

④4.文化文政の頃(1804年～1830年)を中心とする江戸時代後期には、町人文化である、政治・社会の出来事や日常の生活を風刺する川柳が流行した。

表 1. 大阪市西淀川区、五社神社の詳細資料

御祭神	本殿五柱神(天照大御神、豊受大神、素盞鳴尊、火之迦具土神、住吉大神)		
キーワード	天照大御神、靖国神社、龍王社、津田常則、西島住吉神社		
鎮座地	555-0041 西淀川区中島 1-2-8	神社創建	元禄元(1688)年
電話番号	06-6472-2727	Fax 番号	06-6472-2727
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html</a>		
交通手段	阪神西大阪線「出来島駅」下車徒歩 8 分		

## 2-2. 五社神社の英文由来

### (History of the Gosya Shrine Founded in 1688(Genroku 1))

When the development of Naka-no-shima new field, shrine dedicated to the five, Amaterasu-omikami, Toyouke-no-omikami, Susanou-no-mikoto, Hino-kagutsuchi-kami and Sumiyosi-dai-myojin. Then,



dedicated to the Inari, Kotohira, Suitengu, Yasukuni, Ryuo, and Nishisima-sumiyosi Shrine. These shrines have divine blessing of good harvest, flood control and drainage, and good health, attracting a lot of faith.

In Bunka-bunsei era(1804~1830), one legend has the following. Shinto priest “Tsunenori Tsuda” was an omen that you will cure boils and all the sick people. His treatment cured of it, and then ‘Jyozima no kusa-kamisama’ had to call the shrine, many worshipers arrived. The main hall kept the donated goods and treasures of painting, sculpture and photography.

*We partially adapted these details from Shrine Data.*

But the roof of the main hall, well and office of shrine was destroyed by the air raid of the war. And the shrine is no longer valuable floods and typhoons, in Gosya shrine.

㊦1. Toyoukeomikami : She is grain goddess of Ise Grand Shrine, and becomes a god of grain.

㊦2. Susanoo-no-Mikoto : He is one of the heroes of Japanese myths, and has a mystique as a god and the personality laity. ‘Tsuchi’ represents supernatural and divine things.

㊦3. Hino-kagututi-kami : He is the god of fire shining. ‘Kagu’in the sense of shining, leading to ‘Kaguya-hime’.

㊦4. It was urban culture in the late Edo period centering on Bunka-bunsei time (1804- 1830). Furthermore, the senryu which satirizes the occurrence of politics and society and an everyday life was in fashion.

表 2. 大阪市西淀川区、五社神社の詳細資料(和英訳)

Table2. Details on the Gosya Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City

Worshipped Gods	The five pillars of main shrine (Amaterasu-ōmikami, Toyouke-no-Ogami, Susanoo-no-Mikoto, Hino-kagututi-kami, Sumiyoshi-no-Okami)		
Key Words	Amaterasu-ōmikami, Yasukuni Shrine, Tsunenori Tsuda, Nishijima Sumiyoshi Shrine		
Site	555-0041, 1-2-8, Nakajima, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	1688(Genroku1)
Telephone	06-6472-2727	Fax	06-6472-2727
Websites	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html</a>		
Access	10 minutes' walk north of “Dekijima Station” on the Hanshin West Osaka Line		

### 2-3. 五社神社の韓文由来 (오자신사의 유래 창건은 겐록크 원년(1688))

겐록크(1688)원년, 나카시마 전답을 개발할 때, 아마테라스오미 신을 시작하여 토우케대신, 스사노오노 미코토, 히노카구토신, 스미요시대명신의 네신을 받들었다. 그 후 말사(제일 뒤에 위치한 신사)에 이나리 신사·코토히라신사·수이텐구신사나 야스쿠니신사·류오신사를 모셨다. 더욱이 먼곳에 있었던 니시지마 신사를 경내에 모셨다. 옛날부터 오곡풍양·배수치수의 신, 무병무사함등에 현저한 신덕이 있다고 해 많은 신앙의 대상이 되고있다. 「문화문정의 때(1804년~1830년), 쓰다쓰네노리라고 불리운 신관이 『이 세상 사람의 고통(붓는병)은 다 치유될것이다』 라는 신의 계명을 듣고 치료를 한 결과, 영감이 강하여, 누구든지 『쵸지마의 쿠사신』 으로 부르게되어, 근처로부터 기도하러오는 참배객들의 왕래가 끊이지 않았다』 라는 말이 전해져 내려오고있다. 신을 모시는 신전에는, 그림(문정 8년 평상척봉납 16편 단가), 조형물(용의 조각품), 사진(소들이 거닐고 있는)등의 보물·봉납품등을 보관하고 있다.오자신사는. 공습으로 본전지붕이

파괴되고 저택이 파괴되는등의 피해가있었고, 화재나 폭탄에 의해 사무소가 전소되었다. 그밖에, 수해·태풍등으로 귀중한 신사가 소실되었다.

㉔1. 코우케대신은 이세신궁의 미케(식물을 지배하는 신)로 이세신궁 외궁(토우케대신궁)에 모셔진 여신임. 미케란 천하대신이 먹는 음식물로서, 이 신은 본래 그것을 조달하는 역할을 한 신이었다. 여기서 발전하여 오곡의 주재신이 되었음.

㉔2. 스사노노미코토는, 일본신화의 주역의 한사람으로, 어떤때는 선한 역 으로, 어떤때는 악한 역으로 등장하게 된다. 다중인격적인 성격은 변화와 술수에 능란한 신으로서의 신비성 과 인간에 가까운 성격을 갖춘 탐욕스러움을 느낄수 있다.

㉔3. 히노카구토신은, 「빛나는 불의 신」, 「물건이 타고있어 냄새가 나는 불의 신」 이라는 의미가 있다. 카구(빛나다)의 의미로부터 「카구야 공주」 등으로도 통한다. 땅은 신등의 초자연적인 것을 표현하는 단어.

㉔4. 문화·문정의 때(1804년~1830년)를 중심으로하는 에도시대 후기에는, 마을 사람들의 문화의 하나로, 정치·사회의 중심테마나 일상생활을 풍자하는 시류가 유행했다.

表 3. 大阪市西淀川区、五社神社の詳細資料(和韓訳)  
표 3. 오사카시 니시요도가와구 오자신사의 상세 데이터

모시는 신	본전오주신(아마테라스오미카미, 토우케대신, 스사노우노미고토 히노카구토신, 스미요시대신)		
키워드	아마테라스오미카미, 야스쿠니신사, 용왕사, 쓰다즈네노리, 니시지마스미요시신사		
진좌지	555-0041 니시요도가와구 나카지마 1-2-8	신사창건	겐록크(1688)원년
전화번호	06-6472-2727	Fax 번호	06-6472-2727
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html</a>		
교통수단	한신 니시오사카선「데끼지마역」하차 도보 8 분		

#### 2.4. 五社神社の中文由来 (五社神社的由来 元禄元(1688)年)

元禄元(1688)年, 开发中岛新田时, 首先是天照大御神, 随后又请来丰受大神, 素盞鸣尊, 火之迦具土神, 住吉大明神等等四位神明. 之后作为分神社, 祭祀起了稻荷神社, 事平神社, 水天宫神社以及靖国神社和龙王社. 另外祭祀的还有作为飞地境内社的西岛住吉神社. 自古以来五谷丰登之神, 排水治水之神, 无病无灾等神明因非常灵验而广受信徒的爱戴.

至今还流传这这样一个传说“文化文政之时(1804年~1830年), 一位名叫津田常则的神主从神明那里得到: 把世人得的‘疮’都治好! 的神谕, 在治疗病人时神明灵验显著, 便自然而然地有了‘城岛的疮之神’的称号, 从附近的村庄来祈祷参拜的人络绎不绝”(部分内容经过神社订正)

在供奉神明的神殿里至今还保管着绘画(文政8年平常则奉纳 16 编辑的和歌), 造型物(龙的雕刻品), 照片(牛并且有草丛陪衬)等等的宝物以及献纳品.

这五个座神社有的因空袭造成房顶损坏, 有的井户屋形倒塌, 另外, 受水灾, 台风等影响, 许多宝贵的神社也遭到毁灭.

㉔1. 丰受大神原本是掌管伊势神宫的供品的五谷女神, 被供奉在伊势神宫外宫(丰受大神宫). 供品是天照大神的 食物, 所以这位神明的职务便是管理大神的膳食. 而后演变为五谷的主宰神.

㉔2. 素盞鸣尊在日本神话中是一位经常出现的角色, 有时是位好神, 而有时则作为坏人出现. 因多重人格的性格,

并有着许多难解之谜，非常有神秘感，给人一种具有接近人类的性格的亲近感。

㊦3.火之迦具土神意思是“耀眼的火之神”“有物体燃烧味道的火之神”。迦具(闪耀)的意思也与“”相通。“土”的日语发音里的一个音节“qi”是表示神仙等等超自然的事物的词汇。

㊦4.以文化文政时期(1804年~1930年)为中心的江户时代后期，当时的平民文化中，非常流行对社会、政治时间以及一些日常生活的川柳(以十七个日语假名组成的诙谐、讽刺短诗)。

表 4. 大阪市西淀川区、五社神社の詳細資料(和訳)

表 4. 大阪市西淀川区、五社神社的详细资料

祭神	大殿五柱神(天照大御神, 丰受大神, 素盞鸣尊, 火之迦具土神, 住吉大神)		
关键词	天照大御神, 靖国神社, 龙王社, 津田常则, 西岛住吉神社		
供奉地	555-0041 西淀川区中島 1-2-8	神社创建	元禄元(1688)年
电话号码	06-6472-2727	Fax 传真	06-6472-2727
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_07_nisiyodogawa_gosya.html</a>		
交通手段	阪神西大阪线“出来岛站”下车, 步行 8 分钟		

### 3. 五社神社鳥居の模型制作と構造観察

#### 3-1. 五社神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居とは神霊として鳥を招く意味。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。

神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鎬の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所に台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)になっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は巖島神社・気比神社等である。

写真2は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から20分の1に縮小にした製作品である。



正面大鳥居の構造は明神系鳥居



正面大鳥居の模型



金比羅神社の構造は明神系鳥居



水天宮神社は鹿島鳥居に額束付加



稲荷神社は鹿島鳥居に額束付 6 連



神社外の構造は明神系鳥居

## 写真2. 五社神社鳥居の写真と模型写真

### 3-2. 五社神社鳥居の構造観察

表 5 は五社神社鳥居の構造観察を行った。鳥居の項目別に要約を行った。①反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居と神社外鳥居の 3 基で、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居の 2 基である。②島木の角型曲線は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居と神社外鳥居の 3 基で、角型直線は、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居の 2 基である。③台輪は、すべて 5 基が無である。④楔と額束は、5 基が共に有である。⑤貫(ぬき)四角外側は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居と神社外の鳥居の 5 基である。⑥根巻・藁座の無は正面大鳥居、金比羅神社鳥居、神社外の鳥居の 3 基で、有は水天宮神社鳥居と稲荷神社鳥居野 2 基である。⑦亀腹・饅頭はすべて無である。

次は、鳥居別に特徴を要約する。五社神社には明神系鳥居が 3 基であり、残りは鹿島鳥居に額束を取り付けたものである。①正面大鳥居、金比羅神社鳥居、神社外の鳥居は、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無で、亀腹・饅頭は有で、鳥居の構造は明神系鳥居である。

②鹿島鳥居に額束を取り付けた鳥居は、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居は、鹿島鳥居に額束を付加し、反り増しは無であり、島木は共に角型直線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は有である。

表 5. 大阪市西淀川区、五社神社鳥居環境の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻 藁座	亀腹 饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
金比羅神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
水天宮神社鳥居	無	丸型直線	無	有	有	四角外側	有	有	鹿島鳥居に額束付加



稲荷神社鳥居	無	丸型直線	無	有	有	四角外側	有	有	鹿島鳥居に額束付加
神社外の鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居

#### 4. 五社神社鳥居の計測結果と解析

五社神社鳥居は6基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。五社神社の3鳥居の測量値と建立年代は次の通りである。①正面鳥居の構造は、柱の直径は0.37m、柱内側幅2.86m、高さ(笠木上点3.83m、頂点4.07m)。文化8(1811)年建立で、明神系鳥居である。②金比羅神社の構造は、柱の直径は0.14m、柱内側幅1.32m、高さ(笠木上点2.41m、頂点2.44m)で、平成19(2007)年建立で、明神系鳥居である。③水天宮神社は、柱内側幅1.35m、高さ(笠木上点2.47m、頂点2.51m)、1999年建立で、鹿島鳥居に額束付加。④稲荷神社の構造は、柱の直径は0.16m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.42m、頂点2.46m)、平成12(2000)年建立で、鹿島鳥居に額束付6連該当なしであるが6基が連立。⑤神社外の構造は、柱の直径は0.48m、柱内側幅3.55m、高さ(笠木上点4.93m、頂点5.21m)、文化11(1814)年建立で、明神系鳥居である。

表6は、大阪市西淀川区、五社神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。

表6. 大阪市西淀川区、五社神社鳥居の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.16	0.37	2.86	3.25	2.83	3.13	3.67	3.83
金比羅神社鳥居	0.45	0.14	1.32	1.47	1.93	2.05	2.25	2.41
水天宮神社鳥居	0.45	0.14	1.35	1.49	1.98	2.10	2.31	2.47
稲荷神社鳥居	0.53	0.16	1.78	1.95	1.87	2.01	2.21	2.42
神社外の鳥居	1.54	0.48	3.55	4.06	3.65	4.02	4.75	4.93
北門裏	0.83	0.26	1.92	2.20	2.02	2.22	2.61	2.71
最大値	1.54	0.48	3.55	4.06	3.65	4.02	4.75	4.93
平均値	0.83	0.26	2.13	2.40	2.38	2.59	2.97	3.13
最小値	0.45	0.14	1.32	1.47	1.87	2.01	2.21	2.41

五社神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったものである。ベスト10にある鳥居の高さとして、柱直径・柱間幅・貫上高さ・笠木上高さは2基である。平均貫下高さ・平均貫上高さは、2.38mと2.59mである。この値により算術すると貫の厚さは、0.21mである。平均笠木下高さ・平均笠木上高さは、2.97mと3.13mである。この値により算術すると笠木の厚さは、0.16mである。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。



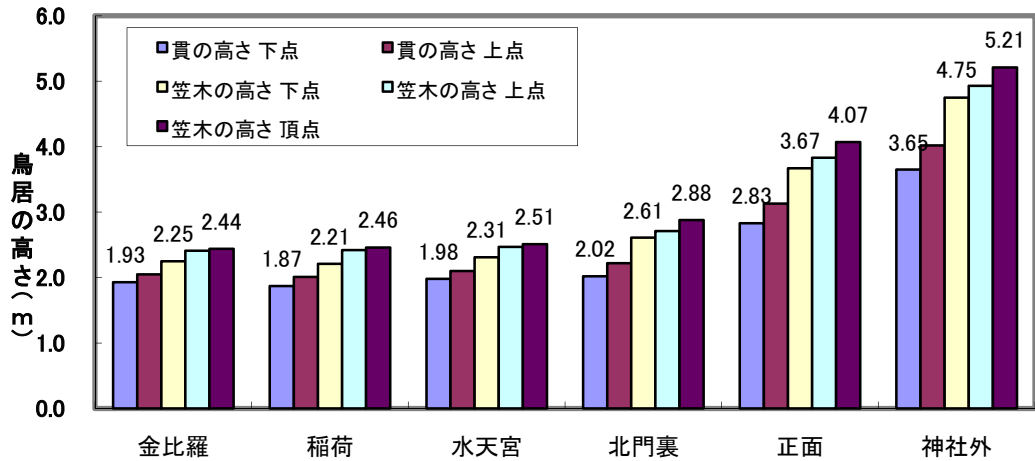
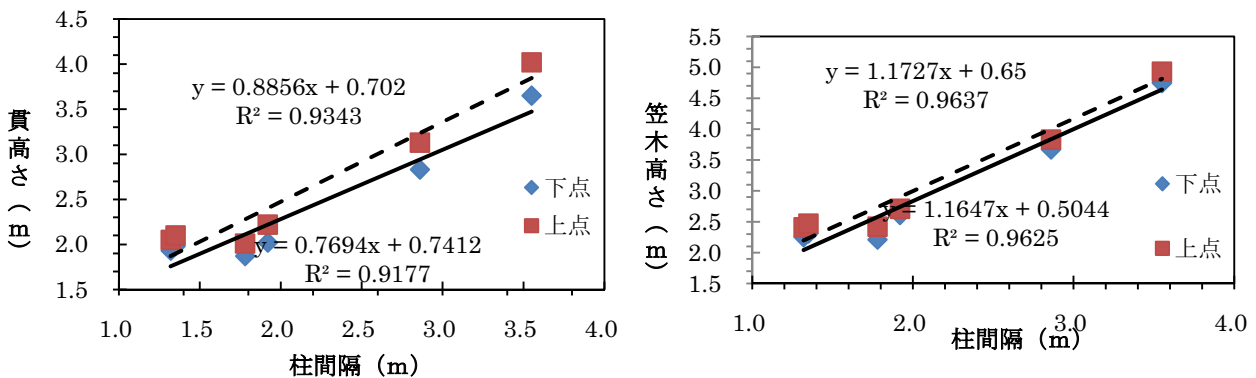


図 1. 五社神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。平均貫下高さは 2.38m(計測値)と 9.1 直径の高さは 2.37m(計算値)で、誤差は 0.01m(26cm)である。平均貫上高さは 2.59m(計測値)と 9.9 直径の高さは 2.57m(計算値)で、誤差は 0.02m(27cm)である。平均笠木下高さは 2.97m(計測値)と 11.2 直径の高さは 2.91m(計算値)で、誤差は 0.06m(6cm)である。平均笠木上高さは 3.13m(計測値)と 11.8 直径の高さは 3.07m(計算値)で、誤差は 0.07m(7cm)である。平均貫下と上の高さにおける計測値と計算値の誤差は、26.5cm である。平均笠木下と上の高さは、6.5cm である。

図 1 は、表 6 から五社神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間隔は 1.32～3.55m の範囲で、平均 2.13m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～3.65m、平均 2.38m)と上点の範囲(2.01～4.02m、平均 2.59m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～4.75m、平均 2.97m)と上点の範囲(2.41～4.93m、平均 3.13m)である。図 2 は、五社神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。



五社神社鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

五社神社鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 2. 五社神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、五社神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ: 上}) = 0.886(\text{柱間幅}) + 0.702 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.934) \dots \dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ: 下}) = 0.769(\text{柱間幅}) + 0.741 \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.918) \dots \dots (2)$$

五社神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式1と式2の勾配は、それぞれ0.886と0.769である。式1と式2の決定係数は、それぞれ0.934と0.918である。式1の勾配と決定係数は、式2によりわずかに大である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図2右は、五社神社鳥居の柱間幅(X軸で単位はm)と笠木下高さ(Y軸で単位はm)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは11.2D(11.2は9.9と1.3の和である)と笠木上の高さは11.8D(11.8は11.2と0.6の和である)に計算する外山晴彦(平成20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ:上}) = 1.173(\text{柱間幅}) + 0.650 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.964) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ:下}) = 1.165(\text{柱間幅}) + 0.504 \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.963) \dots \dots \dots (4)$$

五社神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式3と式4の勾配は、それぞれ1.173と1.165である。式3と式4の決定係数は、それぞれ0.964と0.963である。式3の勾配と決定係数は、式4のより僅かに大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図2)。区内の神社鳥居の建立年は、田蓑神社の正門の永正8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成7(1995)年1月17日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は8基である。8基の内容は、五社神社が6基、大和田住吉神社が1基、大野百鳥住吉神社が1基である。五社神社の鳥居は図2の枠線に囲まれている。五社神社の建立年は1800年代では2基、1900年代では4基、2000年代では2基である。

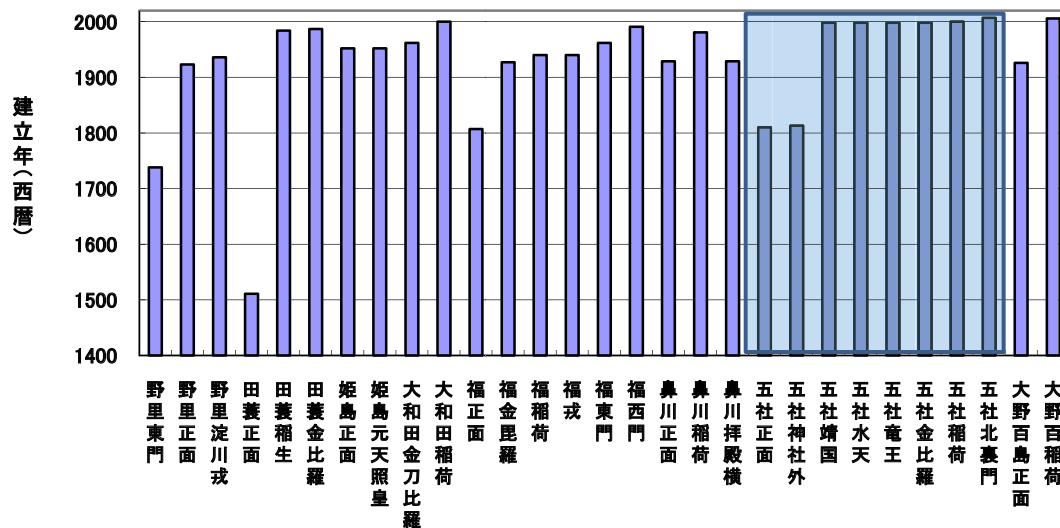


図2. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため29基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800年前では2基、1800年代では3基、1900年代の前半では8基、および1900年代の後半では16基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

## 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

西淀川区内の神社は、仲哀天皇 9 年(200 年)、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で摂津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の 津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよのごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は 1500 年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには次のような資料から認識していただきたいのである。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。住民の誠意ある努力と奉仕によって再建されたものもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要であると痛感する。

柱間隔は 1.32~4.45m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~4.74m、平均 2.55m)と上点の範囲(2.01~5.15m、平均 2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~6.02m、平均 3.15m)と上点の範囲(2.39~6.27m、平均 3.35m)である。図 3 は区内の柱間幅(X 軸)に対する貫と笠木高さ(Y 軸)との関係を表示した。

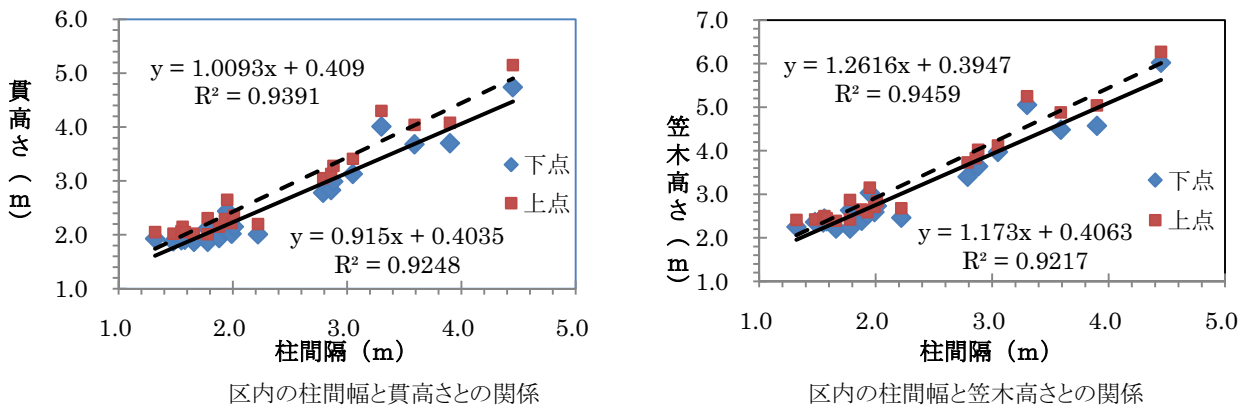


図3. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 3 左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \cdots \cdots (5)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \cdots \cdots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 5 と式 6 の勾配は、それぞれ 1.009 と 0.915 である。式 5 と式 6 の決定係数は、それぞれ 0.939 と 0.925 である。式 5 の勾配と決定係数は、式 6 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 3 右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

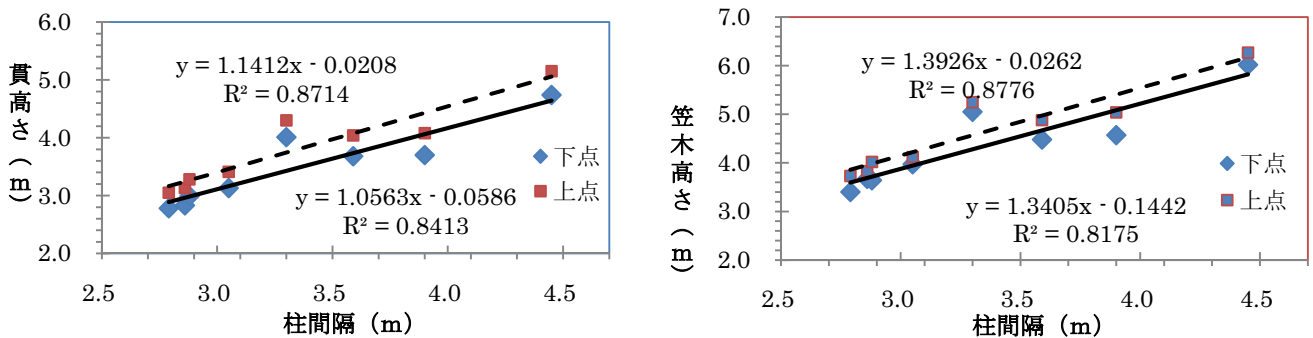
$$Y \text{ 笠木下} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \dots \dots \dots (8)$$

西淀川区区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区区内にある正面大鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、姫嶋神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・鼻川神社(4.08 m)・鼻川神社(4.04 m)・五社神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79~4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78~4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05~5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40~6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73~6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 4)。五社神社の正面大鳥居において、柱間隔は 2.86m、貫高さは、下点 2.83m、上点 3.13m である。笠木高さは、下点 3.67m、上点 3.83m である。



区内正面大鳥居の柱間幅と貫高さとの関係

区内正面大鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 4. 西淀川区区内にある神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 4 左は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 貫上} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \dots \dots \dots (9)$$

$$Y \text{ 貫下} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \dots \dots \dots (10)$$

西淀川区区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 4 右は、西淀川区区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、

次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (11)$$

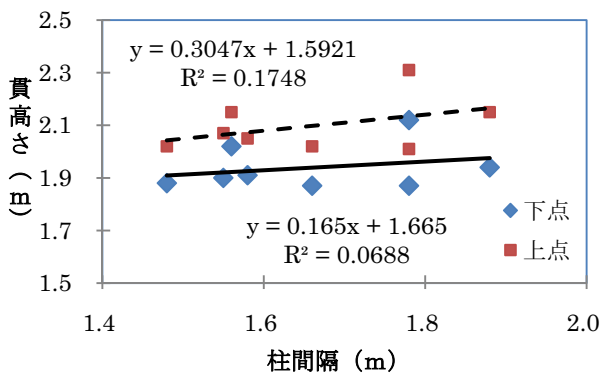
$$Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \dots \dots \dots (12)$$

西淀川区正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

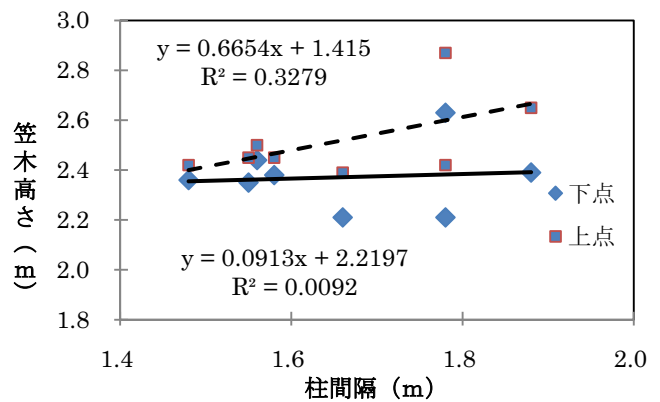
#### 5-4. 西淀川区にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人氣が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は五社神社昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百鳥平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48～1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87～2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01～2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21～2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39～2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。五社神社の正面大鳥居において、柱間隔は 1.78m、貫高さは、下点 1.87m、上点 2.01m である。笠木高さは、下点 2.21m、上点 2.42m である。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係



稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 5 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175) \dots \dots \dots (13)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \dots \dots \dots (14)$$



稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 5 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.069) \cdots \cdots (15)$$

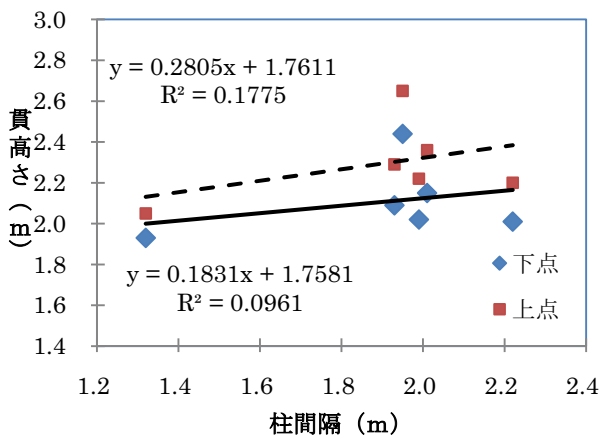
$$Y \text{ 笠木下} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.009) \cdots \cdots (16)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

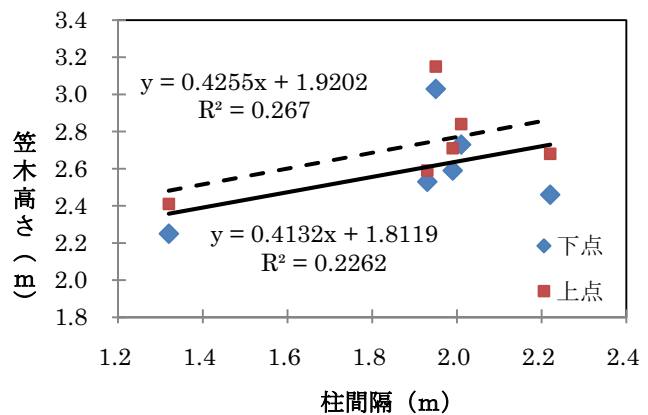
### 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は五社神社の昭和 2(1927)年で、一方、新しい鳥居は五社神社の平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32~2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93~2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05~2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25~3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41~3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 6 に表示している。五社神社の金毘羅神社系鳥居において、柱間隔は 1.32m、貫高さは、下点 1.93m、上点 2.05m である。笠木高さは、下点 2.25m、上点 2.41m である。



金毘羅神社の柱間幅と貫高さとの関係



金毘羅神社の柱間幅と笠木高さとの関係

図 6. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係



図 6 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

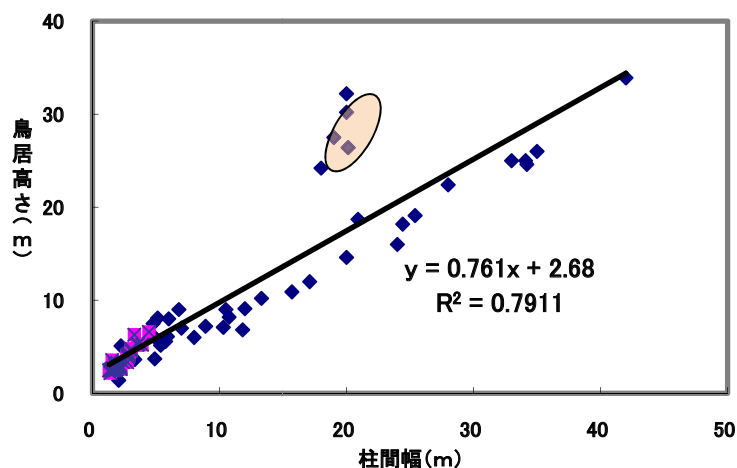
$$Y_{\text{笠木上}} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

### 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 7 に表示している。この図 7 における左側のプロット数は、区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方ヘシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。



## 図 7. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4～5 倍であることが確認された。

外山晴彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数(R<sup>2</sup>)は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

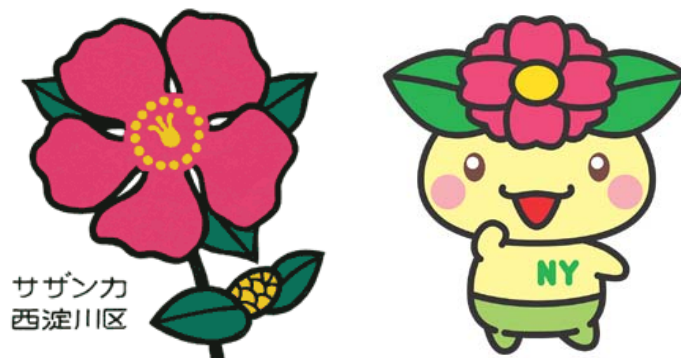
### 6-1. 西淀川区の地域環境

日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は大正 14(1925)年 4 月 1 日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげた。河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。

さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和 50(1975)年、区制 50 周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、34°42'33"N と 135°28'15"E で、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、34°42'23"N と 135°25'57"E で、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、34°41'13"N と 135°25'05"E で、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、34°43'59"N と 135°26'57"E で、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・福住吉神社・福住吉神社・鼻川神社・五社神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香襲・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある五社神社の調査要約

大阪市西淀川区、五社神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づいて模型製作を行なった点を要約する。

1. 五社神社の創建は 1688 年で、鳥居の建立は 1810~2007 年間である。

2. 五社神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。

3. 五社神社鳥居の構造観察の結果を要約する。反り増しの角型曲線の有は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居と神社外鳥居の 3 基で、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居の 2 基である。島木の角型曲線は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居と神社外鳥居の 3 基で、角型直線は、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居の 2 基である。台輪は、すべて 5 基が無である。④楔と額束は、5 基が共に有である。貫(ぬき)四角外側は、正面大鳥居、金比羅神社鳥居、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居と神社外の鳥居の 5 基である。⑥根巻・藁座の無は正面大鳥居、金比羅神社鳥居、神社外の鳥居の 3 基で、有は水天宮神社鳥居と稲荷神社鳥居野 2 基である。⑦亀腹・饅頭はすべて無である。一方、五社神社には明神系鳥居が 3 基であり、残りは鹿島鳥居に額束を取り付けたものである。まず、正面大鳥居、金比羅神社鳥居、神社外の鳥居は、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無で、亀腹・饅頭は有で、鳥居の構造は明神系鳥居である。

次に、②鹿島鳥居に額束を取り付けた鳥居は、水天宮神社鳥居、稲荷神社鳥居は、鹿島鳥居に額束を付加し、反り増しは無であり、島木は共に角型直線であり、台輪は無、楔と額束は共に有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座と亀腹・饅頭は有である。

4. 五社神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。

5. 五社神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある五社神社の諏訪光子宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係

各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和韓の翻訳には金世徳学術博士・朴永炅学術博士、和中の翻訳には、富田和広、立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の北川和孝彫刻師、西谷真志氏およびNPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010年12月1日受稿、2010年12月25日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:『西淀川今昔写真集—西淀川区制 70 周年記念』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:『西淀川区史』、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:『神社の見方』、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:『鳥居の研究』、第一書房、2007 年
- 5) 梨本敬法他:『これだけは知っておきたい神社入門』、洋泉社、2007 年
- 6) 正木晃・中尾伊早子監修:『よくわかる！ 神社 神宮』、PHP 研究所、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:『神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)』、関西大学、2007 年
- 8) 渋谷伸博:『日本の神社』、日本文芸社、2008 年
- 9) 井上順孝:『図解雑学!神道』、ナツメ 第五刷、2008 年
- 10) 外山晴彦:『神社のことがよくわかる本』、東京書籍、2008 年
- 11) 山形明郷:『卑弥呼の正体』、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>.2010 年
- 13) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 14) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 15) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田養神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・石田信也・朴永炅:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・富田和広・北川和孝:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・石田信也・朴永炅:「大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

# 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社(1644年)の由来と鳥居

— 四ヶ国語(日英韓中)用語・鳥居の測量値と模型製作 —

沢 勲\*・石田 信也\*\*・朴 永旻\*\*\*

(大阪経済法科大学客員教授\*・一級建築士事務所 ADE 所長\*\*・コリア国際学園学術博士\*\*\*)

## History of the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.

—Multilingual Translation in Japanese, English, Korean and Chinese,

Survey Values of the Torii and Fabrication of its Model—

Isao SAWA\*・Shinya ISHIDA \*\*・Yong-Kyung PARK\*\*\*

### ABSTRACT

We study an origin and the torii environment of the Ono-hyakusima -Sumiyoshi Shrine in Nishi-yodogawa-ward, Osaka-City, and there is the study of the writers for the purpose of making the database of the cultural heritage. Foundation of the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine is 1644(Syoh1) age.

The construction age of the torii in Nishi-Yodogawa Ward is a range for 2007 years from 1511. The number of torii in the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine is five sets. The erection generation of the torii in the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine is 2007 age. Worshipped Gods of the Ono -hyakusima-Sumiyoshi Shrine is Soko-tsutsu-no-onomikoto, Naka-tsutsu-no-onomikoto, Soko-tsutsu-no-onomikoto, Naka-tsutsu-no-onomikoto, Uwa-tsutsu-no-onomikot, Empres Jingu. Key word of the Ono-hyakusima -Sumiyoshi Shrine is Inari shrine, Hanshin Awaji great earthquake disaster, Repair and the reconstruction of the shrine office.

The origin of the Ono-hyakusima -Sumiyoshi Shrine supported in the globalization times and translated it into multilingual translation (Japanese-English-Korea and Chinese). Data concerning the torii environment was analyzed by the scientific management method. The torii height in Nishiyodogawa-ku is 2.17 m ranges from 6.59m. The torii height in Nozato-Sumiyoshi Shrine is 2.58m ranges from 4.25m.

キーワード: 稻荷神社、阪神淡路大震災、社務所の修理と改築

Keywords: Inari shrine, Hanshin Awaji great earthquake disaster, Repair and the reconstruction of the shrine office.

[洞窟環境 NET 学会 紀要 2 号][Cave Environmental NET Society(CENS) , Vol.2(2011), - pp]

### 目次

#### 1. はじめに

#### 2. 大野百島神社の4ヶ国語(日英韓中)由来

2-1. 大野百島神社の日文由来

2-2. 大野百島神社の英文由来

2-3. 大野百島神社の韓文由来

2-4. 大野百島神社の中文由来

#### 3. 大野百島神社鳥居の模型制作と構造観察

3-1. 大野百島神社鳥居の写真と模型製作

3-2. 大野百島神社鳥居の構造観察

#### 4. 大野百島神社鳥居の計測結果と解析

## 5. 大野百島神社鳥居の考察

- 5-1.西淀川区内の鳥居文化の建立
- 5-2.西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ
- 5-3.西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-4.西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-5.西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ
- 5-6.全国と西淀川区内の鳥居の高さ

## 6. おわりに

- 6-1.西淀川区の地域環境
- 6-2.西淀川区にある大野百島神社の調査要約

# 1. はじめに

本研究は、大阪の文化遺産学として、地域に貢献する資料を後世に残す参考文献として作成したものである。本稿は、大阪市西淀川区、大野百島住吉神社で行った洞窟環境 NET 学会と関西大学校友会西淀川支部鳥居総合学術調査(2010)報告の一部である。西淀川区は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西約 5.31km、約南北 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23km<sup>2</sup>、人口 99,090 人である。大野百島住吉神社は、西淀川区の南端に位置し、緯度 34°41'49"N;経度 135°26'27"にある。大野百島住吉神社の鎮座地は、行政上、大阪市西淀川区百島 1-3-98 に属する。本神社に関してはこれまで本格的な学術調査は少ない、台風や水害が多く、貴重な歴史文化遺産が消失しているため、歴史の文化遺産をどのように保存できるかを工夫したのである。後世に残す貴重な遺産を継承する関連性も興味深く、そうした点が本神社調査の最初の動機となった。写真 1 の左は、西淀川区防災マップ、平成 22(2008)、写真 1 の中央は、大野百島住吉神社の位置図、写真 1 の右は、大野百島住吉神社の社殿である。



西淀川区防災マップ、平成 22(2008)



大野百島住吉神社の位置は②番



大野百島住吉神社社殿の  
建築様式は住吉造

写真 1. 大阪市西淀川区にある大野百島住吉神社の位置と本殿

既存の神社関連資料情報を収集して、調査と鳥居の規模と形態、成因等についての概要を把握し、構成要素の現象を示す事実を明らかにした。そして、区内にある神社と鳥居の大きさに重要な関連性があることを予測した。ただし、区内において、神社と鳥居の存在に関する報告はこれまで皆無である。

単に生駒山の火山活動史だけでなく、北摂の堆積流とその沿岸地域の海岸地形発達史や環境変遷史との関わりで、神社がどのような位置づけや問題点を有しているかという検討が重要である。大野百島住吉神社と行政との関連歴史の結果は、①寛永 20(1644)年、神社創建、開発した時、村民が協力して創建。②明治 8(1875)年、村社(そんしゃ)に指定され。③明治 44(1911)年、大字百島字上の島の村社・稲荷神社を合祀(ごうし)した。④御神祭は、大和田住吉神社などと同様、「底筒男命」▽「中筒男命」▽「表筒男命」と神功皇后。⑤末社に戎神社、金毘羅宮がある。⑥古くは境内に樹木が蒼然とし往時を偲ぶ。⑦平成 7(1995)年、阪神淡路大震災により旧本殿は倒壊。⑧平成 8(1996)年に氏子崇敬者の協力により、近代的な本殿が造営され、境内も整備されて社務所も修築された。



(注)1. 「村社」とは、明治時代制定された神社の社格の一つ。(注)2. 明治 4(1871 年)5 月、政府は太政官(だようかん)布告で、神社規則等を決め、官社以外を諸社とし、それらを府社・藩社・県社・郷社とした。(注)3. 明治 4(1871 年)7 月、廃藩後、府県社・郷社・村社・無格社に改めた一地方の氏神として仰がれる社が村社で、村の鎮守の社などが多い。(注)4. 昭和 20(1945)年、この制度は廃止などである。

さらに、神社の鳥居の件には、一応の成果が得られたので、解析を行ったのは、①神社の鳥居の写真撮影、②鳥居の精密測量(鳥居の測量値と模型製作)、特に平面と縦断面計測である。平成 22(2010)年夏、西淀川区民祭りにおいて中間報告を行った。今後の研究課題、そして神社の保全と環境問題などについて所見を整理した。さらに、短時間の調査であつたため、未解明の事項が少なくない。今後も調査を継続する予定であるが、とりあえずこれまでの成果、今後の研究課題、そして神社の保全問題などについて所見を整理した。測量した値は、多項式によって解析を行った。本報においては、大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の由来と鳥居に関する四ヶ国語(日英韓中)用語、鳥居の測量値解析と模型製作と観察を行った結果について報告する。

## 2. 神社の 4ヶ国語(日英韓中)由来

### 2-1. 大野百島住吉神社の日文由来

大野百島住吉神社は、正保元(1644)年 4 月、この地を開発した時に村民が協力して創建されたものと伝えられている。明治 8(1875)年 3 月、村社(そんしゃ)に指定され、明治 44(1911)年 3 月、大字百島字上の島の村社・稲荷神社を合祀(ごうし)した。

御神祭は、大和田住吉神社などと同様、海の底で禊をして生まれたという「底筒男命(そこつつのおのみこと)▽潮の中に潜って禊をして生まれた「中筒男命(なかつつのおのみこと)▽潮の上に浮いて禊をして生まれた「表筒男命(うわつつのおのみこと)」と、神功皇后である。

境内は本殿・拝殿を有し、末社に戎神社、金毘羅宮があり、古くは境内に樹木が蒼然としていたことが残存の切り株によって往時を偲ぶことができる。

平成 7(1995)年阪神淡路大震災により旧本殿は倒壊したが、氏子崇敬者の協力により、平成 8(1996)年 10 月に近代的な本殿が造営された。また境内も整備され、社務所も修改築された。(神社から)

(注)「村社」とは、明治時代制定された神社の社格の一つ。明治 4(1871 年)5 月、政府は太政官(だようかん)布告で、神社規則等を決め、官社以外を諸社とし、それらを府社・藩社・県社・郷社とした。同年 7 月の廃藩後、府県社・郷社・村社・無格社に改めた。一地方の氏神として仰がれる社が村社で、村の鎮守の社などが多い。なお、昭和 20(1945)年、この制度は廃止されるが、その時点で、全国約 11 万の神社のうち、村社は 4 万 4934 社であった。(小学館・日本大百科辞典から)

表 1. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の詳細資料

御祭神	底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后		
キーワード	大字百島字上の島、阪神淡路大震災、社務所も修改築		
鎮座地	555-0044 西淀川区百島 1-3-98	神社創建	正保元(1644)年
電話番号	06-6472-0094	Fax 番号	06-6475-3115
ホームページ	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
交通手段	阪神電車西大阪線福駅西へ 500m		

**2-2. 大野百島住吉神社の英文由来  
(History of the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine Founded in 1644(Syouho 2))**

This shrine was built by villagers who have developed the region in 1644. Then it is designated as ‘Sonsya’ in 1875, and was also enshrined with Inari shrine in 1911.

Worshipped Gods summarizes the following four items.

1) (the Owada-Sumiyoshi Shrine)Soko-tsutsu-no-onomikoto: Like the Owada-Sumiyoshi Shrine, it is said that I make ablutions at the bottom of the sea and was born. Here Soko-tsutsu-no-onomikoto’ was born in the sea.

2)Naka-tsutsu-no-onomikoto: sinks in the tide and makes ablutions and was born.

‘Naka-tsutsu-no-onomikoto’ was born in the tide.

3)‘Uwa-tsutsu-no-onomikoto’ was born on the tide.

4)Empress Jingu

There are the main shrine, the front shrine, Ebis shrine and Konpira-gu on the grounds. Many tree stump suggest that the trees were lush in past days.The old main building was destroyed by the Great Hanshin Earthquake in 1995. But the modern shrine was rebuilt by the shrine parishioner in 1996.The well maintained grounds. Shrine office was also renovated. *We partially adapted these details from Shrine Data.*

(注) ‘Sonsya’ is one of the prestige shrine of the Meiji period. The ‘Fukennsya’ ‘Gosya’ ‘Sonsya’ ‘Mukausya’ consists of four prestigious rank. This system was abolished in 1945. At that time, national shrine of about 110,000, ‘Sonsya’ is occupied 44 934. It is referred by Shogaku -kan / Nippon University encyclopedia

**表 2. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の詳細資料(和英訳)**

**Table2. Details on the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City**

Worshipped Gods	Soko-tsutsu-no-onomikoto, Naka-tsutsu-no-onomikoto, Uwa-tsutsu-no-onomikot, Empress Jingu		
Key Words	Inari shrine, Hanshin Awaji great earthquake disaster, Repair and the reconstruction of the shrine office		
Site	555-0044, 1-3-98, Hyakusima, Nishi-Yodogawa Ward	Foundation	1644(Syouho1)
Telephone	06-6472-0094	Fax	06-6475-3115
Websites	http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html		
Access	500m to west of “Fuku Station” on the Hanshin West Osaka Line		

**2-3.大野百島住吉神社の韓文由来(오노하크시마 스미요시신사의 유래 창건 세호(1644)원년)**

신사창건은 서기 1644 년. 세호원년(1644)년 4 월, 신사는 이 지역을 개발할 당시, 주민이 협력해창건된 것이라고 전해지고 있다. 메이지 8(1875)년 3 월, 마을의 신사로 지정되어, 메이지 44(1911)년 3 월, 오아자 하크시마 아자카미노시마의 마을의 신사로, 이나리신사를 합사했다.

신제는, 오오와다스미요시 신사등과 같이, 바다의 밑에 앉아서 정진하여 태어났다고 하는 「소코쯔쯔노 오노미고토, ▽바다안에 들어가 정진하여 태어난 「나카쯔쯔 오노미고토」, ▽바다위에 떠서 정진하여

낳은 「우와쯔쯔노오미노미고토」와 친구황후이다. 경내는 본전·예배당이 있고, 신사의 제일 마지막 위치에 에비스, 곤피라궁이 있어, 옛날부터 경내에 수목이 창연해 왔음을 잔존하는 그루터기를 보며 알 수 있고 그때를 그리워하는 장소로 알려져 있다.

평성 7(1995)년 7월에 한신아와지 대지진으로 인해 옛본전은 파손되었으나, 시촌 승배자의 협력에 의해, 평성 8(1996)년 10월에 근대적인 본전이 축조되었다. 또한 경내도 정비되어 사무소도 보수 개축되었다.

(주) : 「마을의 신사」란 메이지시대에 제정된 사적인 성격의 신사의 하나. 메이지 4(1871년) 5월, 정부는 태정관 부고로 신사규칙등을 결정하고, 관사이의를 부사·번사·현사·향사로 했다. 동년 7월에, 부현사·향사·마을신사·무자격신사로 개정했다. 한 지방의 씨족신으로 신봉된 신사가 마을 신사로, 마을을 지켜주는 신사등이 많다. 또한, 쇼와 20(1945)년, 이 제도는 없어졌으나 그 시점에서, 전국의 약 11만의 신사중에 마을의 신사는 4만 4934 곳이 존재하고 있다.

表 3. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の詳細資料(和韓訳)

표 3. 오사카시 니시 요도가와구 오노하크시마 스미요시 신사의 상세 데이터

모시는 신	소코쯔쯔노 오노미고토, 나까쯔쯔노 오노미고토, 우와쯔쯔노 오노미고토, 친구황후		
키워드	오노하키시마야자 섬, 한신아와지 대지진, 사무소도 보수 개축		
진좌지	555-0044 니시 요도가와구 하크시마 1-3-98	신사장건	세호원년(1644년)
전화번호	06-6472-0094	Fax 번호	06-6475-3115
홈페이지	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
교통수단	한신전철 니시 오사카선 후쿠역 서쪽으로 500m		

#### 2-4.大野百島住吉神社の中文由来 (大野百岛住吉神社的由来 正保元(1644)年创建)

神社创建于公元 1644 年。相传本神社于正保元(1644)年，是由当地村民协力建成的。明治 8(1875)年 3 月被指定为该村社，明治 44(1911)年 3 月，与大字百岛字的岛上神社、稻荷神社合并。

其祭神与大和田住吉神社一样，有经过海底净身而来的“底筒男命”，潜入潮水中净身而来的“中筒男命”，在漂浮于潮水之上净身而来的“表筒男命”以及神宫皇后几座神明。

神社院内包括大殿和前殿，在分神社有荣升神社、金昆罗宫，由残存于院内的残株不难让人联想到当时苍然的树木和香火的旺盛。

平成 7(1995)年因阪神淡路大地震影响而倒塌的旧大殿，经由信徒们的大力支持，于平成 8(1996)年 10 月，建成了一座具有现代风格的新大殿。此外，院内也一并整修，神社的事务所也进行了改建。(神社资料)

(注)村社是指明治时期所制定的一种神社的等级。明治 4(1971)年 5 月，政府通过太政官公布了关于神社的规格等级等制度：把官社以外的神社分为了府社、藩社、县社和乡社。同年 7 月废藩后，改为府县社、乡社，村社以及无格社。供奉地方神明的神社为村社，其中地方的守护神社居多。此外，昭和 20(1945)年，这项制度被废止，但在当时，全国约 11 万所神社里，村社所占数量为 4 万 4934 所。(内容出自小学馆、日本大百科辞典)

表 4. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の詳細資料(和中訳)

表 4. 大阪市西淀川区，大野百岛住吉神社的详细资料

祭神	底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后
关键词	大字百岛字上的岛，阪神淡路大地震，改建神社事务所

供奉地	555-0044 西淀川区百島 1-3-98	神社創建	正保元(1644)年
电话号码	06-6472-0094	Fax 传真	06-6475-3115
主页	<a href="http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html">http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html</a> <a href="http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html">http://www.jinjacho-osaka.net/m01k_08_nisiyodogawa_sumiyosi.html</a>		
交通手段	阪神电车西大阪线福站往西 500m		

### 3. 大野百島住吉神社鳥居の模型制作と構造観察

#### 3-1. 大野百島住吉神社鳥居の写真と模型製作

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居とは神霊として鳥を招く意味。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無と有(装飾)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。明神系鳥居の貫には、出る(中山鳥居を除く)と出ない(中山鳥居)のが区分できる。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)のが区分できる。

神明(しんめい)系鳥居には、次のような特徴がある。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。すなわち、

①伊勢(いせ)・神明(しんめい)は、伊勢斎宮。笠木が鑄の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は有、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は有、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)である。

②鹿島(かしま)鳥居は、貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張るのが特徴である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造は笠木・貫の両端は垂直切断、類似鳥居は鹿島神社である。

③黒木(くろき:素木(しらき))は、皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴がある。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は丸型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は丸型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は伊勢斎宮・野宮斎院である。

④靖国(やすくに)は、2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成である。神明系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは無、笠木は角型直線、島木・台輪は無、楔は無、額束は無、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造はシンプル、類似鳥居は神明鳥居である。

鳥居とは神霊として鳥を招く意味である。鳥居の名称には、上層部から反り増し、笠木、島木、台輪、楔、額束、貫、根巻・藁座、亀腹・饅頭の9部分と、これらを支える両側に柱がある。明神(みょうじん)系鳥居には、次のような特徴がある。すなわち、

①稲荷(いなり:台輪(だいわ))は、島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所台輪がある特徴。台輪鳥居と呼び、楔あり。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は伏見稲荷大社(台輪鳥居)等である。

②春日(かすが)は、島木の上にある笠木の端が垂直であり、貫中央に額束がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱には傾斜がある。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・貫は垂直切断、類似鳥居は春日大社等である。

③春日大社。山王(さんのう)は、 笠木の上に破風型をした合掌の形状であり、合掌は神仏習合を表現する特徴であり、破風鳥居・総合鳥居とも言える。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は有、亀腹・饅頭は無、構造の破風状の合掌が最上部、類似鳥居は日吉大社・破風鳥居・総合鳥居等である。

④住吉(すみよし・中山(なかやま))は、柱が四角(角柱)なっている特徴があり、大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は角柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は無、額束は有、貫は角型内側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の四角柱、類似鳥居は明神鳥居・住吉神社等である。

⑤八幡(はちまん)は、笠木端が斜めで、鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴があり、春日鳥居とよく似た形であり、楔がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・垂直、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は無、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は石清水八幡宮等である。

⑥明神(みょうじん)は、最も普通の鳥居であり、笠木と島木に反り、笠木・島木の両端は斜め、柱根元には亀腹があるのが特徴である。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・内傾斜、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は神田神社等である。

⑦三輪(みわ)は、扉の有無関係なく三輪の鳥居であり、横の脇鳥にある鳥居は付属であり、大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴がある。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・4 本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は無、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の脇に鳥居・左右に腹柱、類似鳥居は大神神社・三光鳥居等である。

⑧両部(りょうぶ)は、両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴で、後に控柱(稚児柱)を設けている。明神系鳥居の系列と構造と類似鳥居との関係を次のように要約できる。柱は丸柱・6 本柱、反り増しは有、笠木は角型曲線、島木は角型曲線、台輪は有、楔は有、額束は有、貫は角型外側、根巻・藁座は無、亀腹・饅頭は有、構造の笠木・島木は斜め切断、類似鳥居は厳島神社・気比神社等である。

写真 2 は鳥居の写真と模型製作品である。模型は大阪市西淀川区、姫神社にある鳥居の測量値から 20 分の 1 に縮小にした製作品である。



正面大鳥居の構造は明神系鳥居



正面大鳥居の模型



金毘羅神社の構造は明神系鳥居



戎神社の構造は明神系鳥居



稲荷神社の構造は明神系鳥居



南門裏の構造は明神系鳥居

## 写真2. 大野百鳥住吉神社鳥居の写真と模型写真



### 3-2. 大野百島住吉神社鳥居の構造観察

表5は大野百島住吉神社鳥居の構造観察を行った。鳥居の項目別に要約を行った。まず、正面大鳥居、戎神社鳥居と稲荷神社鳥居は、同一構造である。次に、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居は、同一構造である。①反り増しの角型曲線は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の5基である。②島木の角型曲線は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の5基である。③台輪は、すべて5基が無である。④楔と額束の有は、正面大鳥居、戎神社鳥居と稲荷神社鳥居の3基で、無は金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の2基である。⑤貫四角外側は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の5基である。⑥根巻・藁座の無は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の5基である。⑦亀腹・饅頭の有は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の5基である。

次は、鳥居別に特徴を要約する。大野百島住吉神社には明神系鳥居が5基である。まず、正面大鳥居、戎神社鳥居と稲荷神社鳥居は、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔と額束は有であり、貫は四角外側で、根巻・藁座は無で、亀腹・饅頭は有で、構造は明神系鳥居である。次に、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居は、反り増しと島木は共に角型曲線であり、台輪は無、楔は無で、額束は有で、貫は四角外側で、根巻・藁座は無で、亀腹・饅頭は有で、構造は明神系鳥居である。

表 5. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社鳥居環境の構造観察

鳥居名	反り増し	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻藁座	亀腹饅頭	構造
正面大鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
金毘羅神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	無	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
戎神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	無	有	明神系鳥居
稲荷神社鳥居	角型曲線	角型曲線	無	有	有	四角外側	黒色無	有	明神系鳥居
南門裏鳥居	角型曲線	角型曲線	無	無	有	四角外側	黒色無	有	明神系鳥居

## 4. 大野百島住吉神社鳥居の計測結果と解析

大野百島住吉神社鳥居は5基で、鳥居の測量は、レーザー、巻尺、棒尺によって行われた。大野百島住吉神社の3鳥居の測量値と建立年代は次の通りである。

①正面鳥居の構造は、柱の直径は0.34m、柱内側幅2.88m、高さ(笠木上点4.02m、頂点4.25m)、昭和元(1926)年建立、明神系鳥居である。②金毘羅神社の構造は、柱の直径は0.17m、柱内側幅1.58m、高さ(笠木上点2.45m、頂点2.50m)である。③戎神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.20m、柱内側幅1.42m、高さ(笠木上点2.13、頂点2.17m)である。④稲荷神社の構造は、柱の直径は0.15m、柱内側幅1.48m、高さ(笠木上点2.42m、頂点2.58m)。2006年建立、明神系鳥居である。⑤南門裏の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.12m、柱内側幅1.83m、高さ(笠木上点2.55、頂点2.62m)。

表6は、大阪市西淀川区、大野百島住吉神社鳥居の測量値(m)である。神社の鳥居に対して、柱断面(円周と直径)、柱内側の幅(内側間と中心間)、貫高さ(下点と上点)、笠木高さ(下点と上点と頂点)を区分して計測資料を表示している。



表 6. 大阪市西淀川区、大野百島住吉神社鳥居環境の測量値(m)

鳥居名	柱断面		柱		貫高さ		笠木高さ	
	円周	直径	柱間幅	中心間	下点	上点	下点	上点
正面大鳥居	1.07	0.34	2.88	3.23	2.99	3.28	3.64	4.02
金毘羅神社鳥居	0.89	0.28	2.22	2.50	2.01	2.20	2.46	2.68
戎神社鳥居	0.48	0.15	1.49	1.65	1.93	2.06	2.29	2.47
稲荷神社鳥居	0.47	0.15	1.48	1.63	1.88	2.02	2.36	2.42
南門裏鳥居	0.37	0.12	1.83	1.95	2.09	2.20	2.49	2.55
最大値	1.07	0.34	2.88	3.23	2.99	3.28	3.64	4.02
平均値	0.66	0.21	1.98	2.19	2.18	2.35	2.65	2.83
最小値	0.37	0.12	1.48	1.63	1.88	2.02	2.29	2.42

大野百島住吉神社鳥居の規模は、全西淀川区内の鳥居の規模と比較を行ったのである。ベスト 10 にある鳥居の高さとして、柱直径・柱間幅・貫上高さ・笠木上高さは 2 基である。平均貫下高さと同貫上高さは、2.18m と 2.35m である。この値により算術すると貫の厚さは、0.21m である。平均笠木下高さと同貫上高さは、2.65m と 2.83m である。この値により算術すると笠木の厚さは、0.16m である。ここで、この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。次に貫上高さと笠木上高さについて、計測値と計算値の誤差が得られた。

平均貫下高さは 2.18m(計測値)と 9.1 直径の高さは 1.91m(計算値)で、誤差は 0.27m(27cm)である。平均貫上高さは 2.35m(計測値)と 9.9 直径の高さは 2.08m(計算値)で、誤差は 0.27m(27cm)である。平均笠木下高さは 2.65m(計測値)と 11.2 直径の高さは 2.35m(計算値)で、誤差は 0.30m(30cm)である。平均笠木上高さは 2.83m(計測値)と 11.8 直径の高さは 2.48m(計算値)で、誤差は 0.35m(35cm)である。平均貫下と上の高さにおける計測値と計算値の誤差は、27cm である。平均笠木下と上の高さは、32.5cm である。

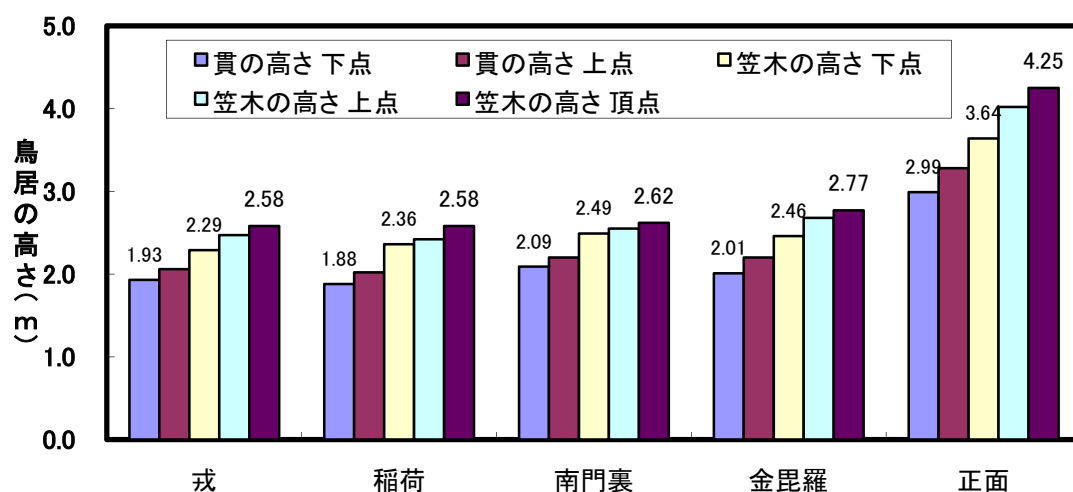
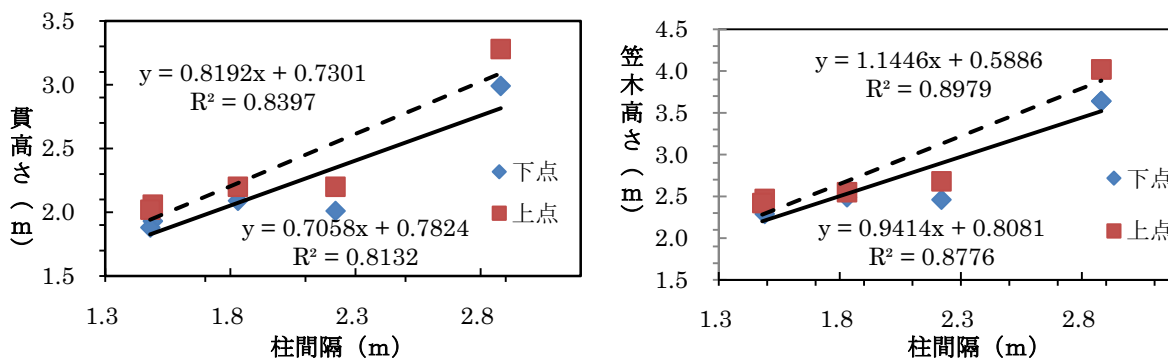


図 1. 大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 1 は、表 6 から大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示したのである。柱間幅は 1.48～2.88m の範囲で、平均 1.98m である。貫高さは、下点の範囲(1.88～2.99m、平均 2.18m)と上点の範囲(2.02～3.28m、平均 2.35m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.29～3.64m、平均 2.65m)と上点の範囲(2.42～4.02m、平均 2.83m)である。図 2 は、大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係を表示し、回帰分析を行った。



大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と貫高さとの関係      大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 2. 大野百島住吉神社鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 2 左は、大野百島住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{貫高さ: 上}) = 0.819(\text{柱間幅}) + 0.730 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.840) \dots \dots \dots (1)$$

$$Y(\text{貫高さ: 下}) = 0.706(\text{柱間幅}) + 0.782 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.813) \dots \dots \dots (2)$$

大野百島住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 1 と式 2 の勾配は、それぞれ 0.819 と 0.706 である。式 1 と式 2 の決定係数は、それぞれ 0.840 と 0.813 である。式 1 の勾配と決定係数は、式 2 により大である。貫上高さの勾配は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 2 右は、大野百島住吉神社鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y(\text{笠木高さ: 上}) = 1.145(\text{柱間幅}) + 0.589 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.898) \dots \dots \dots (3)$$

$$Y(\text{笠木高さ: 下}) = 0.941(\text{柱間幅}) + 0.809 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \dots \dots \dots (4)$$

大野百島住吉神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 3 と式 4 の勾配は、それぞれ 1.145 と 0.941 である。式 3 と式 4 の決定係数は、それぞれ 0.898 と 0.878 である。式 3 の勾配と決定係数は、式 4 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

## 5. 考察

### 5-1. 西淀川区内の鳥居文化の建立

区内の鳥居文化の建立について、建立年を神社順に並べた(図 3)。区内の神社鳥居の建立年は、田蓑神社の正門の永正 8(1511)年が古く、五社神社北裏門の平成 19(2007)年が新しい鳥居である。阪神・淡路大震災は、平成 7(1995 年)1 月 17 日(火)に起こった。震災後に建立した区内鳥居数は 8 基である。8 基の内容は、大野百島住吉神社が 6 基、大和田住吉神社が 1 基、大野百島住吉神社が 1 基である。大野百島住吉神社の正面鳥居の建立は、大正 15(1926)年、稲荷神社鳥居は平成 18(2006)年である。大野百島住吉神社の鳥居は図 3 の枠線に囲まれている。

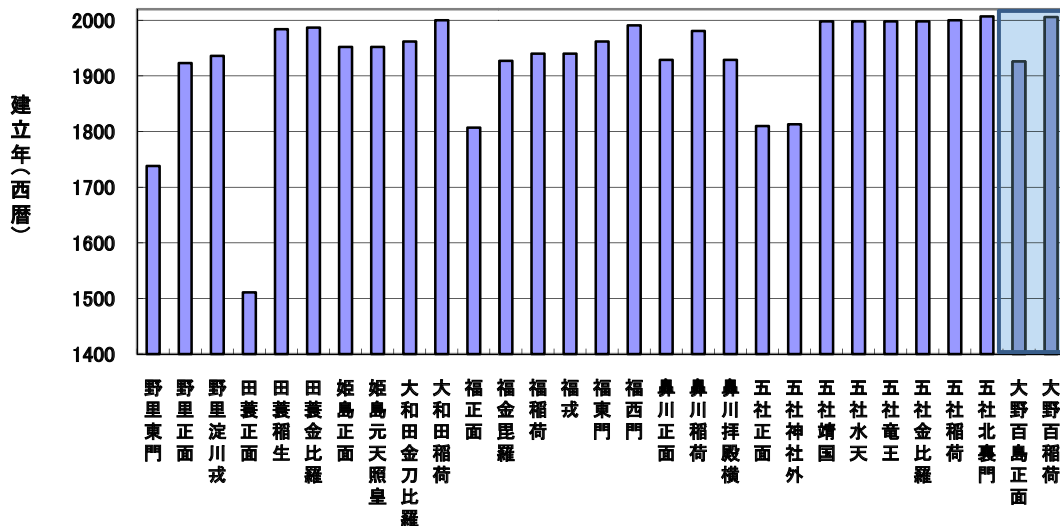


図 3. 西淀川区内神社にある鳥居文化遺産の神社別の順

鳥居文化遺産の中には、古い鳥居には表示が不明であることから削除しているため 29 基の鳥居のみ情報処理を行った。大和田住吉神社鳥居の正門の建立年度は、古いため判読が困難である。1800 年前では 2 基、1800 年代では 3 基、1900 年代の前半では 8 基、および 1900 年代の後半では 16 基を建立している。従って、戦後に多いことは理解できる。

### 5-2. 西淀川区内の鳥居の貫と笠木高さ

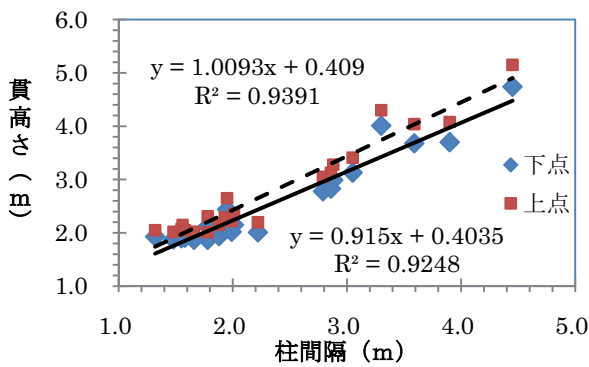
西淀川区内の神社は、仲哀天皇 9 年(200 年)、神功皇后が三韓征伐より七道の浜(現在の大阪府堺市堺区七道、南海本線七道駅一帯)に帰還した時、神功皇后への神託により天火明命の流れを汲む一族で撰津国住吉郡の豪族の田裳見宿禰が、住吉三神を祀ったのに始まる。その後、神功皇后も祭られる。応神天皇の頃からの大社の歴代宮司の津守氏は、田裳見宿禰の子の津守豊吾団(つもののとよあだ、つもののとよごだん)を祖とする(ホームページ参照)。

西淀川区内は 1500 年前から船の往来が盛んで、海産業者が信仰を広めていた。神社と鳥居の建設が住民らの努力によって成し遂げられている。その古代の文化遺産を継承するためには次のような資料から認識していただきたいのである。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は阪神淡路大震災によって倒壊したところもある。住民の誠意ある努力と奉仕によって再建されたものもある。これらを次の世代に伝承するためにも次のような資料が必要であると痛感する。

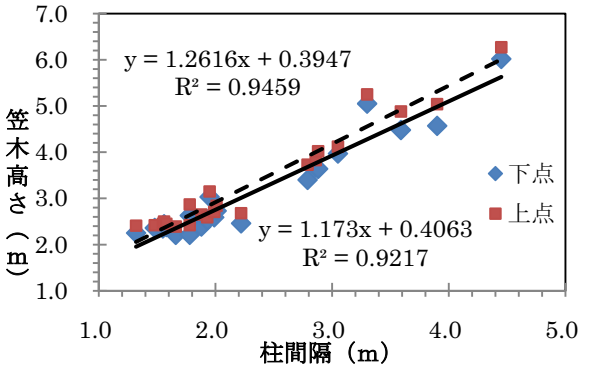
柱間隔は 1.32~4.45m の範囲で、平均 2.34m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~4.74m、平均 2.55m)と上点の範囲(2.01~5.15m、平均 2.77m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~6.02m、平均 3.15m)と上点の範囲(2.39~6.27m、平均 3.35m)である。図 4 は区内の柱間幅(X 軸)に対する貫と笠木高さ(Y 軸)との関係を表示した。

図 4 左は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実

線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。



区内の柱間幅と貫高さとの関係



区内の柱間幅と笠木高さとの関係

図 4. 西淀川区内の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

$$Y_{\text{貫上}} = 1.009 \text{ 柱間幅} + 0.409 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.939) \cdots \cdots (5)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.915 \text{ 柱間幅} + 0.404 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.925) \cdots \cdots (6)$$

西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 5 と式 6 の勾配は、それぞれ 1.009 と 0.915 である。式 5 と式 6 の決定係数は、それぞれ 0.939 と 0.925 である。式 5 の勾配と決定係数は、式 6 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 4 右は、西淀川区内鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.262 \text{ 柱間幅} + 0.395 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.946) \cdots \cdots (7)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 1.173 \text{ 柱間幅} + 0.406 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.922) \cdots \cdots (8)$$

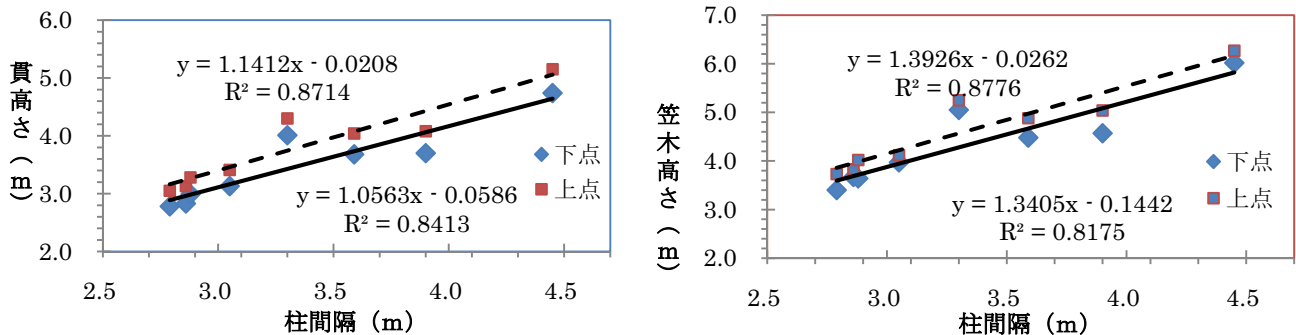
西淀川区内鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 7 と式 8 の勾配は、それぞれ 1.262 と 1.173 である。式 7 と式 8 の決定係数は、それぞれ 0.946 と 0.922 である。式 7 の勾配と決定係数は、式 8 のより大きい値である。

### 5-3. 西淀川区内にある正面の鳥居の貫と笠木の高さ

神社社殿の南向きが若干多い事が認められる。南向きとは、太陽が一番高く、長時間強く照らされる場所である。一部の国民は太陽を崇拜し、陽を吉や明るさを表現するような心情であると考えられる。西淀川区には、地域環境や区画整理によって逆方向も見られる。区内にある鳥居の貫高さ(ベスト 10)については、鳥居の高さ(5m)以上は、姫嶋神社(5.15m)で最高である、次に、4m 以上は、姫嶋神社(4.30 m)・大野百島住吉神社(4.08 m)・大野百島住吉神社(4.04 m)・大野百島住吉神社(4.02 m)である。

柱間隔は 2.79~4.45m の範囲で、平均 3.35m である。貫高さは、下点の範囲(2.78~4.74m、平均 3.48m)と上点の範囲(3.05~5.15m、平均 3.81m)である。笠木高さは、下点の範囲(3.40~6.02m、平均 4.35m)と上点の範囲(3.73~6.27m、平均 4.64m)である。区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上

部の高さは破線である。ここでは、正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 5)。大野百鳥住吉神社の正面大鳥居において、柱間幅は 2.28m、貫高さは、下点 2.99m、上点 3.28m である。笠木高さは、下点 3.64m、上点 4.02m である。



区内正面鳥居の柱間幅と貫高さとの関係      区内正面鳥居の柱間幅と笠木高さとの関係

図 5. 西淀川区内にある正面大鳥居の柱間幅と高さとの関係

図 5 左は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは  $9.1D$ (直径)と貫上の高さは  $(9.1+0.8) = 9.9D$  に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 1.141 \text{ 柱間幅} - 0.021 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.871) \cdots \cdots (9)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 1.056 \text{ 柱間幅} - 0.059 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.841) \cdots \cdots (10)$$

西淀川区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 9 と式 10 の勾配は、それぞれ 1.141 と 1.056 である。式 9 と式 10 の決定係数は、それぞれ 0.871 と 0.841 である。式 9 の勾配と決定係数は、式 10 のより大きい値である。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さよりわずかな相違点が判明した。

図 5 右は、西淀川区内正面鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは  $11.2D$ ( $11.2$  は  $9.9$  と  $1.3$  の和である)と笠木上の高さは  $11.8D$ ( $11.8$  は  $11.2$  と  $0.6$  の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 1.393 \text{ 柱間幅} - 0.026 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.878) \cdots \cdots (11)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 1.341 \text{ 柱間幅} - 0.144 \cdots \cdots \text{決定係数}(R^2 = 0.818) \cdots \cdots (12)$$

西淀川区内正面鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 11 と式 12 の勾配は、それぞれ 1.393 と 1.341 である。式 11 と式 12 の決定係数は、それぞれ 0.878 と 0.818 である。式 11 の勾配と決定係数は、式 12 のより大きい値である。

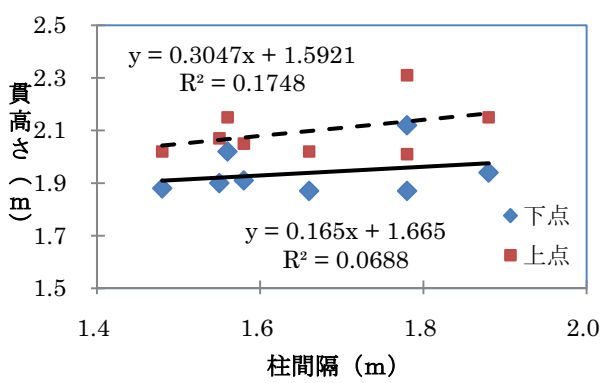
#### 5-4. 西淀川区内にある稲荷神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

稲荷神社とは、空海が東寺を建立時、稲荷山の木を了解なく切り出した。そのため稲荷の神が怒って害をなした。その後空海は、稲荷神社を崇敬したため、空海の人気が全国に広められたのが由来とされる。稲荷神社などにある鳥居の色は朱である。この色は、生命の躍動を表し災いを防ぐために使われるため鳥居にも影響している。区内の鳥居文

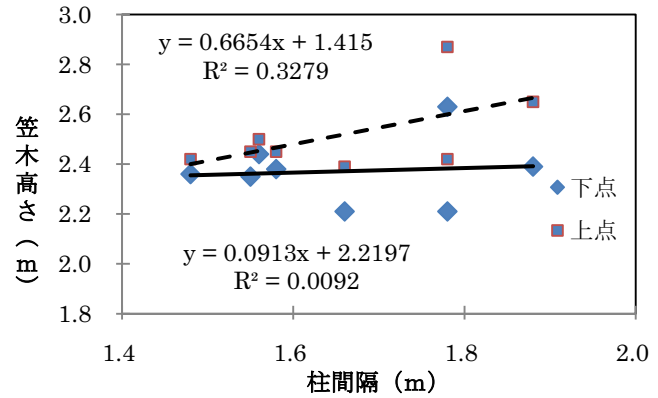


化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は大野百島住吉神社の昭和 15(1940)年で、一方、新しい鳥居は大野百島の平成 18(2006)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.48~1.88m の範囲で、平均 1.66m である。貫高さは、下点の範囲(1.87~2.12m、平均 1.94m)と上点の範囲(2.01~2.31m、平均 2.10m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.21~2.63m、平均 2.37m)と上点の範囲(2.39~2.87m、平均 2.52m)である。稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。ここでは、稲荷神社系鳥居の柱間幅と貫高さとの関係を図示した(図 6)。大野百島住吉神社の正面大鳥居において、柱間隔は 1.48m、貫高さは、下点 1.88m、上点 2.02m である。笠木高さは、下点 2.36m、上点 2.42m である。



稲荷神社系の柱間幅と貫高さとの関係



稲荷神社系の柱間幅と笠木高さとの関係

図 6. 稲荷神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 6 左は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{貫上}} = 0.305 \text{ 柱間幅} + 1.592 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.175)\dots\dots\dots(13)$$

$$Y_{\text{貫下}} = 0.165 \text{ 柱間幅} + 1.665 \dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069)\dots\dots\dots(14)$$

稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 13 と式 14 の勾配は、それぞれ 0.305 と 0.165 である。式 13 と式 14 の決定係数は、それぞれ 0.175 と 0.069 である。式 13 の勾配は、式 14 のより約 2 倍大きい値である。式 13 の決定係数は、式 14 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは、稲荷神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 6 右は、稲荷神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{\text{笠木上}} = 0.665 \text{ 柱間幅} + 1.415\dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.069)\dots\dots\dots(15)$$

$$Y_{\text{笠木下}} = 0.091 \text{ 柱間幅} + 2.220\dots\dots\dots \text{決定係数}(R^2 = 0.009)\dots\dots\dots(16)$$



稲荷神社系鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 15 と式 16 の勾配は、それぞれ 0.665 と 0.091 である。式 15 と式 16 の決定係数は、それぞれ 0.069 と 0.009 である。式 15 の勾配と決定係数は、式 16 のより大きい値である。

### 5-5. 西淀川区内にある金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さ

江戸時代に船の往来が盛んで、海運業者らによって金毘羅信仰が広められた。明治維新に神仏分離によって神仏習合の金毘羅大権現は廃止になり、主祭神とする神道の神社になった。金刀比羅神社・琴平神社・金比羅神社は、香川県琴平町に総本宮とし、大物主神を祀る神社で、「神社」ではなく「宮」と称している。区内の鳥居文化の建立について、鳥居文化遺産の建立年を神社順に並べた。区内の神社鳥居の建立年は、古い鳥居は大野百島住吉神社の昭和 2(1927)年で、一方、新しい鳥居は大野百島住吉神社平成 10(1998)年で阪神大震災によるものである。

柱間隔は 1.32～2.22m の範囲で、平均 1.90m である。貫高さは、下点の範囲(1.93～2.44m、平均 2.11m)と上点の範囲(2.05～2.65m、平均 2.30m)である。笠木高さは、下点の範囲(2.25～3.03m、平均 2.60m)と上点の範囲(2.41～3.15m、平均 2.73m)である。区内金毘羅神社系の鳥居の貫と笠木の高さとの関係を図 7 に表示している。大野百島住吉神社の正面大鳥居において、柱間隔は 2.22m、貫高さは、下点 2.01m、上点 2.20m である。笠木高さは、下点 2.46m、上点 2.68m である。

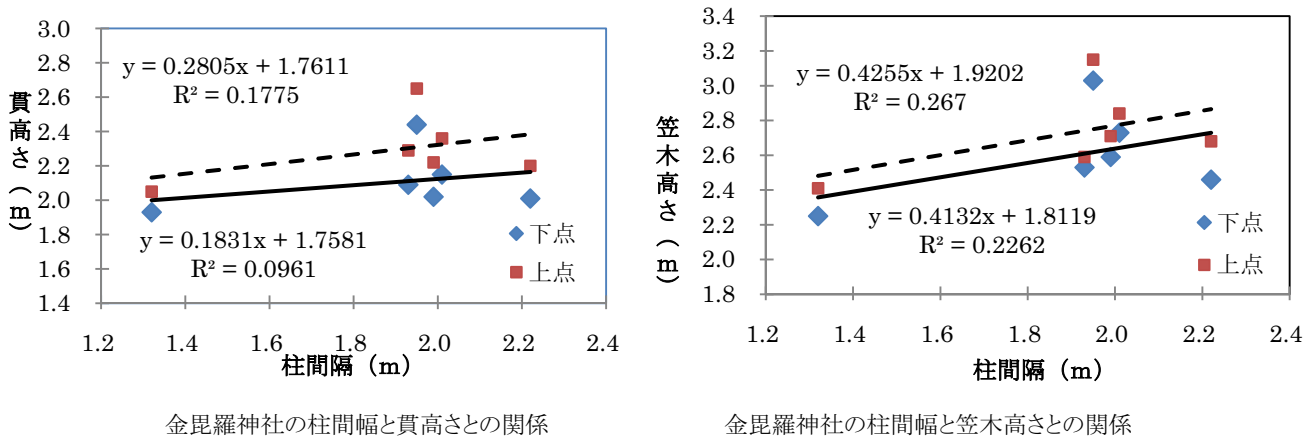


図 7. 金毘羅神社系の柱間幅に対する貫と笠木高さとの関係

図 7 左は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と貫下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。貫下の高さは 9.1D(直径)と貫上の高さは(9.1+0.8)=9.9D に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y_{貫上} = 0.281 \text{ 柱間幅} + 1.761 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.178) \dots \dots \dots (17)$$

$$Y_{貫下} = 0.183 \text{ 柱間幅} + 1.758 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.096) \dots \dots \dots (18)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、貫高さは共に増大の傾向である。式 17 と式 18 の勾配は、それぞれ 0.281 と 0.183 である。式 17 と式 18 の決定係数は、それぞれ 0.178 と 0.096 である。式 17 の勾配は、式 18 のより大きい値である。式 1 の決定係数は、式 2 のより約 2.5 倍大きい値である。このことは金毘羅神社系の 1 基が高いからである。貫上高さの勾配と決定係数は、貫下高さとの相違点が判明した。

図 7 右は、金毘羅神社系鳥居の柱間幅(X 軸で単位は m)と笠木下高さ(Y 軸で単位は m)との関係を究明するため測量値を図示した。鳥居上点である系列■表示は、直線方程式の破線、鳥居下点である系列◆表示は、直線方程式の実線である。笠木下の高さは 11.2D(11.2 は 9.9 と 1.3 の和である)と笠木上の高さは 11.8D(11.8 は 11.2 と 0.6 の

和である)に計算する外山晴彦(平成 20(2008)年)手法を引用した。計算値と測量値との関係を究明するため考察方法として、次のような回帰方程式を与えられる。

$$Y \text{ 笠木上} = 0.425 \text{ 柱間幅} + 1.920 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.267) \dots \dots \dots (19)$$

$$Y \text{ 笠木下} = 0.413 \text{ 柱間幅} + 1.812 \dots \dots \dots \text{決定係数}(R^2 = 0.226) \dots \dots \dots (20)$$

金毘羅神社系神社鳥居の範囲では、鳥居の柱間幅が増大するにつれ、笠木高さは共に増大の傾向である。式 19 と式 20 の勾配は、それぞれ 0.425 と 0.413 である。式 19 と式 20 の決定係数は、それぞれ 0.267 と 0.226 である。式 19 の勾配と決定係数は、式 20 のより大きい値である。

### 5-6. 全国と西淀川区内の鳥居の高さ

ホームページなどで公表している資料を収集し、西淀川区内にある神社との比較を行った。結果を図 8 に表示している。この図 8 における左側のプロット数は、区内の資料である。グラフの右上にあるのは、全国で最も高い神社の鳥居である。直線より左側にある鳥居は 5 基である。これは、標準値より上方へシフトしていることが分かる。地域の区画整理等の環境の変化によることもあれば、鳥居設計者による思想であるかもわからない。

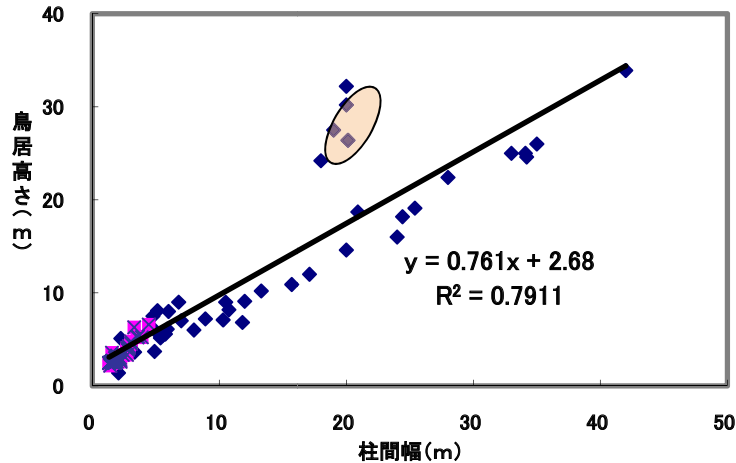


図 8. 全国と西淀川にある鳥居の柱間幅と高さとの関係

そのため、グラフ下は各神社の資料との区分が明白になっている。この中で、熊野本宮の鳥居は、33.8m で国内最高である。次に高い鳥居は、大宮神社(33.2m)であることが確認された。このようなことを比較すれば、西淀川区内にある鳥居は約 7m 以下である。すなわち、熊野本宮と大宮神社の高さは、西淀川の神社よりも約 4~5 倍であることが確認された。

外山晴彦(平成 20(2008)年)によると笠木上の高さは、直径の 11.8 倍になっている。ここで、推定値の直径の 11.8 倍は、貫の幅 0.8、貫と笠木間の幅 1.3 および笠木の幅 0.6 の和である。全国と区内の柱間幅と笠木高さとの関係において、鳥居下部の高さは実線で、鳥居上部の高さは破線である。神社鳥居の範囲では、柱間幅が増大するにつれ、鳥居の高さは共に増大の傾向である。このグラフの勾配と決定係数は、0.761 と 0.791 である。

## 6. おわりに

### 6-1. 西淀川区の地域環境

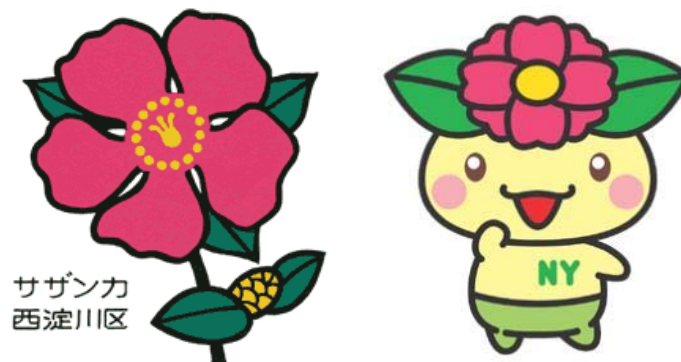
日本列島形成時に太古の西淀川区はまだ海の底で、大阪湾の東は生駒山麓、西は六甲山麓まで深く入りこんだ海である。それから長い年月にわたり淀川、大和川、武庫川などの運んできた土砂が、河口に堆積して洲をつくり、次第

に島になった。これが古代に難波八十島と呼ばれたのである。西淀川区の地名に、竹島、御幣島、佃島、出来島、姫島、百島、中島、城島、西島、外島など、島の名が多いのは、その名残と言える。これらの地は、古くから都の貴族や文人の間によく知られ、今日残されている多くの歌碑から知ることができる。

水辺に拓かれた地は、古来幾度となく水禍に見舞われた。区内の神社の多くが、海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、昔の水災をしのぶのである。現在は浸水対策として、大規模な防潮堤が築造され、今後の抜本的な浸水対策として、「淀の大放水路」も着工した。

西淀川区の誕生は1925年(大正14年)4月1日で、明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成しました。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせましたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果一定の成果をあげました。

河川汚濁の多い大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図り、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。さらに、西淀川区を緑豊かな潤いのまちにしたいとの願いから、昭和50年、区制50周年を記念して、区の花に「サザンカ」が定められた。西淀川区のマスコット「に～よん」もある町である。



西淀川区の規模は、大阪府大阪市の最西端に位置し、東西間距離約 5.31km、南北間距離約 5.94km、境界線距離約 17.68km、総面積 14.23 平方 km、人口 99,090 人である。①区内最東端の町である柏里 1 丁目は、 $34^{\circ} 42' 33''$  Nと $135^{\circ} 28' 15''$  Eで、標高 1m である。②区内最西端の町である中島 2 丁目は、 $34^{\circ} 42' 23''$  Nと $135^{\circ} 25' 57''$  Eで、標高 0m である。③区内最南端の町である西島 2 丁目は、 $34^{\circ} 41' 13''$  Nと $135^{\circ} 25' 05''$  Eで、標高 1m である。④区内最北端の町である竹島 5 丁目は、 $34^{\circ} 43' 59''$  Nと $135^{\circ} 26' 57''$  Eで、標高 0m である。⑤大阪市西淀川区には、多くの組織・施設が地域に貢献し、社会を構成している。⑥3 島名は中島・西島・佃島である。3 橋道路線名は池田線・神戸線・湾岸線である。⑦4 鉄道名は JR 東海道本線・JR 東西線・阪神本線・阪神なんば線である。⑧4 市立中学校名(創立順)は淀・西淀・歌島・佃である。⑨5+2 川名は中島川・左門殿川・神崎川・西島川・淀川・旧大野川・旧中津川である。⑩7 駅名は塚本駅・御幣島駅・加島駅・姫島駅・千船駅・福駅・出来島駅である。⑪8 神社は野里住吉神社・姫嶋神社・姫嶋神社・大野百島住吉神社・大野百島住吉神社・大野百島住吉神社・大野百島住吉神社・大野百島住吉神社である。⑫14 市立小学校名(創立順)は香袋・野里・歌島・佃西・佃・大和田・姫里・福・姫島・出来島・佃南・川北・柏里・御幣島である。⑬17 町名は西島・百島・大野・竹島・花川・千舟・福町・柏里・中島・出来島・歌島・姫里・野里・大和田・姫島・御幣島・佃である。⑭17 橋名は中島新橋・辰巳橋・左門小橋・左門橋・中島出来島大橋・城島橋・城島小橋・千北橋・千船大橋・神崎大橋・両島橋・中島大野高架橋・新伝法大橋・伝法大橋・淀川大橋・中島川橋・神崎川橋である。

## 6-2. 西淀川区にある大野百島神社の調査要約

大阪市西淀川区、大野百島住吉神社の由来と測量と解析によって明らかにした点と鳥居の詳細な測量値に基づい

て模型製作を行なった点を要約する。

1. 大野百島住吉神社の創建は 1644 年で、鳥居建立は 1926 年～2006 年である。
2. 大野百島住吉神社の由来については、四ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)用語を翻訳した。
3. 大野百島住吉神社鳥居の構造観察の結果を要約する。正面大鳥居、戎神社鳥居と稲荷神社鳥居は、同一構造である。金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居は、同一構造である。①反り増しの角型曲線は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 5 基である。②島木の角型曲線は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 5 基である。③台輪は、すべて 5 基が無である。④楔と額束の有は、正面大鳥居、戎神社鳥居と稲荷神社鳥居の 3 基で、無は金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 2 基である。⑤貫四角外側は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 5 基である。⑥根巻・藁座の無は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 5 基である。⑦亀腹・饅頭の有は、正面大鳥居、戎神社鳥居、稲荷神社鳥居、金毘羅神社鳥居と南門裏鳥居の 5 基である。
4. 大野百島住吉神社の鳥居計測値の結果と解析を要約する。柱内側の幅と貫中央の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。柱内側の幅と笠木頂点の高さの実測値は、円周から計算した直径よりも実測した直径がより近い値である。これは、図の解析や回帰式および決定係数からも明白に理解できる。この貫の厚さは、笠木の厚さより厚くなっている。神社内の正面大鳥居は、最も高く、金比羅神社から稲荷神社の鳥居が低くなっている。
5. 大野百島住吉神社の鳥居の模型製作は、鳥居実測の 20 分の 1 である。

## 謝 辞

神社の調査時には、大阪市西淀川区にある野里住吉神社の鎌田義昭宮司に了解を頂きました。本論文作成にあたっては、資料提供のご協力を頂きました大阪市西淀川区役所の木本敏行区長と関係者をはじめ大阪府神社庁と大神神社の関係各位に感謝申し上げます。図書文献の調査提供には、大阪市立西淀川図書館の斎藤健一館長に感謝申し上げます。

和英の翻訳には上野裕講師、和韓の翻訳には金世徳博士、和中の翻訳には、富田和広教授・立川昌司社長に感謝申し上げます。測量・撮影・情報分析・情報処理には、地元の西山正明社長・北川和孝彫刻師、吉村明信氏・西谷真志氏および NPO 法人洞窟環境 NET 学会の肥塚義明事務局長・藤田浩史相談役の各氏に厚く御礼申し上げます。

(2010 年 12 月 1 日受稿、2010 年 12 月 25 日掲載決定)

## 参 考 文 献

- 1) 大阪都市協会編:「西淀川今昔写真集・西淀川区制 70 周年記念」、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1995 年
- 2) 大阪都市協会編:「西淀川区史」、西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会、1996 年
- 3) 外山晴彦・サライ編集部:「神社の見方」、小学館 第五刷、2005 年
- 4) 根岸榮隆:「鳥居の研究」、第一書房、2007 年
- 5) 正木晃・中尾伊早子監修:「よくわかる！ 神社 神宮」、PHP 研究所、2007 年
- 6) 梨本敬法他:「これだけは知っておきたい神社入門」、洋泉社、2007 年
- 7) 黒田一充・編集:「神社を中心とする村落生活調査報告書 1 大阪府(なにわ・大阪文化遺産学叢書 3)、関西大学、2007 年
- 8) 井上順孝:「図解雑学!神道」、ナツメ 第五刷、2008 年
- 9) 外山晴彦:「神社のことがよくわかる本」、東京書籍、2008 年
- 10) 渋谷伸博:「日本の神社」、日本文芸社、2008 年
- 11) 山形明郷:「卑弥呼の生体」、三五館、2010 年
- 12) 洞窟環境 NET 学会編集部:「野里住吉神社の環境写真」、洞窟環境 NET 学会紀要、創刊号、2010 年

- 13) 洞窟環境 NET 学会:「大阪市西淀川区の神社研究」<http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html>、2010 年
- 14) 沢 勲・西山正明・石田信也・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382 年)の末社と石燈籠と鳥居」、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要、3 号、2011 年
- 15) 沢 勲・肥塚義明・北川和孝:「大阪市西淀川区、野里住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 16) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、田蓑神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 17) 沢 勲・石田信也・朴永晔:「大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 18) 沢 勲・富田和広・北川和孝:「大阪市西淀川区、大和田住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 19) 沢 勲・西山正明・金世徳:「大阪市西淀川区、福住吉神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 20) 沢 勲・富田和広・肥塚義明:「大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年
- 21) 沢 勲・上野裕・西山正明:「大阪市西淀川区、五社神社の由来と鳥居」、洞窟環境 NET 学会紀要、2 号、2010 年

# 1.社殿の建築様式

## 1-1.社殿の建築様式の系統図

社殿の建築様式の系統図	屋根部分	千木	有	妻入様式	大社造	春日造	住吉造
				平入様式	神明造	流れ造	
		無	平入様式			八幡造	
		勝雄木	有	妻入様式	3本大社造	4本春日造	5本住吉造
				平入様式	5本神明造	5本流れ造	
		無				八幡造	
	切妻造り	有	妻入様式	大社造	春日造	住吉造	
		有	平入様式	神明造	流れ造	八幡造	
	反り増し	有	妻入様式	大社造	春日造		
			平入様式		流れ造	八幡造	
		無	妻入様式			住吉造	
		無	平入様式	神明造			
壁部分	妻入り	有	妻入様式	大社造	春日造	住吉造	
		無	平入様式	神明造	流れ造	八幡造	
	妻入屋根	有	妻入様式	大社造	春日造		
			妻入様式			住吉造	
	無	平入様式	神明造	流れ造	八幡造		
	平入り	有	妻入様式	大社造	春日造	住吉造	
無		平入様式	神明造	流れ造	八幡造		



# 1-2. 建築様式と神社との関係例

神社本殿名		千木	勝雄木	切妻造り	妻入り	妻入屋根	平入り	反り増し	形式神社	
	女神	内向き	偶数 (2,4・)	への字形 屋根	棟と垂直な 壁にある出 入口	棟と垂直な 壁にある出 入口上屋 根	棟と平行な 壁に出入口	曲線状の 屋根		
	男神	外向き	奇数 (1,3・)							
妻入様式	1	大社造 (たいしゃづ くり)	有	3本	有	有	有	無	有	出雲大社
	2	春日造 (かすがづ くり)	有	2・4本	有	有	有	無	有	春日大社・白山 大社・平野神社
	3	住吉造 (すみよづ くり)	有	5本	有	有	無	無	無	住吉大社
平入様式	1	神明造 (しんめいづ くり)	有	5本	有	無	無	有	無	伊勢神宮
	2	流れ造 (ながれづ くり)	有	5本	有	無	無	有	有	賀茂神社・伏見 稻荷神社・
	3	八幡造 (はちまんづ くり)	無	無	有	無	無	有	有	宇佐神宮・石清 水八幡宮
野里住吉神社	1	住吉神社本殿	有	5本	有	無	無	有	有	神明造・伊勢神 宮
	2	淀川戎神社本 殿	有	5本	有	無	無	有	無	神明造・伊勢神 宮
	3	月頼稻荷神社	有	4本	有	無	無	有	有	賀茂神社・伏見 稻荷神社・

# 1-3.社殿建築様式の神社探検手法

神社本殿名		千木	鯉木	反り増し	妻入り	妻入屋根	平入り	形式神社	
	女神	内向き	偶数 (2,4・)	曲線状の屋根	棟と垂直な壁にある出入口	棟と垂直な壁にある出入口上屋根	棟と平行な壁に出入口		
	男神	外向き	奇数 (1,3・)						
妻入様式	1	大社造 (たいしゃづくり)	有	3本	有	有	有	無	出雲大社
	2	春日造 (かすがづくり)	有	2・4本	有	有	有	無	春日大社・ 白山大社・ 平野神社
	3	住吉造 (すみよしづくり)	有	5本	無	有	無	無	住吉大社
平入様式	4	神明造 (しんめいづくり)	有	5本	無	無	無	有	伊勢神宮
	5	流れ造 (ながれづくり)	有	5本	有	無	無	有	賀茂神社・ 伏見稻荷神社
	6	八幡造 (はちまんづくり)	無	無	有	無	無	有	宇佐神宮・ 石清水八幡宮
神社本殿名称		千木	鯉木	反り増し	妻入り	妻入屋根	平入り	形式神社	
当て方		有	有	有	有	有	有		
		無	無	無	無	無	無		



## 2.神社鳥居の系列構造

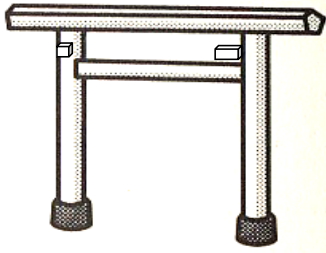
### 2-1.鳥居の系列構造の系統図

鳥居名		柱	反り増し	笠木	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・葉座	亀腹・饅頭	構造	類似鳥居	
		はしら	そりまし	かさぎ	しまぎ	だいわ	くさぎ	かくづか	ぬき	ねまき	かめばら			
神明系鳥居	1	伊勢・神明	丸柱・垂直	無	丸型直線	無	無	有	無	丸型内側	有	有	シンプル	伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)
	2	鹿島	丸柱・垂直	無	丸型直線	無	無	無	無	角型外側	無	無	笠木・貫の両端は垂直切断	鹿島神宮
	3	黒木・素木	丸柱・垂直	無	丸型直線	無	無	無	無	丸型内側	無	無	シンプル	伊勢斎宮・野宮齋院
	4	靖国	丸柱・垂直	無	角型直線	無	無	無	無	角型内側	無	無	シンプル	神明鳥居
明神系鳥居(上部には有色・装飾)	1	稻荷・台輪	丸柱・内傾斜	有	角型曲線	角型曲線	有	有	有	角型外側	無	有	笠木・島木は斜め切断	伏見稻荷大社(台輪鳥居)
	2	春日	丸柱・内傾斜	有	角型曲線	角型曲線	無	有	有	角型外側	無	有	笠木・貫は垂直切断	春日大社
	3	山王	丸柱・垂直	有	角型曲線	角型曲線	有	有	有	角型外側	有	無	破風状の合掌が最上部	日吉大社・破風鳥居・総合鳥居
	4	中山・住吉	角柱・垂直	有	角型曲線	角型曲線	無	無	有	角型内側	無	無	四角柱	明神鳥居・住吉神社
	5	八幡	丸柱・垂直	有	角型曲線	角型曲線	無	有	有	角型外側	無	無	笠木・島木は斜め切断	石清水八幡宮
	6	明神	丸柱・内傾斜	有	角型曲線	角型曲線	無	有	有	角型外側	無	有	笠木・島木は斜め切断	神田神社
	7	三輪	丸柱・4本柱	有	角型曲線	角型曲線	無	有	有	角型外側	無	有	脇に鳥居・左右に腹柱	大神神社・三光鳥居
	8	両部・杵差	丸柱・6本柱	有	角型曲線	角型曲線	有	有	有	角型外側	無	有	笠木・島木は斜め切断	厳島神社・氣比神社

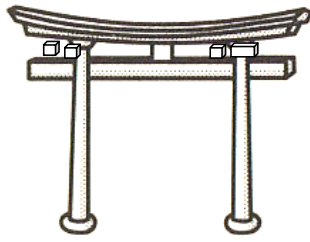
## 2-2.神明系と明神系鳥居の区分図

### 神明(しんめい)系鳥居

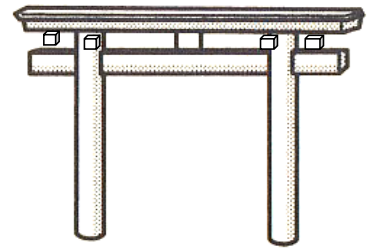
### 明神(みょうじん)系鳥居



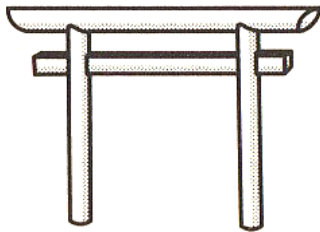
伊勢(いせ)・神明(しんめい): 伊勢斎宮。笠木が鑊の五角形で屋根への発展を示す。両端は下方に向かって斜め。貫は貫通せず、楔で固定。柱の円柱は転び(傾斜)がない。



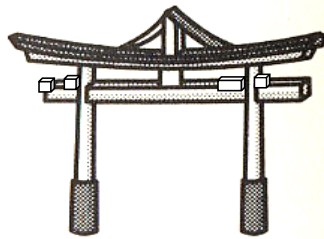
稻荷(いなり:台輪(だいわ)): 島木の下に構造的補強した大輪形。柱の上部、島木と接する箇所には台輪がある特徴。台輪鳥居と呼ぶ。楔あり。



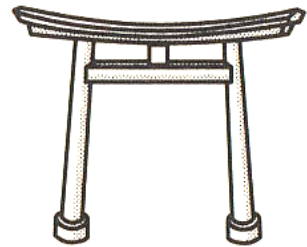
春日(かすが): 島木の上にある笠木の端が垂直。貫中央に額束がある。柱には傾斜ある。春日大社。



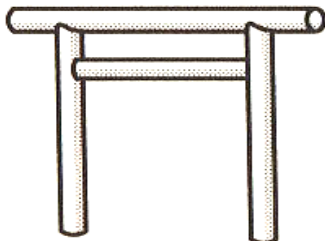
鹿島(かしま)鳥居: 貫が四角、柱が出る。貫の特徴は柱の外に張る。



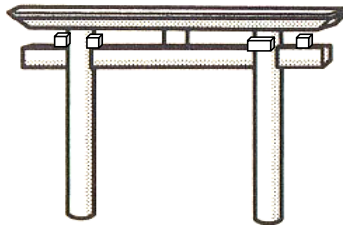
山王(さんのう): 笠木の上に破風型をした合掌の形状。合掌は神仏習合を表現する特徴。破風鳥居・総合鳥居。



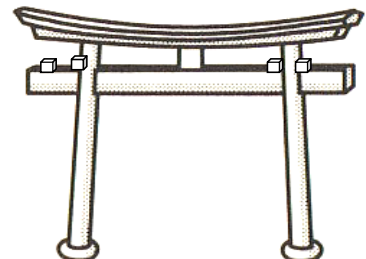
住吉(すみよし・中山(なかやま)): 柱が四角(角柱)になっている特徴。大阪・住吉大社の神門前の鳥居が有名。



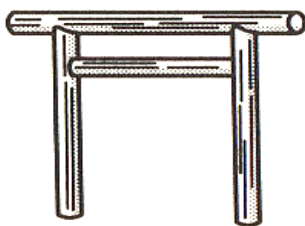
黒木(くろき:素木(しらき)): 皮付き丸太をそのまま使用した円柱二本が垂直で、上部に円柱形の笠木を載せる。貫は円柱を載せ、柱を傾斜させない特徴。



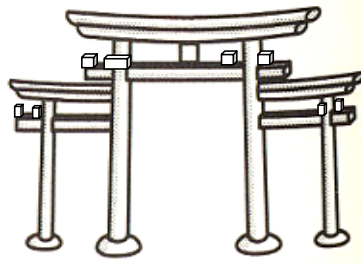
八幡(はちまん): 笠木端が斜め。鳥居笠木の両端を斜めに切り落した特徴。春日鳥居とよく似た形。楔あり。



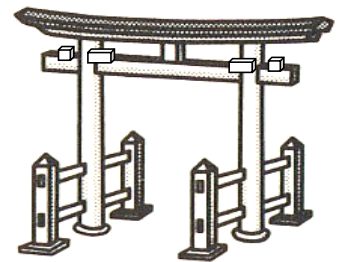
明神(みょうじん): 最も普通の鳥居。笠木と島木に反り。笠木・島木の両端は斜め。柱根元には亀腹がある特徴。



靖国(やすくに): 2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成。



三輪(みわ): 扉の有無関係なく三輪の鳥居。横の脇鳥にある鳥居が付属。大鳥居の左右に小型の鳥居を付けた特徴。



両部(りょうぶ): 両部に神道の理念を表した柱に袖柱が付属している特徴。後に控柱(稚児柱)を設けている。

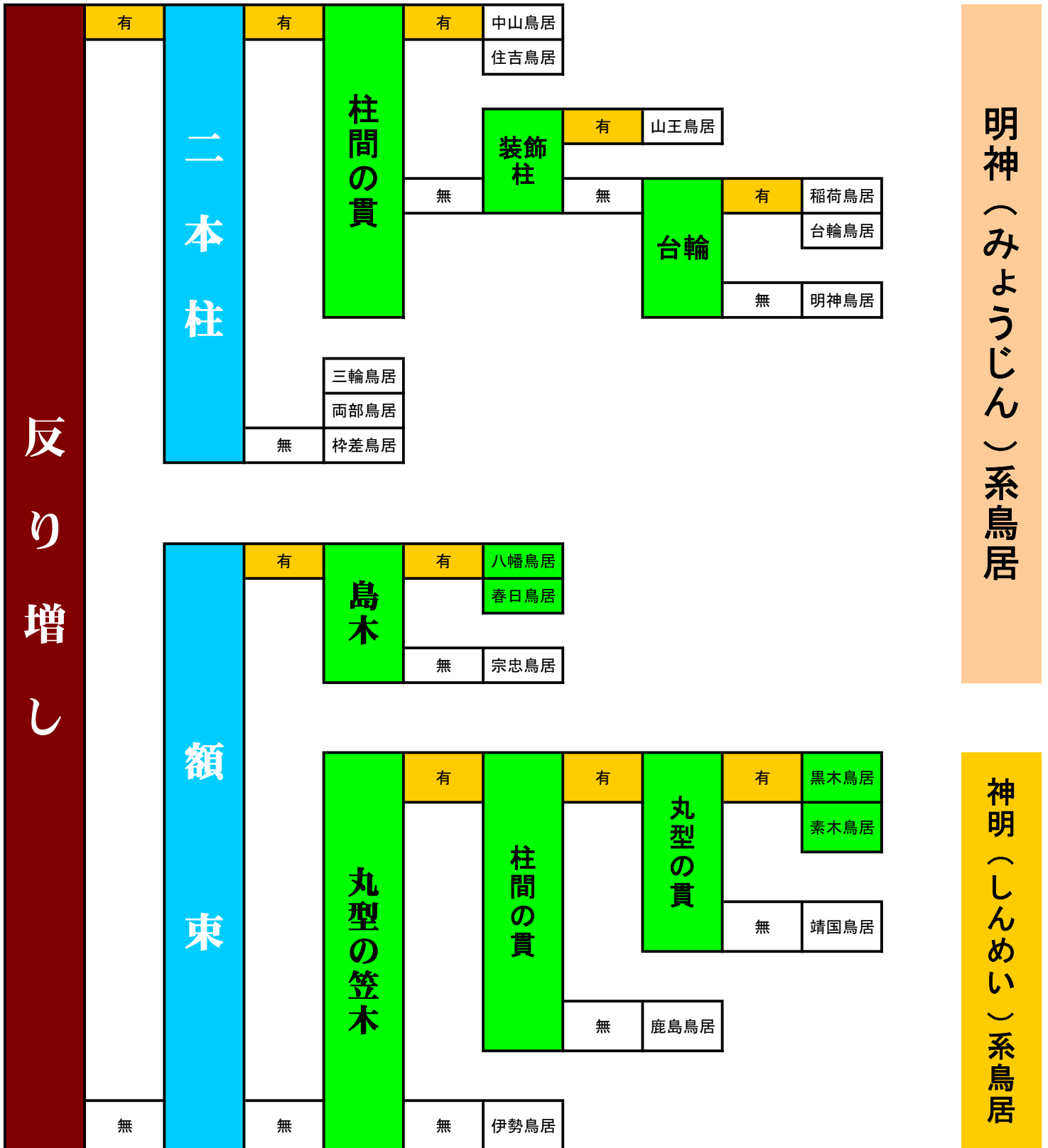
靖国(やすくに): 2本の垂直な丸柱、上部に丸型の笠木が乗り、貫が四角(断面長方形)の角材である特徴。額束や楔などもない質素な構成。

## 2-3. 神明系と明神系の鳥居

### 鳥居の系統図

反り増し	無	神明系	伊勢・神明	鹿島	黒木・素木	靖国						
	有	明神系	稻荷・台輪	春日	山王	中山・住吉	八幡	明神	三輪	両部・梓差		
島木	無	神明系	伊勢・神明	鹿島	黒木・素木	靖国						
	有	明神系	稻荷・台輪	春日	山王	中山・住吉	八幡	明神	三輪	両部・梓差		
台輪	無	神明系	伊勢・神明	鹿島	黒木・素木	靖国						
		明神系	稻荷・台輪								両部・梓差	
	有	明神系		春日	山王	中山・住吉	八幡	明神	三輪			
楔	無	神明系		鹿島	黒木・素木	靖国						
		明神系				中山・住吉						
	有	明神系	伊勢・神明	稲荷・台輪	春日	山王		八幡	明神	三輪	両部・梓差	
額束	無	神明系	伊勢・神明	鹿島	黒木・素木	靖国						
	有	明神系	稻荷・台輪	春日	山王	中山・住吉	八幡	明神	三輪	両部・梓差		
貫	内側	神明系	伊勢・神明		黒木・素木	靖国						
		明神系						八幡				
	外側	明神系	稲荷・台輪	春日	山王	中山・住吉		明神	三輪	両部・梓差		
根巻・藁座	無	神明系		鹿島	黒木・素木	靖国						
		明神系	稲荷・台輪	春日		中山・住吉	八幡	明神	三輪	両部・梓差		
	有	明神系	伊勢・神明		山王							
亀腹・饅頭	無	神明系		鹿島	黒木・素木	靖国						
		明神系			山王	中山・住吉	八幡					
	有	明神系	伊勢・神明	稲荷・台輪	春日				明神	三輪	両部・梓差	

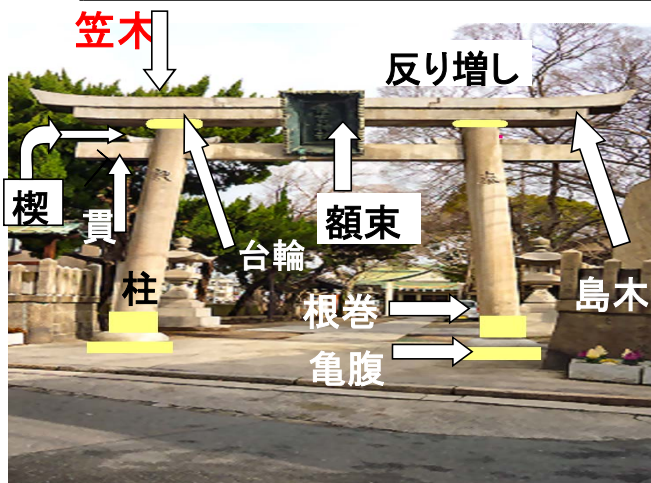
# 2-4. 笠木上の反り増し系統図





# 2-5. 神明と明神系鳥居の探検

鳥居名		反り増し	笠木	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・亀腹	類似鳥居	
		そりまし	かさぎ	しまぎ	だいわ	くさぎ	かくづか	ぬき	ねまき・かめばら		
神明系鳥居	1	伊勢・神明	無	丸型直線	無	無	有	無	丸型内側	有	伊勢内外神宮・熱田神宮(伊勢鳥居)
	2	黒木・素木	無	丸型直線	無	無	無	無	角型内側	無	伊勢齋宮・野宮齋院
	3	鹿島	無	丸型直線	無	無	無	無	角型外側	無	鹿島神宮
	4	靖国	無	丸型直線	無	無	無	無	角型内側	無	神明鳥居
明神系鳥居(有色・装飾)	5	稲荷・台輪	有	角型曲線	有	有	有	有	角型外側	有	伏見稲荷大社(台輪鳥居)
	6	春日	有	角型曲線	有	無	有	有	角型外側	無	春日大社
	7	山王	有	角型曲線	有	有	有	有	角型外側	有	日吉大社・破風鳥居・総合鳥居
	8	中山・住吉	有	角型曲線	有	無	有	有	角型内側	無	明神鳥居・住吉神社
	9	八幡	有	角型曲線	有	無	有	有	角型外側	無	石清水八幡宮
	10	明神	有	角型曲線	有	無	有	有	角型外側	有	神田神社
	11	三輪	有	角型曲線	有	無	有	有	角型外側	有	大神神社・三光鳥居・両柱に柱
	12	両部・梓差	有	角型曲線	有	有	有	有	角型外側	有	巖島神社・気比神社・両柱に柱
当て方			反り増し	笠木	島木	台輪	楔	額束	貫	根巻・亀腹	
			有	直線	有	有	有	有	内側	有	
			無	曲線	無	無	無	無	外側	無	



鳥居とは神霊として鳥を招く意味。構造は2本柱に2本横木(笠木と貫)から構成。神明系と明神系の鳥居は、笠木の下に島木が無(神明系)と有(装飾・黒塗り・明神系)の違い、笠木の反りの有(神明系)と無(明神系)による。神明系鳥居の貫には、出る(鹿島鳥居を除く)と出ない(鹿島鳥居)を区別する。渋谷申博『面白いほどよくわかる日本の神社』日本文芸者、井上順孝『図解雑学神道』ナツメ社、梨本敬法『神社入門』洋泉社を参照。

### 3.西淀川区、8神社文化遺産の調査資料

#### 3-1.神社の鳥居と建立(和暦-西暦)

	神社	鳥居名	和暦	和暦	西暦
1	野里 住吉神社	野里東門	元文	2年	1738
2		野里正面	大正	12年	1923
3		野里淀川戎	昭和	11年	1936
4		野里天満・春日・八幡・ 八百萬神	不詳	不詳	
5		野里月頼稻荷	不詳	不詳	
6	田蓑神社	田蓑正面	永正	8年9	1511
7		田蓑稻生	昭和	59年3	1984
8		田蓑金毘羅	昭和	62年10	1987
9		田蓑西門	不詳	不詳	
10		田蓑裏門	不詳	不詳	
11	姫嶋神社	姫嶋元天照皇大神社	昭和	27年3	1952
12		姫嶋正面	昭和	27年3	1952
13		姫嶋琴平	不詳	不詳	
14		姫嶋稻荷	不詳	不詳	
15	大和田 住吉神社	大和田金比羅宮	昭和	37年2	1962
16		大和田稻荷	平成	12年10	2000
17		大和田正面	不詳	不詳	
18	福 住吉神社	福正面	文化	4年6	1807
19		福金毘羅	昭和	2年4	1927
20		福稻荷	昭和	15年	1940
21		福戎	昭和	15年	1940
22		福東門	昭和	37年5	1962
23		福西門	平成	3年8	1991
24	鼻川神社	鼻川拝殿横	昭和	4年10	1929
25		鼻川正面	昭和	4年9	1929
26		鼻川稻荷	昭和	56年8	1981
27	五社神社	五社正面	文化	7年6	1810
28		五社神社外	文化	10年12	1813
29		五社龍王社	平成	11年10	1999
30		五社金比羅	平成	11年10	1999
31		五社水天宮	平成	11年10	1999
32		五社靖国社	平成	11年10	1999
33		五社稻荷	平成	12年7	2000
34		五社北門裏	平成	19年4	2007
35	大野百島 住吉神社	大野百島正面	大正	15年7	1926
36		大野百島稻荷	平成	18年1	2006
37		大野百島戎	不詳	不詳	
38		大野百島南門裏	不詳	不詳	
39		大野百島金毘羅	不詳	不詳	

### 3-3.西淀川区、8神社54鳥居の系統図

神社名	正面鳥居	戎神社鳥居系	稻荷神社鳥居系	金毘羅神社鳥居系	各門鳥居	その他鳥居	図示	鳥居数
	8鳥居	3鳥居	23鳥居	7鳥居	8鳥居	5鳥居		
野里住吉神社 (5鳥居)	正面鳥居	淀川戎神社鳥居	月頼稻荷神社鳥居		東門鳥居	天満・春日・八幡・八百萬神社鳥居	5	5
田蓑神社 (5鳥居)	正面鳥居		稻生神社鳥居	金比羅宮鳥居	西門神社鳥居と裏門鳥居		5	5
姫嶋神社 (6鳥居)	正面鳥居		稻荷神社鳥居+2基	琴平神社鳥居		天照皇大神社鳥居	4	6
大和田住吉神社 (3鳥居)	正面鳥居		稻荷神社鳥居	金毘羅宮鳥居			3	3
福住吉神社 (10鳥居)	正面鳥居	福戎神社鳥居	稻荷神社鳥居+4基	金毘羅神社鳥居	東門鳥居と西門鳥居		5	10
鼻川神社 (7鳥居)	正面鳥居		稻荷鳥居+4基		拝殿横鳥居		3	7
五社神社 (13鳥居)	正面鳥居		稻荷神社鳥居+5基	金毘羅神社鳥居と水天宮神社鳥居	北門裏鳥居	神社外鳥居+2基(靖国+竜王)	5	13
大野百鳥神社 (5鳥居)	正面鳥居	戎神社鳥居	稻荷神社鳥居	金毘羅神社鳥居	南門裏鳥居		5	5
							35	54

大阪市西淀川区、8神社54鳥居

### 3-4.西淀川区、8神社鳥居を調査した測量値

	神社名	鳥居名	柱断面(m)		柱間の幅(m)		貫の高さ(m)		笠木の高さ(m)		
			円周	直径	内側間	中心間	下点	上点	下点	上点	頂点
1	野里住吉	正面	1.80	0.52	4.45	5.11	4.74	5.15	6.02	6.27	6.59
2	野里住吉	月頼稲荷	0.47	0.17	1.58	1.72	1.91	2.05	2.38	2.45	2.50
3	野里住吉	天満・春日・八幡・八百万神	0.59	0.20	1.42	1.60	1.60	1.75	1.97	2.13	2.17
4	野里住吉	淀川戎	0.97	0.29	2.73	3.04	2.52	2.73	3.06	3.34	3.34
5	野里住吉	東門	1.28	0.40	3.05	3.48	3.35	3.68	4.28	4.47	4.78
6	田蓑	正面	1.19	0.38	3.05	3.43	3.13	3.41	3.97	4.12	4.53
7	田蓑	西門	0.69	0.22	1.61	1.84	2.03	2.20	2.53	2.62	2.72
8	田蓑	金比羅宮横	0.78	0.25	1.95	2.20	2.44	2.65	3.03	3.15	3.26
9	田蓑	稲生	0.69	0.22	1.78	2.00	2.12	2.31	2.63	2.87	2.99
10	田蓑	裏門	1.07	0.34	2.71	3.07	2.94	3.22	3.71	3.86	4.08
11	姫嶋	正面	1.30	0.41	3.30	3.70	4.01	4.30	5.05	5.25	6.29
12	姫嶋	稲荷	0.83	0.26	1.88	2.14	1.94	2.15	2.39	2.65	2.79
13	姫嶋	元天照皇大神	0.86	0.27	2.23	2.49	1.85	2.05	2.32	2.58	2.77
14	姫嶋	琴平	0.79	0.25	1.93	2.17	2.09	2.29	2.53	2.59	2.77
15	大和田住吉	正面	1.47	0.45	3.59	4.07	3.68	4.04	4.48	4.88	5.30
16	大和田住吉	稲荷	0.55	0.17	1.56	1.57	2.02	2.15	2.44	2.50	2.67
17	大和田住吉	金刀比羅宮	0.78	0.25	2.01	2.26	2.15	2.36	2.73	2.84	3.01
18	福住吉	正面	1.06	0.33	2.79	3.13	2.79	3.05	3.40	3.73	3.88
19	福住吉	稲荷	0.63	0.20	1.55	1.75	1.90	2.07	2.35	2.45	2.56
20	福住吉	東門	0.77	0.24	1.98	2.22	2.12	2.32	2.70	2.82	2.96
21	福住吉	金刀比羅	0.78	0.24	1.99	2.24	2.02	2.22	2.59	2.71	2.90
22	福住吉	福戎	0.80	0.25	1.97	2.24	2.11	2.30	2.67	2.77	2.92
23	福住吉	西門	0.79	0.25	2.18	2.43	2.23	2.44	2.80	2.93	3.03
24	鼻川	正面	1.49	0.48	3.90	4.36	3.70	4.08	4.57	5.04	5.22
25	鼻川	拝殿横	0.92	0.29	2.41	2.76	2.37	2.61	2.93	3.22	3.33
26	鼻川	稲荷	0.58	0.18	1.66	1.84	1.87	2.02	2.21	2.39	2.45
27	五社	正面	1.16	0.37	2.86	3.25	2.83	3.13	3.67	3.83	4.07
28	五社	金比羅	0.45	0.14	1.32	1.47	1.93	2.05	2.25	2.41	2.44
29	五社	水天宮	0.45	0.14	1.35	1.49	1.98	2.10	2.31	2.47	2.51
30	五社	北門裏	0.83	0.26	1.92	2.20	2.02	2.22	2.61	2.71	2.88
31	五社	稲荷	0.53	0.16	1.78	1.95	1.87	2.01	2.21	2.42	2.46
32	五社	神社外	1.54	0.48	3.55	4.06	3.65	4.02	4.75	4.93	5.21
33	大野百島	正面	1.07	0.34	2.88	3.23	2.99	3.28	3.64	4.02	4.25
34	大野百島	金毘羅	0.89	0.28	2.22	2.50	2.01	2.20	2.46	2.68	2.77
35	大野百島	戎	0.48	0.15	1.49	1.65	1.93	2.06	2.29	2.47	2.58
36	大野百島	稲荷	0.47	0.15	1.48	1.63	1.88	2.02	2.36	2.42	2.58
37	大野百島	南門裏	0.37	0.12	1.83	1.95	2.09	2.20	2.49	2.55	2.62

# 3-5. 西淀川区、鳥居と名称の関連系統図

鳥居の各部名称	有無	系名称	有名な鳥居	野里住吉	田養	姫嶋	大和田住吉	福住吉	鼻川	五社	大野百鳥住吉
---------	----	-----	-------	------	----	----	-------	-----	----	----	--------

反り増し	無	神明系	伊勢・神明・鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系		0	0	0	0	0	0	0	0
	有	神明系		0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・梓差	3	5	4	3	5	3	5	5

島木	無	神明系	伊勢・神明・鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系		0	1	0	0	0	0	2	0
	有	神明系		0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・梓差	3	4	4	3	5	3	3	5

台輪	無	神明系	伊勢・神明・鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・両部・梓差	3	5	4	3	5	3	5	5
	有	神明系		0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪	0	0	0	0	0	0	0	0

楔	無	神明系	鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	中山・住吉	0	2	0	0	0	0	0	2
	有	神明系	伊勢・神明	0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・山王・八幡・明神・三輪・両部・梓差	3	3	4	3	5	3	5	3

額束	無	神明系	伊勢・神明・鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系		0	0	0	0	0	0	0	0
	有	神明系		0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・梓差	3	5	4	3	5	3	5	5

貫	内側	神明系	伊勢・神明・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	八幡	0	0	0	0	0	0	0	0
	外側	神明系	鹿島	0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・山王・中山・住吉・明神・三輪・両部・梓差	3	5	4	3	5	3	5	5

根巻・藁座	無	神明系	鹿島・黒木・素木・靖国	2	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・中山・住吉・八幡・明神・三輪・両部・梓差	2	3	2	2	5	3	4	3
	有	神明系	伊勢・神明	0	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	山王	1	2	2	1	0	0	1	2

亀腹・饅頭	無	神明系	鹿島・黒木・素木・靖国	1	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	山王・中山・住吉・八幡	0	1	3	1	0	0	0	0
	有	神明系	伊勢・神明	1	0	0	0	0	0	0	0
		明神系	稲荷・台輪・春日・明神・三輪・両部・梓差	3	4	1	2	5	3	3	5

鳥居環境の各部名称系統図

# 3-6.神社鳥居の柱・貫・笠木のランク(m)

	神社名	鳥居名	柱直径	神社名	鳥居名	柱内幅	神社名	鳥居名	貫上点	神社名	鳥居名	笠木上点
1	野里	正面	0.52	野里	正面	4.45	野里	正面	5.15	野里	正面	6.27
2	鼻川	正面	0.48	鼻川	正面	3.90	姫嶋	正面	4.30	姫嶋	正面	5.25
3	五社	神社外	0.48	大和田	正面	3.59	鼻川	正面	4.08	鼻川	正面	5.04
4	大和田	正面	0.45	五社	神社外	3.55	大和田	正面	4.04	五社	神社外	4.93
5	姫嶋	正面	0.41	姫嶋	正面	3.30	五社	神社外	4.02	大和田	正面	4.88
6	野里	東門	0.40	野里	東門	3.05	野里	東門	3.68	野里	東門	4.47
7	田蓑	正面	0.38	田蓑	正面	3.05	田蓑	正面	3.41	田蓑	正面	4.12
8	五社	正面	0.37	大野百島	正面	2.88	大野百島	正面	3.28	大野百島	正面	4.02
9	田蓑	裏門	0.34	五社	正面	2.86	田蓑	裏門	3.22	田蓑	裏門	3.86
10	大野百島	正面	0.34	福	正面	2.79	五社	正面	3.13	五社	正面	3.83
11	福	正面	0.33	野里	淀川戎	2.73	福	正面	3.05	福	正面	3.73
12	野里	淀川戎	0.29	田蓑	裏門	2.71	野里	淀川戎	2.73	野里	淀川戎	3.34
13	鼻川	拝殿横	0.29	鼻川	拝殿横	2.41	田蓑	金比羅宮横	2.65	鼻川	拝殿横	3.22
14	大野百島	金毘羅宮	0.28	姫嶋	元天照皇大神	2.23	鼻川	拝殿横	2.61	田蓑	金比羅宮横	3.15
15	姫嶋	元天照皇大神	0.27	大野百島	金毘羅宮	2.22	福	西間	2.44	福	西間	2.93
16	姫嶋	稲荷	0.26	福	西間	2.18	大和田	金刀比羅宮	2.36	田蓑	稲生	2.87
17	五社	北門裏	0.26	大和田	金刀比羅宮	2.01	福	東門	2.32	大和田	金刀比羅宮	2.84
18	田蓑	金比羅宮横	0.25	福	金刀比羅	1.99	田蓑	稲生	2.31	福	東門	2.82
19	姫嶋	琴平	0.25	福	東門	1.98	福	福戎	2.30	福	福戎	2.77
20	大和田	金刀比羅宮	0.25	福	福戎	1.97	姫嶋	琴平	2.29	福	金刀比羅	2.71
21	福	福戎	0.25	田蓑	金比羅宮横	1.95	福	金刀比羅	2.22	五社	北門裏	2.71
22	福	西間	0.25	姫嶋	琴平	1.93	五社	北門裏	2.22	大野百島	金毘羅宮	2.68
23	福	東門	0.24	五社	北門裏	1.92	田蓑	西門	2.20	姫嶋	稲荷	2.65
24	福	金刀比羅	0.24	姫嶋	稲荷	1.88	大野百島	金毘羅宮	2.20	田蓑	西門	2.62
25	田蓑	西門	0.22	大野百島	南門裏	1.83	大野百島	南門裏	2.20	姫嶋	琴平	2.59
26	田蓑	稲生	0.22	田蓑	稲生	1.78	姫嶋	稲荷	2.15	姫嶋	元天照皇大神	2.58
27	野里	天満・春日・八幡・八百萬神	0.20	五社	稲荷	1.78	大和田	稲荷	2.15	大野百島	南門裏	2.55
28	福	稲荷	0.20	鼻川	稲荷	1.66	五社	水天宮	2.10	大和田	稲荷	2.50
29	鼻川	稲荷	0.18	田蓑	西門	1.61	福	稲荷	2.07	五社	水天宮	2.47
30	野里	月頼稲荷	0.17	野里	月頼稲荷	1.58	大野百島	戎	2.06	大野百島	戎	2.47
31	大和田	稲荷	0.17	大和田	稲荷	1.56	野里	月頼稲荷	2.05	野里	月頼稲荷	2.45
32	五社	稲荷	0.16	福	稲荷	1.55	姫嶋	元天照皇大神	2.05	福	稲荷	2.45
33	大野百島	戎	0.15	大野百島	戎	1.49	五社	金比羅	2.05	五社	稲荷	2.42
34	大野百島	稲荷	0.15	大野百島	稲荷	1.48	鼻川	稲荷	2.02	大野百島	稲荷	2.42
35	五社	金比羅	0.14	野里	天満・春日・八幡・八百萬神	1.42	大野百島	稲荷	2.02	五社	金比羅	2.41
36	五社	水天宮	0.14	五社	水天宮	1.35	五社	稲荷	2.01	鼻川	稲荷	2.39
37	大野百島	南門裏	0.12	五社	金比羅	1.32	野里	天満・春日・八幡・八百萬神	1.75	野里	天満・春日・八幡・八百萬神	2.13



# 3-7.西淀川区、神社鳥居の模型写真

野里住吉神社正面



田蓑神社正面



姫嶋神社正面



大和田住吉神社正面



福住吉神社正面



鼻川神社正面



五社神社正面



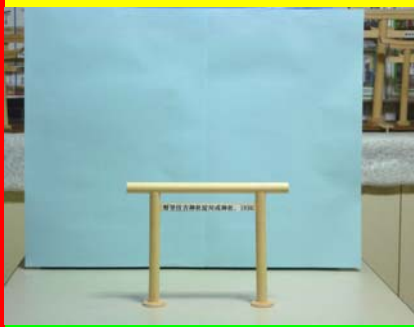
大野百島住吉神社正面



野里住吉神社東門



野里住吉神社淀川戎



野里住吉神社天満・春日・  
八幡・八百萬神



野里住吉神社稲荷



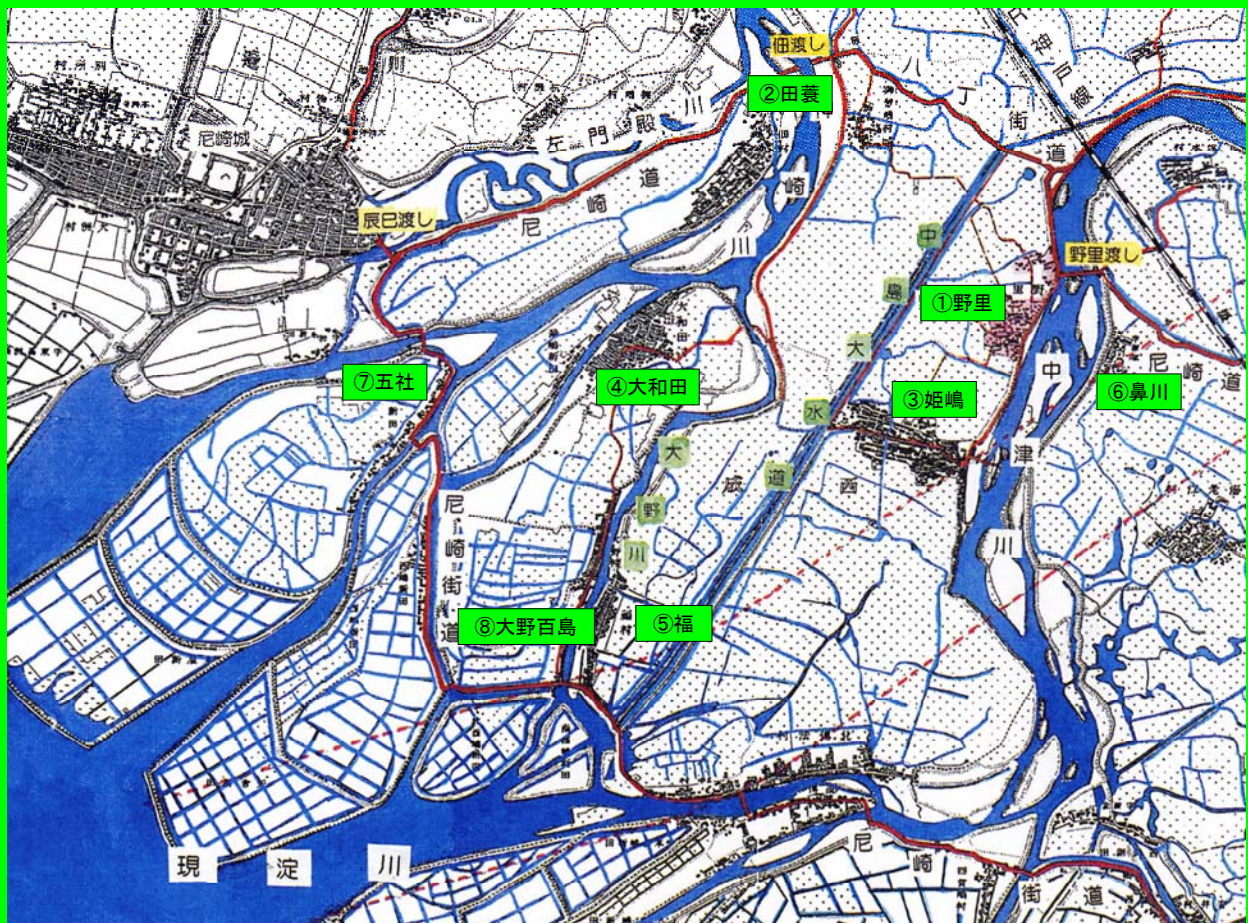
# 4.西淀川区、神社関連資料

## 4-1.西淀川区の地図(神社関連図)



神社名	神社創建
① 野里住吉神社	1382年
② 田養神社	869年
③ 姫嶋神社	不詳
④ 大和田住吉神社	1320年
⑤ 福住吉神社	1656年
⑥ 鼻川神社	不詳
⑦ 五社神社	1688年
⑧ 大野百島住吉神社	1644年

大阪市西淀川区にある神社所在地の神社名称と創建年

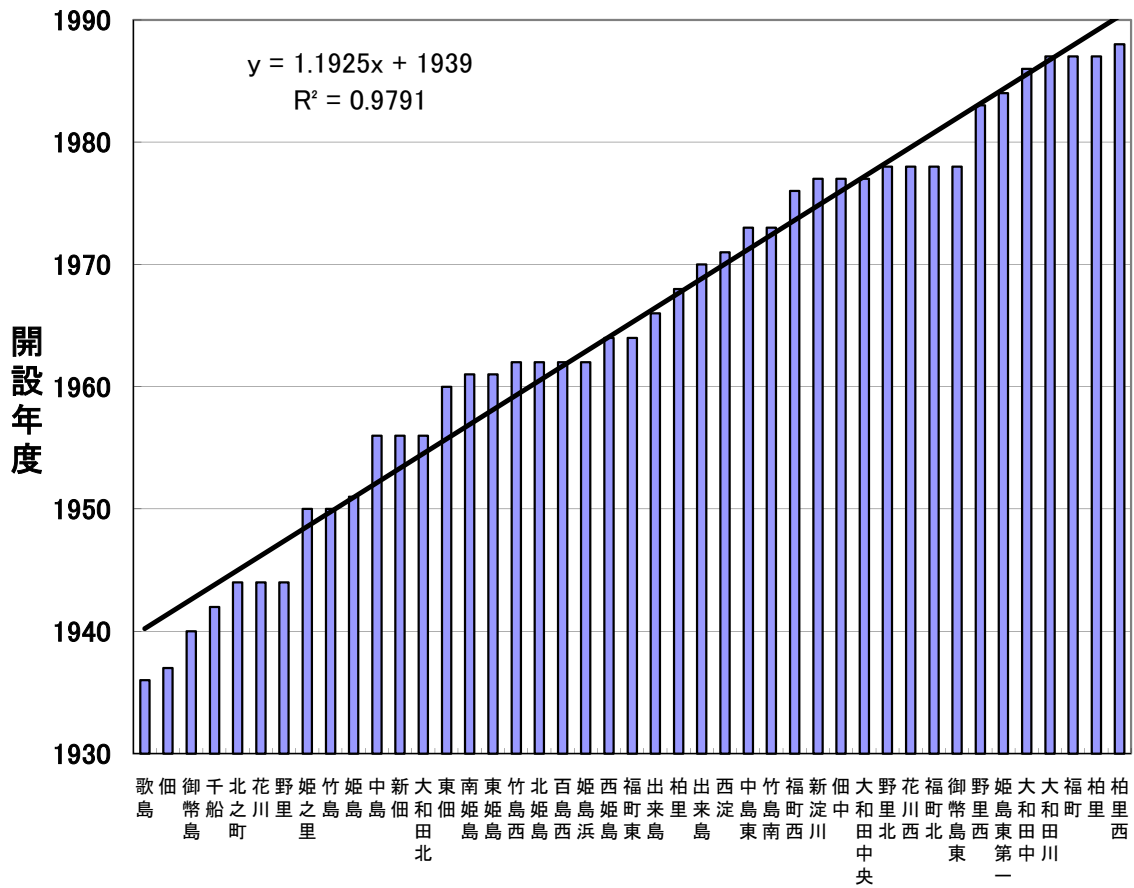


大阪市西淀川区にある神社所在地  
(大日本帝国陸地測量地図より 明治18年測量)参照

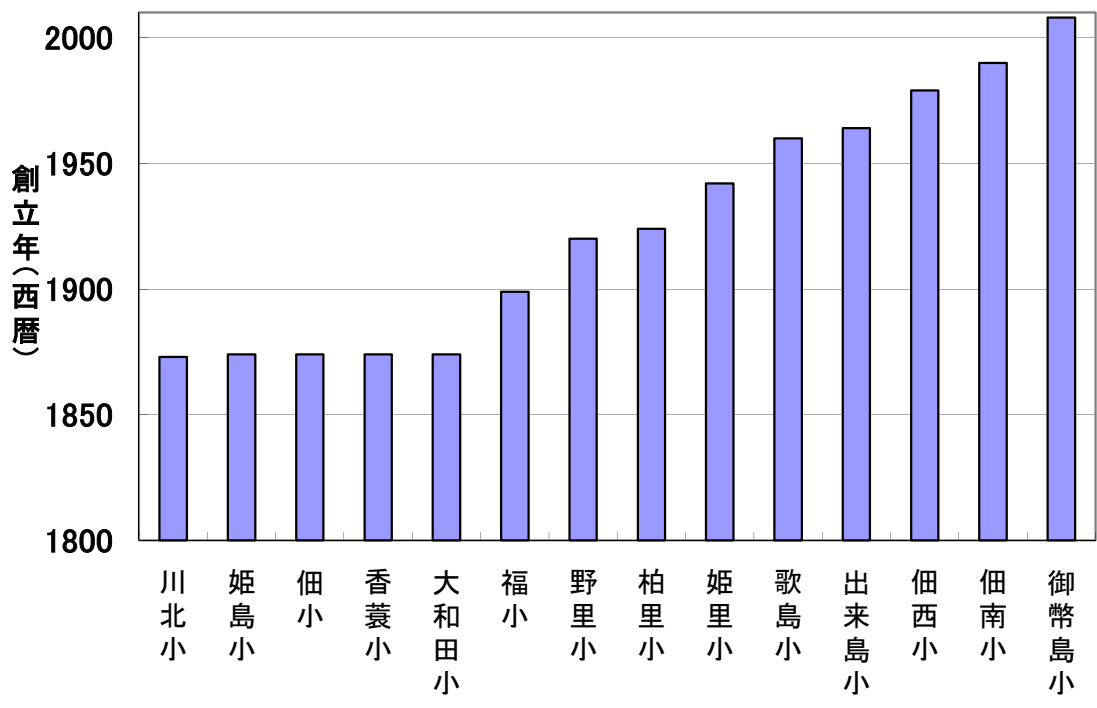


## 4-2.西淀川区の地理的環境

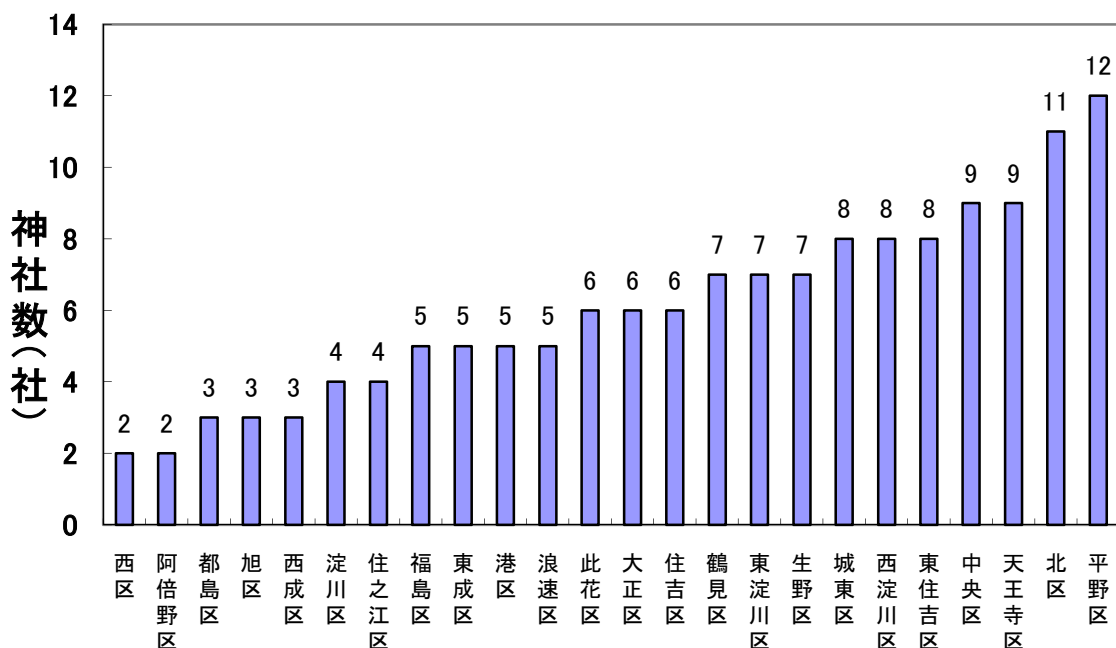
項目	1	2	3	4	5	6	7	8
3島名	中島	西島	佃島					
3橋道路線名	池田線	神戸線	湾岸線					
4鉄道名	JR東海道本線		JR東西線		阪神本線		阪神なんば線	
4市立中学校名 (創立順)	淀	西淀	歌島	佃				
5+2川名	中島川	左門殿川	神崎川	西島川	淀川	旧大野川	旧中津川	
7駅名	塚本駅	御幣島駅	加島駅	姫島駅	千船駅	福駅	出来島駅	
8神社	野里	田蓑	姫嶋	大和田	福	鼻川	五社	大野百島
14市立小学校名 (創立順)	香菱	野里	歌島	佃西	佃	大和田	姫里	福
	姫島	出来島	佃南	川北	柏里	御幣島		
17町名	西島	百島	大野	竹島	花川	千舟	福町	柏里
	中島	出来島	歌島	姫里	野里	大和田	姫島	御幣島
	佃							
17橋名	中島新橋	辰巳橋	左門小橋	左門橋	中島・出来島大橋	城島橋	城島小橋	千北橋
	千船大橋	神崎大橋	両島橋	中島大野高架橋	新伝法大橋	伝法大橋	淀川大橋	中島川橋
	神崎川橋							
<b>神社名</b>	<b>緯 度</b>			<b>経 度</b>			<b>標高(m)</b>	
野里住吉神社		34°42′ 35″ N			135°27′ 46″ E		1	
田蓑神社	北端神社	34°43′ 07″ N			135°26′ 54″ E		0	
姫嶋神社		34°42′ 16″ N			135°27′ 12″ E		0	
大和田住吉神社		34°42′ 32″ N			135°26′ 37″ E		0	
福住吉神社	南端神社	34°41′ 49″ N			135°26′ 27″ E		0	
鼻川神社		34°42′ 22″ N	東端神社		135°27′ 55″ E		3	
五社神社		34°42′ 23″ N	西端神社		135°25′ 57″ E		0	
大野百島住吉神社	南端神社	34°41′ 49″ N			135°26′ 21″ E		0	
<b>町 名</b>	<b>緯 度</b>			<b>経 度</b>			<b>標高(m)</b>	
竹島5丁目	北端の町	34°43′ 59″ N			135°26′ 57″ E		0	
西島2丁目	南端の町	34°41′ 13″ N			135°25′ 05″ E		1	
柏里1丁目		34°42′ 33″ N	東端の町		135°28′ 15″ E		1	
中島2丁目		34°42′ 23″ N	西端の町		135°25′ 57″ E		0	
<b>項 目</b>	<b>規 模</b>			<b>項 目</b>		<b>規 模</b>		
総面積	14.23(km <sup>2</sup> )			海岸線の距離		約17.68(Km)		
東西距離	約5.94(Km)			南北距離		約5.31(Km)		
総人口(2010年7月1日)	95,662(人)			人口密度		6,723(人)		



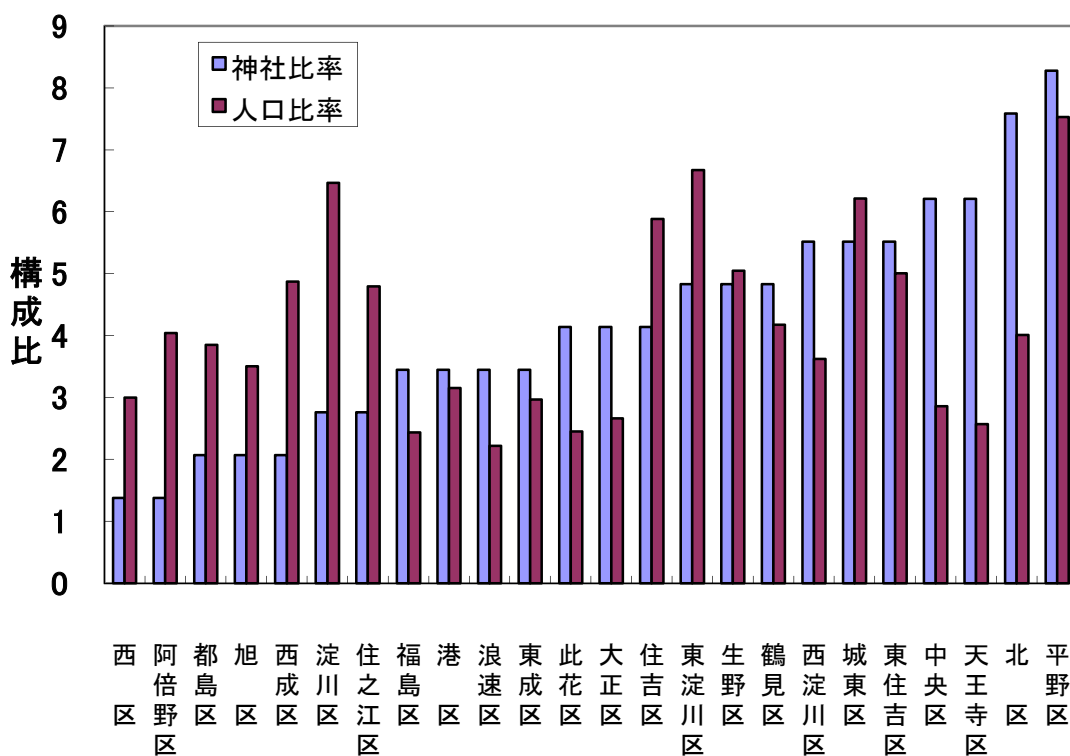
### 4-3. 大阪市西淀川区、公園の開設時期



### 4-4. 大阪市西淀川区、14小学校創立年の比較



## 4-5. 大阪市内各区と神社数との関係



## 4-6. 大阪市内各区の人口比と神社比

# 5.大阪市西淀川区、神社年表

No.	和暦			西暦		主 要 事 項
	時代	年	月			
1	安閑 天皇	2		535	西淀区史 p.498、 大阪神史p.398	『日本書紀』「宜しく牛を難波之”大隅島と姫嶋”の松原とに放つべし」とあって、この地は、三角地であるため、牛馬の放牧地で利用されたことがわかる意味。姫嶋は、媛嶋、日女島、姫島、彌売島、比売島、稗島等の地名が見られる
2	貞観	11	9	869	大阪神史p.401 西成郡史p.836	村社田蓑神社創建。四柱の大神の勧請の宮社なり、大阪神史p.401、西成郡史p.836
3	元暦	元		1184	平成祭礼データ	村社大和田住吉神社、源九郎判官義経は、木曾義仲を近江に破り、平氏を攻めるため、住吉の神に戦勝祈願、平成祭礼データ
4	承久	3		1221	神社データ	鼻川神社社殿を改築(鼻川神社)、神社データ
5	正和	2	9	1313	西成郡史p.836	村社大和田住吉神社は、勧請(西成郡史p.836) ▲大阪神史p.403の正和9年9月の勧請とあるが、正和9年は和暦に無いため、西成郡史p.836を参考にする。
6	永徳	2		1382	大阪神史p.410	村社野里住吉神社創建、大阪神史p.410
7	永正	8	9	1511	鳥居測量	村社田蓑神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.38m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.12、頂点4.53)m。1511建立
8	天正	14		1586	平成祭礼データ	村社田蓑神社、徳川家康とも縁がある方とこの地に立ち寄り、平成祭礼データ
9	正保	元		1644	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社、住吉神社村民の協力を得て創建
10	正保	3		1646	平成祭礼データ	村社田蓑神社、住吉の四柱大神と徳川家康の霊を祭る。現在、東京都中央区佃、住吉神社(村社田蓑神社)、平成祭礼データ
11	明暦	2		1656	西成郡史p.837	村社福住吉神社の勧請、西成郡史p.837
12	延宝	5	4	1677	西淀区史p.498	北中島22カ村、下流8カ村村社福住吉神社は海の守護神、氏神として信仰をまつている(福村北村弥三郎所検地帳)
13	元禄	元		1688	大阪神史p.407 西成郡史p.838	村社五社神社創建、新山間發当時の勧請なり
14	元禄	15	9	1702	平成祭礼データ	現在使われている祭具に「元禄15年」は、墨書があり、以前からの古い神事の証とされる(村社野里住吉神社)
15	元文	2		1738	鳥居測量	村社野里住吉神社、東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.40m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.47、頂点4.78)m。1738建立
16	文化	4	6	1807	鳥居測量	村社福住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.33m、柱内側幅2.79m、高さ(笠木上点3.73、頂点3.88)m。1807建立
17	文化	7	11	1810	鳥居測量	村社五社神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.37m、柱内側幅2.86m、高さ(笠木上点3.83、頂点4.07)m。1810建立
18	文化	10	12	1814	鳥居測量	村社五社神社、神社外の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.55m、高さ(笠木上点4.93、頂点5.21)m。1814建立
19	明治	元		1868	平成祭礼データ	「住吉神社」と改名。さらに「村社田蓑神社」となって現在に至る(村社田蓑神社)、平成祭礼データ
20	明治	5		1872	大阪神史p.403	村社野里住吉神社は、村社に列し、大阪神史p.403
21	明治	5		1872	大阪神史p.401	村社田蓑神社は、村社に列し、大阪神史p.401
22	明治	5		1872	大阪神史p.403	村社大和田住吉神社は、村社に列し、大阪神史p.403



23	明治	5	11	1872	大阪神史p.398	村社姫島神社は、郷社に列し、大阪神史p.398
24	明治	5		1872	大阪神史p.407	村社五社神社は、村社に列し、大阪神史p.407
25	明治	5		1872	大阪神史p.407	村社福住吉神社は、村社に列し、大阪神史p.407
26	明治	8	3	1875	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社住吉神社は、村社に列し、大阪神史p.411
27	明治	9	10	1876	西成郡史p.825	鼻川神社と改称、西成郡史p.825
28	明治	16	5	1883	大阪神史p.398	村社姫島神社は、神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.398
29	明治	19	1	1886	大阪神史p.397	村社姫島神社(稗に改め、俗に「へしま」と呼ぶ)、大阪神史p.397
30	明治	30		1897	神社データ	淀川改修工事で社地が河川敷にかかったため、堤防外側に移転。その際、大阪府の神社整理の意向に沿って、姫嶋神社と書類合併。神社データ
31	明治	40	2	1907	西成郡史p.835	正月20日の夜中に行われた神事が、2月20日に神事改め。「一夜官女」(村社野里住吉神社)、西成郡史p.835
32	明治	40	2	1907	大阪神史p.411	村社野里住吉神社神社は、神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.411
33	明治	40	6	1907	西成郡史p.825	姫嶋社神社は、大阪府告示183号神饌幣帛料供進社に指定西成郡史p.825
34	明治	40	6	1907	大阪神史p.411 西成郡史p.837	村社福住吉神社神社は、大阪府告示183号神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.411、西成郡史p.837
35	明治	40	10	1907	西成郡史p.835	野里住吉社神社は、大阪府告示493号会計規定提供指定、西成郡史p.835
36	明治	41	10	1908	西成郡史p.825	姫神社神社は、大阪府告示493号会計規定提供指定、西成郡史p.825
37	明治	41	10	1908	西成郡史p.825	村社五社神社は、大阪府告示493号会計規定提供指定、西成郡史p.825
38	明治	42	6	1909	大阪神史p.410 西成郡史p.825	村社野里住吉神社神社は、大阪府告示203号神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.410と西成郡史p.835。
39	明治	42	6	1909	大阪神史p.407 西成郡史p.838	村社五社神社は、大阪府告示203号神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.407、西成郡史p.838
40	明治	42	9	1909	西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示332号会計規定提供指定、西成郡史p.836
41	明治	43	3	1910	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社住吉神社は、「稻荷神社」を合祀、大阪神史p.411
42	明治	43	7	1910	大阪神史p.407	村社五社神社は、住吉神社一部を合祀(ごうし)、大阪神史p.407
43	明治	43	10	1910	大阪神史p.398 西成郡史p.825	姫嶋神社は、鷺洲村大字海老江字萬倍の無格社「鼻川神社」を合祀、大阪神史p.398、西成郡史p.825
44	明治	43	10	1910	大阪神史p.404 西成郡史p.825	村社大和田住吉神社は、大阪府告示459号会計規定提供指定、大阪神史p.404、西成郡史p.825
45	明治	43	11	1910	大阪神史p.401 西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示501号神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.401、西成郡史p.836
46	明治	44	3	1911	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社住吉神社は、神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.401、西成郡史p.836

47	明治	44	7	1911	大阪神史p.404	村社大和田住吉神社は、川北村の皇大神宮を合祀、大阪神史p.404
48	明治	43	11	1910	大阪神史p.404 西成郡史p.837	村社大和田住吉神社は、大阪府告示501号神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.404、西成郡史p.837
49	明治	46	6	1913	大阪神史p.398	姫嶋神社は、神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.398
50	大正	11		1922	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社神社は、神饌幣帛料供進社に指定、大阪神史p.411
51	大正	12		1923	鳥居測量	村山野里住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.52m、柱内側幅4.45m、高さ(笠木上点6.27、頂点6.59)m。1923年建立
52	大正	13		1924	神社データ	鼻川神社は、独立神社として、承認
53	大正	15	7	1926	鳥居測量	村社大野百島住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.34m、柱内側幅2.88m、高さ(笠木上点4.02、頂点4.25)m。1926年
54	昭和	2	4	1927	鳥居測量	村社福住吉神社、金毘羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.99m、高さ(笠木上点2.71、頂点2.90)m。1927建立
55	昭和	4	9	1929	鳥居測量	鼻川神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.90m、高さ(笠木上点5.04、頂点5.22)m。1929建立
56	昭和	4	10	1929	鳥居測量	鼻川神社、拜殿横の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.41m、高さ(笠木上点3.22、頂点3.33)m。1929建立
57	昭和	9		1934	神社データ	鼻川神社は、現在の社殿を建立、神社データ
58	昭和	11	11	1936	鳥居測量	村山野里住吉神社、淀川戎神社の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.73m、高さ(笠木上点3.34、頂点3.34)m。屋根は平入様式(神明造)。1936年建立
59	平成	12	10	1937	鳥居測量	村社大和田住吉神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.17m、柱内側幅1.56m、高さ(笠木上点2.50、頂点2.67)m。1937年建立
60	昭和	27		1952	鳥居測量	村社姫島神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.41m、柱内側幅3.30m、高さ(笠木上点5.25、頂点6.29)m。1952年建立
61	昭和	27		1952	鳥居測量	村社姫島神社、元天照皇大神社鳥居の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.27m、柱内側幅2.23m、高さ(笠木上点2.58、頂点2.77)m。1952年建立
62	昭和	37	2	1962	鳥居測量	村社大和田住吉神社、金刀比羅宮の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅2.01m、高さ(笠木上点2.84、頂点3.01)m。1962年建立
63	昭和	47		1972	野里(2009).	「一夜官女祭」を大阪府文化財保護委員会が重要民族資料として認定(村山野里住吉神社)
64	昭和	56	8	1981	鳥居測量	鼻川神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.18m、柱内側幅1.66m、高さ(笠木上点2.39、頂点2.45)m。1981年建立。そのほかに、4基の鳥居がある
65	昭和	59	3	1984	鳥居測量	村社田蓑神社、稻生神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.22m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.87、頂点2.99)m。1984年建立
66	昭和	62	10	1987	鳥居測量	村社田蓑神社、金比羅神社横の構造は明神系鳥居建立。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.95m、高さ(笠木上点3.15、頂点3.26)m。境内社入り口の鳥居。1987年建立
67	平成	3	8	1991	鳥居測量	村社福住吉神社、西門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ(笠木上点2.82、頂点2.96)m。1991年建立
68	平成	7	1	1995	神社データ	村社大野百島住吉神社は、阪神淡路大震災により旧本殿は倒壊、神社データ
69	平成	8	10	1996	神社データ	村社大野百島住吉神社は、近代的な本殿が造営され、社務所も修築。神社データ
70	平成	12	7	2000	鳥居測量	村社五社神社、稲荷神社の構造は該当なし。柱の直径は0.16m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.46)m。2000年建立

71	平成	15	11	2003	鳥居測量	村社五社神社、竜王社。2003年建立
72	平成	18	1	2006	鳥居測量	村社大野百島住吉神社住吉神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.15m、柱内側幅1.48m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.58)m。2006年建立
73	平成	19	4	2007	鳥居測量	村社五社神社、金比羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.32m、高さ(笠木上点2.41、頂点2.44)m。2007年建立
74	平成	19	10	2007	鳥居測量	村社五社神社、水天宮神社の構造は該当なし。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.35m、高さ(笠木上点2.47、頂点2.51)m。2007年建立
<b>① 区内神社の創建関連</b>						
1	貞観	11	9	869	西成郡史p.836	村社田蓑神社創建。四柱((底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后)の大神の勧請の宮社なり
2	正和	2	9	1313	西成郡史p.836	村社大和田住吉神社は、住吉四柱神、勧請(西成郡史p.836) ▲大阪神史p.403の正和9年9月の勧請とあるが、正和9年は和暦に無いため、西成郡史p.836を参考にする。御祭神は、底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后
3	永徳	2		1382	西成郡史無記載	村社野里住吉神社、將軍足利義満の勧請にして、創建。御祭神は、住吉大神(底筒男命、中筒男命、上筒男命、神功皇后)
4	正保	元	4	1644	西成郡史p.837	村社大野百島住吉神社、住吉神社村民の協力を得て創建。御祭神は、底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后
5	明暦	2		1656	西成郡史p.837	村社福住吉神社の勧請にして川内を築立て建立。御祭神は、住吉四柱大(表筒男命、中筒男命、底筒男命、神功皇后)
6	元禄	元		1688	西成郡史p.838	村社五社神社創建、中島新田開発の時に勧請。御祭神は、天照大御神、住吉大神、加具土大神、豊受皇大神、住吉四柱
7	明治	9	10	1876	西成郡史p.825	無資格社鼻川神社と改称。郷社姫嶋社神社を参照。御祭神は、神功皇后、素盞鳴尊(すさのおのみこと)
					西成郡史無記載	郷社姫嶋社神社の創建創建は、不詳。御祭神は、阿迦留姫命、住吉大神
<b>② 区内神社の村社・郷社に列し</b>						
1	明治	5		1872	大阪神史p.407	五社神社は、村社に列し、
2	明治	5		1872	大阪神史p.404	大和田住吉神社は、村社に列し、
3	明治	5	11	1872	大阪神史p.398	姫島神社は、郷社に列し、
4	明治	5		1872	大阪神史p.401	田蓑神社は、郷社に列し、
5	明治	5		1872	大阪神史p.411	福住吉神社は、村社に列し、
6	明治	5		1872	大阪神史p.410	野里住吉神社は、村社に列し、
7	明治	8	3	1875	大阪神史p.411	大野百島住吉神社は、村社に列し、
					大阪神史無記載	無格社鼻川神社
<b>③ 区内神社の会計規定適用指定</b>						
1	明治	40	10	1907	西成郡史p.835	村社野里住吉社神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定
2	明治	41	10	1908	西成郡史p.825	郷社姫神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定
3	明治	41	10	1908	西成郡史p.838	村社五社神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定
4	明治	42	9	1909	西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示332号、会計規定適用指定
5	明治	43	10	1910	西成郡史p.836	村社大和田住吉神社は、大阪府告示459号、会計規定適用指定
					西成郡史無記載	無格社鼻川神社と村社福住吉神社と村社大野百島住吉神社
<b>④ 区内神社の幣饌料供進指定(西成郡史1972年)・ 神饌幣帛料供進社(1907年)に指定(大阪府神社史1986年)</b>						

						神饌(しんせん)料がそれぞれ奉られました。官幣社は例祭に皇室より幣饌料の御奉納があり、国幣社の例祭には国庫より共進されました。また、府県社及び郷社は府県より、村社に対しては市または町村より、それぞれ幣饌料が共進されるように定められておりました。
						「幣」「帛(へいはく)」が共に布にちなむ意味を持つことから、古くより絹や麻、木綿(ゆふ)などの布帛を柳筐(やないばこ)に納めてお供えをしました。この布帛の代わりに金幣(貨幣)をもってお供えするのが幣帛料です。
1	明治	40	6	1907	西成郡史p.825	郷社姫嶋社神社は、大阪府告示183号、幣饌料供進指定
2	明治	40	6	1907	大阪神史p398	郷社姫嶋社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定。明治46年は、西成郡史p.825と異なる
3	明治	40	6	1907	西成郡史p.837	村社福住吉神社は、大阪府告示183号、幣饌料供進指定
4	明治	40	6	1907	大阪神史p411	村社福住吉神社は、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
5	明治	42	6	1909	西成郡史p.838	村社五社神社は、大阪府告示203号、幣饌料供進指定
6	明治	42	6	1909	大阪神史p.407	村社五社神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
7	明治	42	6	1909	西成郡史p.835	村社野里住吉神社は、大阪府告示203号、幣饌料供進指定
8	明治	42	6	1909	大阪神史p.410	村社野里住吉神社は、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
9	明治	43	11	1910	西成郡史p.837	村社大和田住吉神社は、大阪府告示501号、幣饌料供進指定
10	明治	43	11	1910	大阪神史p.404	村社大和田住吉神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
11	明治	43	11	1910	西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示501号、饌幣料供進指定
12	明治	43	11	1910	大阪神史p.401	村社田蓑神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
13	大正	元	11	1912	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
					西成郡史無記載	無格社鼻川神社と村社大野百島住吉神社
					大阪神史無記載	無格社鼻川神社

## ⑤ 区内神社の鳥居の測定データ

1	永正	8	9	1511	鳥居測量	田蓑神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.38m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.12、頂点4.53)m。1511建立
2	元文	2		1737	鳥居測量	野里住吉神社、東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.40m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.47、頂点4.78)m。1738建立
3	文化	4	6	1807	鳥居測量	福住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.33m、柱内側幅2.79m、高さ(笠木上点3.73、頂点3.88)m。1807建立。追加、稻荷系4基と東門1基
4	文化	7	11	1810	鳥居測量	五社神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.37m、柱内側幅2.86m、高さ(笠木上点3.83、頂点4.07)m。1810建立
5	文化	10	12	1813	鳥居測量	五社神社、神社外の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.55m、高さ(笠木上点4.93、頂点5.21)m。1814建立
6	大正	12		1923	鳥居測量	野里住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.52m、柱内側幅4.45m、高さ(笠木上点6.27、頂点6.59)m。1923年建立
7	昭和	元	7	1926	鳥居測量	大野百島住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.34m、柱内側幅2.88m、高さ(笠木上点4.02、頂点4.25)m。1926年
8	昭和	2	4	1927	鳥居測量	福住吉神社、金毘羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.99m、高さ(笠木上点2.71、頂点2.90)m。1927建立
9	昭和	4	9	1929	鳥居測量	鼻川神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.90m、高さ(笠木上点5.04、頂点5.22)m。1929建立
10	昭和	4	10	1929	鳥居測量	鼻川神社、拜殿横の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.41m、高さ(笠木上点3.22、頂点3.33)m。1929建立
11	昭和	11	11	1936	鳥居測量	野里住吉神社、淀川戎神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.73m、高さ(笠木上点3.34、頂点3.34)m。屋根は平入様式(神明造)。1936年建立
12	昭和	14		1939	鳥居測量	福住吉神社、稻荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.20m、柱内側幅1.55m、高さ(笠木上点2.45、頂点3.56)m。1939建立

13	昭和	14	1	1939	鳥居測量	福住吉神社、福戎神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.97m、高さ(笠木上点2.77、頂点2.92)m。1939年建立
14	昭和	27		1952	鳥居測量	姫島神社、元天照皇大神社鳥居の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.27m、柱内側幅2.23m、高さ(笠木上点2.58、頂点2.77)m。1952年建立。稻荷系追加2基
15	昭和	27		1952	鳥居測量	姫島神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.41m、柱内側幅3.30m、高さ(笠木上点5.25、頂点6.29)m。1952年建立
16	昭和	37	2	1962	鳥居測量	大和田住吉神社、金刀比羅宮の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅2.01m、高さ(笠木上点2.84、頂点3.01)m。1962年建立
17	昭和	37	5	1962	鳥居測量	福住吉神社、東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ(笠木上点2.82、頂点2.96)m。1939年建立1962年建立
18	昭和	56	8	1981	鳥居測量	鼻川神社、稻荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.18m、柱内側幅1.66m、高さ(笠木上点2.39、頂点2.45)m。1981年建立。追加4基
19	昭和	59	3	1984	鳥居測量	田蓑神社、稻生神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.22m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.87、頂点2.99)m。1984年建立
20	昭和	62	10	1987	鳥居測量	田蓑神社、金比羅神社横の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.95m、高さ(笠木上点3.15、頂点3.26)m。境内社入り口の鳥居。1987年建立
21	平成	3	8	1991	鳥居測量	福住吉神社、西門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ(笠木上点2.82、頂点2.96)m。1991年建立
22	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、靖国社。1999年建立。追加1基
23	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、水天宮神社の構造は該当なし。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.35m、高さ(笠木上点2.47、頂点2.51)m。1999年建立
24	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、竜王社。1999年建立。追加1基
25	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、金比羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.32m、高さ(笠木上点2.41、頂点2.44)m。1999年建立
26	平成	12	7	2000	鳥居測量	五社神社、稻荷神社の構造は該当なし。柱の直径は0.16m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.46)m。2000年建立。追加5基
27	平成	12	10	2000	鳥居測量	大和田住吉神社、稻荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.17m、柱内側幅1.56m、高さ(笠木上点2.50、頂点2.67)m。2000年建立
28	平成	18	1	2006	鳥居測量	大野百鳥住吉神社、稻荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.15m、柱内側幅1.48m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.58)m。2006年建立
29	平成	19	4	2007	鳥居測量	五社神社、北裏門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.26m、柱内側幅1.92m、高さ(笠木上点2.71、頂点2.88)m。2007年建立

## ⑥ 区内神社の鳥居の測定データ

1	元暦	元		1184	平成祭礼データ	大和田住吉神社、源九郎判官義経は、木曾義仲を近江に破り、平氏を攻めるため、住吉の神に戦勝祈願
2	天正	14		1586	平成祭礼データ	田蓑神社、徳川家康とも縁がある方とこの地に立ち寄り
3	正保	3		1646	平成祭礼データ	田蓑神社、住吉の四柱大神と徳川家康の霊を祭る。現在、東京都中央区佃、住吉神社(田蓑神社)
4	元禄	15	9	1702	平成祭礼データ	現在使われている祭具に「元禄15年」は、墨書があり、以前からの古い神事の証とされる(野里住吉神社)
5	明治	元		1868	平成祭礼データ	「住吉神社」と改名。さらに「田蓑神社」となって現在に至る(田蓑神社)

## ⑦ 区内神社の神社データ

1	承久	3		1221	神社データ	鼻川神社社殿を改築(鼻川神社)
2	明治	30		1897	神社データ	淀川改修工事で社地が河川敷にかかったため、提防外側に移転。その際、大阪府の神社整理の意向に沿って、姫嶋神社と書類合併
3	大正	13		1924	神社データ	鼻川神社は、独立神社として承認
4	昭和	9		1934	神社データ	鼻川神社は、現在の社殿を建立



5	平成	7	1	1995	神社データ	大野百島住吉神社は、阪神淡路大震災により旧本殿は倒壊
6	平成	8	10	1996	神社データ	大野百島住吉神社は、近代的な本殿が造営され、社務所も修改築
<b>⑧ その他</b>						
1	明治	19	1	1886	大阪神史p.397	郷社姫島神社(稗に改め、俗に「へしま」と呼ぶ)
2	明治	40	2	1907	西成郡史p.835	正月20日の夜中に行われた神事が、2月20日に神事改め。「一夜官女」(村社野里住吉神社)
3	明治	43	7	1910	大阪神史p.407	村社五社神社は、住吉神社一部を合祀(ごうし)
4	明治	43	10	1910	西成郡史p.825	郷社姫嶋神社は、鷺洲村大字海老江字萬倍の無格社「鼻川神社」を合祀
5	明治	43	10	1910	大阪神史p.398	郷社姫嶋神社は、鷺洲村大字海老江字萬倍の無格社「鼻川神社」を合祀
6	明治	44	3	1911	大阪神史p.411	村社大野百島住吉神社は、「稻荷神社」を合祀
7	明治	44	7	1911	大阪神史p.404	村社大和田住吉神社は、川北村の皇大神宮を合祀
8	昭和	47		1912	野里(2009).	「一夜官女祭」を大阪府文化財保護委員会が重要民族資料として認定(村社野里住吉神社)



## 5-2.大阪市西淀川区、神社年表(項目別)

		和暦		西暦	主要事項	
		時代	年	月		
<b>① 区内神社の創建関連</b>						
1	貞観	11	9	869	西成郡史p.836	村社田蓑神社創建。四柱((底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后)の大神の勧請の宮社なり
2	正和	2	9	1313	西成郡史p.836	村社大和田住吉神社は、住吉四柱神、勧請、(西成郡史p.836) ▲大阪神史p.403の正和9年9月の勧請とあるが、正和9年は和暦に無いため、西成郡史p.836を参考にする。御祭神は、底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后
3	永徳	2		1382	西成郡史無記載	村社野里住吉神社、將軍足利義満の勧請にして、創建。御祭神は、住吉大神(底筒男命、中筒男命、上筒男命、神功皇后)
4	正保	元	4	1644	西成郡史p.837	村社大野百島住吉神社、住吉神社村民の協力を得て創建。御祭神は、底筒男命、中筒男命、表筒男命、神功皇后
5	明暦	2		1656	西成郡史p.837	村社福住吉神社の勧請にして川内を築立て建立。御祭神は、住吉四柱大(表筒男命、中筒男命、底筒男命、神功皇后)
6	元禄	元		1688	西成郡史p.838	村社五社神社創建、中島新田開発の時に勧請。御祭神は、天照大御神、住吉大神、加具土大神、豊受皇大神、住吉四柱
7	明治	9	10	1876	西成郡史p.825	無資格社鼻川神社と改称。郷社姫嶋社神社を参照。御祭神は、神功皇后、素盞鳴尊(すさのおのみこと)
					西成郡史無記載	郷社姫嶋社神社の創建創建は、不詳。御祭神は、阿迦留姫命、住吉大神
<b>② 区内神社の村社・郷社に列し</b>						
1	明治	5		1872	大阪神史p.407	五社神社は、村社に列し、
2	明治	5		1872	大阪神史p.404	大和田住吉神社は、村社に列し、
3	明治	5	11	1872	大阪神史p.398	姫島神社は、郷社に列し、
4	明治	5		1872	大阪神史p.401	田蓑神社は、郷社に列し、
5	明治	5		1872	大阪神史p.411	福住吉神社は、村社に列し、
6	明治	5		1872	大阪神史p.410	野里住吉神社は、村社に列し、
7	明治	8	3	1875	大阪神史p.411	大野百島住吉神社は、村社に列し、
					大阪神史無記載	無格社鼻川神社
<b>③ 区内神社の会計規定適用指定</b>						
1	明治	40	10	1907	西成郡史p.835	村社野里住吉社神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定
2	明治	41	10	1908	西成郡史p.825	郷社姫神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定

3	明治	41	10	1908	西成郡史p.838	村社五社神社は、大阪府告示493号、会計規定適用指定
4	明治	42	9	1909	西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示332号、会計規定適用指定
5	明治	43	10	1910	西成郡史p.836	村社大和田住吉神社は、大阪府告示459号、会計規定適用指定
					西成郡史無記載	無格社鼻川神社と村社福住吉神社と村社大野百島住吉神社
<b>④ 区内神社の幣饌料供進指定(西成郡史1972年)・ 饌幣帛料供進社(1907年)に指定(大阪府神社史1986年)</b> <span style="float: right;">神</span>						
						神饌(しんせん)料がそれぞれ奉られました。官幣社は例祭に皇室より幣饌料の御奉納があり、国幣社の例祭には国庫より共進されました。また、府県社及び郷社は府県より、村社に対しては市または町村より、それぞれ幣饌料が共進されるように定められておりました。
						「幣」「帛」(へいはく)が共に布にちなむ意味を持つことから、古くより絹や麻、木綿(ゆふ)などの布帛を柳篋(やないばこ)に納めてお供えをしました。この布帛の代わりに金幣(貨幣)をもってお供えするのが幣帛料です。
1	明治	40	6	1907	西成郡史p.825	郷社姫嶋社神社は、大阪府告示183号、幣饌料供進指定
2	明治	40	6	1907	大阪神社史p.398	郷社姫嶋神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定。明治46年は、西成郡史p.825と異なる
3	明治	40	6	1907	西成郡史p.837	村社福住吉神社は、大阪府告示183号、幣饌料供進指定
4	明治	40	6	1907	大阪神社史p.411	村社福住吉神社は、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
5	明治	42	6	1909	西成郡史p.838	村社五社神社は、大阪府告示203号、幣饌料供進指定
6	明治	42	6	1909	大阪神社史p.407	村社五社神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
7	明治	42	6	1909	西成郡史p.835	村社野里住吉神社は、大阪府告示203号、幣饌料供進指定
8	明治	42	6	1909	大阪神社史p.410	村社野里住吉神社は、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
9	明治	43	11	1910	西成郡史p.837	村社大和田住吉神社は、大阪府告示501号、幣饌料供進指定
10	明治	43	11	1910	大阪神社史p.404	村社大和田住吉神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
11	明治	43	11	1910	西成郡史p.836	村社田蓑神社は、大阪府告示501号、饌幣料供進指定
12	明治	43	11	1910	大阪神社史p.401	村社田蓑神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
13	大正	元	11	1912	大阪神社史p.411	村社大野百島住吉神社、大阪府告示 神饌幣帛料供進社に指定
					西成郡史無記載	無格社鼻川神社と村社大野百島住吉神社

大阪神  
史無記  
載

無格社鼻川神社

## ⑤ 区内神社の鳥居の測定データ

1	永正	8	9	1511	鳥居測 量	田蓑神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.38m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.12、頂点4.53)m。1511建立
2	元文	2		1737	鳥居測 量	野里住吉神社、東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.40m、柱内側幅3.05m、高さ(笠木上点4.47、頂点4.78)m。1738建立
3	文化	4	6	1807	鳥居測 量	福住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.33m、柱内側幅2.79m、高さ(笠木上点3.73、頂点3.88)m。1807建立。追加、稲荷系4基と東門1基
4	文化	7	11	1810	鳥居測 量	五社神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.37m、柱内側幅2.86m、高さ(笠木上点3.83、頂点4.07)m。1810建立
5	文化	10	12	1813	鳥居測 量	五社神社、神社外の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.55m、高さ(笠木上点4.93、頂点5.21)m。1814建立
6	大正	12		1923	鳥居測 量	野里住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.52m、柱内側幅4.45m、高さ(笠木上点6.27、頂点6.59)m。1923年建立
7	昭和	元	7	1926	鳥居測 量	大野百鳥住吉神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.34m、柱内側幅2.88m、高さ(笠木上点4.02、頂点4.25)m。1926年
8	昭和	2	4	1927	鳥居測 量	福住吉神社、金毘羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.99m、高さ(笠木上点2.71、頂点2.90)m。1927建立
9	昭和	4	9	1929	鳥居測 量	鼻川神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.48m、柱内側幅3.90m、高さ(笠木上点5.04、頂点5.22)m。1929建立
10	昭和	4	10	1929	鳥居測 量	鼻川神社、拝殿横の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.41m、高さ(笠木上点3.22、頂点3.33)m。1929建立
11	昭和	11	11	1936	鳥居測 量	野里住吉神社、淀川戎神社の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.29m、柱内側幅2.73m、高さ(笠木上点3.34、頂点3.34)m。屋根は平入様式(神明造)。1936年建立
12	昭和	14		1939	鳥居測 量	福住吉神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.20m、柱内側幅1.55m、高さ(笠木上点2.45、頂点3.56)m。1939建立
13	昭和	14	1	1939	鳥居測 量	福住吉神社、福戎神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.97m、高さ(笠木上点2.77、頂点2.92)m。1939建立
14	昭和	27		1952	鳥居測 量	姫島神社、元天照皇大神社鳥居の構造は神明系鳥居。柱の直径は0.27m、柱内側幅2.23m、高さ(笠木上点2.58、頂点2.77)m。1952年建立。稲荷系追加2基
15	昭和	27		1952	鳥居測 量	姫島神社、正面鳥居の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.41m、柱内側幅3.30m、高さ(笠木上点5.25、頂点6.29)m。1952年建立
16	昭和	37	2	1962	鳥居測 量	大和田住吉神社、金刀比羅宮の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.25m、柱内側幅2.01m、高さ(笠木上点2.84、頂点3.01)m。1962年建立
17	昭和	37	5	1962	鳥居測 量	福住吉神社、東門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ(笠木上点2.82、頂点2.96)m。1939建立1962年建立
18	昭和	56	8	1981	鳥居測 量	鼻川神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.18m、柱内側幅1.66m、高さ(笠木上点2.39、頂点2.45)m。1981年建立。追加4基
19	昭和	59	3	1984	鳥居測 量	田蓑神社、稲生神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.22m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.87、頂点2.99)m。1984年建立
20	昭和	62	10	1987	鳥居測 量	田蓑神社、金比羅神社横の構造は明神系鳥居建立。柱の直径は0.25m、柱内側幅1.95m、高さ(笠木上点3.15、頂点3.26)m。境内社入り口の鳥居。1987年建立
21	平成	3	8	1991	鳥居測 量	福住吉神社、西門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.24m、柱内側幅1.98m、高さ(笠木上点2.82、頂点2.96)m。1991年建立

22	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、靖国社。1999年建立。追加1基
23	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、水天宮神社の構造は該当なし。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.35m、高さ(笠木上点2.47、頂点2.51)m。1999年建立
24	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、竜王社。1999年建立。追加1基
25	平成	11	10	1999	鳥居測量	五社神社、金比羅神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.14m、柱内側幅1.32m、高さ(笠木上点2.41、頂点2.44)m。1999年建立
26	平成	12	7	2000	鳥居測量	五社神社、稲荷神社の構造は該当なし。柱の直径は0.16m、柱内側幅1.78m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.46)m。2000年建立。追加5基
27	平成	12	10	2000	鳥居測量	大和田住吉神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.17m、柱内側幅1.56m、高さ(笠木上点2.50、頂点2.67)m。2000年建立
28	平成	18	1	2006	鳥居測量	大野百島住吉神社、稲荷神社の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.15m、柱内側幅1.48m、高さ(笠木上点2.42、頂点2.58)m。2006年建立
29	平成	19	4	2007	鳥居測量	五社神社、北裏門の構造は明神系鳥居。柱の直径は0.26m、柱内側幅1.92m、高さ(笠木上点2.71、頂点2.88)m。2007年建立

## ⑥ 区内神社の鳥居の測定データ

1	元暦	元		1184	平成祭礼データ	大和田住吉神社、源九郎判官義経は、木曾義仲を近江に破り、平氏を攻めるため、住吉の神に戦勝祈願
2	天正	14		1586	平成祭礼データ	田蓑神社、徳川家康とも縁がある方とこの地に立ち寄り
3	正保	3		1646	平成祭礼データ	田蓑神社、住吉の四柱大神と徳川家康の霊を祭る。現在、東京都中央区佃、住吉神社(田蓑神社)
4	元禄	15	9	1702	平成祭礼データ	現在使われている祭具に「元禄15年」は、墨書があり、以前からの古い神事の証とされる(野里住吉神社)
5	明治	元		1868	平成祭礼データ	「住吉神社」と改名。さらに「田蓑神社」となって現在に至る(田蓑神社)

## ⑦ 区内神社の神社データ

1	承久	3		1221	神社データ	鼻川神社社殿を改築(鼻川神社)
2	明治	30		1897	神社データ	淀川改修工事で社地が河川敷にかかったため、提防外側に移転。その際、大阪府の神社整理の意向に沿って、姫嶋神社と書類合併
3	大正	13		1924	神社データ	鼻川神社は、独立神社として承認
4	昭和	9		1934	神社データ	鼻川神社は、現在の社殿を建立
5	平成	7	1	1995	神社データ	大野百島住吉神社は、阪神淡路大震災により旧本殿は倒壊
6	平成	8	10	1996	神社データ	大野百島住吉神社は、近代的な本殿が造営され、社務所も修築

## ⑧ その他

1	明治	19	1	1886	大阪神史p397	郷社姫嶋神社(稗に改め、俗に「へしま」と呼ぶ)
---	----	----	---	------	----------	-------------------------

2	明治	40	2	1907	西成郡 史p.835	正月20日の夜中に行われた神事が、2月20日に神事改め。「一夜官女」(村社野里住吉神社)
3	明治	43	7	1910	大阪神 史p.407	村社五社神社は、住吉神社一部を合祀(ごうし)
4	明治	43	10	1910	西成郡 史p.825	郷社姫嶋神社は、鷺洲村大字海老江字萬倍の無格社「鼻川神社」を合祀
5	明治	43	10	1910	大阪神 史p.398	郷社姫嶋神社は、鷺洲村大字海老江字萬倍の無格社「鼻川神社」を合祀
6	明治	44	3	1911	大阪神 史p.411	村社大野百島住吉神社は、「稻荷神社」を合祀
7	明治	44	7	1911	大阪神 史p.404	村社大和田住吉神社は、川北村の皇大神宮を合祀
8	昭和	47		1912	野里 (2009).	「一夜官女祭」を大阪府文化財保護委員会が重要民族資料として認定(村社野里住吉神社)

## 6.神社4ヶ国語(日英韓中)用語集

	名 称	50音順	英語	韓国語	中国語
1	天照大御神	あまてらすおおみかみ	Amaterasu omikami	천조오미카미	天照大御神
2	荒魂	あらみたま	Aramitama	황혼	荒魂
3	一の宮	いちのみや	Ichi no miya	이찌노미야(첫번째 궁)	一的宮
4	一夜官女	いちやかんじょう	Overnight court lady	일야궁녀	一夜官女
5	稲荷	いなり	Inari	1.오곡신을 모신 신사 2.여우	稻荷
6	稲荷神社	いなりじんじゃ	Inari shrine	이나리신사	稻荷神社
7	稲荷鳥居	いなりとりい	Inari-torii	이나리조거 (기둥문)	稻荷鸟居
8	氏神	うじがみ	Ujigami	씨족신	氏神
9	氏子	うじこ	Ujiko	씨족자손	氏人
10	枝社	えだやしろ	Edayashiro	에다야시로	枝社
11	戎神社	えびすじんじゃ	Ebisu jinja (shrine)	융신사, 에비스신사	戎神社
12	絵馬	えま	Ema	에마(그림 액자)	绘马
13	絵巻物	えまきもの	Emakimono	에마키모노(두루마리 그림)	绘卷物
14	縁日	えんにち	Ennniti	젯날	缘日
15	応神(天皇)	おうじん(てんのう)	O-jin (Tennou)	응신 (천황)	应神(天皇)
16	お祓い	おうはらい	O-harai	불제	驱除
17	お参、参拝	おうまいり	O-mairi	참배	参,参拜
18	大鳥造	おおとりづくり	Otorii-zukuri	대조조	大鸟造
19	お札	おふだ	Ohuda	부적(신사기둥문에 부착)	纸币
20	お守り	おまもり	O-mamori	부적	护符
21	おみくじ	おみくじ	O-mikuji	제비	签
22	身舎	おもや	Omoya	신사	身舎
23	海神祭	かいじんまつり	Kaijin matsuri	해신제	海神祭
24	楽師	がくし	Gakushi, Musician	악사	乐师
25	額束	かくづか	Kakuduka	액속(카쿠즈카)	额束



26	神楽	かぐら	Kaguraden	신락	神乐
27	神楽殿	かぐらでん	Kaguraden	신락전	神乐殿
28	笠木	かさぎ	Kasagi	카사기	笠木
29	鹿島鳥居	かしまとりい	Kashima-torii	카시마조거	鹿岛鸟居
30	拍手	かしわて	Kashiwade	박수	拍手
31	春日造	かすがづくり	Kasuga-zukuri	춘일조	春日造
32	春日鳥居	かすがとりい	Kasuga-torii	춘일조거	春日鸟居
33	鯉魚木/堅魚木	かつおぎ	katuogi	견어목	鯉鱼树
34	門松	かどまつ	Kadomatu	문송(신년에 출입문 장식)	门松
35	龜腹	かめはら	Kamehara	귀복(카메하라)	龟肚子
36	土器	かわらけ	kawarake	토기	土器
37	神主	かんぬし	Kanushi	신주	神主
38	祈願	きがん	Kigan	기원	祈禱
39	祈年祭	きねんさい	Kinennsai	기년제	祈年祭
40	記念碑	きねんひ	Kinennhi, Monument	기념비	纪念碑
41	切妻造	きりづまつくり	Kiriduma-zukuri	절처조	切妻造
42	宮司	ぐうじ	Guji, Chief priest	궁사	宮司
43	黒木鳥居	くろきとりい	Kuroki-torii	쿠로키 기둥문 (조거)	黒木鸟居
44	境内	けいだい	Keidai	경내	院内
46	外宮	げく	Geku	외궁	外宮
47	権現造	げんげん ずくり	Gongen-zukuri	권현조	现权造
48	荒神	こうじん	Koujin	황신	荒神
49	降臨	こうりん	Kourin	강림	降临
50	穀霊	こくれい	Kokurei	고령	谷灵
51	御神体	ごshintai	Go-shintai	어신체	御神体
52	言霊	ことだま	Kotodama	언령	言灵
53	向拝	ごはい	Gohai	향배	向拜
54	御幣	ごへい	Go-hei, Onbe	어폐	御幣

55	狛犬	こまいぬ	Komainu, Stone guardian dogs	박견	石獅子
56	権現	ごんげん	Gongen	권현	权现
57	祭具	さいぐ	Saigu, Ritualistic implements	제구	祭具
58	祭神	さいじん	Saijin, Enshrined deity	제신	供的神
59	賽銭	さいせん	Saisen	새전	香资
60	竿	さお	Sao, Pole	간	竿
61	榊	さかき	Sakaki	사사키	榊
62	参詣	さんけい	Sankei	참예	参拜
63	三種の神器	さんしゅうのじんぎ	Sanshu no Shinki	삼종의 신기 (보물)	三种的神器
64	山王鳥居	さんのう	Sanno-torii	산왕조거	山王鸟居
65	三の宮	さんのみや	San no miya	산노미야 (세번째 궁)	三乃宫
66	参拜	さんぱい	Sanpai, Worship	참배	参拜
67	三方	さんぼう	Mikata	산보우 (식기의 일종)	三一方
68	敷石	しきいし	Shikiishi, Pavement	포석	铺石
69	獅子	しし	Shishi	사자	狮子
70	史蹟	しせき	Historic relics	사적	古迹
71	四垂	しで	Shide, Four appendixes	사수	四垂
72	紙垂	しで	Shide, Paper appendix	지수	垂纸
73	島木	しまぎ	Under beam	도목	岛木
74	注連縄	しめなわ	Shimenawa, Straw festoon	주련줄	注连绳
75	標縄	しめなわ	Shimenawa, Lanyard	안표줄	标绳
76	標柱	しめはしら	Shimehashira, Leveling pole	표주	标柱
77	社殿	しゃでん	Shrine Main shrine	사전	神殿
78	社務所	しゃむしょ	Shrine office	사무소	社务所
79	修祓	しゅぱつ	Syubatu	수불	修祓
80	正殿	しょうでん	Tadashi	정전	正殿
81	神位	しんい	Shrine rank	신위	神位
82	神祇	じんぎ	Jingi	신기	神祇

83	神宮	じんぐう	Jinggu, Major shrine	신궁	神宮
84	神功(皇后)	じんぐう	Jingu (empress)	징구(황후)	神功(皇后)
85	神使	しんし	Messenger of God	신의사자	神使
86	神社	しんじゃ	Jinja, Shrine	신사	神社
87	神酒	しんしゅ	Shinsyu, Sacred sake	제주	神酒
88	神職	しんしょく	Shinsyoku, Shinto priest	신관	神职
89	神饌	しんせん	Shinsen	신찬	神饌
90	神体	しんたい	Shintai, Object of worship	신체	神体
91	神殿	しんでん	Shinden, Shrine	신전	神殿
92	神木	しんぼく	Shinboku, Sacred tree	신목	神木
93	神明系鳥居	しんめいけいと りい	Shinmei-Torii	신명계 기둥문	神明系鳥居
94	神明造	しんめいづく り	Shinmei-zukuri	신명조	神明造
95	神門	しんもん	Shinmon, Shrine gate	칸도	神門
96	水神	すいじん	Suijin	수신	水神
97	須佐之男命	すさのみこと	Susanoo no mikoto	스사지남명	須佐之男命
98	住吉神社	すみよしじん じゃ	Sumiyoshi shrine	스미요시신사	住吉神社
99	住吉造	すみよしづく り	Sumiyoshi-zukuri	스미요시조	住吉造
100	住吉鳥居	すみよしとり い	Sumiyoshi-Torii	스미요시기둥문	住吉鳥居
101	聖域	せいいき	Sanctuary.	성역	圣域
102	正殿	せいでん	Tadashi	정전	正殿
103	石柱	せきちゅう	Sekityu, Stone pillar	석주	石柱
104	石燈籠	せきどうろう	Sekitourou, Stone lantern	석등롱	石灯笼
105	摂社	せっしゃ	Sessha, Middle shrine	섭사	摄取社
106	総社	そうじゃ	Sosha	총사	总社
107	反り増し	そりまし	Sorimashi, Pedestal a curve increase	신사 윗기둥의 휘어진 부분	弯曲增加
108	醍醐	だigo	Daigo	다igo	醍醐
109	台座	だいざ	Daiza	대좌	台座
110	大社造	たいしゃづく り	Taisya-zukuri	타이샤조	大社造

111	大神宮	だいじんぐ	Daijingu	대신궁	大神宮
112	台輪	だいわ	Daiwa	대륜	台轮
113	雅楽	だかく	Gagaku	아악	雅乐
114	玉垣	たまがき	Tamagaki	옥원	玉垣
115	玉串	たまぐし	Tamagushi, Sprig of sacred tree	옥곶	玉串
116	玉砂利	たまじゃり	Gravel	옥사리	玉砂利
117	壇尻	だんじり	Danjiri, Estrade buttocks	단고	台臀
118	千木	ちぎ	Chigi	천목	千树
119	鎮守社/鎮主社	ちんしゅうしゃ	Chinjusha	진주사	镇守社/镇主社
120	妻入り	つまいり	Zumairi	벽쪽의 출입구	妻进入
121	手水舎	てすいしゃ	Temizusya	손을 씻는 곳	手水舎
122	灯籠	とうろう	Tourou, Garden lantern	등롱	筐子
123	豊受大神	とようけおおみかみ	Toyouke Omikami	풍수대신	豊受大神
124	豊受大神宮	とようけだいじんぐう	Toyouke Daijingu	풍수대신궁	豊受大神宮
125	鳥居	とりい	Torii	조거	鸟居
126	直会	なおらい	Naorai, feast	직회	直会
127	流造	ながれ-つくり	Nagare-zukuri	류조	流造
128	夏祭り	なつまつり	Natumaturi, Summer festival	여름 축제	夏祭
129	二の宮	にのみや	Ni no miya	니노미야 (두번째 궁)	二的宮
130	貫	ぬき	Nuki	관(길량단위)	穿过
131	禰宜	ねぎ	Negi	신관	禰宜
132	祝詞	のりと	Norito, Congratulatory address	축사	祝词
133	配祀神	はいししん	Haishisin	배사신	配祀神
134	拜殿	はいでん	Haiden, Front shrine	배전	拜殿
135	拜礼	はいれい	Hairei, Worship	배례	礼拜
136	八幡	はちまん	Hachiman	야와타	八幡
137	八幡造	はちまんづくり	Hachiman-zukuri	야와타조	八幡造
138	八幡鳥居	はちまんとりい	Hachiman-torii	야와타 기둥문	八幡鸟居

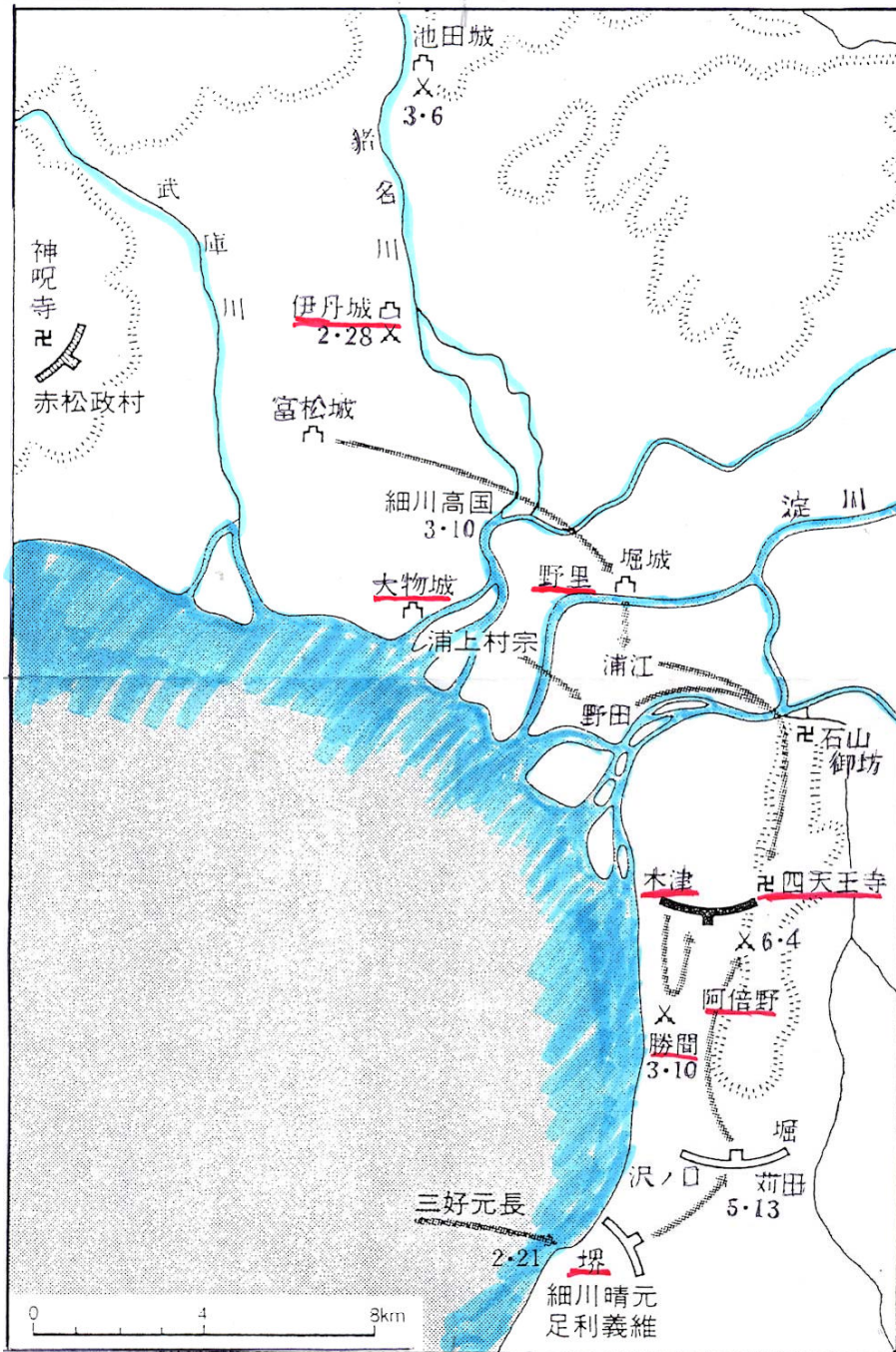
139	初穂	はつほ	Hatsuho	초수	初穂
140	初詣	はつもうで	Hatsumōde, New Year's visit	첫참배. 초예	新年参拜
141	祓	はらえ	harae	불제	祓
142	祓串	はらえぐし	haraegushi	불곶	祓串
143	日吉造	ひえづくり	Hie-zukuri	히요시조	日吉造
144	庇	ひさし	Hizashi, Eaves	차양	房檐
145	碑石	ひせき	Hiseki, Monument	비석	石碑
146	火袋	ひぶくろ	Hibukuro, Burning fireplace	화대	火袋
147	神籬	ひもろぎ	Himorogi	신리	神篱
148	百度石	ひゃくどいし	Hyakudoishi	백번석	百度石
149	百度参り	ひゃくどまいり	Hyakudomairi	백번참배	百度参拜
150	平入り	ひらいり	Hirairi	평들이	平进入
151	舞殿	ぶでん	Budenn	무전	舞蹈
152	分霊	ぶんれい	Bunrei	분령	分灵
153	幣殿	へいでん	Heiden	폐전	幣殿
154	幣帛	へいはく	Heihaku	폐백	幣帛
155	別社	べっしゃ	Betusya	별사	别社
156	奉祀	ほうし	Houshi	봉사	奉祀
157	宝殿	ほうでん	Houdenn	보전	宝殿
158	祠, 神庫	ほくら	Hokora	사, 신고	祠,神库
159	本宮	ほんぐ	Hongu	모토미야(본궁)	本宮
160	本家	ほんけ	Honke	본가	本家
161	本社	ほんしゃ	Honsha	본사	本社
162	本尊	ほんぞん	Honzon	본존	本尊
163	本殿	ほんでん	Honden	본전	本殿
164	勾玉	まがたま	Magatama	곡옥	勾球
165	末社	まつしゃ	Massha	말사	末社
166	饅頭	まんじゅう	Manjyu	만두	馒头

167	神酒	みき・しんしゅ	Miki	제주	神酒
168	みくじ	みくじ	Mikuji	제비(미쿠지)	筮
169	御饌	みけ	Mike	어찬	御饌
170	巫女	みこ	Miko	무녀	女巫
171	御輿	みこし	Mikoshi	신위를 안치한 가마	神轿
172	瑞垣	みずがき	Mizugaki	서원	瑞垣
173	禊ぎ	みそぎ	Misogi	목욕재계(불제)	禊
174	禊祓	みそぎはらい	Misogi-harae	계불	禊祓
175	御霊	みたま	Mitama	영혼	御霊
176	御霊代	みたましろ	Mitamashiro	어령대	御霊费
177	手水舎	みたらい	Mitarashi	손을 씻는 곳	手水舎
178	明神鳥居	みょうじんとりい	myoujin-torii	명신조거	明神鸟居
179	三輪鳥居	みわとりい	Miwa-torii	삼륜조거	三轮鸟居
180	遙拝所	よはいしょ	Yohaijo	요배소	遙拝所
181	黄泉	よみ	Yomi	황천	黄泉
182	依代	よりしろ	Yorishiro	의대	依代
183	雷神	らいじん	Raijin	뇌신	雷神
184	龍神	りゅうじん	Ryujin	용신	龙神
185	両流造	りょうながれづくり	Ryounagare-zukuri	양류조	两流造
186	両部鳥居	りょうぶとりい	Ryobu-torii	양부 기둥문	两部鸟居
187	海神	わたずみ	Wadazumi	해신	海神
188	蕨手	わらびて	Warabite, Bracken sprout	고사리 손	蕨手



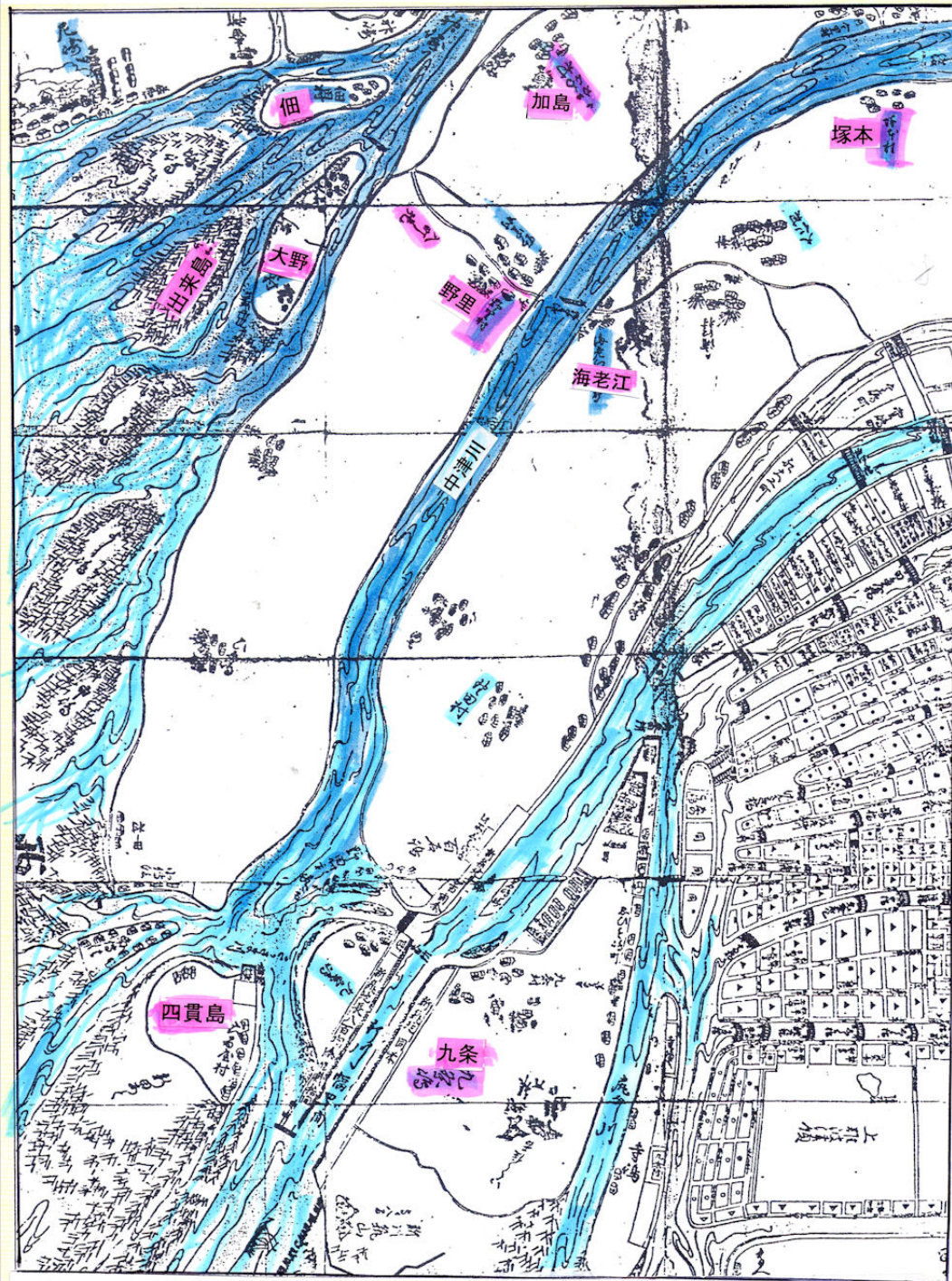
## 7.西淀川区の地図(500年間)

7-1. 大物崩れ(だいもつ)合戦の図(『新修大阪市史』第2巻).戦国時代初期、摂津国大物(現兵庫県尼崎市大物)で行われた合戦、享祿 4(1531)。西淀川区史. P23.1996。



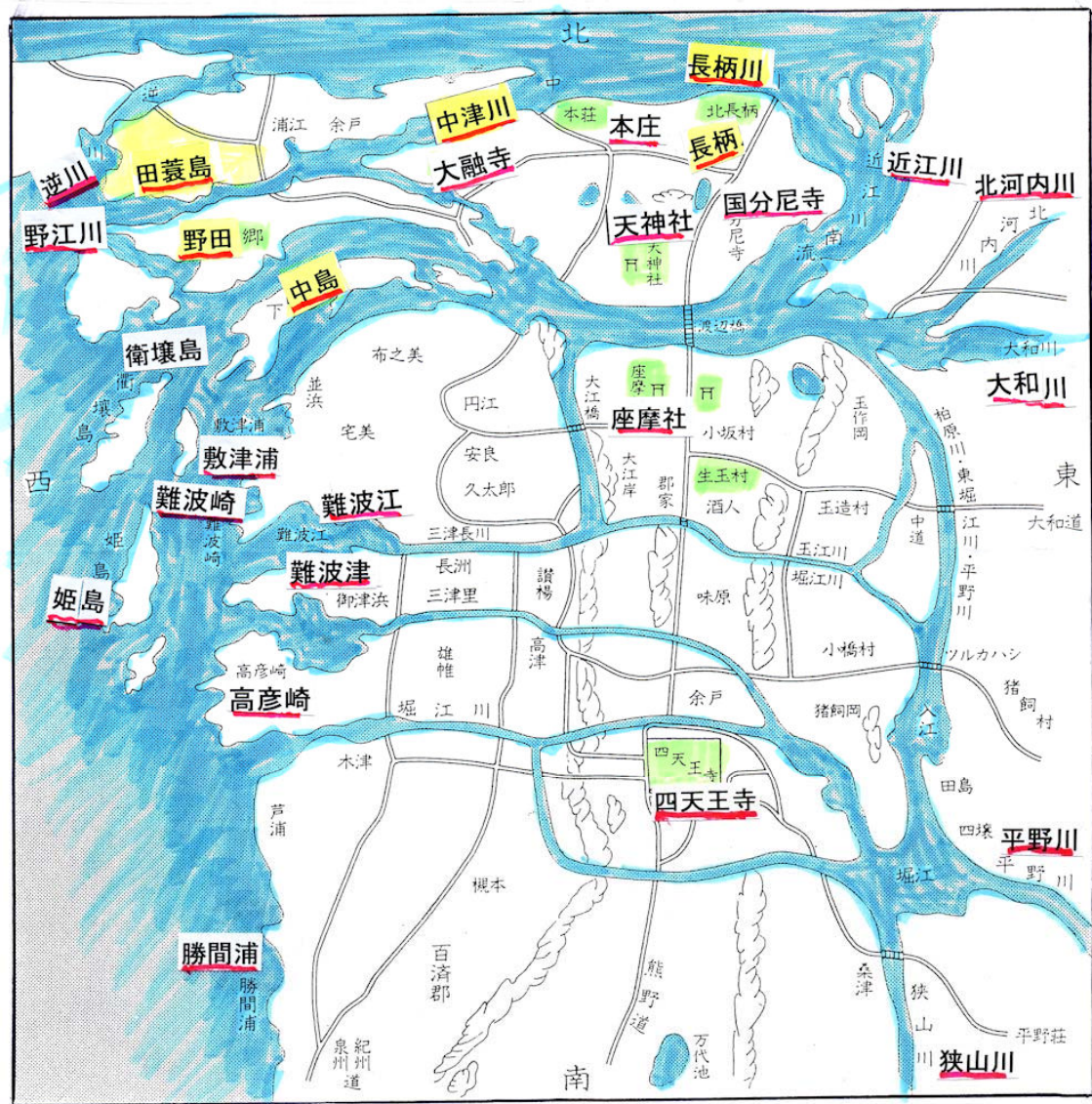


7-2. 新選増補大坂大絵図,元禄 4(1691)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P.28.1995。



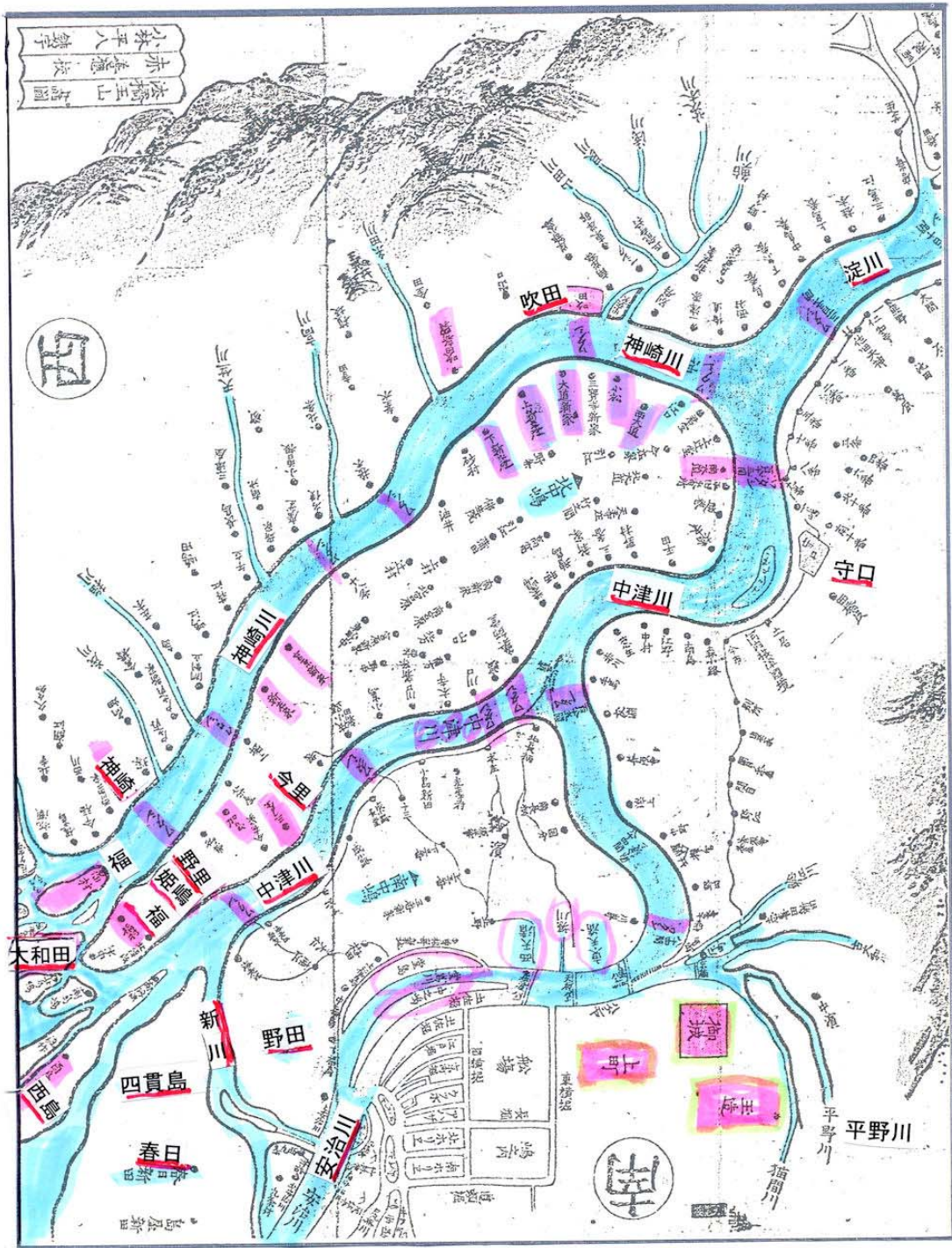


7-3. 浪華往古図 (『新修大阪市史』第1巻より)、宝暦6(1757)。西淀川区史。  
P.14.1996。

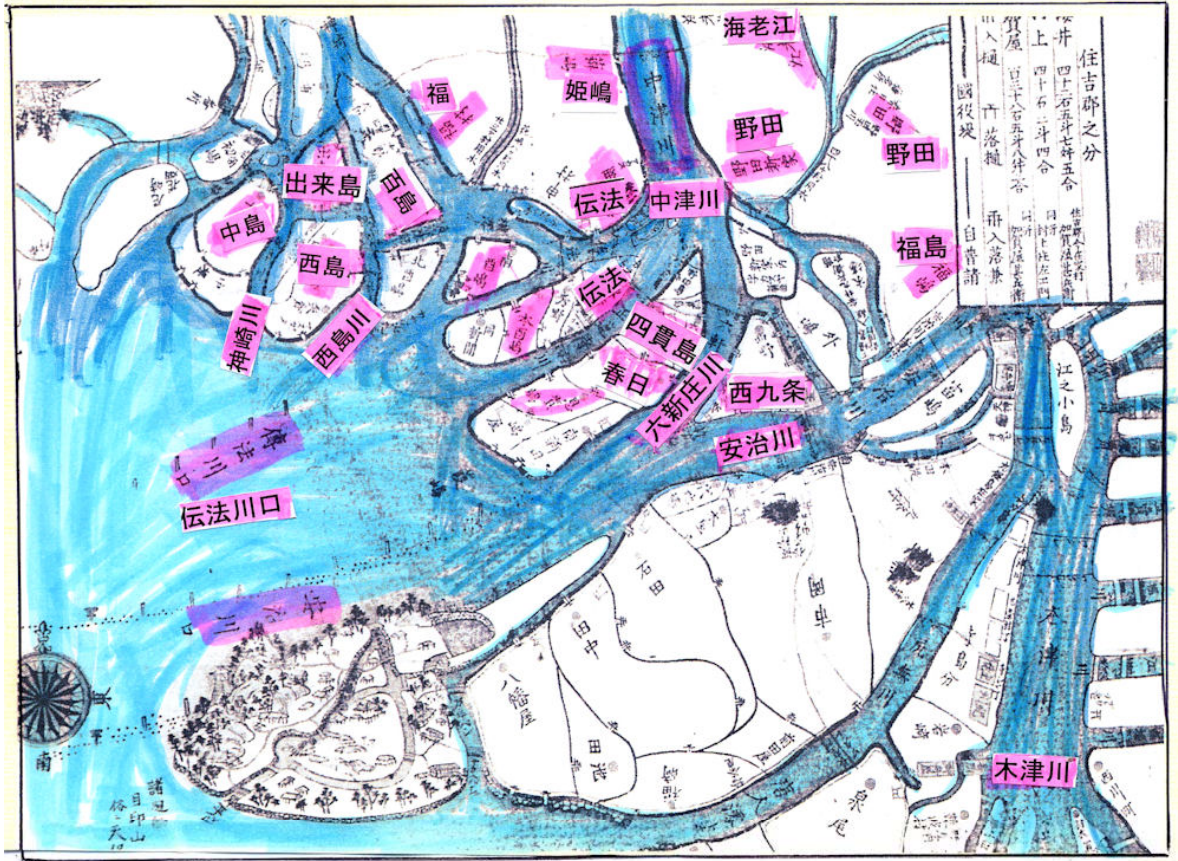




7-4. 増修大坂指掌図(河絵図),寛政 9(1797)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P.27.1995。

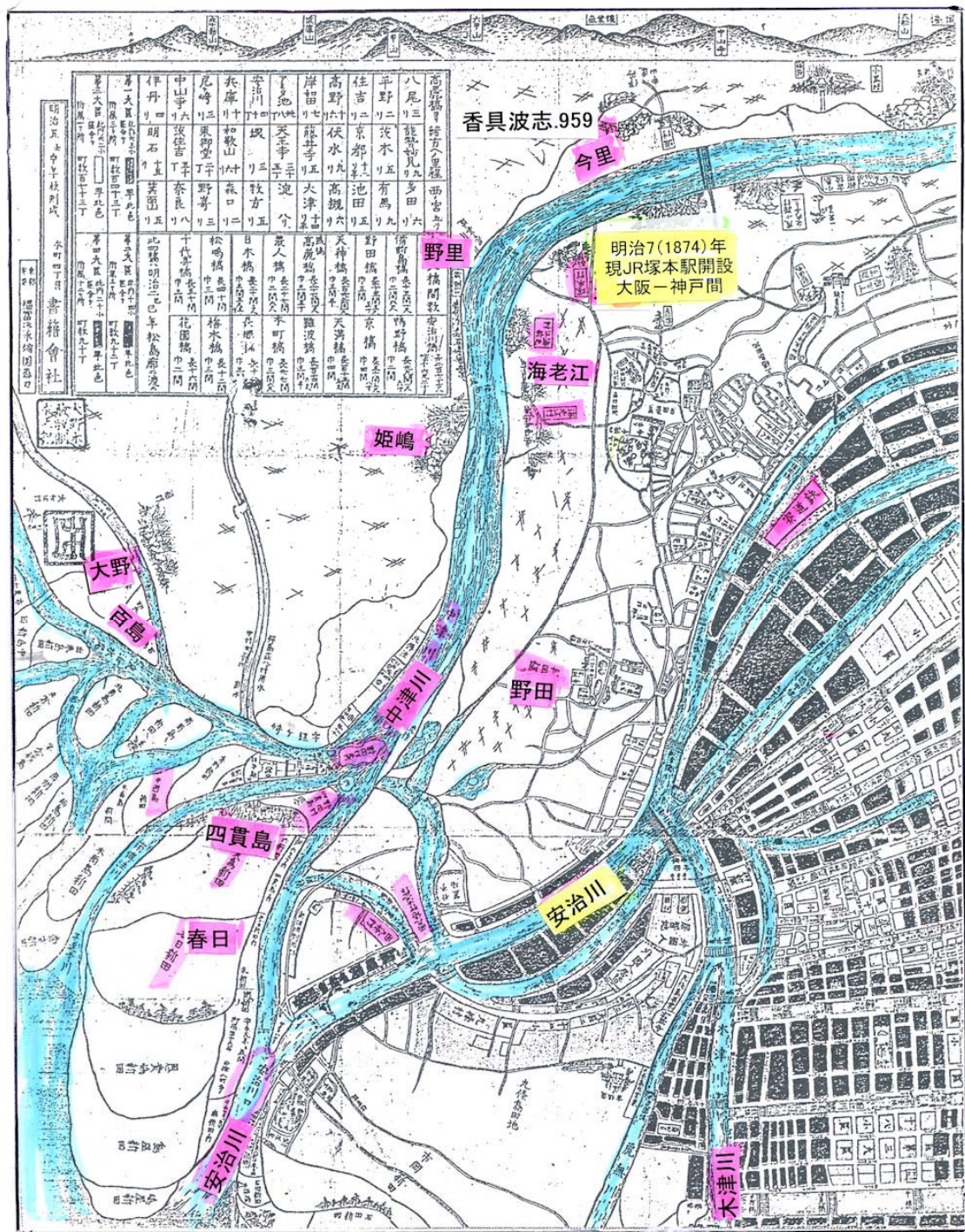


7-5. 大坂港口・新田細見図,天保 10(1839)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P30.1995。



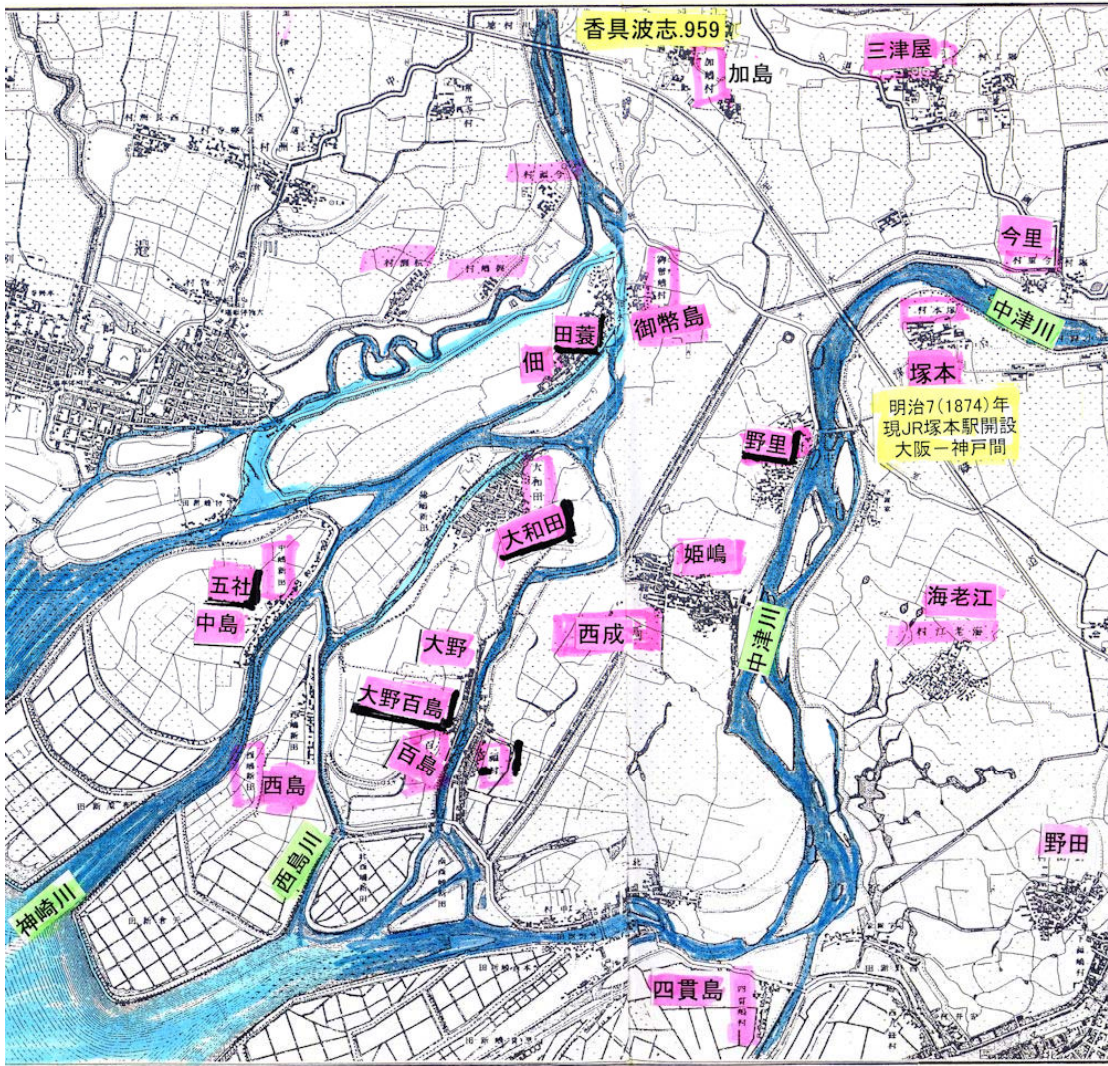


7-6. 大阪市中地区町名改正絵図,明治 8(1875)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P.33.1995。



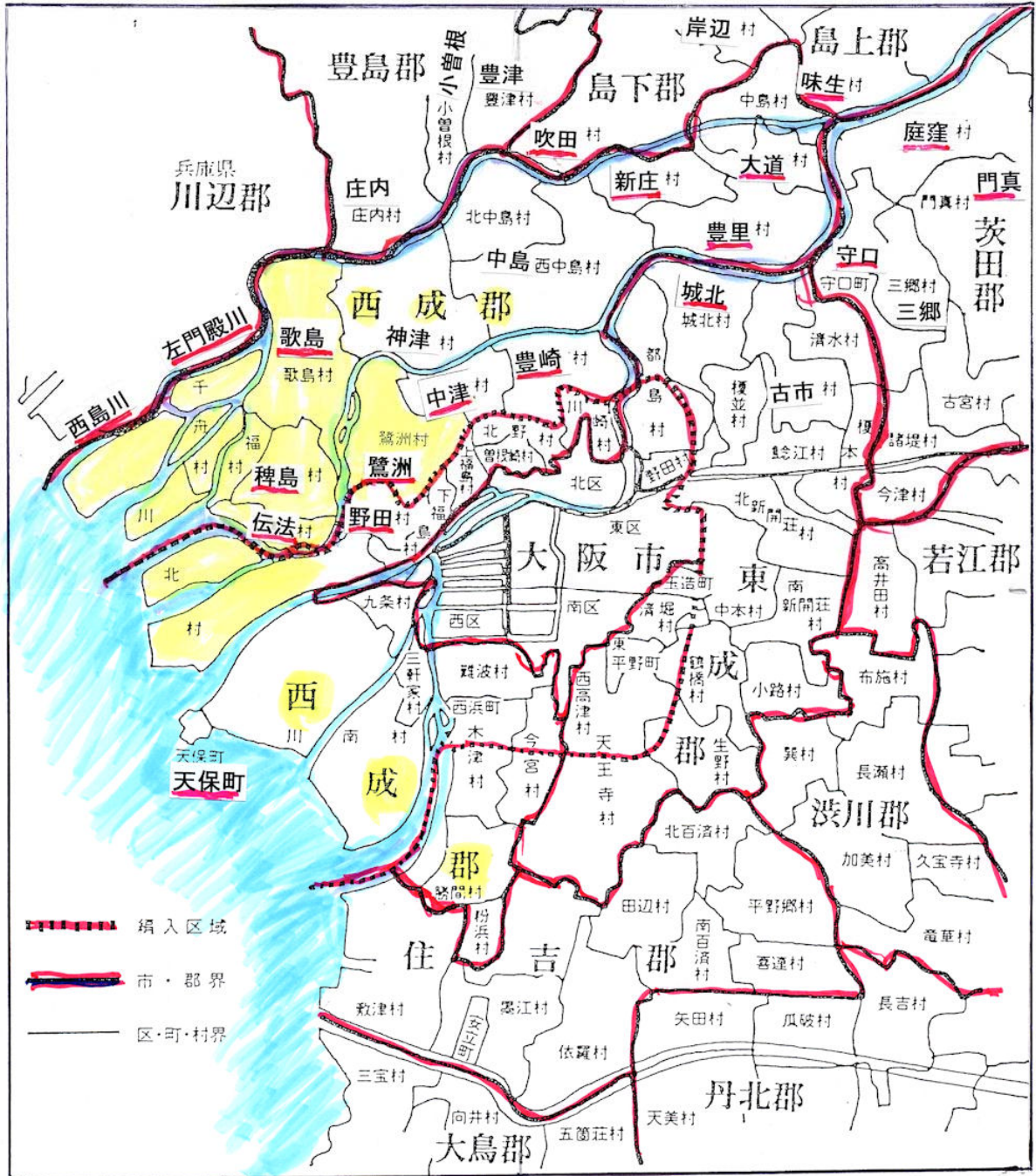


7-7. 陸地測量部大阪地図,明治19(1886)。西淀川今昔図集-西淀川区制70周年記念.P.34-35.1995。

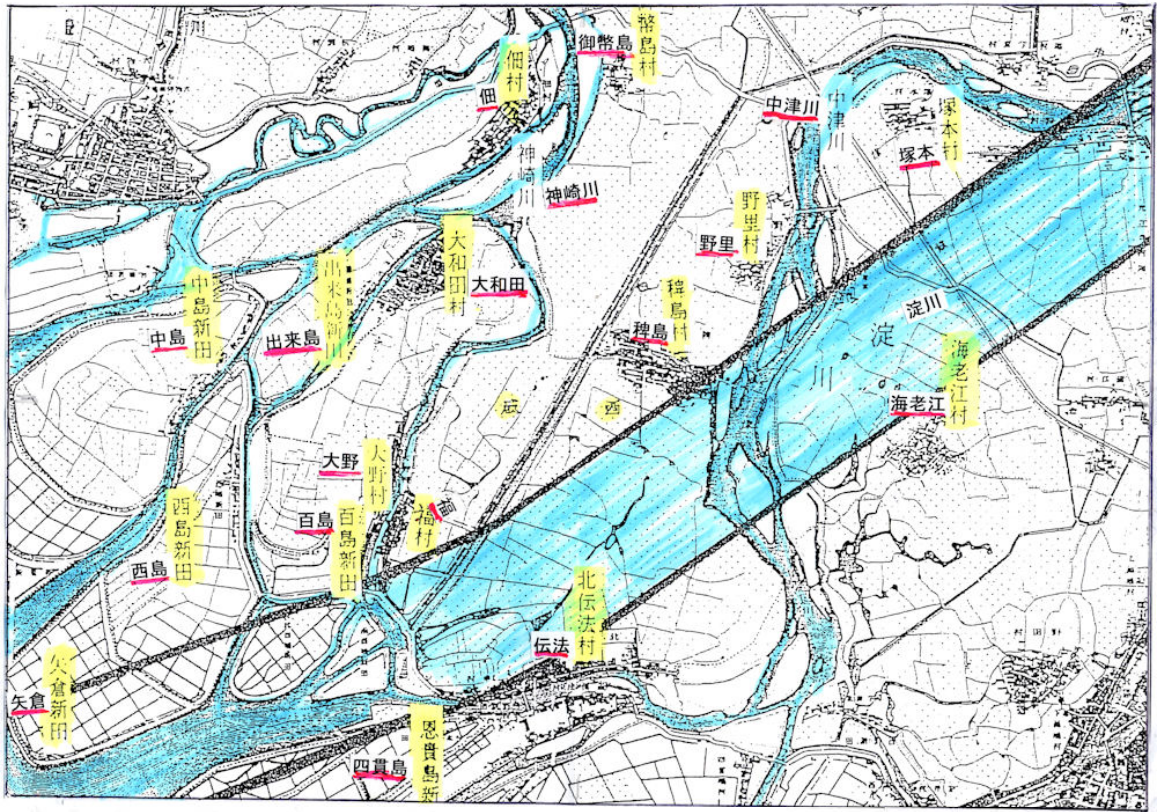




7-8. 第1次市域拡張図(大阪府西成郡の大部分が大阪市に編入)、明治30(1897)。  
西淀川区史。P.63.1996。

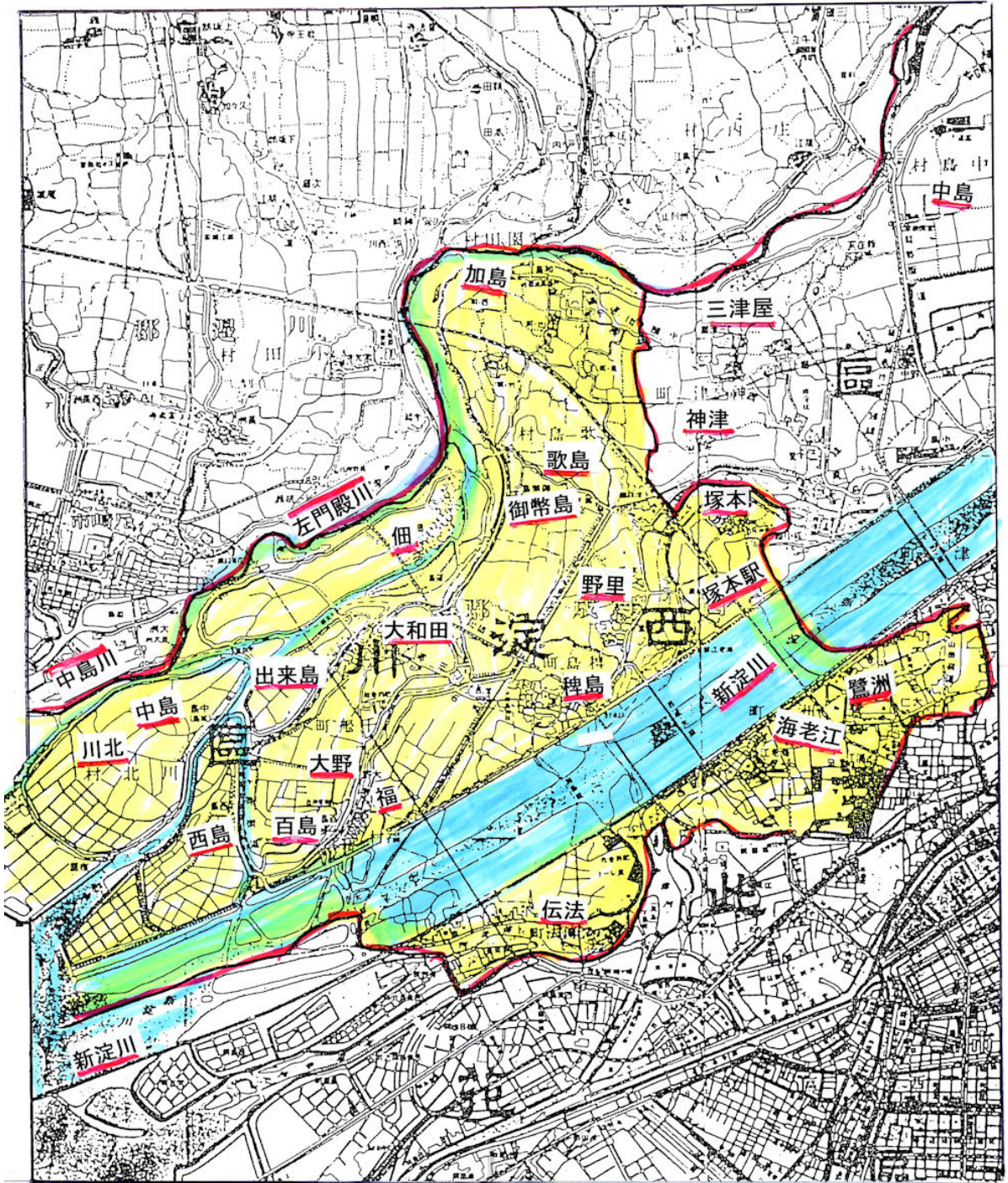


7-9. 淀川改修工事位置図(新淀川開削着手)、明治 31(1898)。西淀川区史。  
P.220.1996。



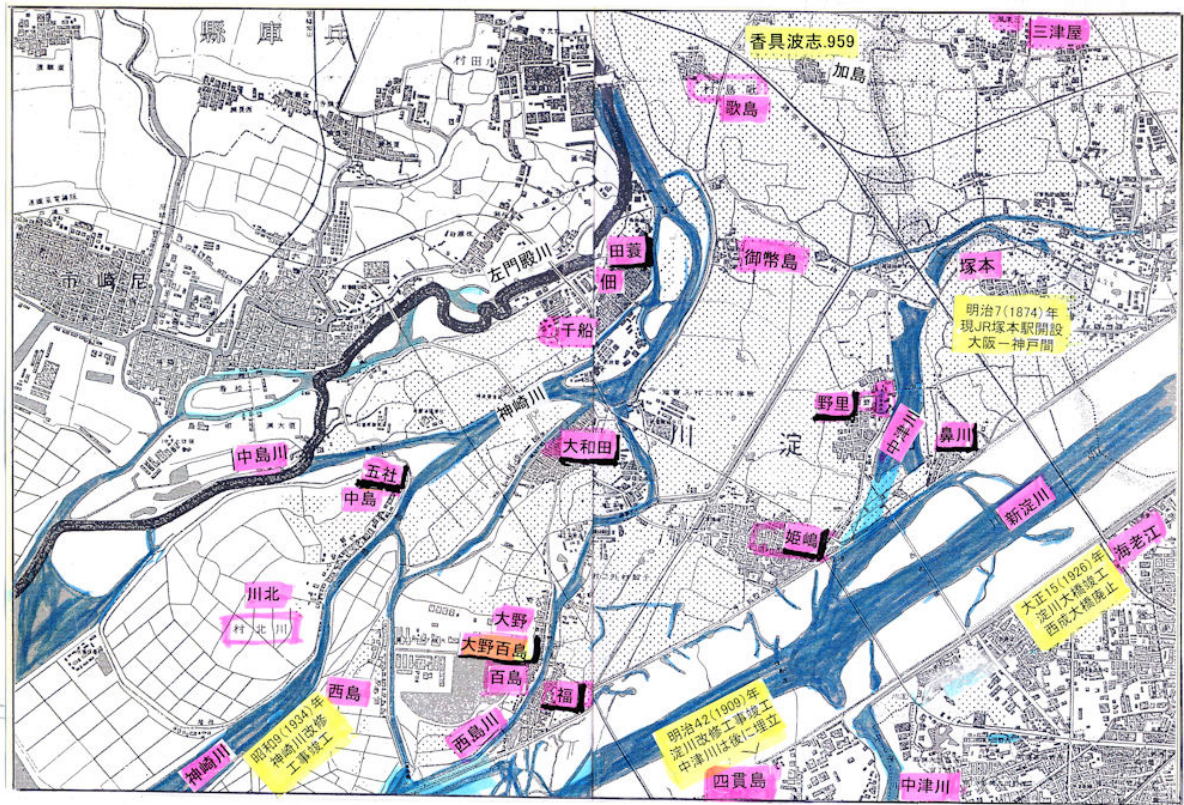


7-10. 市域編入時の西淀川区(明治後期の淀川改修工事によって、旧地域が「鷺洲町」となり、北岸には稗島・千舟村となる)、明治 44(1911)。西淀川区史 P.123.1996。



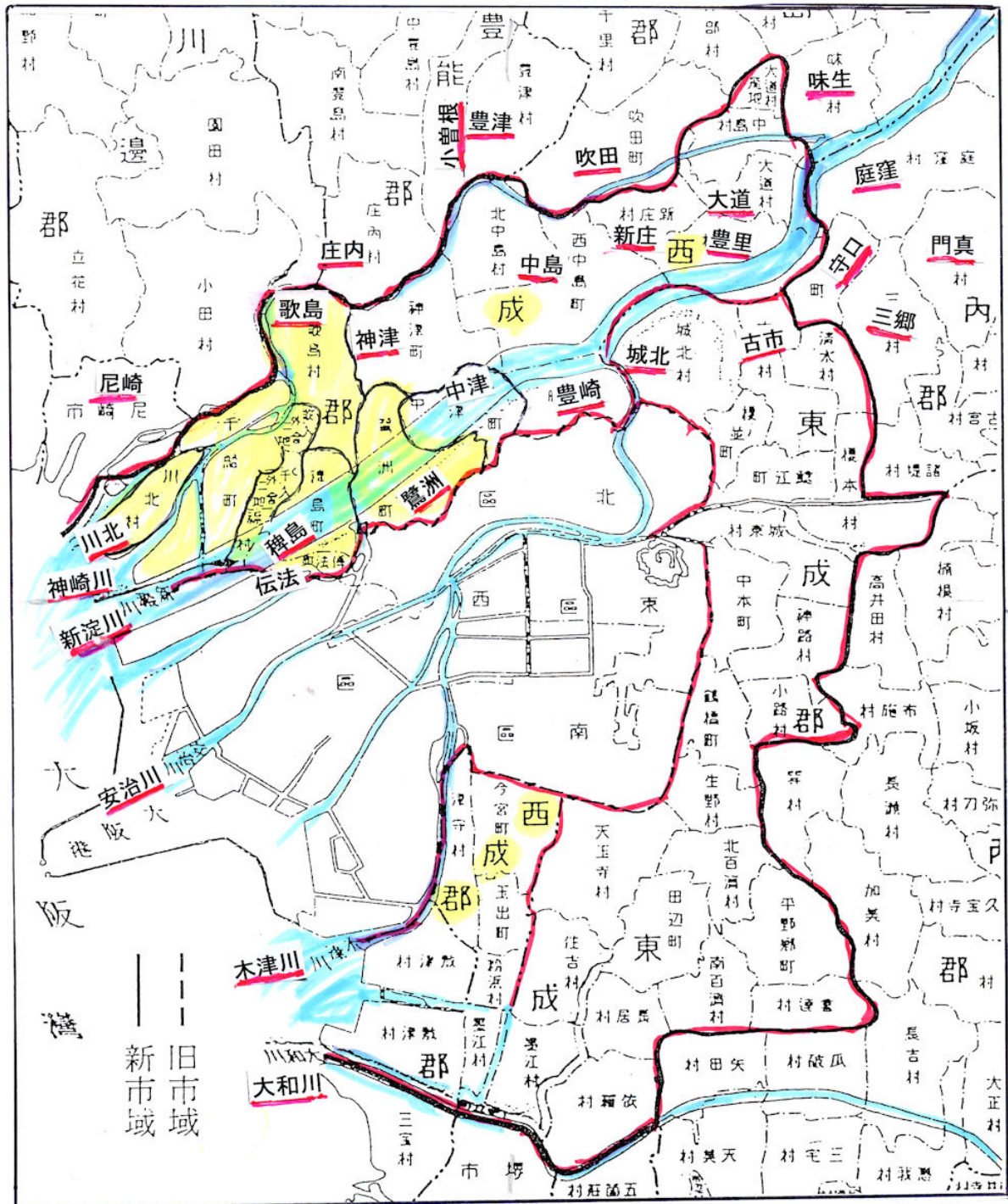


7-11. 西淀川区誕生時の地図で村名と西淀川区が記載,大正 14(1925)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P42-43.1995。



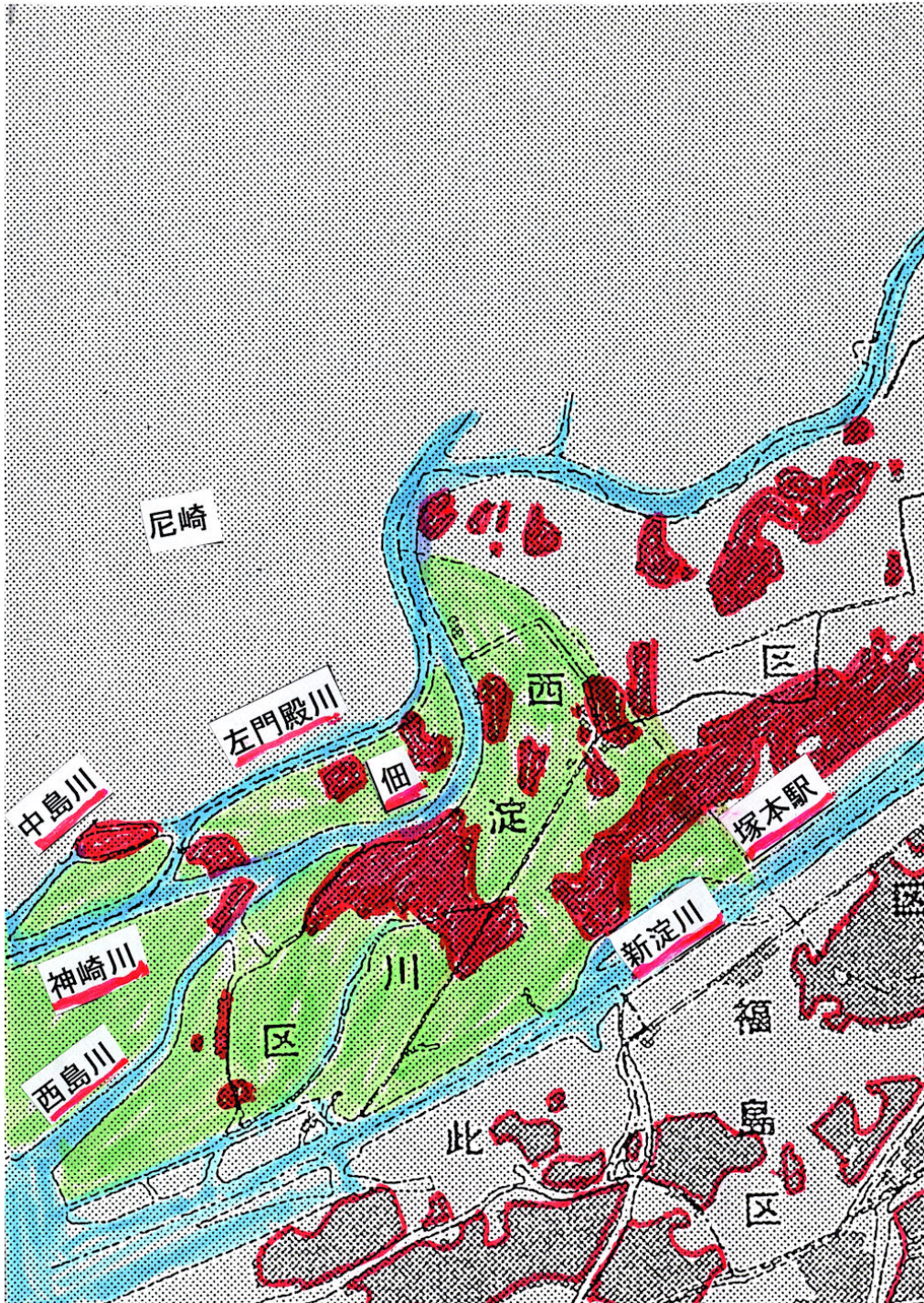


7-12. 第2次市域拡張図(大阪府西成郡44町の市域が拡張、西淀川区誕生で記載)、大正14(1925)。西淀川区史. P.83.1996。



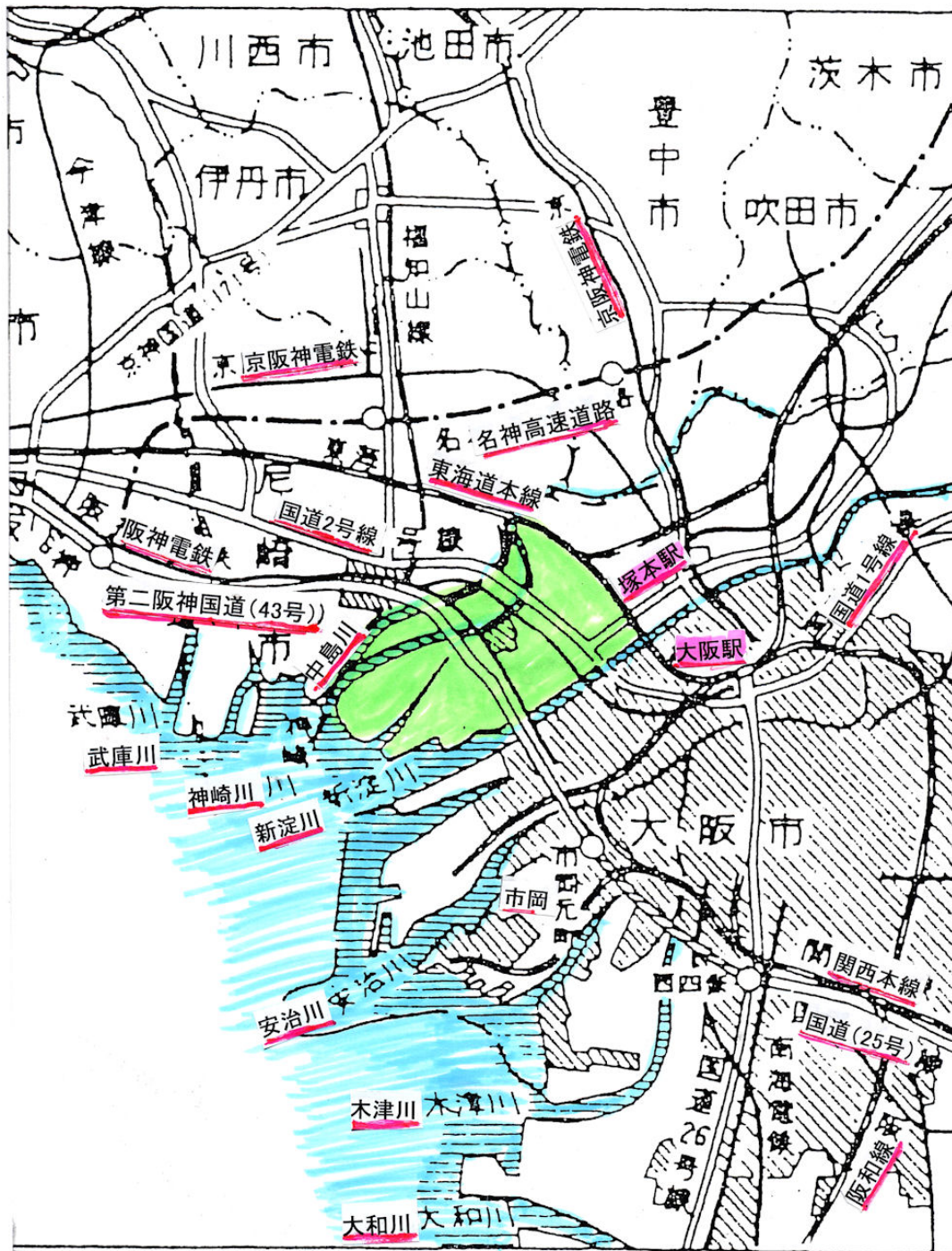


7-13. 戦災図(1944年、大阪空襲は現平野区から50回爆撃された)、昭和20(1945)。西淀川区史。P.98.1996。



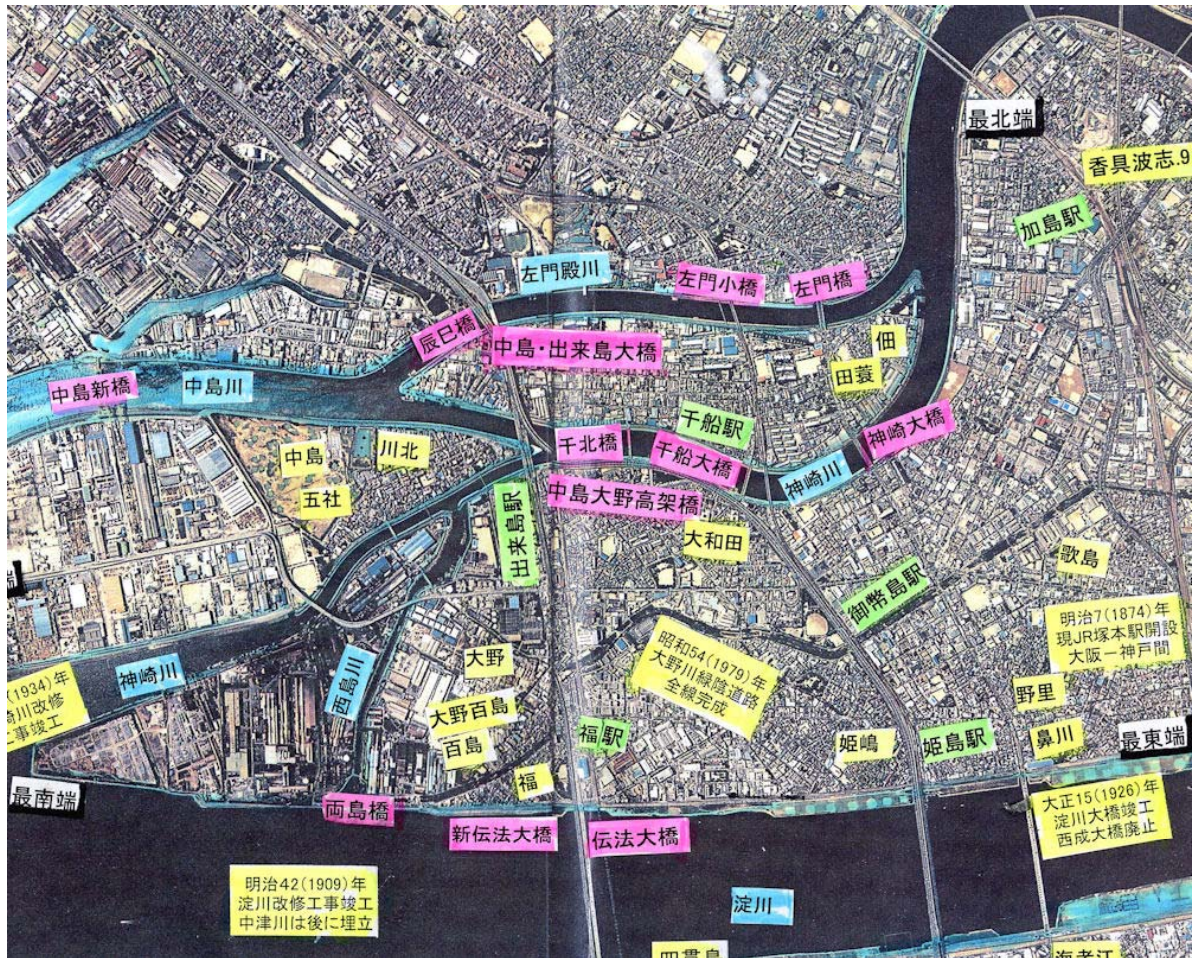


7-14. 第二阪神国道開通平面図(第二阪神国道工事誌)、昭和 28(1953)。西淀川区史. P.211.1996。



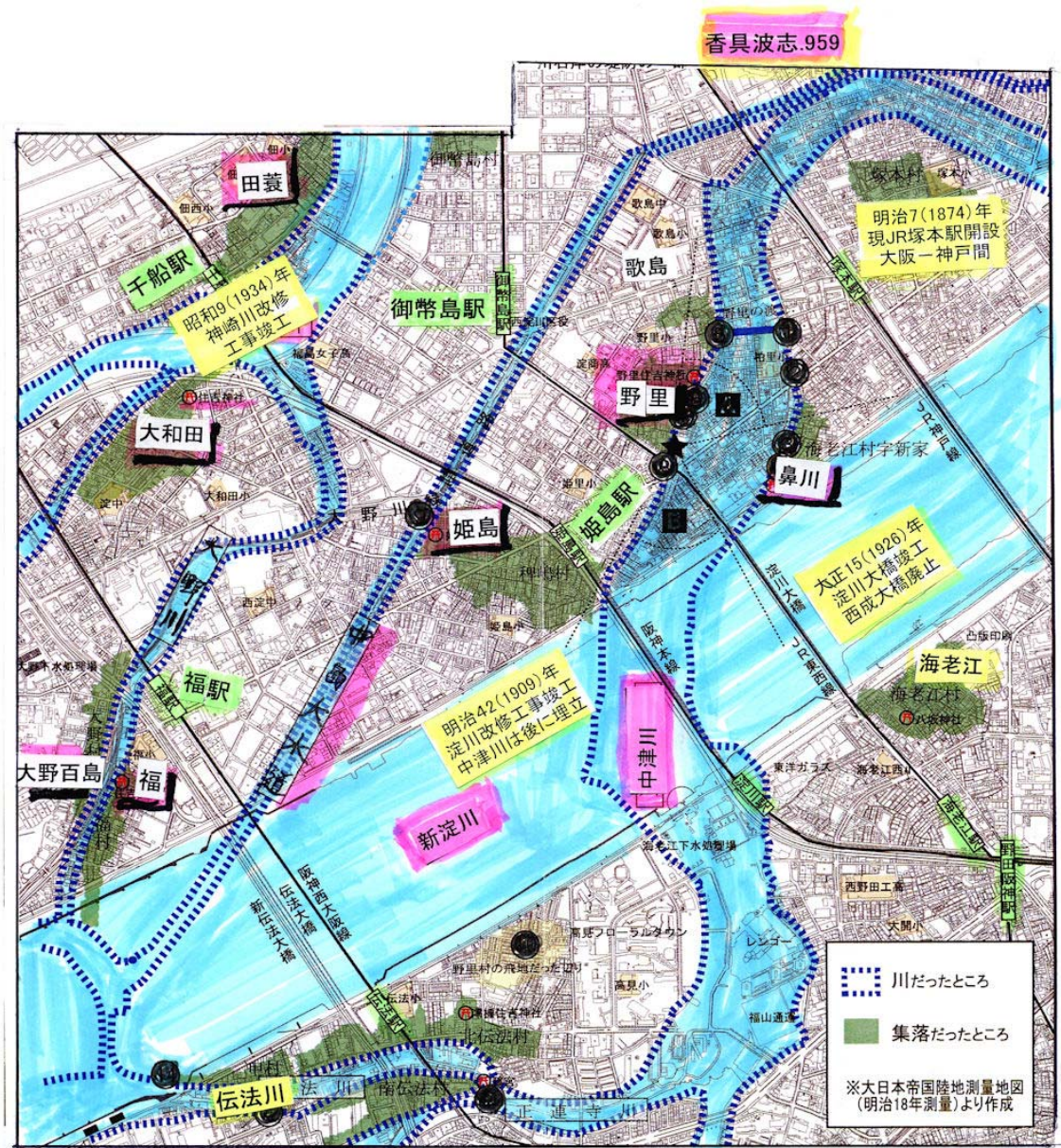


7-15. 西淀川区とその周辺,平成 6(1994)。西淀川今昔図集-西淀川区制 70 周年記念.P2-3.1995。



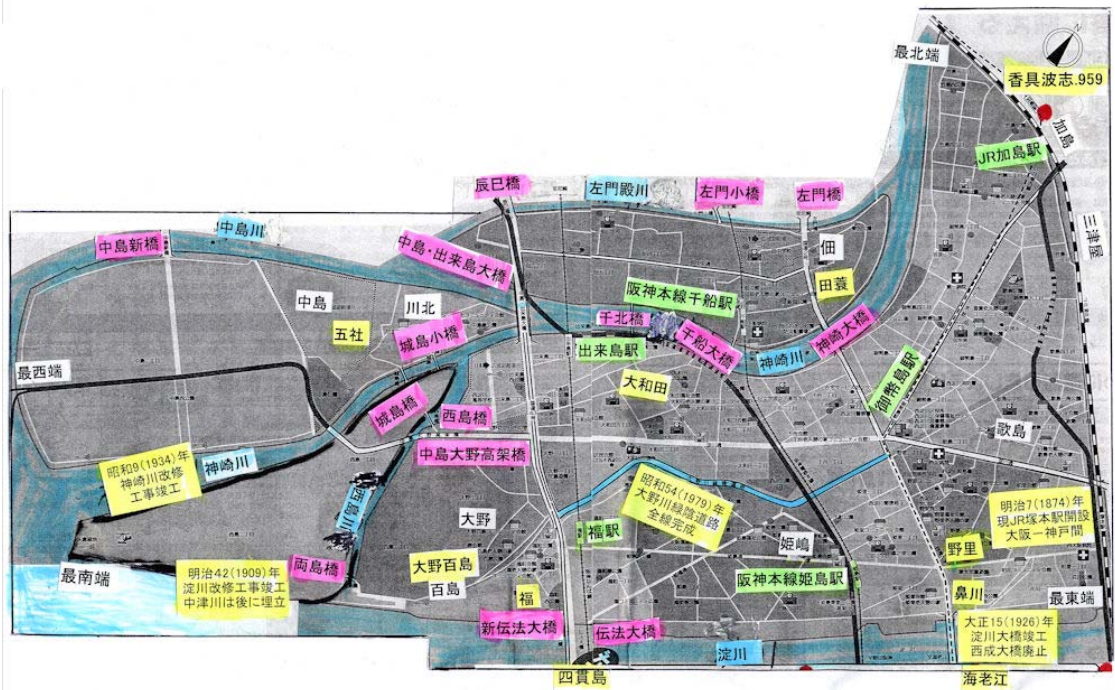


7-16. 野里界隈に息づく-川の跡 MAP -水郷の村の足跡(あと),平成 20(2008)。野里ヒクナイ。





7-17. 西淀川区防災マップ、平成 22(2010)。





7-18. 国土地理院長の承認(昭文社)、大阪市西淀川区(三万分の1の90%)、平成22(2010)。





# 8-1.西淀川区民まつり、区役所主催



平松邦夫大阪市長と  
関大校友会西淀川支部役員



澤田宜範前西淀川区長と  
関大校友会西淀川支部役員



木本敏行西淀川区長と  
関大校友会西淀川支部役員



正本仁西淀川区人権生涯学習課  
長と関大校友会西淀川支部役員



岡地武西淀川区総務担当係長と  
関大校友会西淀川支部役員



南秀雄西淀川区市民活動推進係  
長と関大校友会西淀川支部役員



## 8-2.西淀川区民まつり、大会本部



西淀川区民まつり本部



西淀川区民まつり本部の役員



西淀川区民まつり開会式



西淀川地区実施委員会パレード



西淀川区まつりを  
演出している和太鼓



西淀川区まつりに  
参加している多くの舞踊団



## 8-3.西淀川区民まつり、ボランティア



西淀川区生涯学習班の世話人



西淀川区、諏訪光子五社神社宮司と関大校友会西淀川支部役員



西淀川区生涯学習班のボランティアグループ



西淀川区まつりに参加している子供会



西淀川区まつりに参加している女性吹奏楽団



西淀川区まつりに参加している多くの舞踊団



## 8-4.西淀川区民まつり、関西大学校友会



関西大学校友会西淀川支部の  
神社鳥居の模型展示場



西淀川区のマスコミ・写真展・  
鳥居の計測値とグラフ



関西大学校友会西淀川支部役員と  
新聞社の女性記者との記念写真



関西大学校友会西淀川支部役員  
が龍の踊りを演舞



関西大学校友会西淀川支部の  
神社鳥居の模型製作者



西淀川区民まつり後には  
「沢鳥居情報サロン」に展示



## 8-5. 姫島の地車と夏まつり



町内の歴史文化遺産として活躍している地車



町内の文化遺産の大屋根で大工方の「龍の踊り」をする前の瞬間



姫島町内の華麗なる「龍の踊り」の一瞬



姫島町内の華麗なる「龍の踊り」の一瞬



一時、休憩をとってから移動する前の瞬間



休憩をとっている瞬間



# 9-1.野里夏まつりの東之町地車

平成3(1991)年地車屋根の修理。その時、文化11(1814)年棟板が発見。文化4年作の最古級の太子町の地車と言われ、2010年5月までの東之町地車は、その部類に入る。中古で購入され、日清戦争の図柄の彫物がある。そして、戦後は最大級の二枚幕式地車であったが、蒙華飾り幕は、戦災で消失。昭和30年代に背高を低くした三枚板式地車に交換。現在の新調地車は平成22(2010)年5月に地元在住の北川和孝師の製作である。のざと誌p.33参照



社殿前から宮出する瞬間。奥の大鳥居に向かって進行する時に、外国人まで感動させる雰囲気



JR「塚本」駅前の広場での景観。下部は肩背を支える方、大屋根には大工方の「龍の踊り」



社殿へ宮入りする瞬間。大鳥居に向かって進行する時に、「龍の踊り」を演出(夕刻、商店街の中)



JR「塚本」駅前の広場での景観。肩背を傾斜・回転させる瞬間。大屋根には大工方の「龍の踊り」



夕刻に地車の関係者は、一時、休憩を取ってから移動する前の瞬間(旧中津川)



東之町地車の倉庫



5月に新調した地車は、黄金色に輝く数千万円以上の貴重な文化遺産を誕生



## 9-2.野里夏まつりの西之町地車

現在の地車は、明治時代の中頃、河内方面から中古で購入した二枚式幕地車。昭和10(1935)年頃、地車倉庫にある部材から組み立てた(組立式)。昭和29(1954)年頃、新品を購入。昭和31(1956)年頃、植山義正師の手で大改造。台八の木材には鯉の彫刻をし、猫を新調して脇障子に彫ものを入れた。地車は、折りたたみ式であった大小屋根を固定式にした。屋根の天井は、龍の彫物があつが、格天井にに変え、前幕も新調。現在の飾目は、木下舜次郎師が彫った。地車には、「源平屋島合戦図」・「羅生門の鬼」・「土呂幕」・「茨木童子」・「牡丹に唐獅子」・「朱雀」・「緑葛」・「勾欄合」等が見られる。のぞと誌p.32参照



要所は、土呂幕部分は柱だけで紅白の布をまいていたのを、六枚の彫刻板に変えた



正面拝懸は、以前、吊り懸魚で、地車の動きで揺れる仕組みだったのを固定した



拝殿前から宮出する瞬間。奥の大鳥居に向かって進行する時に、見物者を感動させる神秘的な大工方の「龍の踊り」は、永遠の心に残る



本殿へ宮入りする瞬間。大鳥居に向かって進行する時に、周辺には「龍の踊り」を演出。地車の電灯は、油からバッテリーに換えた(夕刻、商店街の中)



夕刻に地車の関係者は、一時、休憩を取ってから移動する前の瞬間



西之町地車の倉庫



明治時代に購入し、昭和時代に開花した貴重な文化遺産を誕生。色彩は歴史の重みを感じる



## 9-3.野里夏まつりの中之町地車

旧地車は、二枚式幕地車で、屋根は折りただみ式、見送り幕は加藤清正の虎退治。老巧化のため解体し、彫物の一部は残す。銅版は浪速住人の高松彦四郎彫物師。現在の地車建造年は、昭和30(1955)年で、植山義正師(岸和田檀尻大工)・木下舜次郎師(淡路彫刻)・金光要師(神戸彫刻)は、当時の名工を選んだ。天井は龍。中仕切り上段は、昭和30年の旧拝殿などの景観、下段は、岩見重太郎のヒヒ退治。現在の総彫刻地車は平成19(2007)年に修理補修。のざと誌p.33参照



地車祭りに見られるものは、「秀吉誕生」「羅生門の鬼」・「茨木童土」・「土呂幕」・「三枚板」・「朱雀」・「勾欄合」・「虹梁」等(神社の玉垣の横)



本殿へ宮入りする瞬間。商店街の中では、大鳥居に向かって進行する時に、周辺にはライトの下で地車祭りを祝福する「龍の踊り」を演出(夕刻、商店街の中)



野里中之町

野里中之町

神車の正面で、彫刻は歴史の重みを感じさせる。元気な奉仕団が休憩を取ってから移動する前の瞬間

神車の側面で、修理補修した総彫刻、後方には、東之町神車にライトをアップさせる準備の時期



夕刻に地車の関係者は、一時、休憩を取ってから移動する前の瞬間

中之町地車の倉庫

2段式の屋根の上には、大工方による「龍の踊り」を演出しながら進行する瞬間



## 9-4.野里夏まつりの北之町枕太鼓

大正時代までは、登り竜が刻られた「ふとん太鼓」であった。大正時代では、太鼓運行に支障があり、台高が低く、軽量だった天満宮系の枕太鼓に変えた。現在の枕太鼓は、平成元年に新調。のぞと誌p.32参照



現在の枕太鼓台は、台車と分離できる仕組み、肩勢は上質の床柱を使用



枕太鼓前は、北之町を世話している地域人。枕太鼓の上に載っている方は、未来の主人公



汗を流しながら夜遅く活躍している奉仕団は、商店街の中で宮入のため待機する風景(商店街の中)



枕太鼓を運ばすには、肩背(かたせ)を持ち上げる必要がある。それには勇気ある地元の支援



夕刻に枕太鼓の関係者は、一時、休憩を取ってから移動する前の瞬間



北之町枕太鼓の倉庫



通称丸池公園の西側で、北之町枕太鼓と他の地車と交流する瞬間



# 洞窟の神秘を再現する「洞窟情報サロン」初公開

## 民間では類のないユニークなサロン



地球のマグマによる噴火口の模型(沢勲・教授)

# 大阪経済法科大 西淀川の自宅に開設 沢勲・名誉教授

## 子ども達に無限の夢と好奇心を

日本国内の大学で唯一、洞窟学講座のある大阪経済法科大学(藤本和貴夫学長)で前学長補佐・工学博士(現在、名誉教授)沢勲先生が、このほどNPO法人洞窟環境NET学会「洞窟情報サロン」を立ち上げた。民間では、類のないユニークなサロンで、多くの市民、とりわけ子どもたちに無限の夢と知的好奇心をかき立てる場として関心を集めている。

## NPO法人 6月に和歌山で見学会も

沢教授は、今年3月末で大阪経済法科大学を定年退職したが、4月以降も名誉教授として「洞窟の自然と人間」情報科ら大阪市西淀川区野里一丁目の自宅と向いの別荘をリフォームして小さな洞窟科学館を公開。沢教授は、数年前から洞窟ハウス・洞窟情報サロンと呼ばれる民間の自然と人間情報科ら大阪市西淀川区野里一丁目の自宅と向いの別荘をリフォームして小さな洞窟科学館を公開。

る。

今年4月8日に、NPO法人の設立認可が降り、その第一歩として和歌山県の洞窟内にある家と風化洞窟(タフォニ)の見学会も予定している。6月の火曜日と金曜日両日に都合の良い方は、Eメールで知らせてくださいと呼びかけている。受付の締め切りは、5月25日(月)。

洞窟に関する講演会も予定している。洞窟情報サロンの内容を日本洞窟学会の秋吉大会(9月開催)で講演する予定。このほか沢教授は、国際会議で洞窟に関する観光と成分分析に関する研究および写真展も開催する予定。

洞窟情報サロンの主な展示物は、つぎの通り。

- ①1Fの前室には、火山溶岩の洞窟写真200枚、石灰岩等の洞窟写真80枚、岩石十数点。
- ②1Fの奥室には、二次生成物の模型175個、溶岩滝状および溶岩プール(床下)の模型。
- ③階段の壁には、高さ5000センチ以上の空間に二次生成物の模型200個。
- ④階段の上には、往復式溶岩流に長さ550センチ、地底のマグマが流れる溶岩が往復する装置。
- ⑤2Fの前室には、循環式溶岩流、噴火口(死火山、活火山、側火山、割れ目噴)。
- ⑥2Fの奥室には、火山弾(紡錘形)。

〈主な情報・資料〉  
 収録写真と関連モデル  
 日本(河内風穴、神座風穴、秋芳洞)、韓国(萬文窟、ビレモツ窟、幻仙窟)、アメリカ(カズムラ洞窟、サーストン洞窟)、ロシア(ゴレリの溶岩洞窟)、中国(石花洞) およびオーストラリア(ホタルバエ・ヒカリバエ洞窟) など約337点。その他に収録写真関連モデルを含むと約1001点。

洞窟と石灰岩洞窟等の洞窟に関する二次生成物の諸形態、模型に関する解説と4カ国語(日英韓中)を用語完成。

調査期間1966年から2009年。約45年間。

調査地点1日・韓・中・米などの7カ国、約300カ所。

製作協力11野口製作所・芸術家・大学生ほか多数。

〈連絡先〉<http://www.sswaisoo.com/>

# 河内新聞

発行所  
 本社(〒581-0085)  
 大阪府八尾市安中町8-5-40  
 ☎ 072-991-0539  
 FAX 072-992-8030

インターネット  
<http://www.kawachi-shinbun.jp>  
 Eメールinfo@kawachi-shinbun.jp

編集 河内新聞社  
 東大阪支社 〒579-8011  
 東大阪市東石切町2-2-25  
 大阪支社 〒542-0086  
 大阪市中央区西心斎橋1-10-40  
 サンメゾン心斎橋セレクト1205



MAINICHI

# 新毎日

5月5日(火)  
2009年(平成21年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号  
〒530-8251 電話(06)6345-1551  
毎日新聞大阪本社

## 自宅改装し 洞窟資料館

大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(70)が先月中旬、大阪市西淀川区野里1の自宅の一部と隣の別宅を改装して、火山の噴火などによってできる洞窟についての資料館「洞窟情報サロン」を開設した。02年度から7年間、同大学で「洞窟学」というユニークな講座を持って

たが、今年3月に定年退職したのを機に設けた。沢さんは「洞窟には地球の謎を解くカギが潜んでおり、人類の歴史にも深くかかわっています。市民、とりわけ子どもたちの夢と知的好奇心をかき立て、愛される場になってくれたら」と話している。

【堀田恵昭】

### 大阪経法大 名譽教授 沢勲さん

同サロンには、火山展示。洞窟内の様子や性洞窟の写真約300 火山、溶岩などが理解点のほか、火口、溶岩 できるよう工夫を凝ら流、紡錘形火山弾などした。専門知識が必要の模型、解説パネルな なたため、模型は大半がど総計約1000点を 自作という。

沢さんは、工学博士として大阪経法大で情報科学論を講義してきた。その一方、1996年から43年間にわたる米、中、豪など7カ国の火山性洞窟約300カ所をフィールドワークし、洞窟学を講義。

### 子どもに夢と好奇心を 写真や模型など1000点

西淀川



大阪経法大名誉教授の沢勲さんが開設した洞窟情報サロン。子どもたちの夢や好奇心をかきたてられればと話す。大阪市西淀川区野里1で

受講した学生は400 拠点が必要だ」との思0人を超える。今年4 月から、各員教授と して学生たちに教えて いる。しかし、「洞窟学の 無料だが、事前につる。

法人「洞窟環境NET 学会」も設立した。同サロンの見学は 無料だが、事前につる。

アクセス(06・6471・6686)かメール(sawaisao@nifty.com)への申し込みが必要。また、遠くの人のためにとホームページ(http://www.sawaisao.com)も開設している。



10-03. 2009年06月27日

# 産経新聞

平成21年(2009)日刊23915号

6|27 [土]



産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2009  
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57  
大阪(06)6633-1221(大代表)

## 洞窟の魅力発掘

### 模型・溶岩など展示



さまざまな噴火モデルをあらわした模型が並ぶ洞窟情報サロン＝大阪市西淀川区野里 (藤浦淳撮影)

長年にわたって洞窟の研究を続けている大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(71)＝大阪市西淀川区野里＝が、2年がかりで取り組んできた「洞窟ハウス」が完成、「洞窟情報サロン」として希望者への公開を行っている。洞窟や火山のさまざまな模型を展示し、子供たちだけでなく大人も対象に、地球の魅力をわかりやすく紹介している。

同時に洞窟の環境に関する問題を広く知ってもらおうと、NPO法人「洞窟環境NET学会」も設立、今後広く情報発信していく。沢さんは関西大学工学部卒。半導体工学が専門だが、半導体を使うシリコンの主成分であるケイ素の研究を進める過程で溶岩の成分としてのケイ酸に着目。各地の溶岩を収集しているうちに溶岩洞窟に魅せ

### 大阪経法大 名誉教授・沢さん 「子供の好奇心刺激」

られ、洞窟の研究を始めた。これまで世界各地の洞窟を調査。韓国・済州島では世界でも数例しか知られていない貴重な溶岩洞窟を発見するなど功績をあげており、経法大で今も洞窟学などの講座を開講している。

洞窟ハウスは、溶岩や石灰岩の洞窟(鍾乳洞)、火山の成因や仕組みをわかりやすく紹介するために、沢さんが元の自宅を改装。洞窟の地下水系を再現した水路やさまざまな種類の鍾乳石の模型などのほか、世界各地の溶岩の標本など約1000点を展示している。

また岩石が地殻の動きとともに地下にもぐってマグマ化し、火山を形成して地表に戻る循環をわかりやすく模式化した立体モデルなども手作りした。沢さんは「洞窟学の拠点として活用するとともに、特に子供たちの好奇心を刺激して、洞窟や火山のファン、地球ファンを育てたい」と話している。

洞窟ハウス見学の申し込みと問い合わせはEメール(sawaisao@nifty.com)かFAX(06・6471・6686)。



10-04. 2009年06月30日

10-05. 2009年07月04日

VOL. 145  
7月号  
発行日 2009/6/30  
産業情報化新聞社  
URL <http://www.akaruinews.com>

MONTHLY  
「日本一」明るい経済新聞  
ビジネス・サクセス・ジャーナル BSJ



## 手づくりの洞窟博物館

大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さんが、大阪市内の自宅で「洞窟情報サロン」(<http://www.sawaisao.com/>)を開設した。5年がかりで1000点以上の模型、写真、資料を作成して展示、手づくりの洞窟博物館を完成、一般にも公開している。

沢さんの専門は情報工学だが、「小学生の頃の洞窟探検がきっかけとなり、洞窟に興味を持つようになりました」と、ライフワークとして「洞窟」の研究にも乗り出す。

### 沢勲大学教授が自宅に完成

自宅と別宅を改装して「洞窟情報サロン」を完成した。

1階には火山溶岩の洞窟写真、岩石試料、2次生成物の模型、溶岩滝、溶岩プール。2階へ上る階段空間には地底のマグマが流れ、溶岩が往復する装置。2階には循環式溶岩流、噴火口、火山弾、実物、溶岩樹型模型もある。

そのほとんどは、パイプやすポンジ、発泡ウレタンなど市販の材料を使い、塗装して作り上げた手づくり品。

送風機は、パソコン用のモーターを活用、総額500万円の投資になるという。

「子供たちに無限の夢と知的好奇心を掻き立てる場になってもらいたい」と話している。見学は無料。

お申し込みは、ファックス(☎06・6471・6686)またはEメール([sawaisao@nifty.com](mailto:sawaisao@nifty.com))まで。

### 「洞窟情報サロン」公開

この3月に定年退職したのを機に、自宅にNPO法人

「洞窟環境NE

T学会」も

開設。大

阪市西

淀川

区野

里

1丁

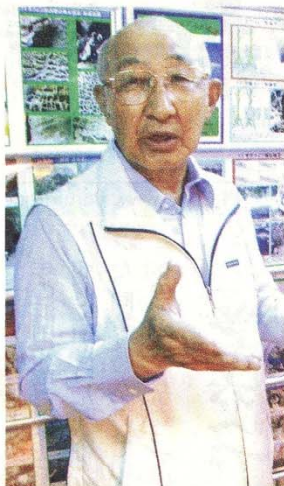
目の



# 読賣新聞

2009年(平成21年)

7月4日 土曜日



## 洞窟研究 自宅に資料館

大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(71)が、大阪市内西淀川区野里の自宅を改装し、洞窟に関する資料館「洞窟情報サロン」を開設した。同大学で情報科学論を教えるかたわら、ライフワークの「洞窟学」の講義を担当。今年3月に定年退職したのを機に設けた。

洞窟の写真約300点のほか、火山の噴火や溶岩流などの仕組みがわかる手作り

の模型、溶岩の標本、解説パネルなど計約1000点を展示。約40年をかけて8か国の洞窟約300か所をフィールドワークした成果だ。

「洞窟は地球や人類の歴史に深くかかわっている。子どもたちの知的好奇心をかき立てる場になれば」。見学(無料)の申し込みは事前にファクス(06・6471・6686)かEメール([sawaisao@nifty.com](mailto:sawaisao@nifty.com))で。



2009年(平成21年)7月18日 土曜日

# 朝日新聞

購読・配達のご用は  
06(6227)0413  
(平日10:00~18:00)  
広告のご用は  
朝日広告社  
06(6205)6961  
朝日エリア・アド  
06(6221)2923  
折り込みは  
朝日オリコミ大阪  
06(6226)1290

## 自宅開放、集う場に

屋上カフェ／部屋に古書店／洞窟再現

緑があふれる約75平方メートルの山内美陽子さんのマンションの屋上はパーベキューパーティーなどに使われている＝大阪市中央区常盤町1丁目



自宅や個人事務所の一部を誰でも入れるように開放している人たちを訪ねるツアーを、大阪市のまちづくり団体が企画している。造園プランナーがつくった緑いっぱい屋上の庭や、古本屋でアルバイトをしていた男性の「自宅古書店」など形態は様々だが「色々な人が気軽に入り、新たな出会いが生まれる場所にした」という思いは共通している。18日から。

(染田屋童太)

大阪市の市営地下鉄谷町四丁目駅近く、オフィスビルが立ち並ぶ中、一部だけ緑があふれる場所がある。造園プランナー山内美陽子さんの住む6階建てのマンションの屋上。ミモザやハーブ類、トマトやナスなど70種類の植物が並ぶ。「屋上は日当たりもいい。でも、水をやるだけでも大変です」と山内さん。もともと、祖母が花壇や畑として使っていた。だが手入れが行き届かず荒れ始め、雑草だらけになっていた。自宅に誰でも入れるように

「空庭」と名付けて飲み物や軽食を注文できるようにすると、口コミでうわさが広まった。いまでは6階の一室も開放し、ベランダに緑を並べて過2回カフェとして開くほか、希望があれば食事会や個展などのスペースとして貸し出している。

### まちづくり団体企画 きょうから訪問ツアー

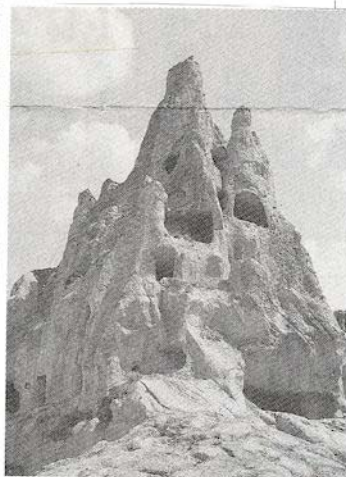
することに「抵抗はない」と山内さんは言う。「色々な人が来て、緑を楽しんでくれる。友人も増えました」。プライベート空間の開放については、「初めての店とか公の施設に比べると友達の家に行く感じで、知る人ぞ知るというスタンスがいいのかも」とみている。

ツアーを企画したのは、地域活動を続ける市民団体「應典院寺町倶楽部・築港ARCPROJECT」。プライベートな空間を人が集まれる場所へ変える活動を「住み開き」と名付けた。同プロジェクトのアサタワタルさん(30)は、「ギャラリーや公民館だと、来た人はその時だけの他人同士。でも『住み開き』スペースのような密な空間だと、来場者が仲良くなり、新たなつながりができるという魅力がある」と話す。

ツアーは18日から、山内さんの空庭のほか、自宅向かいの旧宅に「洞窟」を再現した同市西淀川区の沢敷・大阪経済法科大教授宅や、元「ブックオフ」店員だった都島区の市川ヨウヘイさんの自宅の古本屋など、計5カ所を1日に1カ所ずつ見る。シンポジウムや体験イベントもある。定員があるため、事前連絡が必要。問い合わせは同プロジェクト(06・4308・5517)かアサタさん(090・8524・3806)へ。

10-07. 2009年10月05日

平成21年10月5日(月曜日)



# 河内新聞

発行所

本社(〒581-0085)  
大阪府八尾市安中町8-5-40  
☎ 072-991-0539  
FAX 072-992-8030

インターネット

http://www.kawachi-shinbun.jp  
Eメールinfo@kawachi-shinbun.jp

株式会社 河内新聞社

東大阪支社 〒579-8011  
東大阪市東石切町2-2-25  
大阪支社 〒542-0086  
大阪市中央区西心斎橋1-10-40  
サンメゾン心斎橋セレブリテ1205

## ますます充実 洞窟サロン

トルコの住居模型入手

NET学会から

大阪市西淀川区の自宅向かいに洞窟サロンを開設しているNPO法人「洞窟環境NET学会」(会長、沢敷・大阪経済法科大学名誉教授)の最近の動きが河内新聞社に寄せられた。

- ・日本洞窟学会第35回大会・秋吉台大会(9月20日)で2件の講演をした。
- ・大学講義テキスト「洞窟科学入門・写真と図解」沢、鹿島両氏。
- ・洞窟ハウス「洞窟情報サロン」の公開写真⑤は朝倉三尋・日本カプエリア社長(右)に説明する沢会長。
- ・洞窟情報サロンの記事はコンボ10月号6頁に「ユニークな展示物で夢を与える斬新なサロン」として掲載された。
- ・10月1日(木)の午

前7時過ぎ「おはよう朝日です」にNPO法人 洞窟環境NET学会理事 沖本氏出演。

・光沢のある鍾乳洞と年輪が識別できるような鍾乳石を入手。

・トルコ・カッパドキア地域にある石灰岩と溶岩、軽石からなっている住居の模型を入手した。

・トルコ・パムッカレにある世界的な石灰棚(人工・自然)を送信します!!写真⑥。

・洞窟情報サロンにある循環型噴火口が破損したが、パイプの接続を丈夫にして修復した。

・トルコ・カッパドキア地域の洞窟レストランと洞窟ホテル、洞窟ハウス(民家と宗教)、洞窟壁画の写真を次回(来月)に送信します。同時に、ホームページにも掲載します。



10-08. 2009年11月05日

10-09. 2009年11月15日

平成21年(2009)日刊2

産 経 新 聞

115 [木]

洞窟学の第一人者として知られる沢勲・大阪経済法科大学地域総合研究所長がこれまで探訪した洞窟の数々を写真で紹介する「神秘的な洞窟写真―世界遺産 洞窟写真展―」が7、8日に大阪経法大3号館(八尾市楽音寺)で開催される。

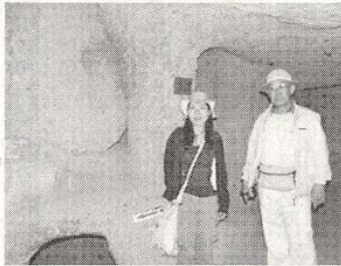
沢さんは電気工学専攻で、半導体の研究を行うかたわら、溶岩洞窟や鍾乳洞など200カ所以上を訪問、調査。韓国・濟州島ではアジアで初めての長靴形溶岩洞窟「ピットケイブ」を発見するなど、さまざまな成果をあげている。現在はNPO法人「洞窟環境NET学会」会長としても活動している。

写真展は、同大学の「第38回経

### 神秘的な洞窟写真公開

大阪経法大で沢・地域総合研究所長

法祭」の一環として開催。ハワイ・キラウエアの溶岩洞窟やトルコ・カッパドキアの洞窟などの写真や映像、文献も含めて公開。通常入ることのできない場所も紹介されており、沢さんは「神秘的な洞窟の世界を堪能してほしい」と話している。



トルコ・カッパドキアの洞窟都市 (沢勲さんのホームページから)

平成21年11月15日(日曜日)



### 沢教授の「洞窟展」大好評

—大阪経法大・経法祭で—

第38回経法祭が、11月7日(土)・8日(日)の両日、八尾市楽音寺の大阪経済法科大学でにぎやかに催された。

沢勲・専攻教授の「神秘的な洞窟世界―世界遺産・洞窟写真展―」が大好評。沢教授の「写真左端」の洞窟学講座の受講生は4000名を超えた。



発行所

本社(〒581-0085)

大阪府八尾市安中町8-5-40

☎ 072-991-0539

FAX 072-992-8030

インターネット

http://www.kawachi-shinbun.jp

Eメールinfo@kawachi-shinbun.jp



# 読賣新聞

**図書館**

〒555-0012 御幣島 1-2-10  
http://www.oml.city.osaka.jp/info/60nishiyodogawa/index.html

☎6474-7900  
☎6477-0463

●ケース展示

日時 4月30日(金)まで  
阪本光男さん製作のカットグラス  
「洞窟博士」沢勲さんの洞窟学パネル

## 自宅空いた場所開放

家族が減ってきた空き部屋や、改装によって生まれたスペースを、カフェやギャラリーなどとして、近隣の住民や知人らに開放する人が目立っている。多世代の交流拠点に発展するケースもあり、地域の活性化にもつながっている。「住み開き」と呼ばれ、新たな生活スタイルとして提案する動きも広がってきた。(島香奈恵)

家族が減ってきた空き部屋を板張りに改装した。演奏会やヨガのレッスン、パーティーなど、使われ方は様々。使用料は維持費として1人500円程度だ。

山内さんは「自宅にいながら、たくさんの人との出会いがあり、刺激を受けている。相手をもてなそうとか、部屋をきれいにしようとか気負わず、ありのままの姿を見せるで鍾乳洞や地底湖などを手作り。写真や資料も掲げ、学びと遊びのスポットになっている。沢さんは「自宅なので博物館よりも身近で、興味を持つてもらえる。子どもたちに夢を与えたい」としている。

また、青森県では、芝居好きの公務員が自宅1階を改装し、定期的にミニ公演を開いている。大阪市には蔵書を並べた自宅図書館などもある。文化芸術関連の企画制作を行う民間団体「事編」(大阪市)代表で、アーティストのアサダワタルさん(31)は、こうした自宅開放を「住み開き」と名付け、広く紹介している。

「公共の場でもサービスを受ける場でもない。私的な領域だからこそ、相手との距離が近く、節度ある会話を楽しめる。住み開きは、近所付き合いが濃密だった昔への郷愁ではなく、今風な付き合い方」と話す。

リクルートが2007年に

ことで、集まって来る人も自然体でいられる」と話す。同市西淀川区の大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(72)は2年ほど前から、自宅を新築した際に使わなくなった家を「洞窟ハウス」として開放している。

長年洞窟の研究に取り組み、世界300か所を訪ねた経験をもとに、紙粘土や雑貨



大阪市中央区のオフィス街。6階建て雑居ビルの最上階に、両親らと暮らす造園プランナーの山内美陽子さん(36)は、玄関近くの約10畳の部屋と、屋上部分を「谷町空庭」として開放している。

山内さんは7年前、屋上に小さな庭園を作り、知人らを招いては「カフェ」としてお茶をふるまっていた。次第に評判となり、訪れる人が増えた。6年前には祖母が転居したため、空いた約10畳の和室

「公共の場でもサービスを受ける場でもない。私的な領域だからこそ、相手との距離が近く、節度ある会話を楽しめる。住み開きは、近所付き合いが濃密だった昔への郷愁ではなく、今風な付き合い方」と話す。

リクルートが2007年に

結果(複数回答)では、住まいについて、30%の人が「趣味や遊びのための活動拠点、基点」、15%が「友人や仲間を招いて交遊する場」とそれぞれ答えており、開放的なイメージを持つ人は少なくない。



小さな「公共空間」  
まらづくりに詳しい愛知産業大学大学院造形学研究所教授の延藤安弘さん。写真には「財政難から自治体の公共サービスが行き詰まる中、自宅を活用した交流の場は、地域の多様なニーズにこたえる。小さな公共空間」として期待できる。社会に貢献したいという思いだけでは長続きしないので、まずは自分が楽しめる空間にすることが大事だ」と話している。

演奏会、ミニ資料館…気軽に集う

2010  
No.165  
にしよどがわ  
http://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/



10-11. 2010年09月11日

# 産経新聞

平成22年(2010) 日刊24345号

9|11 [土]



産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2010  
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57  
☎ 大阪(06)6633-1221(大代表)

産経新聞ホットライン

購読のお申し込み

0120-34-3733 (平日9時~19時,土日祝日休み)

http://www.sankei.co.jp/reader

販売・配達に関するお問い合わせ

06-6633-9357 (平日9時~19時,土日祝日~17時)

o-hanbai-css@sankei.co.jp (平日のみ)

紙面・記事へのご意見・お問い合わせ

06-6633-9066 (平日9時~18時,土曜~17時,日祝日休み)

o-dokusha@sankei.co.jp

# 丹

## 絆の地域が結ぶ

自宅に「鳥居情報サロン」を開設した  
沢さん。「神社は人のよりどころ」と  
話す  
—大阪市西淀川区



### 洞窟研究家・沢さん 自宅に情報サロン

沢さんは、半導体で使用されるケイ素などの研究を進めるなかで、溶岩の成分に注目し、世界約300カ所の溶岩洞窟などを調査してきた。国内では洞窟と神

社のかかわりが強いことから、鳥居にも注目するようになったという。今回の調査は今年1月から6月にかけて、区内の野里住吉神社、田養神社、姫

国際的な洞窟研究家で、大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(72)が、大阪市西淀川区の自宅に、地元の神社の鳥居などに関する調査研究の展示コーナー「鳥居情報サロン」を開設した。沢さんは「地元の神社を知ることが、地域のきずなを強めるきっかけになれば」と話している。

### 8神社調査 「西淀川1500年の歴史伝える」

また、25日に同区の西淀公園で開かれる「西淀川区民まつり」でも、パネルや模型を展示する。問い合わせは沢さん(☎06・6471・5485)。

沢さんは「地元の文化遺産である神社の鳥居を通して、西淀川1500年の歴史を後世に伝え、地域のきずなを結び直すきっかけになれば」と話している。

8社のうち6社で、海とのかかわりの深い金毘羅神社があることがわかった。同区が古代、多くの島に分かれていたことを改めて浮かび上がった。これらの研究成果を見てもらおうと、沢さんは、自宅に設けていた洞窟研究の資料などを集めた「洞窟ハウス」内に、新たに鳥居情報サロンを開設。鳥居の写真、パネルや30分の1模型、測量データなどを展示し、子供たち向けの教材としても役立ててもらおう。

嶋神社など8つの神社で実施。本殿と鳥居を測量するなどして「神明系」と「明神系」など外見的特徴を把握し、古文書とも照合して創建年代や形式を検証した。



# 地元の鳥居 歴史を語る

神社の鳥居を文化遺産として後世に残していきたいと、大阪市西淀川区に住む洞窟研究家の沢勲・大阪経済法科大名誉教授(72)らが、同区内にある鳥居の測定調査をした。鳥居の建造は住民や宮大工が手がけることが多いことから、地域の歴史を深く知る手がかりになるという。25日には研究内容を区民まつりで紹介する。(河原夏季)

## 大阪経法大名誉教授・沢さん 西淀川で調査



⑤調査した39基で最も大きかった野里住吉神社の鳥居。漁民らが出資して建てたものだという④神社にパネルを贈呈した沢勲さん(いずれも大阪市西淀川区野里1丁目の野里住吉神社)



沢さんは洞窟科学が専門で、資源探索のため、日本や世界各地の洞窟内の岩石の成分などを調査し

てきた。その研究の中で、富士山のふもとに洞窟にあった鳥居や、トルコで見た古い大理石の支柱などから着想を得て、今年1月、母校の関西大学のOBでつくる校友会メンバー西山正明さん(50)らと鳥居の調査を始めた。

区内には野里住吉、田養、姫嶋、大和田住吉、福住吉、鼻川、五社、大野百鳥住吉の8神社があり、54基の鳥居が立っている。沢さんはこのうち39基を巻き尺やレーザー距離計で約7カ月かけて

## 8神社の39基「500歳」の古老も

測定。形状から「神明系」「明神系」といった種類に分類し、由来や歴史を宮司らから聞き取った。調査で分かった中で最も古かったのは創建869年と伝わる田養神社の正面にある鳥居で、1511(永正8)年の建造。高さは約4・5メートルだった。

最も大きかったのは、1923年に建てられた野里住吉神社の正面の鳥居で、高さ約6・6メートル。周囲は新淀川開削までは旧中津川に沿って開けた地域で、神社の石垣は川の堤防の名残をとどめ、水に縁のある神社という。海の神をまつっており、当時周辺に住んでいた漁民らが鳥居の大きさに商売繁盛の願いを込めたと考えられるという。

これらの研究結果を添えたパネルを沢さんから贈られた野里住吉神社の鎌田義昭宮司(62)は「より地域の人に詳しく説明できるようになった」。沢さんは「社格や時代によって様式の違う鳥居を見て知ること、地元の歴史や文化に興味を持ってもらえれば」と話している。

25日は西淀川区大和田1丁目の西淀公園グラウンドの区民まつりでパネル展示。11月6日には西淀川図書館で講演会がある。



10-13. 2010年10月01日

10-14. 2010年11月05日



平成22年11月5日(金曜日)

関西大学校友会西淀川支部長 工学博士  
NPO洞窟環境NET学会会長 沢 勲 (72歳)

### 地元文化遺産の「西淀川区内8神社の鳥居」 測量/模型製作/写真資料/伝聞に基づく歴史研究

●魅力満載の鳥居写真と測量値と模型製作



大阪経済法科大学の  
名譽教授で、NPO洞窟環境NET学会会長の沢勲工学博士の「写真IIが、このほど住まいの大阪府西淀川区内8神社の鳥居の写真と模型を展示、近隣の市民や関係者から「地元文化遺産の貴重な展示で、後世に残したいものです」と関心が寄せられている。

沢さんは「洞窟鳥居情報サロンの代表として、西淀川区内8神社の鳥居の模型と写真を全国に発信、全国紙にも大きく取り上げられ話題を呼んでいる。

問い合わせ  
せは ☎06

・6471-5485、  
FAX06-6471-6686番へ。

## 沢博士の「鳥居写真と模型」好評



発行所

株式会社 河内新聞社

本社 〒581-0085  
大阪府八尾市安中町8-5-40  
☎ 072-991-0539  
FAX 072-992-8030

東大阪支社 〒579-8011  
東大阪府東石切町2-2-25

インターネット

URL <http://www.kawachi-shinbun.jp>  
Eメール [info@kawachi-shinbun.jp](mailto:info@kawachi-shinbun.jp)

<電子新聞の申込先>  
ニュースメディアスタンド  
TOPページ  
<http://newsmediastand.com>  
<お問い合わせ先>  
方正株式会社 (河内)  
☎ 06-6886-0802



10-15. 2011年01月05日



自宅に鳥居模型などを展示している沢さん

## 西淀川区内の8神社調査 記録と模型

洞窟環境NET学会の沢さん

NPO法人「洞窟環境NET学会」会長を務め、大阪市西淀川区野里の自宅を「洞窟情報サロン」として開放してきた大阪経済法科大学元学長補佐の沢さん(72)が、今度は「ピルの谷間にあっても肅然と存在感を示す鳥居は、日本の原風景だ」と、同区内の8神社を調査。記録にまとめたうえ、模型を作った。

関西大学校友会西淀川支部と同学会などと合同で、半年にわたって現地調査。詳細な測量をして外見上の特徴を把握し、歴史や由来もたどった。それぞれの神社は、869〜1688年ごろに創建。その中で、鳥居は1511〜2007年に建立されている。調査の末、写真114点、由来などのパネル32点を区民祭りや図書館に展示し、地域住民への伝承に役立ててもらっている。さらに結果を今年3月までに、約200ページの報告書にまとめる作業を進めている。また、鳥居のうち12基を再現して20分の1のミニチュア木製模型を作り、LEDを施したしめ縄と紙垂で装飾。写真パネルなどととも自宅に展

# 鳥居は日本の原風景

MAINICHI

新毎日

1月5日(水)

2011年(平成23年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号  
〒530-8251 電話(06)6345-1551  
毎日新聞大阪本社

示し、名称も「洞窟・鳥居情報サロン」に変更した。

沢さんは「近年でも水害、台風、地震、空襲などで打撃を受けながらも、それを乗り越えて生き残っている。この貴重な文化遺産を記録し、大切に引き継いで行きたい」と語っている。見学はフアクス(06・6471・6886)で申し込み。ホームページは<http://www.sawaisao.com/>

【嶋谷泰典】

# 活動報告

## 1. 構成員の一覧

**趣旨** この法人は、一般市民に対して、ネットを通して洞窟の危機を伝い洞窟の観光化に関する事業を行い、地球の汚染などが縮図になって現れている洞窟環境と地球環境に寄与することを目的とする。

### 2010年度 洞窟環境NET学会役員

会長	沢 勲	さわいさお		
副会長	荒田 祥嗣	あらたしろうじ	沖本 裕司	おきもとひろし
監事	八頭司 彰久	やとうじあきひさ	高田 俊夫	たかだとしお
理事	上野 裕	うえのひろし	鹿島 愛彦	かしまなるひこ
理事	肥塚 義明	こえづかよしあき	沢 君子	さわきみこ
理事	嶋谷 泰典	しまたに やすのり	中岡 愛彦	なかおかなるひこ
理事	二村 豊	にむら ゆたか	藤浦 淳	ふじうら あつし
理事	三宅 芳夫	みやけ よしお	由良 薫	ゆら かおる
相談役	熱田 親憲	あつた ちかよし	石田 信也	いしだ しんや
相談役	一海 信男	いちかい のぶお	近江 巳記夫	おうみ みきお
相談役	梶川 伸	かじかわ しん	川瀬 辰男	かわせ たつお
相談役	金 世徳	きむ せいどく	小山 博	こやま ひろし
相談役	立川 昌司	たてかわ まさじ	寺岡 源司	てらおか げんじ
相談役	永田 広道	ながた ひろみち	西山 正明	にしやま まさあき
相談役	朴 永炅	ぱく よんぎょん	藤江 徹	ふじえ とおる
相談役	藤田 浩史	ふじた ひろし	古谷 昭雄	ふるたに あきお
相談役	松峯 哲也	まつみね てつや	村田 貞博	むらた さだひろ
相談役	八木 誼信	やぎ よしのぶ	金 昌植(海外)	きむ ちゃんしく



2010年5月 特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会 理事会

## 洞窟環境NET学会委員会報告(2009.4~2010.3)

	年月日	運営小委員会	組織名
1	2009年04月16日	第1回 総会の準備に関する件	運営小委員会
2	2009年05月21日	第2回 総会の議事に関する件	運営小委員会
3	2009年06月18日	第3回 学会の企画に関する件	運営小委員会
4	2009年07月16日	第4回 学会の紀要と海外調査に関する件	運営小委員会
5	2009年10月15日	第5回 学会の将来計画に関する件	運営小委員会
6	2009年11月19日	第6回 学会の紀要に関する件	運営小委員会
7	2009年12月10日	第7回 学会の総括と紀要編集に関する件	運営小委員会
8	2010年01月14日	第8回 学会消息に関する件	運営小委員会

	年月日	編集委員会	組織名
1	2009年04月18日	第1回 紀要に関する件とCENS(4月)報告の件	編集委員会
2	2009年05月23日	第2回 紀要に関する件とCENS(5月)報告の件	編集委員会
3	2009年06月20日	第3回 紀要に関する件	編集委員会
4	2009年07月20日	第4回 紀要に関する件とCENS(7月)報告の件	編集委員会
5	2009年08月22日	第5回 紀要に関する件とCENS(8月)報告の件	編集委員会
6	2009年09月12日	第6回 紀要に関する件とCENS(9月)報告の件	編集委員会
7	2009年09月26日	第7回 紀要に関する件	編集委員会
8	2009年10月17日	第8回 紀要に関する件とCENS(10月)報告の件	編集委員会
9	2009年12月19日	第9回 紀要に関する件とCENS(12月)報告の件	編集委員会
10	2010年01月23日	第10回 紀要に関する件とCENS(1月)報告の件	編集委員会
11	2010年02月13日	第11回 紀要に関する件とCENS(2月)報告の件	編集委員会



## 2. 洞窟環境 NET 学会(CENS)の月例報告

### 洞窟環境 NET 学会(CENS) 2010 年4月報告

#### 【1】西淀川区生涯学習だよりに掲載

■2010年3月発行、第59号1p、洞窟ハウス見学の報告 図書館3・4月の期間中、

「神秘の世界:カット・グラスと洞窟」

■2010年4月発行、第号60号4p、「沢洞窟ハウス:写真パネル」、西淀川区内でご自宅を改造して「洞窟ハウス」を作っておられる、「洞窟博士」大阪経済法科大学名誉教授 沢勲先生をご存じですか？ 先生製作の洞窟学パネルを展示

■「西淀川区生涯学習だより、お問い合わせ:西淀川区役所 人権生涯学習担当

#### 【2】愛媛県と香川県の神社を調査

愛媛県 内子町(古代建築の町並み)にある神社。香川県の金比羅さん付近の神社

#### 【3】西淀川区内の神社鳥居の測量計画について

西淀川には八つの神社があり、地域貢献のため本殿と鳥居を測量するためデータを収集。関西大学校友会西淀川支部役員の協力を得て、共同で測量を実行

#### 【4】「ケイビングジャーナル」へ洞窟の分類基準案が掲載

日本唯一の洞窟情報誌 THE CAVING JOURNAL(ケイビングジャーナル)の39号「洞窟の分類基準案」が掲載

【5】「住み開き」に掲載。大阪市発行の「住み開き じぶんだけの場所をみんなのためにちょっとだけひらく～まずは大阪から～」の4pから「さわ洞窟ハウス なんと 自宅で博物館！」と題して掲載

【6】CENS 紀要創刊号を発行。洞窟環境 NET 学会紀要 創刊号 第1巻第1号を発行

【7】洞窟内の神社、神社の中の洞窟についての情報を募集 洞窟内にある神社や、神社の中にある洞窟についてご存じの方は 情報提供をお願い

### 洞窟環境 NET 学会(CENS) 2010 年5月報告

#### 【1】西淀川区内の神社鳥居の測量と系統図

西淀川区の文化と歴史を研究・発表し、地域貢献を行うために神社のデータ収集と分析

西淀川には八つの神社があり、神社内の鳥居を計測してデータを収集

鳥居の模型を分類し、系統図を作成。写真撮影で4ヶ月かけて整理を行い、鳥居データの計測に2週間

①鳥居環境の見分け方(神明系鳥居と明神系鳥居)

②大阪市西淀川区、8神社 37鳥居環境の測量値

③大阪市西淀川区、鳥居環境の各部名称系図

⑤大阪市西淀川区、8神社 37鳥居環境系統図

⑥西淀川区(8神社 36鳥居環境)の写真を編集。

【2】兵庫県の神社を調査。兵庫県の指定文化財の千年藤で有名な大歳神社を調査

【3】「ケイビングジャーナル」、日本唯一の洞窟情報誌

THE CAVING JOURNAL(ケイビングジャーナル)の39号に「洞窟の分類基準案」が掲載。

【4】CENS 紀要創刊号が発行。洞窟環境 NET 学会紀要 創刊号 第1巻第1号を3月に発行

紀要の内容は CENS 公式サイトでも公開

【5】CENS の相談役について、当学会の相談役に8名追加



【6】アイスランドの火山噴火と洞窟情報サロンについて

## 洞窟環境 NET 学会 (CENS) 2010 年6月報告

【1】西淀川区内の神社の由来と写真整理について

【2】西淀川区民まつり(関西大学校友会西淀川支部と共催)に参加します

西淀区民まつりが9月25日(土)西淀公園で開催予定

【3】会員の近況報告について

鹿島、八木、川瀬の3氏が、大学にて特別講演。沢は、西淀川区生涯教育に特別講演を行う予定  
八頭司は滋賀大学より経済学博士の学位を授与されました

【4】会員のテレビ出演について、テレビ朝日24系列にて全国放送「ナニコレ珍百景」の収録完了

2010年6月以降の水曜日(午後7時から7時54分)のいずれかに放送予定

【5】写真展の開催について

大阪経済法科大学の1号館ロビーにて1週間写真展を開催

【6】洞窟巡検の開催について、8月開催の洞窟巡検についてご案内。【日程】8月12日(木)

【出発時間】大阪梅田発 7時50分【行き先】岐阜県郡上市「大滝鍾乳洞」

【7】決算・事業報告を行い。大阪府庁にて決算・事業報告。

【8】ISSNの割り当てについて、洞窟環境 NET 学会紀要に

ISSN(国際標準逐次刊行物番号)が付与されたと国立図書館(ISSN日本センター)より通知がありました



## 洞窟環境 NET 学会 (CENS) 2010 年7月報告

【1】西淀川区内の神社の由来と写真整理について

国際化時代に地域貢献の一部として纏めました]

1. 古代からの伝説・由来の関連資料(A新聞13回連載)を贈呈致しました
2. 8神社鳥居の写真を完成し、8神社へ贈呈致しました
3. 神社の写真を整理し、ホームページに掲載致しました。指摘があれば適時に修正致します
4. 8神社正面鳥居の高さ・柱の直径・柱内側幅に関するデータを「西淀川区生涯学習だより」2010年6月発行、62号に紹介
5. 神社の由来は、草案を作成し、国際貢献と地域PRのため、4ヶ国語に翻訳する予定

【2】西淀川区民まつり(関西大学校友会西淀川支部と共催)に参加申請中

1. 西淀区民まつりが9月25日(土)西淀公園で開催されます
2. 区内の鳥居の写真と測量値・1500年間の年表を展示する予定です
3. 伝説・由来の関連資料(新聞13回連載)

### 【3】会員の近況報告について

1. 八頭司監事の推薦により、相談役を増員致します
2. 八頭司監事は、大阪経済法科大学にて寄付講座を行ないました
3. 沢 勲は、～平成22年度 学び区民連続講座～「わがまち 西淀川区って こんなん しつとこ！」5回のうち、5回目の講師に予定

### 【4】会員のテレビ出演について

1. テレビ朝日 24 系列にて全国放送「ナニコレ珍百景」の収録完了
2. 2010年7月21日の水曜日(午後7時から7時54分)放送しました
3. プロ野球 阪神ー広島戦の地域の関係上、  
2010年7月24日の土曜日(午後1時55分から2時50分)数分間放送します
4. テレビ朝日「ナニコレ珍百景」ホームページ

### 【5】洞窟巡検の開催について

- 5-1. 第1回巡検 8月開催の洞窟巡検は、スムーズに進行しております

【日程】8月12日(木)

【出発時間】大阪梅田発 7時50分

【行き先】岐阜県郡上市「大滝鍾乳洞」

【主催旅行社】クラブツーリズム

【ツアー名称】「長良川清流列車と水の都・郡上八幡」(コース番号:87660-060)

- 5-2. 第2回巡検 9月開催の洞窟巡検についてご案内します。自由参加

【日程】9月13日(月)

【出発時間】大阪梅田発 8時10分 (トイレ付き3列シートバス利用)

【行き先】堂ヶ島マリンクルーズにて、天窓洞など神秘の「洞窟めぐり」

「伊豆三景」を望む下田ロープウェイに乗車

【主催旅行社】クラブツーリズム

【ツアー名称】「優雅な潮騒ぎまとう・・・伊豆絶景フルコースで2日間」

### 【6】国立国会へ会員による図書等を納本

前回は、洞窟環境 NET 学会紀要納本致しました

## 洞窟環境 NET 学会(CENS)2010年8月報告

### 【1】西淀川区内の神社の由来と写真整理

1. 夏祭り参加して、地車と地域の元気な姿を撮影して、関係者に贈呈。
2. 8神社正面鳥居の高さ・柱の直径・柱内側幅に関するデータを  
「広報 にしよどがわ」2010年8月発行、「区内の神社と鳥居を学ぶ」講座で紹介
3. 神社の由来は、国際貢献と地域 PR のため、4ヶ国語に翻訳する予定、8月までは日英翻訳の草案が完成
4. 大阪市西淀川区、14小学校創立年の比較。 5. 大阪市西淀川区、公園の開設時期
6. 大阪市西淀川区、鳥居文化の建立年順調査。 7. 大阪市内各区と神社数との関係

8. 西淀川区、神社歴史を年代順に纏めた。■ 区内神社の創建関連の年表。■ 区内神社の村社・郷社に列し年表。
- 区内神社の会計規定適用指定の年表。■区内神社の幣饌料供進指定(西成郡史 1972 年)・
- 神饌幣帛料供進社(1907 年)に指定(大阪府神社史 1986 年)の年表■区内神社の鳥居の年表作成

## 【2】西淀川区民まつり(関西大学校友会西淀川支部と共催)に参加決定

1. 西淀川区民まつりが 9 月 25 日(土) 12.00-17.00 の間、西淀公園で開催
2. 区内の鳥居の写真と測量値・1500 年間の年表を展示する予定
3. 伝説・由来の関連資料(新聞13回連載)、4. 区内の鳥居模型を 20 分の 1 に制作
5. この数年間、西淀川区関連する新聞を掲載
6. 関西大学校友会西淀川支部半被を着て、地域関係と親睦を深めます
7. 鳥居の系統図、神明系鳥居と明神系鳥居の構造図を紹介します

## 【3】学会と会員活動について

1. 第1回巡検 8 月開催の洞窟巡検は、良き思い出。2. 洞窟を巡検した参加者に、紀行文をお願い
3. 本年 8 月より、「洞窟情報サロン」に「洞窟鳥居情報サロン」を増設
4. 大阪府神社庁に挨拶と文献調査を致しました
5. Caving Journal No.39.p44-45 「洞窟の分類基準案」掲載

## 【4】会員のマスコミとテレビ出演について

1. 洞窟に関する内容で、テレビ会社から、ロケ話がありました
2. 洞窟に関する内容で、8 月 19 日、ラジオ大阪より放送がありました
3. 鳥居に関する内容で、新聞社から取材がありました

## 【5】洞窟巡検の開催について

第 2 回巡検 9 月開催の洞窟巡検についてご案内します。自由参加

【日程】9 月 13 日(月)、【出発時間】大阪梅田発 8 時 10 分

【行き先】堂ヶ島マリンクルーズにて、天窓洞など神秘的「洞窟めぐり」

「伊豆三景」を望む下田ロープウェイに乗車

## 【6】第 2 号学会紀要の発刊について

- 第 2 号学会紀要は、原稿締め切りは 12 月末日。
- 会員は、貴重な人生の業績(講演や雑誌)を要約して投稿依頼
- 非会員でも、希望の方も歓迎

## 洞窟環境 NET 学会(CENS)2010 年9月報告

### 【1】西淀川区と神社のカラー今昔地図と由来について

1. 大阪市立西淀川区図書館(TEL06-6474-)主催 「郷土史講演会」に講演

タイトル:西淀川区の神社について

日 時 :平成 22 年 11 月 6 日午後 2-3

場 所 :西淀川区図書館多目的室

内 容 :西淀川区と神社のカラー今昔地図と歴史を解説(西淀川区内の 8 神社の環境と写真、西淀川区内の 8 神社の由来と特徴、西淀川区内の川・橋・島・人口の動態、講演者のビデオ)、図書館からの案内文は添付ファイルをご覧ください。

2. 神社の由来は、国際貢献と地域 PR のため、4ヶ国語に日韓翻訳の草案が完了

3. 西淀川区と神社の今昔地図(1691-2010年)を完成
4. 西淀川区の年表を完成
5. 神社の年表を完成
6. 神社用語の4ヶ国語を完成

### **【2】西淀川区民まつり(関西大学校友会西淀川支部と共催)に参加**

1. 西淀川区民祭りが9月25日(土)12.00-17.00の間、西淀公園で開催  
西淀公園中央に展示コーナー61番(特設舞台の横)
2. 関西大学校友会西淀川支部半被を着て、地域関係と親睦を深めます。

### **【3】学会と会員について**

1. 八頭司彰久氏は、8月に、大阪経済法科大学地域総合研究所の客員教授に就任
2. 熱田親憲氏は、8月に、大阪経済法科大学地域総合研究所の客員教授に就任
3. 八頭司彰久氏の推薦により  
金世徳氏(韓国科学技術部(文部科学省)の韓国語能力、兵庫地区の監督委員  
関西学院大学出身・神戸大学政治学博士・芦屋大学準教授)を相談役に委嘱任命
4. 八頭司彰久氏の推薦により  
石田信也氏(関西大学工学部建築学科卒・一級建築士・一級建築士事務所長)を  
相談役に委嘱任命

### **【4】会員のマスコミとテレビ出演について**

1. 鳥居に関する内容で、産経新聞社から掲載  
記事は添付ファイルをご覧ください。  
9月11日(土)は、大阪市内版  
9月22日(金)は、大阪市内周辺版
2. 鳥居に関する内容で、別の新聞社から掲載予定
3. 関西テレビ放送より「となりの人間国宝さん」の認定証を受理  
関連放映は、9月31日(木)か10月1日(金)朝9:55-11:25 予定  
以前は、「ガツン」殿堂入りもありました
4. 八頭司彰久氏は「大阪経済法科大学で寄付口座「リスク社会と保険」テーマに」  
保険毎日新聞、2010年8月12日掲載。
5. 八頭司彰久氏は「保険の公開講座を大阪経法大が開催」産経新聞、2010年8月31日掲載
6. 八頭司彰久氏は「経営学持論  
(リスク社会と保険)4社共同による寄付口座を開講」河内新聞、2010年9月5日掲載。
7. 河内新聞社の小山博社主が秋季集中講座のパネルディスカッションの件で八頭司彰久氏に取材

### **【5】洞窟巡検の開催について**

1. 第2回(9月)静岡県、堂ヶ島神秘の「洞窟めぐり」行いました  
あ. 静岡県の天然記念物、1600万年前の黄金崎と周辺海蝕洞窟(安山岩)  
い. 国の天然記念物、天窓洞は、海蝕洞窟(凝灰岩)  
入口が3つ、南口から入る洞口は147mの中も広く長さ、  
中央は天井が丸く抜け落ちた天窓で、洞内に光が射しこむ
2. 静岡県「稲取東海ホテル湯苑」



人工洞窟の中に、ユニークな鳥居(写真)がある

温泉の中に玄武岩の装飾品がある

3. 伊豆下神社の正面鳥居は、見学者の心を引きつけられる

## 洞窟環境 NET 学会(CENS) 2010 年 10 月報告

**【1】西淀川区の今昔地図制作**について、西淀川区と神社の今昔地図(1531-2010 年拡大)を18枚に増大

**【2】西淀川区民まつり**(参加者 1 万 5000 名)

1. 西淀川区民祭りが 9 月 25 日(土) 12.00-17.00 の間、西淀公園で開催
2. 関西大学校友会西淀川支部半被を着て、地域 1 万 5000 名人参加

**【3】学会と会員について**

1. 三宅 芳夫理事が講演、主催:経営士京滋会 タイトル: COSO フレームワークの経営診断への導入  
日時:平成 22 年 1 月 場所 :ラクトスポーツプラザ
2. 三宅 芳夫理事が講演、主催:SRM学会 日時:平成 22 年 3 月 場所:沖縄大学  
タイトル:地域社会とSRM ～中小企業に対する企業不祥事解決策の一考察
3. 三宅 芳夫理事 3 月、東京大学小山教授と「中小企業の危機管理」に関し共同研究の同意
4. 三宅 芳夫理事が講演、主催 :日本リスクマネジメント学会 タイトル:コンプライアンスとSRM  
日時:平成 22 年 9 月、場所:関西大学
5. 八頭司 彰久相監事が寄付講座講演、主催 :大阪経済法科大学 タイトル:4社による大阪経済法科大学へ  
日時:平成 22 年 10 月 25 日(月) 場所:大阪経済法科大学
6. 村田貞博相談役氏が講演予定、主催 :大阪経済法科大学、タイトル:中国経済の光と陰  
日時:平成 22 年 10 月 25 日(月)、 場所:大阪経済法科大学
7. 沢勲理事が講演予定、主催:「郷土史講演会」、タイトル:西淀川区の神社について  
日時:平成 22 年 11 月 6 日(土) 午後、 場所:西淀川区図書館多目的室

**【4】会員のマスコミとテレビ出演について**

1. 八頭司 彰久 新日本保険新聞、8 月 23 日発刊 「大阪経済法科大学で寄付講座、ヤトウジ保険センタ」
2. 八頭司 彰久監事 八尾タイムズ、8 月 30 日発刊「寄付講座『リスク社会と保険』」
3. 八頭司 彰久監事 毎日新聞、9 月 7 日発刊「リスク社会と保険をテーマにした寄付講座」
4. 沢 勲理事 産経新聞社とホームページ、9 月 11 日(土)は、大阪市内版、「鳥居が結ぶ地域の絆」
5. 八頭司 彰久監事 大阪日日新聞、9月12日発刊「リスク社会と保険テーマに公開講座、あすから大阪経法大」
6. 沢 勲理事 産経新聞社とホームページ、9 月 18 日(土)は、大阪市周辺版、「鳥居が結ぶ地域の絆」
7. 八頭司 彰久監事 9 月 13 日(月)から 17 日(金)まで、第 12 回目の合計 6 回と第 14 回目の総括のパネルディスカッションパネルディスカッションの内容は①業界の魅力②業界内の役割分担と最近までの動き、③保険業界を目指す人へ④受講生からの質問。
8. 沢 勲理事 朝日新聞社とホームページにも掲載、9 月 25 日(土)は、大阪版「地元の鳥居 歴史を語る」
9. 沢 勲理事 関西テレビ放送、10 月 1 日(金)放映「となりの人間国宝さん」の認定証を受理
10. 八頭司 彰久監事 河内新聞、10 月 5 日(火)、  
「保険代理店の現職経営者が八頭司氏に博士(経済学)取得、大学教授に」
11. 八頭司 彰久監事 新日本保険新聞、10月4日「大阪経法大で寄付講座、八頭司氏ら 4 氏が講座担当」
12. 八頭司 彰久監事 河内新聞 10 月 5 日、「4 社共同で寄付講座『リスク社会と保険』」

大阪経法大で5日間開講」と「保険代理店の現職経営者八頭司氏博士号取得、大学教授に」

13. 八頭司 彰久監事 保険毎日新聞 10月7日、「大阪経済法科大学寄付講座『リスク社会と保険』開催と「八頭司彰久氏(ヤトウジ保険センター)が教授就任 現役の代理店経営者では異例」
14. 沢 勲理事 Cable テレビ会社より 10月12日(火)にロケ終了、主催 :三関王「関西三大個人ミュージアム」  
タイトル:洞窟・鳥居情報サロン、放映日:平成22年11月1-15日間のいずれ11時からと23時から、  
チャンネル:Baycom 11Ch Digital

#### 【5】神社の鳥居模型の展示について

1. 大阪市西淀川区民まつり9月25日(土)、西淀公園で開催
2. 関西大学大阪倶楽部理事会、9月29日(土)、関西大学大阪倶楽部理事会
3. 関西大学校友会西淀川支部総会、10月9日(土)、グランビアホテル
4. 大阪市立西淀川区図書館、11月6日(土)予定 西淀川区図書館

### 洞窟環境 NET 学会(CENS)2010年11月報告

#### 【1】西淀川区文化遺産学について

CENSは、関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター発行の貴重な財産を引用しました。それは、西淀川区内にある神社(昭和10-12)を中心とする生活調査報告から文化遺産を整理しました。区民に今昔の環境が理解できるようになると思います。

#### 【2】学会と会員について

1. 村田貞博相談役氏が講演 主催:大阪経済法科大学、タイトル:中国経済の光と陰、  
日時:平成22年10月25日(月) 場所:大阪経済法科大学
2. 沢勲理事が講演終了 主催:「郷土史講演会」、タイトル:西淀川区の神社について  
日時:平成22年11月6日(土)午後、場所:西淀川区図書館多目的室
3. 藤浦淳理事が講演予定、主催:大阪経済法科大学、タイトル:レアアースと人工洞窟としての鉱山  
日時:平成22年12月8日(水)、場所:大阪経済法科大学
4. 沢勲・西山正明・石田信也が、大阪経済法科大学地域総合研究所紀要に投稿予定、「大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382年)の末社と石燈籠と鳥居・末社と石燈籠の解析および鳥居の測量値と模型製作」
5. 沢勲・西山正明・石田信也の活躍について、関大機関紙560号に「校友会ボウリング大会6人が参加し奮闘」、「平松市長も驚きと賞賛 西淀川区民まつりに参加」について掲載
6. ISSN 洞窟環境 NET 学会紀要に投稿される予定者、理事側(沢 勲、八頭司彰久、上野裕、鹿島愛彦、肥塚 義明、藤浦淳、由良 薫)、相談役(村田貞博、八木誼信、西山正明、熱田親憲(提出済み)、金世徳、石田信也)
7. 郷土文化遺産学(神社・歴史・環境・由来の4ヶ国(日米韓中)翻訳・鳥居の測量値と模型製作、国際関連、マスコミ関連、洞窟と鉱物等。

#### 【3】会員のマスコミとテレビ出演について、

1. 主催:第36回西淀川区民まつり、タイトル:地域まるごと再発見  
放映日:平成22年10月16日(土)PM8時、チャンネル:Bay Com 11Ch Digital
2. 沢 勲 Cable テレビ会社出演、主催:三関王「関西三大個人ミュージアム」、タイトル:洞窟・鳥居情報サロン  
放映日:平成22年11月6と7日両日、時間:朝11時と夜11時、チャンネル:Baycom 11Ch Digital
3. 沢 勲 Cable テレビ会社。来年1月ロケ予定、主催:「元気な先輩」、タイトル:洞窟・鳥居情報サロン  
放映日:平成23年1月予定、チャンネル:Baycom 11Ch Digital

4. 沢 勲 河内新聞掲載 11月5日、タイトル:地元文化遺産の「西淀川区内8神社の鳥居」

【4】鳥居模型の展示について、大阪市立西淀川区図書館、展示日:11月6日(土)

【5】洞窟と鳥居の写真について、

1. 鳥居の写真、大阪市立西淀川区図書館、展示日:11月6日(土)

2. 洞窟の写真、大阪経済法科大学1号館、展示日:11月15日-17日

【6】鳥居情報サロンについて写真

鳥居の模型と写真の上部に「つらら光」が10色に変化する新設

## 洞窟環境 NET 学会(CENS)2011年1月報告

【1】西淀川区文化遺産学(8神社論文完成)について

西淀川区内にある8神社(869年創建から)を中心とする文化遺産を整理しました。

区民に今昔の環境が理解できるようになると思います。

【2】学会と会員について

### 2-1. 藤浦 淳理事が講演

主 催 :大阪経済法科大学

タイトル :レアアースと人工洞窟としての鉱山

日 時 :平成22年12月8日(水)午後

場 所 :大阪経済法科大学

### 2-2. 沢勲理事が講演

主 催 :「西淀川区役所、区民連続講座」

タイトル :西淀川区の神社と鳥居を学ぶ

日 時 :平成23年1月18日(火)午後

場 所 :西淀川区役所5F大会議室

### 2-3. 沢勲理事が講演

主 催 :「東大阪東ロータリークラブ」

タイトル :洞窟バワポイント

日 時 :平成23年1月18日(木)午後

場 所 :ホテルセイリュウ

### 2-4. ISSN 洞窟環境 NET 学会紀要2号投稿者

理事8名、相談役7名

郷土文化遺産学(神社・歴史・環境・由来の4ヶ国(日米韓中)翻訳・

鳥居の測量値と模型製作、国際関連、マスコミ関連、洞窟と鉱物等。

2011年3月には、約300ページA4版で出版予定

紀要2号の購入希望者は、送料を含め出版費用として寄付3000円をお願いいたします。

### 2-5. 紀要2号の執筆者とタイトルは次のとおりであります。

1. 鹿島愛彦:巻頭言

2. 由良 薫:岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞(観光洞窟)の見学と考察—地域一体で取り組む観光洞窟資源—

3. 鹿島 愛彦:洞窟・鍾乳石と人間

4. 肥塚 義明・沢 勲:大滝鍾乳洞の鍾乳石
5. 村田貞博:中国経済「光と陰」に関する小考察
6. 藤浦 淳:レアアースと人工洞窟としての鉱山
7. 八頭司 彰久:土壌汚染リスクの移転手法としての保険
8. 熱田親憲:ネパールにおけるヨード欠乏症との戦い (ヒマラヤ山間部のヨード欠乏症に関する研究)

**神社・鳥居関係の論文は下記のとおりです。**

9. 沢 勲・肥塚 義明・北川 和孝:大阪市西淀川区、野里住吉神社(1382年)の由来と鳥居
10. 沢 勲・上野裕・西山正明:大阪市西淀川区、田蓑神社(869年)の由来と鳥居
11. 沢 勲・石田 信也・朴 永昊:大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来と鳥居
12. 沢 勲・富田 和広・北川 和孝:大阪市西淀川区、大和田住吉神社(1313年)の由来と鳥居
13. 沢 勲・西山正明・金世徳:大阪市西淀川区、福住吉神社(1656年)の由来と鳥居
14. 沢 勲・富田和広・肥塚義明:大阪市西淀川区、鼻川神社の由来と鳥居
15. 沢 勲・上野裕・西山正明:大阪市西淀川区、五社神社(1688年)の由来と鳥居
16. 沢 勲・石田信也・朴永昊:大阪市西淀川区、大野百島住吉神社(1644年)の由来と鳥居

**実践報告の資料は下記のとおりです。**

17. 本学会環境調査部、社殿の建築様式
18. 本学会環境調査部、神社鳥居の系列構造
19. 本学会環境調査部、西淀川区、8神社文化遺産の調査資料
20. 本学会環境調査部、西淀川区、神社関連資
21. 本学会環境調査部、大阪市西淀川区、神社年表
22. 本学会環境調査部、神社4ヶ国語(日英韓中)用語集
23. 本学会地域編集部、西淀川区の地図(500年間)
24. 本学会地域編集部、西淀川区民まつり
25. 本学会地域編集部、西淀川区野里夏まつり
26. 本学会地域編集部、西淀川区新聞記事

## **2-6. 沢 勲理事他 見学**

主 催 :「私学事業団」

タイトル :大阪府「七福神めぐり」

日 時 :平成23年1月10日(月)

場 所 :圓滿寺、萩の寺、服部神社、瀧安寺、西江寺、中山寺、清荒神

### **【3】会員のマスコミとテレビ出演について**

沢 勲理事 毎日新聞掲載 2011年1月5日

タイトル :西淀川区内の8神社調査、記録と模型

### **【4】鳥居模型の展示について**

大阪市西淀川区役所 5F 大会議室

展示日:2011年1月18日(火)

### **【5】洞窟と鳥居の写真について**

大阪市西淀川区役所 5F 大会議室

展示日:2011年1月18日(火)





### 【6】鳥居情報サロンについて写真

鳥居の模型と写真の上部に「つらら光」が 10 色に変化する新設した。  
紅白と白色の紙垂を増設した。

### 【7】国立国会図書館 収集書誌部より論文・書籍の寄贈のお礼あり

学会の論文・書籍を 85 点寄贈いたしましたお礼であります。

### 【8】お知らせ

<お知らせ 1>

関西大学校友会八尾支部長中尾達夫より

「歩こう会(八尾史跡めぐり)のお知らせ」がありました。

開催日:3月27日(日)午前10時 JR 八尾駅南改札口集合

洞窟環境 NET 学会の沢勲会長の解説もあり

参加ご希望の方は、3月21日(日・春分の日)までに

以下の問合せ先へお申し込みください。

**中尾達夫**

電話番号・FAX:072-998-3526

携帯電話:090-9877-5700

Eメール:jn3wdy@kj9.so-net.ne.jp

<お知らせ 2>

関西大学校友会西淀川支部と洞窟環境 NET 学会共催の

「寺社仏閣の探訪会」を7月下旬に開催する予定です。

区民の関係者ばかりではなく、小中学生と障害者と共に歩く会を計画しております。

## 3.活動報告総目録(2009・2010年度)

研究報告として、紀要には、過去2年間(2009・2010)活動した総目録は次の通りである。すなわち、1.テレビ・ラジオ出演9件、2.新聞等記事47件、3.展示会20件、4.講演35件と5.論文45件で、計177件である。

	年月日	1.テレビ・ラジオ出演(9件)	組織名
1	2009年05月05日	沢 勲:自宅を改造し洞窟資料館(浜村淳)	毎日放送ラジオ(1179kHz)
2	2009年05月19日	沢 勲:こんちわコンちゃんお昼ですよ(近藤光史)	毎日放送ラジオ(1180kHz)
3	2009年06月03日	沢 勲:ちちんぷいぷい(角純一・小藪千豊)	毎日テレビ(MBC・4ch)
4	2009年10月01日	沖本理事出演:市民の目線から見た里山ガーデンとエコ生活、おはよう朝日です 沖本 裕司	テレビ朝日
5	2010年07月24日	沢 勲:ナニコレ珍百景	テレビ朝日
6	2010年08月19日	沢 勲:洞窟に関する話し	ラジオ大阪
7	2010年10月01日	沢 勲:「となりの人間国宝さん」	関西テレビ放送
8	2010年10月16日	第36回西淀川区民まつり、地域まるごと再発見	Bay Com 11Ch Digital
9	2010年11月06日	沢 勲:洞窟・鳥居情報サロン10日間 三関王「関西三大個人ミュージアム」	Baycom 11Ch Digital

	年月日	2.新聞等記事(47件)	組織名
1	2009年04月01日	エクステリアアイデア118(沖本)	学習研究社 ドゥーバ14月号
2	2009年04月21日	政府は21世紀型産業の推進急げ(論風)(三宅芳夫)	フジサンケイ ビジネスアイ
3	2009年04月21日	保険代理店を経営(八頭司)	日刊工業新聞
4	2009年04月25日	洞窟の神秘を再現する「洞窟情報サロン」初公開(沢)	河内新聞
5	2009年05月05日	自宅を改造し洞窟資料館(沢)	毎日新聞
6	2009年05月22日	環境汚染問題と損保会社のあり方(八頭司)	保険毎日新聞
7	2009年05月25日	NPO法人洞窟環境NET学会、理事会で初顔合わせ(沢)	河内新聞
8	2009年06月27日	洞窟の魅力発掘-模型・溶岩など展示「子供の好奇心刺激」(沢)	産経新聞
9	2009年07月01日	手づくりの洞窟博物館「洞窟情報サロン公開」(沢)	日本一明るい経済新聞
10	2009年07月04日	洞窟研究 自宅に資料館(沢)	読売新聞
11	2009年07月18日	自宅開放、集う場所に(洞窟再現)(沢)	朝日新聞
12	2009年08月15日	沢 勲:学びの区民連続講座「わがまち 西淀川区って こんなん しつとこ！」	西淀川区役所の広報 にしよどがわ
13	2009年10月01日	沢 勲:ユニークな展示物で夢を与える斬新なサロン	COMVO Vol.138
14	2009年10月05日	沢 勲:ますます充実 洞窟情報サロントルコの住居模型入手	河内新聞
15	2009年11月05日	沢 勲:神秘的な洞窟写真公開-大阪経法大で-	産経新聞
16	2009年11月15日	沢 勲:理系初の学長・校友会会長就任祝う 工卒代議員と電友会が合同で	関大新聞
17	2009年11月15日	沢 勲:沢教授の「洞窟展」大好評-大阪経法大・経法祭で-	河内新聞

18	2010年01月01日	沢 勲:沢勲会長が河内新聞社の名誉顧問に就任	河内新聞
19	2010年01月29日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学環境市民講座開催コーディネータ	保険毎日新聞
20	2010年02月01日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学環境市民講座開催コーディネータ	新日本保険新聞
21	2010年02月01日	沢 勲:洞窟博士(沢勲氏)の講座について	西淀川区役所生涯学習だより Vol.58
22	2010年02月05日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学環境市民講座開催コーディネータ	河内新聞
23	2010年03月01日	沢 勲:区役所図書館に「神秘の世界:カット・グラスと洞窟」	西淀川区役所生涯学習だより Vol.59
24	2010年03月01日	沢 勲:区役所図書館に「洞窟博士」沢勲さんの洞窟学パネル	西淀川区役所の広報 にしよどがわ No.165
25	2010年03月01日	沢 勲:西淀川区人権啓発推進協議会主催の区民連続講座	西淀川区人権啓発推進協議会だより 「おもしろい」 No.2
26	2010年03月23日	沢 勲:住み開き「さわ洞窟ハウス なんと自宅で博物館」	大阪市・企画運営:慶展院寺倶楽部 、p.4・5
27	2010年04月06日	沢勲:自宅空いた場所開放	読売新聞
28	2010年04月06日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学環境市民講座開催公開座:環境問題へのアプローチ講演	保険毎日新聞
29	2009年07月14日	熱田親憲:「ヨード欠乏症」根絶にかける-ネパールこぶ取り物語	毎日新聞
30	2010年08月12日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学で寄付講座、ヤトウジ保険センター	保険毎日新聞
31	2010年08月23日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学で寄付講座、ヤトウジ保険センター	新日本保険新聞
32	2010年08月30日	八頭司 彰久:寄付講座「リスク社会と保険」	八尾タイムズ
33	2010年08月31日	八頭司 彰久:保険の寄付講座を大阪経法大が開催、ヤトウジ保険センター	産経新聞社
34	2010年09月05日	八頭司 彰久:経営学特論(リスク社会と保険)4社共同による寄付講座を開催	河内新聞
35	2010年09月07日	八頭司 彰久:寄付講座:リスク社会と保険をテーマにした寄付講座	毎日新聞
36	2010年09月11日	沢勲:鳥居が結ぶ地域の絆(大阪版)	産経新聞社とホームページ
37	2010年09月12日	八頭司 彰久:リスク社会と保険テーマに公開講座	大阪日日新聞
38	2010年09月18日	沢勲:鳥居が結ぶ地域の絆(阪神版)	産経新聞社とホームページ
39	2010年09月25日	沢勲:地元の鳥居 歴史を語る(大阪版)	朝日新聞社とホームページ
40	2010年10月04日	八頭司 彰久:大阪経法大で寄付講座、八頭司氏ら4氏が講座担当	新日本保険新聞
41	2010年10月05日	八頭司 彰久:保険代理店の現職経営者が八頭司氏に博士(経済学)取得、大学教授に	河内新聞
42	2010年10月05日	八頭司 彰久:4社共同で寄付講座『リスク社会と保険』大阪経法大で5日間開講	河内新聞
43	2010年10月07日	八頭司 彰久:大阪経済法科大学寄付講座『リスク社会と保険』開催と「八頭司彰久氏(ヤトウジ保険センター)が教授就任 現役の代理店経営者では異例	保険毎日新聞
44	2010年09月07日	沢勲・西山正明・石田信: 平松市長も驚きと賞賛 西淀川区民まつりに参加	関大機関紙560号
45	2010年11月05日	沢勲:地元文化遺産の「西淀川区内8神社の鳥居」	河内新聞
46	2011年01月05日	沢勲:西淀川区内の8神社調査、記録と模型	毎日新聞とホームページ
47	2011年01月10日	八頭司 彰久:環境保健 仕組みと役割発信(阪神版)	産経新聞社

年月日	3. 展示会(20件)	開催場所
-----	-------------	------

1	2009年06月22日	世界の洞窟展(4日間)	大阪経済法科大学1号館
2	2009年11月07日	神秘的な洞窟の世界―「世界遺産 洞窟写真展」(2日間)	大阪経済法科大学(3号館教室)
3	2009年11月07日	約3億年前から形成された秋芳洞にある光輝く鍾乳石	大阪経済法科大学(3号館教室)
4	2009年11月07日	富士山(噴火時10万年前～約1万年前)の最高峰付近(標高2630m)にある洞窟の溶岩	大阪経済法科大学(3号館教室)
5	2009年11月07日	静岡県伊豆大島の軽石(3万年前に海面に隆起、100～200年一度の爆発、最近1912年～14年に噴火)	大阪経済法科大学(3号館教室)
6	2009年11月07日	洞窟関連の書籍と論文	大阪経済法科大学(3号館教室)
7	2009年11月07日	洞窟関連のDVD上映	大阪経済法科大学(3号館教室)
8	2009年12月09日	石灰岩洞窟の写真と石灰岩と書籍	相馬達雄弁護士忘年会 (ANAクラウンプラザホテル)
9	2009年12月16日	石灰岩洞窟の写真と石灰石・玄武岩・岩塩と書籍	西淀川区「学びの区民連続講座」 大阪市西淀川区役所大会議室
10	2010年03月02日	石灰岩洞窟の写真(1ヶ月間)	大阪市西淀川区役所図書館
11	2010年04月01日	石灰岩洞窟の写真(1ヶ月間)	大阪市西淀川区役所図書館
12	2009年11月07日	世界の洞窟展(4日間)	大阪経済法科大学、1号館ロビ-
13	2009年09月25日	西淀公園で開催時の鳥居写真、鳥居模型	大阪市西淀川区民まつり
14	2009年09月29日	関西大学大阪倶楽部理事会、鳥居模型	関西大学大阪倶楽部理事会
15	2010年10月09日	グランビアホテル、鳥居模型	関西大学校友会西淀川支部総会
16	2010年11月06日	西淀川区図書館会議室、鳥居模型	大阪市立西淀川区図書館
17	2010年11月15日	世界の洞窟展(4日間)	大阪経済法科大学、1号館ロビ-
18	2011年01月18日	鳥居模型の展示について	大阪市西淀川区役所5F大会議室
19	2011年01月18日	鳥居の写真について	大阪市西淀川区役所5F大会議室
20	2011年01月18日	LEDのしめ縄と紅白と白色の紙垂を増設	鳥居情報サロン

	年月日	4. 講演 (35件)	組織名
1	2009年04月26日	洞窟情報サロン見学	西淀川区野里子供会の有志
2	2009年05月28日	沢 勲:洞窟鉱物と洞窟環境、鹿島 愛彦	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
3	2009年06月03日	沢 勲:学びの区民連続講座(企画会議)	西淀川区人権啓発推進協議会・同区 生涯学習区民会議共催
4	2009年06月03日	沢 勲:自宅を使った文化的な試みを見学する団体(下見の協議)	築港ARC(アトリソースセンター by Outenin)
5	2009年06月05日	沢 勲:洞窟情報サロン見学	関西大学理工学部評議員有志
6	2009年06月13日	沢 勲:洞窟の自然環境と人間について	関西大学千里山法律学会OBの睦法 会
7	2009年07月18日	沢 勲:自宅を使った洞窟情報サロンの社会的な価値	築港ARC(アトリソースセンター by Outenin)
8	2009年08月11日	沢 勲:洞窟情報サロンの展示品について	大阪大学 外国語学部・文学部学生有志
9	2009年08月14日	沢 勲:洞窟情報サロンの展示品について	兵庫県宝塚市民有志
10	2009年09月20日	沢勲・鹿島愛彦・勝間田隆吉: 大学講義テキスト『洞窟科学入門―写真と図解』	日本洞窟学会第35回大会・ 秋吉台大会
11	2009年09月20日	沢勲:洞窟ハウス「洞窟情報サロン」の公開	日本洞窟学会第35回大会・ 秋吉台大会
12	2009年09月20日	沢勲:洞窟情報サロンの展示品について	八尾市民の有志
13	2009年09月30日	沢勲:洞窟情報サロンの展示品について	(社)アジア協会アジア友の会
14	2009年10月13日	沢勲:毎日TV(となりのマエストロ)取材として	東京の毎日TV系の やんわか商店TV制作のディレクター
15	2009年11月25日	沢勲:さわ洞窟ハウス	関西大学理工学部卒(西淀川区民)



16	2009年11月26日	沢勲:洞窟情報サロンについて	(社)アジア協会アジア友の会
17	2009年11月30日	沢勲:洞窟情報サロンについて見学	大阪社会福祉協議会 大阪市民ボランティア情報センター
18	2009年12月05日	沢勲:さわ洞窟ハウスについて	阿倍野区民
19	2009年12月08日	沢勲:洞窟情報サロンについて	西淀川区「学びの 区民連続講座」企画会議メンバー
20	2009年12月09日	沢勲:神秘的な洞窟光景を楽しむ	相馬会の忘年会
21	2009年12月10日	藤浦 淳:産業遺構、人工洞窟としての鉱山	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
22	2009年12月16日	沢勲:神秘的な洞窟宝庫を楽しむ	学びの区民講座- 「わが町 西淀川区」
23	2010年01月21日	沢勲:洞窟の話し	(社)アジア協会アジア友の会
24	2010年02月09日	沢勲:さわ洞窟ハウスを楽しむ方法	学びの区民講座- 「わが町 西淀川区」
25	2010年02月17日	藤浦 淳:さわ洞窟ハウスの動画と静止画から洞窟を楽しむ	学びの区民講座- 「わが町 西淀川区」
26	2010年03月19日	八頭司 彰久:環境市民講座 「環境問題へのアプローチ-環境と共生するためのライフスタイル」	大阪経済法科大学地域総合研究所
27	2010年06月23日	八頭司 彰久:「金融投資問題と法」の「投資性の強い 生命保険など」	大阪経済法科大学法学部八尾 市連携公開講座「地域生活と 法」
28	2010年06月28日	川瀬辰男:新聞力とは-ジャーナリスト志望者のために	大阪経済法科大学 講座「情報科学論」
29	2010年09月21日	三宅芳夫:コンプライアンスとSRM、	日本リスクマネジメント学会
30	2010/9/13~ 2010/9/17	八頭司 彰久:大学コンソーシアム大阪提供科目「経営学特論(リ スク社会と保険)」講演、最終日の第14回目はパネルディスカッ ション	大阪経済法科大学経済学部秋 季集中公開寄付講座
31	2010年10月25日	村田貞博:中国経済の光と陰	大阪経済法科大学 講座「情報科学論」
32	2010年11月06日	沢勲:西淀川区の神社について	西淀川区図書館、郷土史講演会
33	2010年12月08日	藤浦淳:レアアースと人工洞窟としての鉱山	大阪経済法科大学 講座「洞窟の自然と人間」
34	2011年01月18日	沢勲:西淀川区の神社と鳥居を学ぶ	西淀川区役所、生涯教育講座
35	2011年01月20日	沢勲:世界の洞窟について	東大阪東ロータリークラブ例会

	年月日	5. 論文と資料(45件)	雑誌名
1	2010年03月23日	沢 勲:さわ洞窟ハウス なんと自宅で博物館	大阪市発行の住み開き 4p、2010
2	2010年03月31日	上野 裕:「小京都」論と「大京都」形成	大阪経済法科大学地域総合研究所 紀要、2/、91-100、2010。
3	2010年03月31日	鹿島 愛彦:四国の下部更新統にみとめられる氷食礫とその地質 学的意義	大阪経済法科大学地域総合研究所 紀要、2/、139-154、2010。
4	2010年03月31日	沢 勲・肥塚義明:地域に貢献する洞窟模型の製作-ミニ洞窟・ 洞窟写真・洞窟模型の製作・4ヶ国語(日英韓中)用語-	大阪経済法科大学地域総合研究所 紀要、2/、155-164、2010。
5	2010年03月31日	由良 薫:巻頭言	洞窟環境NET学会紀要、 1/、1、2010。
6	2010年03月31日	鹿島 愛彦:洞窟鉱物と洞窟環境	洞窟環境NET学会紀要、 1/、3-6、2010。
7	2010年03月31日	梶川 伸:小豆島遍路と洞窟霊場の魅力	洞窟環境NET学会紀要、 1/、7-12、2010。
8	2010年03月31日	八頭司彰久:桑名氏によるアンケート調査に即した環境保険の研究	洞窟環境NET学会紀要、 1/、13-18、2010。
9	2010年03月31日	上野 裕:都市イメージと都市活性化 - 「小京都」から「ゆるキャ ラ」まで -	洞窟環境NET学会紀要、 1/、19-22、2010。

10	2010年03月31日	藤浦 淳:産業遺構、人工洞窟としての鉱山跡論考	洞窟環境NET学会紀要、 1/、23-30、2010。
11	2010年03月31日	沢 勲・肥塚義明:洞窟情報サロンの火山洞窟模型と社会貢献 —洞窟写真・火山模型の製作・4ヶ国語(日英韓中)用語	洞窟環境NET学会紀要、 1/、31-38、2010。
12	2010年03月31日	沢 勲・上野 裕・肥塚義明:洞窟における模型製作と3ヶ国語 (日英韓)の解説、	洞窟環境NET学会紀要、 1/、39-43、2010。
13	2010年03月31日	肥塚義明・沢 勲:トルコ、カッパドキアの人工洞窟の調査—宗教 洞窟・絵画洞窟・地下洞窟—	洞窟環境NET学会紀要、 1/、45-50、2010。
14	2010年03月31日	環境編集部:洞窟の分類基準と系統図	洞窟環境NET学会紀要、 1/、51-53、2010。
15	2010年03月31日	環境編集部:伊勢神宮の外宮と内宮の環境芸術	洞窟環境NET学会紀要、 1/、55-57、2010。
16	2010年03月31日	環境編集部:野里住吉神社の神木の環境芸術	洞窟環境NET学会紀要、 1/、58-60、2010。
17	2010年03月31日	環境編集部:洞窟写真展(大阪市西淀川区役所・大阪経済法科 大学学園祭)	洞窟環境NET学会紀要、 1/、61-63、2010。
18	2010年08月08日	沢 勲:洞窟の分類基準案	ケイビングジャーナル、39/44- 45,2010
19	2011年03月31日	沢勲・西山正明・石田信也:「大阪市西淀川区、野里住吉神社 (1382年)の末社と石燈籠と鳥居	大阪経済法科大学地域総合研究所 紀要、3/、x-xx、2011。
20	2011年03月31日	鹿島愛彦:巻頭言	洞窟環境NET学会紀要、 2/、1、2011。
21	2011年03月31日	由良 薫:岐阜県郡上市、大滝鍾乳洞(観光洞窟)の見学と考察 —地域一体で取り組む観光洞窟資源—	洞窟環境NET学会紀要、 2/、3-10、2011。
22	2011年03月31日	鹿島 愛彦:洞窟・鍾乳石と人間	洞窟環境NET学会紀要、 2/、11-17、2011。
23	2011年03月31日	肥塚 義明・沢 勲:大滝鍾乳洞の鍾乳石	洞窟環境NET学会紀要、 2/、19-23、2011。
24	2011年03月31日	村田貞博:中国経済「光と陰」に関する小考察	洞窟環境NET学会紀要、 2/、25-29、2011。
25	2011年03月31日	藤浦 淳:レアアースと人工洞窟としての鉱山	洞窟環境NET学会紀要、 2/、31-36、2011。
26	2011年03月31日	八頭司 彰久:土壌汚染リスクの移転手法としての保険	洞窟環境NET学会紀要、 2/、37-40、2011。
27	2011年03月31日	熱田親憲:ネパールにおけるヨード欠乏症との戦い (ヒマラヤ山 間部のヨード欠乏症に関する研究)	洞窟環境NET学会紀要、 2/、41-46、2011。
28	2011年03月31日	沢 勲・肥塚 義明・北川 和孝:大阪市西淀川区、野里住吉神社 (1382年)の由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、47-66、2011。
29	2011年03月31日	沢 勲・上野裕・西山正明:大阪市西淀川区、田蓑神社(869年)の 由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、67-85、2011。
30	2011年03月31日	沢 勲・石田 信也・朴 永炅:大阪市西淀川区、姫嶋神社の由来 と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、87-105、2011。
31	2011年03月31日	沢 勲・富田 和広・北川 和孝:大阪市西淀川区、大和田住吉神 社(1313年)の由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、107-126、2011。
32	2011年03月31日	沢 勲・西山正明・金世徳:大阪市西淀川区、福住吉神社(1656 年)の由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、127-144、2011。
33	2011年03月31日	沢 勲・富田和広・肥塚義明:大阪市西淀川区、鼻川神社の由来 と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、145-162、2011。
34	2011年03月31日	沢 勲・上野裕・西山正明:大阪市西淀川区、五社神社(1688年) の由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、163-181、2011。
35	2011年03月31日	沢 勲・石田信也・朴永炅:大阪市西淀川区、大野百島住吉神社 (1644年)の由来と鳥居	洞窟環境NET学会紀要、 2/、183-201、2011。
36	2011年03月31日	本学会環境調査部、社殿の建築様式	洞窟環境NET学会紀要、 2/、203-205、2011。
37	2011年03月31日	本学会環境調査部、神社鳥居の系列構造	洞窟環境NET学会紀要、 2/、206-210、2011。
38	2011年03月31日	本学会環境調査部、西淀川区、8神社文化遺産の調査資料	洞窟環境NET学会紀要、 2/、211-217、2011。

39	2011年03月31日	本学会環境調査部、西淀川区、神社関連資	洞窟環境NET学会紀要、 2/、218-221、2011。
40	2011年03月31日	本学会環境調査部、大阪市西淀川区、神社年表	洞窟環境NET学会紀要、 2/、222-228、2011。
41	2011年03月31日	本学会環境調査部、神社4ヶ国語(日英韓中)用語集	洞窟環境NET学会紀要、 2/、229-235、2011。
42	2011年03月31日	本学会地域編集部、西淀川区の地図(500年間)	洞窟環境NET学会紀要、 2/、236-253、2011。
43	2011年03月31日	本学会地域編集部、西淀川区民まつり	洞窟環境NET学会紀要、 2/、254-258、2011。
44	2011年03月31日	本学会地域編集部、西淀川区野里夏まつり	洞窟環境NET学会紀要、 2/、259-262、2011。
45	2011年03月31日	本学会地域編集部、西淀川区新聞記事	洞窟環境NET学会紀要、 2/、263-274、2011。

	年月日	6.フィールドワーク(22件)	機関名
1	2009年09月13日	トルコ共和国、ピエラボリスの人工石灰棚と温泉保養地	洞窟環境NET学会
2	2009年09月14日	トルコ共和国、バムッカレの人工石灰棚と温泉保養地	洞窟環境NET学会
3	2009年09月15日	トルコ共和国、カッパドキアのカイマフルの地下都市	洞窟環境NET学会
4	2009年09月16日	トルコ共和国、カッパドキアの洞窟教会、洞窟住居、奇岩	洞窟環境NET学会
5	2010年01月11日	野里住吉神社の樹木環境	洞窟環境NET学会
6	2010年01月16日	野里住吉神社の樹木環境	洞窟環境NET学会
7	2010年01月19日	清荒神の樹木環境と鳥居の調査	洞窟環境NET学会
8	2010年01月23日	野里住吉神社の本殿と拝殿の撮影	洞窟環境NET学会
9	2010年02月11日	なばなの里-LEDトネルとオーロラ(火山噴火連想)	洞窟環境NET学会
10	2010年02月13日	野里住吉神社の鳥居の測量	洞窟環境NET学会
11	2010年02月13日	野里住吉神社の淀川戎神社の拝殿の撮影	洞窟環境NET学会
12	2010年02月20日	野里住吉神社の一夜宮女の行列を撮影	洞窟環境NET学会
13	2010年03月19日	野里住吉神社の鳥居の測量	洞窟環境NET学会
14	2010年03月21日	日本最古の大宮神社や檜原神社の鳥居調査	(社)アジア協会アジア友の会
15	2010年03月22日	野里住吉神社の鳥居の測量と撮影	洞窟環境NET学会
16	2010年03月26日	野里住吉神社の鳥居の測量と撮影	洞窟環境NET学会
17	2010年04月17日	愛媛県内子市古い町並みにある鳥居の撮影	洞窟環境NET学会
18	2010年04月17日	香川県金刀比羅宮鳥居の測量と撮影	洞窟環境NET学会
19	2010年08月12日	岐阜県郡上市「大滝鍾乳洞」	洞窟環境NET学会
20	2010年09月13日	堂ヶ島マリンクルーズにて、天窓洞など神秘の「洞窟めぐり」	洞窟環境NET学会
21	2010年11月28日	紅葉の湖南三山-常楽寺、長寿寺、善水寺を訪ねて	関西大学大阪倶楽部
22	2011年01月10日	大阪府「七福神(圓滿寺、萩の寺、服部神社、瀧安寺、西江寺、中山寺、清荒神)めぐり」	私学事業団

## 地元文化遺産の「西淀川区内8神社の鳥居」

### 測量/模型製作/写真資料/伝聞に基づく歴史研究

#### ●魅力満載の鳥居写真と測量値と模型製作

神社の象徴である鳥居。高層ビルの谷間にあっても肅然とした存在感を示す日本の原風景でもある。しかし、そのルーツとなると諸説入り乱れて判然としない。中国からインド、遠くは中東地域にまで起源を求める議論さえある。また、神域と俗界との結界を示す「門」としての原型は極めてシンプルなものだが、細部を見て行くと実に様々な様式を備えている。私の住む大阪市西淀川区にも8つの神社があり、それぞれ文化遺産としての特徴を持っている。地域の要請もあって、いずれも私が関係する関西大学校友会西淀川支部と洞窟環境NET学会の合同で昨年

まず、詳細な測量を行って、外見上の特徴を把握、鳥居模型を制作した。その上で神社に関わる文献を精査して神社・鳥居の由来などを調べた。その結果、これら神社は西暦869年ごろから1688年ごろにかけて創建され、数々の歴史上のドラマに遭遇してきた“証人”であることが判明。近年では水害・台風・空襲・震災によって受けた壊滅的な打撃を乗り越えて生き残って来た。こうした貴重な文化遺産を記録し、後世に伝えようとまとめたのが本記録である。

地元の歴史に親しんでもらうきっかけにさせていただきたいと思い、各神社やさわ洞窟ハウスに展示することになっている。「区民まつり」や「生涯学習」の教材などとして利用していただければ幸いである。また、豊かな情操教育の必要が求められている子どもたちに、神話や昔話も出てくる神社や鳥居のお話に関心を持ってもらいたいと願っている。

一方、国際化時代に対応するため、神社の伝説を含めた区内の歴史をはじめ、関連する神社用語、神社用語解説、神社伝承の由来について多国語(日韓中英)の解説を纏めたいと思い、作業を進めている。

#### ●8神社への地元文化遺産の贈呈品(写真114点、パネル32点)

- 1.野里住吉神社-創建1382年、写真(社殿内部6枚、淀川戎12枚、文化財の一夜官女11枚、末社6枚、樹木12枚、本殿1枚と鳥居5枚の計53点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計56点
- 2.田蓑神社-創建869年、写真(本殿1枚と鳥居5の計6点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計9点
- 3.姫嶋神社-創建不詳、写真(本殿1枚と鳥居4枚の計5点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計8点
- 4.大和田住吉神社-創建1320年、写真(本殿1枚と鳥居3枚の計4点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計7点
- 5.福住吉神社-創建1656年、写真(本殿1枚と鳥居5枚の計6点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計9点
- 6.鼻川神社-創建不詳、写真(本殿1枚と鳥居3枚の計4点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計7点
- 7.五社神社-創建1688年、写真(本殿1枚と鳥居5枚の計6点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計9点
- 8.大野百鳥住吉神社-創建1644年、写真(本殿と鳥居5枚の計6点)、神社由来・測量データ2点を合わせると計9点

#### ●さわ洞窟ハウスに展示(写真と由来文67点、パネル8点、鳥居模型12基)

8神社の本殿と鳥居写真の8パネルおよび神社由来文と測定分析の16パネル、測量値の1パネル、洞窟模型12基

#### ●主な内容

調査協力	測量:西山正明と西谷真志、模型製作:北川和孝、写真:二村 豊、藤田浩史、肥塚義明ほか多数
撮影場所	神社の本殿写真と鳥居写真
測量期間	2010年1月から2010年6月
測量地点	西淀川区内、鳥居の写真と測量

#### ●関連ホームページ

[www.sawaisao.com/](http://www.sawaisao.com/)  
[www.cave-ens.com/cave/jinja.html](http://www.cave-ens.com/cave/jinja.html)

#### ●連絡先

お問い合わせは、沢 勲(Isao SAWA)宛。  
自宅 FAX 06-6471-6686 E-mail: sawaisao@nifty.com



野里住吉神社の鳥居と測量風景



～ 平成22年度 学びの区民連続講座 ～

# わかまち西淀川区ってこんな知っとこ!

参加費無料

ただし、第2回については  
一部自己負担あり

西淀川区の歴史・文化・現況などについて楽しく学びませんか。  
引っ越してきたばかりで区のことを知りたいな…とお思いの方、  
区民だけど、区のことをあまり知らないな…と思った方など、  
初めての方もぜひご参加ください。



西淀川区マスコット  
キャラクター  
『に～よん』

	開催日時	場 所	内 容
第1回	9月29日(水) 午後2時～4時	西淀川区役所	開講式 西淀川区と淀川(講座) 講師:大澤 研一さん(大阪歴史博物館学芸員) 協力:大阪歴史博物館
第2回	10月20日(水) 午後2時～4時	大阪歴史博物館	特別展「新淀川100年 水都大阪と淀川」 (担当学芸員による特別展の解説と観覧) ※会場までの交通費及び入館料は自己負担となります。
第3回	11月16日(火) 午後2時～4時	西淀川区役所	多文化共生について(講座) 講師:神原 文子さん(神戸学院大学教授)
第4回	12月2日(木) 午後2時～4時	環境局 西淀工場	西淀川の環境(公害)について(講座) 講師:上田 敏幸さん(あおぞら財団研究員) 西淀工場の見学
第5回	1月18日(火) 午後2時～4時	西淀川区役所	西淀川区の神社と鳥居を学ぶ(講座) 講師:沢 勲さん(大阪経済法科大学名誉教授) 修了式

(※日程・内容等を変更する場合があります。)

**【申込み】** 往復はがきに「住所・氏名・連絡先」を記入のうえ、

〒555-8501 西淀川区御幣島1-2-10

区役所人権生涯学習担当「学びの連続講座」係へ

9月10日(金)《当日消印有効》までにお申込みください。



**【問合せ】** 西淀川区役所人権生涯学習担当 TEL 6478-9899

【主催】西淀川区生涯学習推進区民会議・西淀川区人権啓発推進協議会

【企画】連続講座企画会議(人権啓発・生涯学習推進員)

きょうとしこうえんかい  
郷土史講演会

# にしよどがわく じんじゃ 西淀川区の神社について

さわいさおせんせい おおさかけいざいほうかだいがくめいよ きょうじゅ  
沢 勲 先生(大阪経済法科大学名誉教授)

【 講師経歴 】

元 関西大学講師・近畿大学講師  
元 大阪経済法科大学教授  
担当科目「洞窟の自然と人間」「情報科学論」  
元 大阪府職業訓練技能照査審査会委員  
空手道糸東流(範士・教士・師範・八段)  
NPO法人「洞窟環境NET学会」会長  
著書「情報科学入門」「洞窟科学入門」  
洞窟探検:約30ヶ国300ヶ所  
西淀川区野里の自宅向かいの別宅「洞窟情報サロン:さわ洞窟ハウス」1・2階に洞窟世界を再現、世界の洞窟写真と解説、自宅地下「さわミニ洞窟」には、世界の洞窟の鍾乳石などを展示。  
「鳥居情報サロン」を増設。



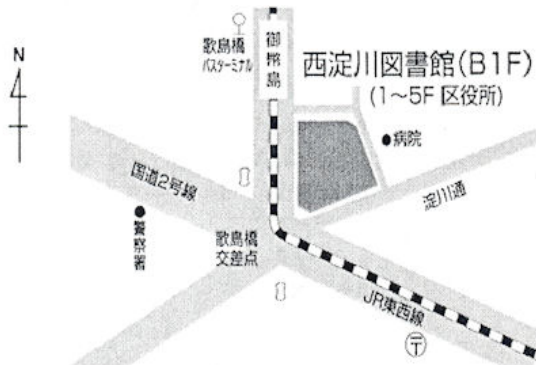
にちじ へいせい  
【日時】平成22年11月6日(土)午後2時から3時まで

ばしょ にしよどがわとしよかんたもくてきしつ  
【場所】西淀川図書館多目的室

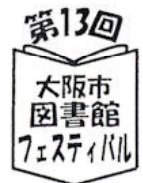
たいしょう にょうようじ にょうじょう ことわ  
【対象】乳幼児の入場は、お断りいたします。

ていりん じゅんび つごうじょう らいかんじ であんわ もうしこみ  
【定員】40名。準備の都合上、あらかじめ、来館時や電話で、お申込ください(席があれば、当日飛び入り参加も可能です)。

沢先生とそのチームは、平成22年1月から7月にかけて、区内8神社の鳥居について、現地調査をし、精密な測量をされました。その上で、神社に関わる文献を精査して、神社・鳥居の由来などを調べられました。その結果、これら神社は西暦869年ごろから、1688年ごろにかけて創建され、数々の歴史上のドラマに遭遇してきた「証人」であることが申しました。そして、こうした貴重な文化遺産を記録し、後世に伝えようと記録をまとめられました。この講演会では、先生に、研究の一端を、わかりやすく、お話しいただくものです。



といあわ おおさかしりつにしよどがわとしよかん  
お問合せ:大阪市立西淀川図書館 TEL 6474-7900.



あたらしい区のマスコット「にーよん」



## 『洞窟環境NET学会紀要』投稿要項・編集委員会規則抄

### 1. 紀要の目的

本学会の定期刊行物である紀要は、洞窟・環境・NETに関する論文、その他この分野の学術進歩、地域発展に役立つ知識、情報を提供し、広く社会発展に寄与する目的で刊行する。

### 2. 投稿の資格

投稿原稿の著者（連名を含む）は、本学会の会員でなければならない。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

### 3. 投稿の原稿

収録内容は、論文（原著、短報）、研究レポート（洞窟環境NET報告を含む）、研究ノート、学術交流講演、巻頭言、研究・学会動向、市民講座要旨、共同研究会要旨を主たるものとし、その他編集委員会が必要と認めた原稿とする。原稿は、邦文、英文を問わない。

### 4. 投稿の手続き

表紙、要旨、本文、図、表とともに正副2部（ただし1部はコピーでも可）を12月10日まで、事務局に提出する。

### 5. 原稿用紙と書き方

(1) **原稿用紙**は、横書きで、ワードプロセッサによるもので、A4版の原稿用紙を用い、9ポイントの活字を用いる。句読点、引用符等は1字として1マスとする。原稿用紙で6枚を上限とする。

(2) **表紙**には、表題、著者名、著者の所属機関を明記。表題（邦文および英文）は、行の左詰めで記載する。副題のある場合は、その前にハイフンを入れる。著者名（ふりがな）は行の右詰めで記載する。複数著者の場合、著者名を「・」で区切り、著者名の右肩に\*、\*\*の記号を付け、行を変えて機関名を記載する。論文の場合は、和文の表題、著者名の後に行を変えて、英文の表題、著者名を記載（表題例1、例2）する。

(3) **英文要旨**は、著者が強調したいものを含め、目的、方法、結果について要約したものとする。

(4) キーワードは、5つ以内にし、英文をつける。

(5) 著者校正は1回。印刷上の誤り以外の訂正は原則として認めない。

(6) 図、表、写真は別紙とする。図表等の挿入個所を本文原稿の右欄外に朱筆で指定する。

#### (7) 引用文献と参考文献

本文の引用個所の右肩に小片括弧を付して番号を記入し、本文の末尾にまとめる。（表題例1、例2）

著者名が複数の場合は“and”を用いずにすべてコンマで区切る。（表題例1、例2）

雑誌の場合は、著者名：表題、雑誌名、巻(号)、ページ、発行年(西暦)の順に記載する。（文献例3、例4）

単行本の場合は、編者名：書名（版数）、発行所、外国文献は発行地、発行年(西暦)の順に記載する。（文献例5）

### 6. 論文審査

投稿された原稿については査読を行う。査読は、投稿された論文の専門分野に近い編集委員と外部査読委員とする。

#### 【表題例1】 洞窟と環境の情報教育

鎌田 千里\*・万里 小百合\*\*・木村 久美子\*\*

\*△▲大学教授・\*\*（株）関西情報開発

#### Information Education of Cave and Environment

Senri KAMATA\*, Sayuri MANRI\*\* and Kumiko KIMURA\*\*

#### 【表題例2】 観光洞窟に関する資源と情報分析

澤田 亜紀\*・淀川 優\*\*

近畿環境テクノ開発

#### Resources and information analysis about Tourism Cave

Yoshio SAWADA\* and Masaru YODOGAWA\*\*

【文献例3】1) 大阪太郎：「地域貢献の研究」、CENS学会誌、16(3) /、112-119、1994。

【文献例4】2) B. Inoue・Y. Hasegawa：”Multileveled Caves and Landscape Evolution”, CENS, 77/, 1-30, 2000.

【文献例5】3) 西淀次郎：「情報化社会の経済活性化試論」、CENS出版部、100-110、1993。

# 特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会 (CENS) 会員 登録カード

Non-profit organization Cave Environmental NET Society(CENS) Membership Card

貴団体の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

学会事務用 ( 年 月 日受付)

希望会員 Member type	正会員 Regular member	賛助会員 Supporting member	個人・団体 (いずれかを選択) Individual or Organization
フリガナ Kana letters			
氏名 Name			性別Sex (男male or 女female)
ローマ字 Roman letters	Family	(Middle)	First
生年月日 Birth date	生年mon	月/d	日/yr
フリガナ Kana letters	所属部署 (Branch or faculty)		
勤務先名称 Affiliation			
フリガナ Kana letters	HPアドレスaddress		
勤務先住所 Office address	〒 都道府県		
フリガナ Kana letters	HPアドレスaddress		
自宅住所 Home address	〒 都道府県		
自宅電話 Home phone	( )	FAX	( )
携帯電話 Cellular phone	( )	E-mail	
<b>学 歴 Academic background</b>		<b>卒業・修了Completed on</b>	
大学 University	学部	年mon	月/d 日/yr
大学院 Graduate School	専門 (修士) Master course	年mon	月/d 日/yr
大学院 Graduate School	専門 (博士) Doctor course	年mon	月/d 日/yr
学位Doctorate	専門分野 Specialty		
連絡先 Send mails to	所属機関Office・自宅Home	資格 Qualification	

公開不可はチェック Mark when not open in member list

## 入会・継続・退会 申請書 Application (いずれかに○をしてください)

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会 (CENS) 殿

私は会員として申請します。また、年度末までに更新手続きを行わない場合には貴会を退会いたします。I apply as CEN member. I will withdraw from CENS, If I will not performing updating procedure until the end of a fiscal year.

年 月 日 ( mon /d /yr)

申請者氏名  
(Applicant)

Ⓜsignature

## 推 薦 状 Recommendation

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会 (CENS) 殿

私は \_\_\_\_\_ さんを会員として推薦します。 \_\_\_\_\_ Can be recommended as an member of CENS.

年 月 日 ( mon /d /yr)

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会(CENS)

Name of member Cave Environmental NET Society (CENS)

推薦人  
(Recommendation people)

Ⓜsignature

この用紙をA4版に拡大コピーして、提出してください。

送付先：〒555-0024 大阪市西淀川区野里一丁目16-23

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会 (CENS) 事務局

事務局記入欄

受 理	承 認	備 考
-----	-----	-----

--	--	--



# 特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会(CENS) 学生会員 登録カード

## Non-profit organization Cave Environmental NET Society (CENS) Student Membership Card

貴団体の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

学会事務用 ( 年 月 日 受付)

希望会員 Member type (choose)	正会員 Regular member	賛助会員 Supporting member	新規・継続 (いずれかを選択) Entry / Re-entry
フリガナ Kana letters			
氏名 Name			性別Sex (男male or 女female)
ローマ字 Roman letters	Family	(Middle)	First
生年月日 Birth date	生年mon	月/d	日/yr
フリガナ Kana letters	学部 (Branch or faculty)		
学校名、学部 University, faculty			
フリガナ Kana letters	HPアドレスaddress		
通学先所在地 School address	〒	都道府県	
フリガナ Kana letters	HPアドレスaddress		
自宅住所 Home address	〒	都道府県	
自宅電話 Home phone	( )	FAX	( )
携帯電話 Cellular phone	( )	E-mail	

学歴 Academic background		卒業・修了 Completed on		
大学 University	学部	年mon	月/d	日/yr
大学院 Graduate School	専門 (修士) Master course	年mon	月/d	日/yr
大学院 Graduate School	専門 (博士) Doctor course	年mon	月/d	日/yr
学位 Doctorate	専門分野 Specialty			
連絡先 Send mails to	所属機関Office・自宅Home	資格 Qualification		

公開不可はチェック Mark when not open in member list

### 入会・継続・退会 申請書 Application (いずれかに○をしてください)

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会(CENS) 殿

私は会員として申請します。また、年度末までに更新手続きを行わない場合には貴会を退会いたします。 I apply as CEN member. I will withdraw from CENS, If I will not performing updating procedure until the end of a fiscal year.

年 月 日 ( mon /d /yr)

申請者氏名  
(Applicant)

Ⓜsignature

### 推薦状 (在学証明) Recommendation

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会(CENS) 殿

私は\_\_\_\_\_さんを会員として推薦します。 \_\_\_\_\_ Can be recommended as an member of CENS.

年 月 日 ( mon /d /yr)

大学(学校)・所属・職  
University, faculty, Institutor

推薦人  
(Recommendation people)

Ⓜsignature

この用紙をA4版に拡大コピーして、提出してください。  
送付先：〒555-0024 大阪市西淀川区野里一丁目16-23

特定非営利活動法人 洞窟環境NET学会事務局

事務局記入欄		
受理	承認	備考

**洞窟環境NET学会紀要 第2巻第1号 2011年3月31日**

**発行者**

**沢 勲**

**発行所**

**洞窟環境NET学会**

〒555-0024 大阪市西淀川区野里1丁目16-23

TEL : 06-6471-5485

FAX : 06-6471-6686

HP : <http://www.cave-ens.com/>

E-mail : [sawaisao@cave-ens.com](mailto:sawaisao@cave-ens.com)

**印刷所**

〒551-0003 大阪市大正区三軒家東3丁目11-34

**エヌアイエス有限会社**

TEL : 06-6554-7737

# The Bulletin of Cave Environmental Net Society

## Vol.2. No.1. ☆CENS☆ 2011

[Prologue].....	Naruhiko KASHIMA	1
[Original Articles]		
Visit and Consideration of Otaki Limestone Cave , Gujo City, Gifu Prefecture.....	Kaoru YURA	3
Cave·Speleothem and Humankind.....	Naruhiko KASHIMA	11
Consideration of Unique Stalactites of Otaki Stalactite Cave, Gujo City, Gifu Prefecture.....	Yoshiaki KOEZUKA, Isao SAWA	19
Small Consideration about China Economy "Light and Shade".....	Sadahiro MURATA	25
Considering About Situation surround Rare-Earth and Mines.....	Atsushi FUJIURA	31
Insurance as a Means of Transferring Soil Pollution Risk.....	Akihisa YATOUJI	37
On Iodine Deficiency Disorders of Rural People in Nepal.....	Chikayoshi ATSUTA	41
History of the Nozato-Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City. ....	Isao SAWA·Yoshiaki KOEZUKA·Kazutaka KITAGAWA	47
History of the Tamino Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Hiroshi UENO·Masaaki NISHIYAMA	67
History of the Himejima Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Shinya ISHIDA·Yong-Kyung PARK	87
History of the Owada -Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Kazuhiro TOMITA·Kazutaka KITAGAWA	107
History of the Fuku -Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Masaaki NISHIYAMA·Sae-Duk KIM	127
History of the Hanakawa Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Kazuhiro TOMITA·Yoshiaki KOEZUKA	145
History of the Gosya Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Hiroshi UENO·Masaaki NISHIYAMA	163
History of the Ono-hyakusima-Sumiyoshi Shrine and its Torii, Nishi-Yodogawa Ward, Osaka City.....	Isao SAWA·Shinya ISHIDA·Yong-Kyung PARK	183
[Practice Report]		
The Architecture of the Main Shrine.....	Regional Research Dep.	203
The System Structure of Shrine Torii .....	Regional Research Dep.	206
Nishiyodogawa-ku, Dossier of Eight Shrine Cultural Heritage.....	Regional Research Dep.	211
Nishi-Yodogawa-ku, Shrine Related Data.....	Regional Research Dep.	218
Nishi-Yodogawa-ku, Osaka-shi, shrine chronology.....	Regional Research Dep.	222
Four languages (Japanese-English Korea and China) of shrine glossary.....	Regional Research Dep.	229
The map of Nishiyodogawa-ku(500 years).....	Editorial Dep.	236
Nishiyodogawa inhabitant of a ward Festival.....	Editorial Dep.	254
Nishiyodogawa-ku country village summer festival (Hemejima) .....	Editorial Dep.	259
The newspaper article of the cave and torii of Nishi-Yodogawa-ku.....	Editorial Dep.	263
[Reports of Activities]		
Officer List.....	Editorial Dep.	275
Monthly Reports.....	Editorial Dep.	276
Activity Reports.....	Editorial Dep.	286

Edited and Published by

Cave Environmental Net Society(CENS)

1-16-23 Nozato Nishiyodogawaku, Osaka-city, Osaka, Japan, 555-0024

TEL:(06)6471-5485, FAX:(06)6471-6686

NPO E-mail<sawaisao@cave-ens.com> NPO <http://www.cave-ens.com/>